

---

周南市子ども・子育て支援ニーズ調査  
結果報告書

---

令和6年3月

周南市

# 目次

---

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| I 調査の概要 .....             | 1   |
| II 就学前児童保護者対象調査結果 .....   | 3   |
| III 小学校児童保護者対象調査結果 .....  | 87  |
| IV 中学校生徒保護者対象調査結果 .....   | 139 |
| V 小学校児童・中学校生徒対象調査結果 ..... | 179 |
| VI 企業対象調査結果 .....         | 202 |
| VII 子育て支援団体対象調査結果 .....   | 212 |

# 1 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、第3期周南市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたって、市民の子育てに関する実態や意見・要望に加えて、事業者や子どもの意見を把握するために実施したものです。

## 2 調査設計

- 調査対象者 : 周南市に住んでいる就学前児童・小学校児童・中学校生徒を持つ保護者、周南市の小学校児童・中学校生徒、周南市内の事業者（企業、子育て支援団体）
- 対象数 : 就学前児童保護者 2,000 人、小学校児童保護者 2,000 人、中学校生徒保護者 1,000 人、小学校児童・中学校生徒 1,000 人、企業 50 社、子育て支援団体 158 団体
- 調査期間 : 令和6年1月～2月
- 調査方法 : 小学校児童・中学校生徒以外は郵送による配付、郵送もしくはWEBによる回収  
小学校児童・中学校生徒は学校にて実施、WEBによる回収

## 3 回収結果

| 調査票             | 調査対象者数<br>(配付数) | 有効回収数   | 有効回収率 |
|-----------------|-----------------|---------|-------|
| 就学前児童保護者対象調査    | 2,000 票         | 842 票   | 42.1% |
| 小学校児童保護者対象調査    | 2,000 票         | 929 票   | 46.5% |
| 中学校生徒保護者対象調査    | 1,000 票         | 437 票   | 43.7% |
| 小学校児童・中学校生徒対象調査 | 1,000 票         | 938 票   | 93.8% |
| 周南市内企業対象調査      | 50 票            | 20 票    | 40.0% |
| 周南市内子育て支援団体対象調査 | 158 票           | 114 票   | 72.2% |
| 合計              | 6,208 票         | 3,280 票 | 52.8% |

## 4 報告書の見方

- ・ 回答結果は、有効サンプル数に対して、小数点第2位を四捨五入したそれぞれの割合を示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の説明文、グラフ、表においても反映しています。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答

数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。

- ・ 回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものは、「無回答」扱いとして集計対象から除外しています。
- ・ グラフおよび表のn数は有効標本数(集計対象者総数)、(S A)は単数回答の設問、(M A)は複数回答の設問、(F A)は自由回答の設問を表しています。
- ・ 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- ・ 本文中の「都市地域」「都市周辺地域」「中山間地域」とは、本市が子ども・子育て支援事業計画で設定している3つの教育・保育提供区域を指します。

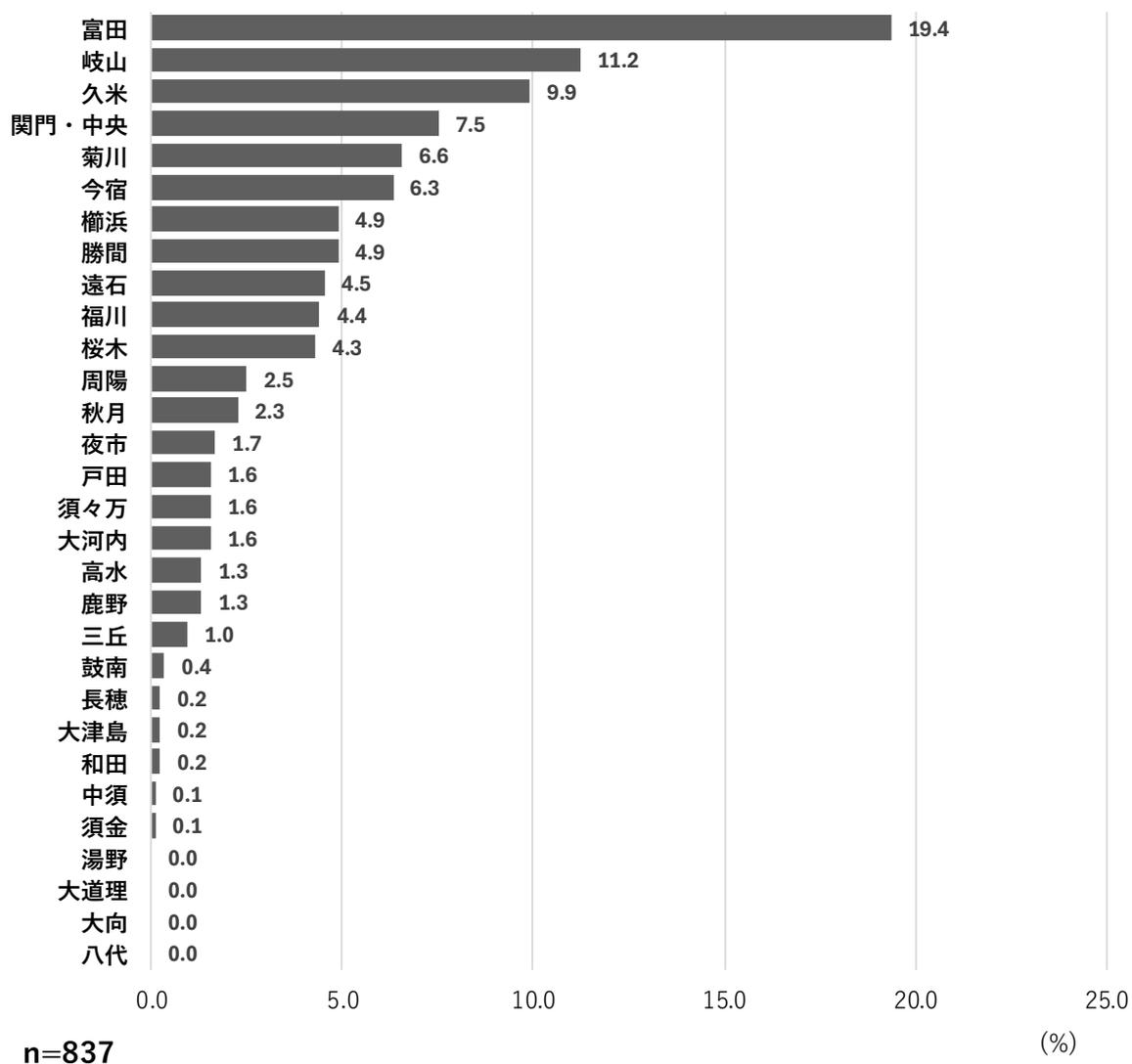
| 教育・保育提供区域 | 地区   |
|-----------|--|
| 都市地域      | 関門・中央、遠石、今宿、周陽、秋月、桜木、岐山、久米、<br>櫛浜、富田、福川    |
| 都市周辺地域    | 鼓南、菊川、夜市、湯野、戸田、勝間、大河内                      |
| 中山間地域     | 大道理、大向、長穂、須々万、中須、須金、大津島、和田、<br>三丘、高水、八代、鹿野 |

## II 就学前児童保護者対象調査結果

### 1 お子さんのご家族の状況について

問1 お子さんのお住まいの地区はどちらですか。(SA)

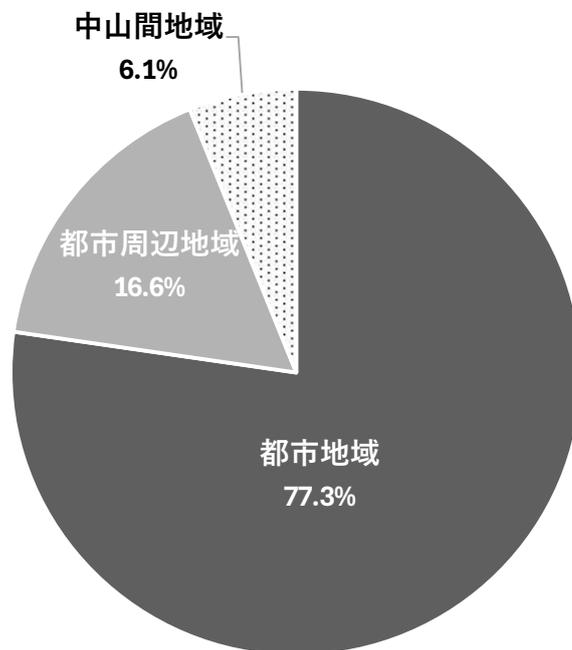
「富田」が19.4%で最も高くなっています。次いで「岐山」が11.2%、「久米」が9.9%が続いています。



### 問1 教育・保育提供区域 (SA)

---

「都市地域」が77.3%、「都市周辺地域」が16.6%、「中山間地域」が6.1%となっています。

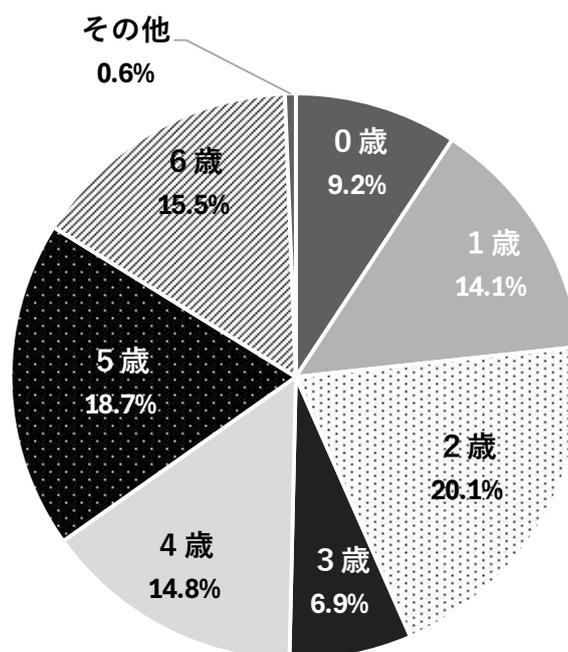


n=837

### 問2 お子さんの年齢 (SA) \* 生年月の回答に基づき集計

---

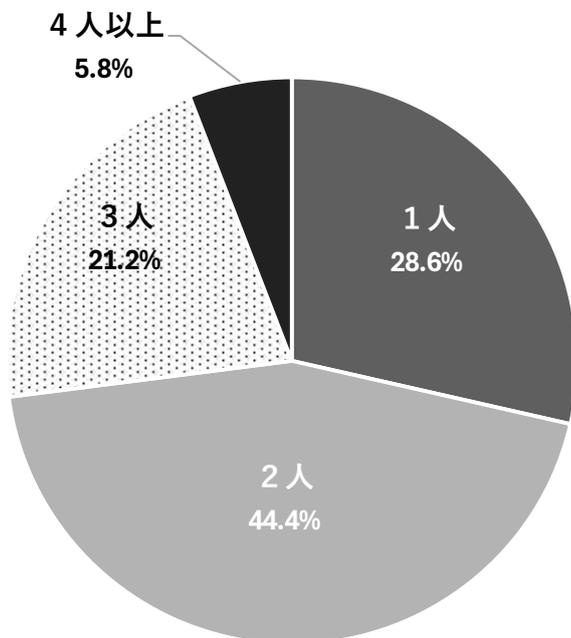
「2歳」が20.1%で最も高くなっています。次いで「5歳」が18.7%、「6歳」が15.5%が続いています。



n=824

問 3A お子さんは何人いますか。(数量)

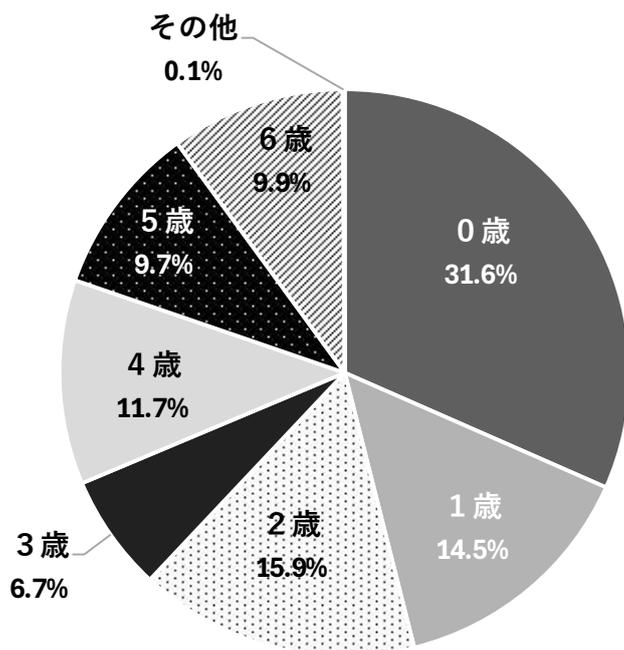
「2人」が44.4%で最も高くなっています。次いで「1人」が28.6%、「3人」が21.2%が続いています。



n=840

問 3B お子さんが2人以上いる場合、末子の年齢(令和6年1月1日現在の年齢)をご記入ください。(数量)

「0歳」が31.6%で最も高くなっています。次いで「2歳」が15.9%、「1歳」が14.5%が続いています。

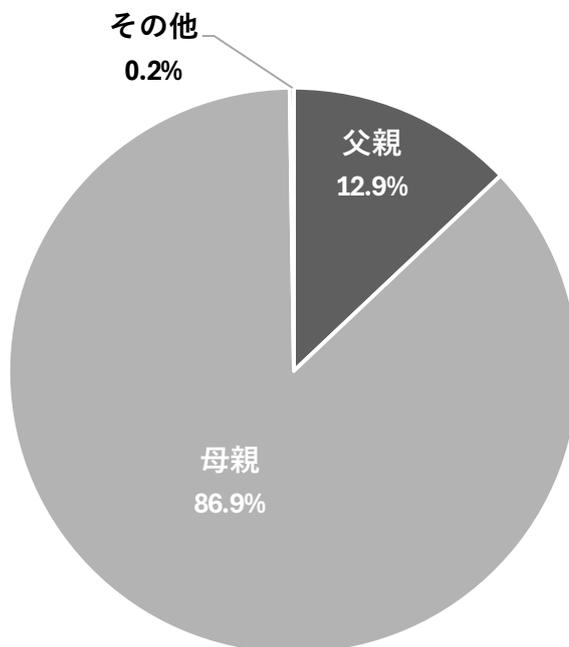


n=781

問 4 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。(SA)

---

「母親」が86.9%を占めています。

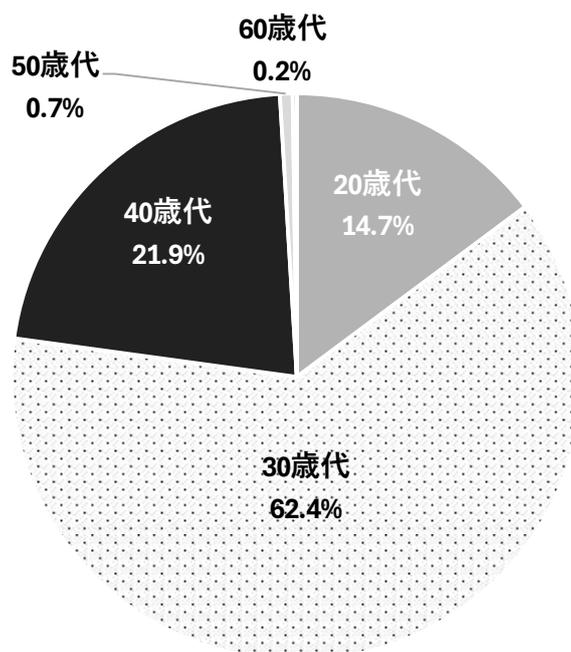


n=838

問 5 あなたの年齢を教えてください。(SA)

---

「30歳代」が62.4%で最も高くなっています。次いで「40歳代」が21.9%、「20歳代」が14.7%で続いています。

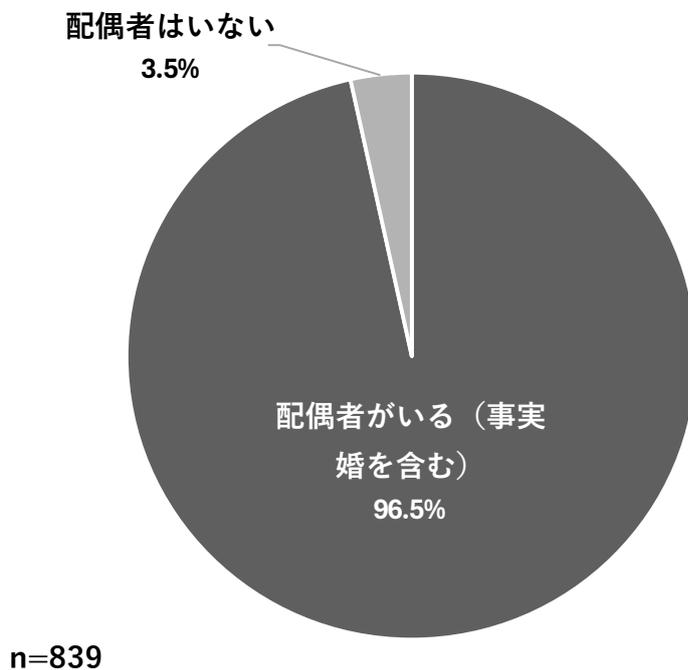


n=841

問6 あなたに配偶者はいますか。(SA)

---

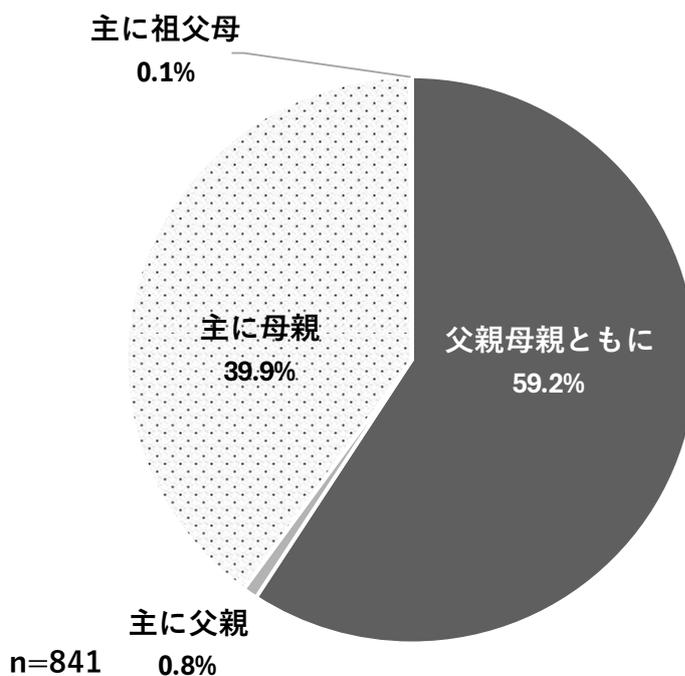
「配偶者がいる(事実婚を含む)」が96.5%を占めています。



問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(SA)

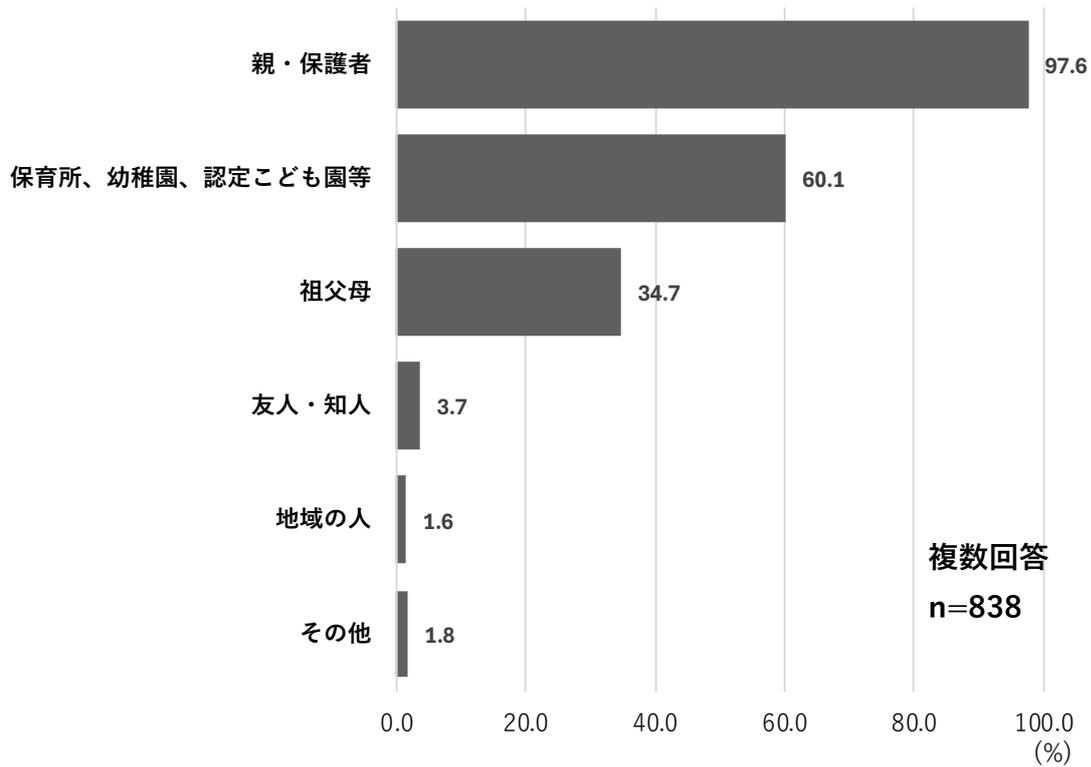
---

「父親母親ともに」が59.2%、「主に母親」が39.9%となっています。



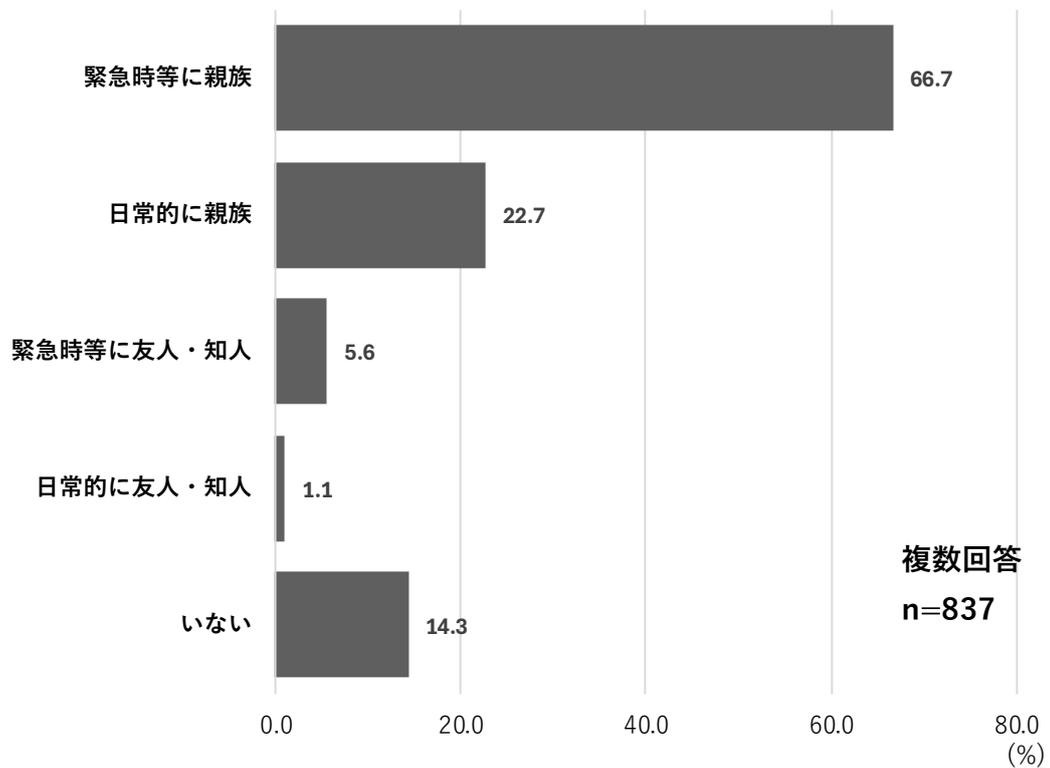
問 8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は誰（どこ）ですか。  
(MA)

「親・保護者」が 97.6%で最も高くなっています。次いで「保育所、幼稚園、認定こども園等」が 60.1%、「祖父母」が 34.7%が続いています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が66.7%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が22.7%、「いずれもない」が14.3%が続いています。



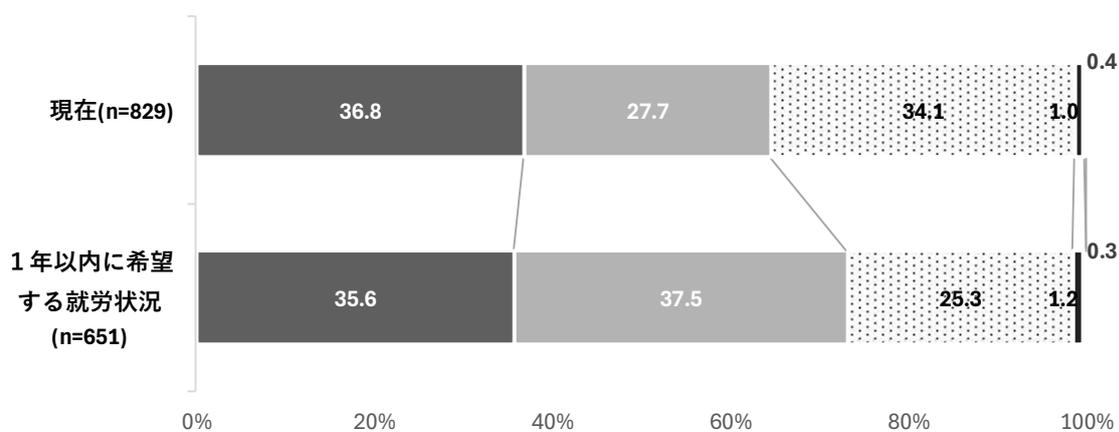
## 2 保護者の就労状況について

問 10① 保護者の『現在の就労状況』を教えてください。

② 保護者の『1年以内に希望する就労状況』を教えてください。(SA)

現在の就労状況は「2人ともフルタイムで働いている」が36.8%で最も高くなっています。次いで「1人はフルタイム又はパートで働いていて、1人は働いていない」が34.1%が続いています。

1年以内に希望する就労状況は「1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている」が37.5%で最も高くなっています。次いで「2人ともフルタイムで働いている」が35.6%が続いています。



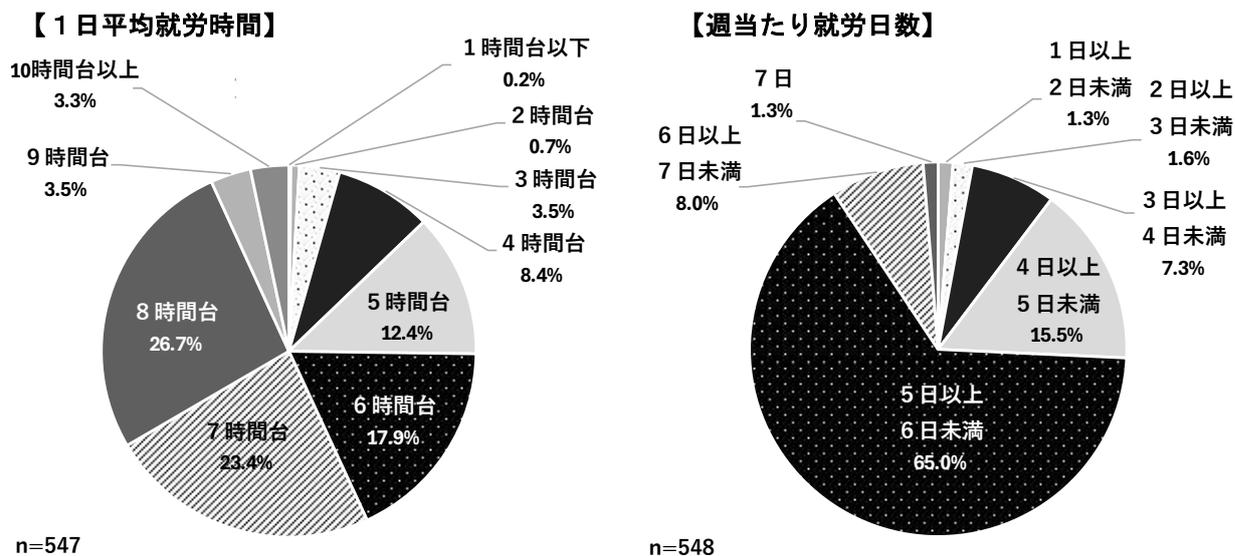
- 2人ともフルタイムで働いている
- 1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている
- ⋯ 1人はフルタイム又はパートで働いていて、1人は働いていない
- 2人ともパートタイムで働いている
- 2人とも働いていない

問 10 の①で「現在働いている」を選んだ方におうかがいします。

問 10－1 ①A 『母親』が1日平均何時間働いているかをご記入ください。(数量)

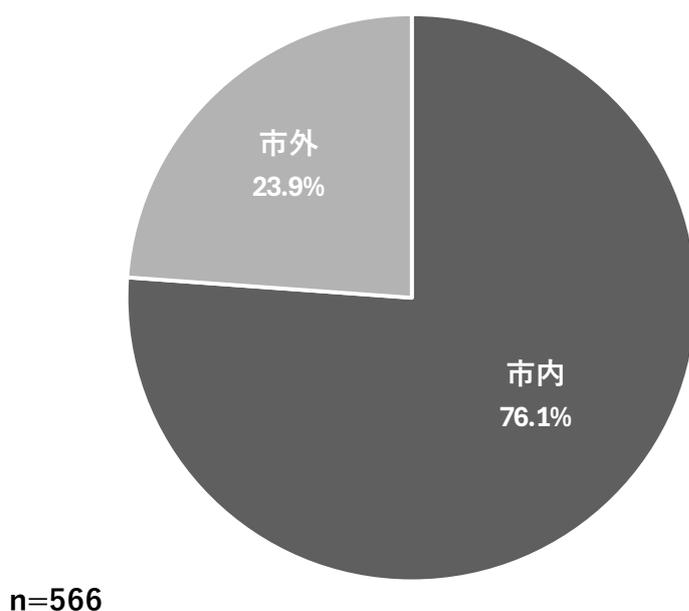
①B 『母親』が週何日働いているかをご記入ください。(数量)

就労時間は「8時間台」が26.7%、就労日数は「5日以上6日未満」が65.0%で最も高くなっています。



問 10－1 ①C 『母親』が市内・市外のどちらで働いているかをご記入ください。(SA)

「市内」が76.1%、「市外」が23.9%となっています。

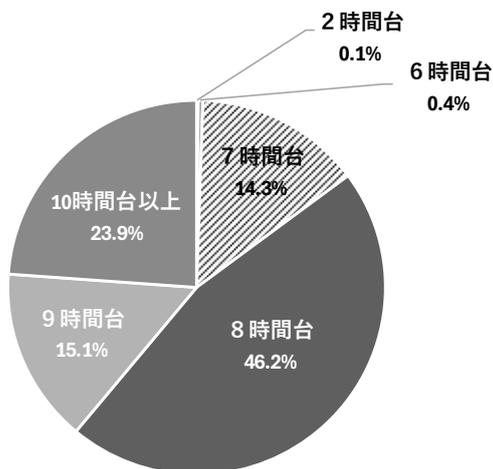


問 10-1 ②A 『父親』が1日平均何時間働いているかをご記入ください。(数量)

②B 『父親』が週何日働いているかをご記入ください。(数量)

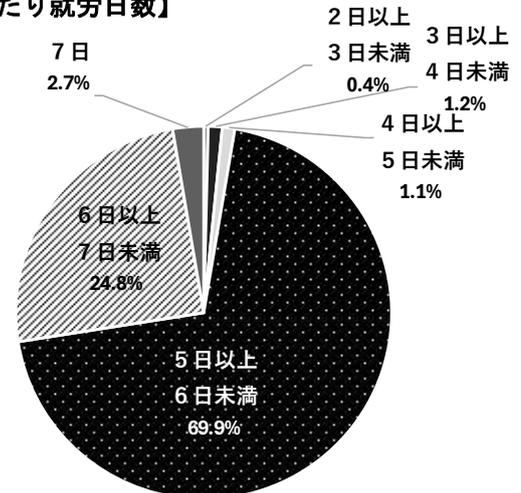
就労時間は「8時間台」が46.2%、就労日数は「5日以上6日未満」が69.9%で最も高くなっています。

【1日平均就労時間】



n=742

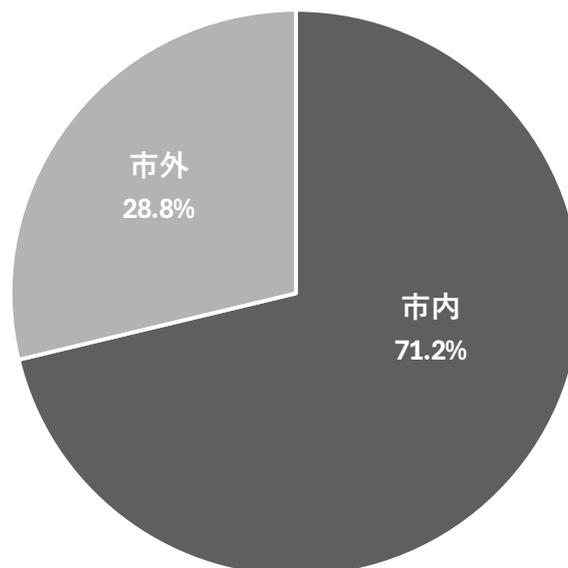
【週当たり就労日数】



n=753

問 10-1 ②C 『父親』が市内・市外のどちらで働いているかをご記入ください。(SA)

「市内」が71.2%、「市外」が28.8%となっています。



n=765

問 10 の②で1年以内の就労希望が「働いていない」を選んだ方におうかがいします。

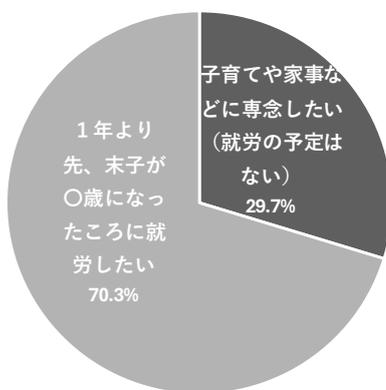
問 10-2① 『母親』の1年後以降の就労希望についておうかがいします。(SA)

1年より先、末子が何歳になったところに就労したいですか。(数量)

1年後以降の就労希望は「1年より先、末子が〇歳になったところに就労したい」が70.3%を占めています。

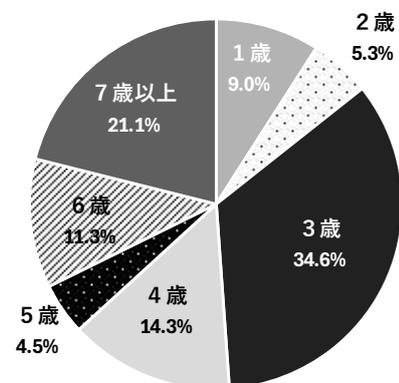
1年より先に就労する場合の末子の年齢は、「3歳」が34.6%で最も高くなっています。次いで「7歳以上」が21.1%、「4歳」が14.3%で続いています。

【1年後以降の就労希望】



n=185

【1年より先に就労を希望するときの末子の年齢】



n=133

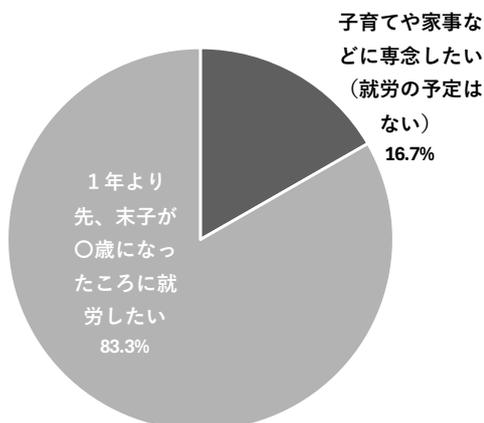
問 10-2② 『父親』の1年後以降の就労希望についておうかがいします。(SA)

1年より先、末子が何歳になったところに就労したいですか。(数量)

1年後以降の就労希望は「1年より先、末子が〇歳になったところに就労したい」が83.3%を占めています。

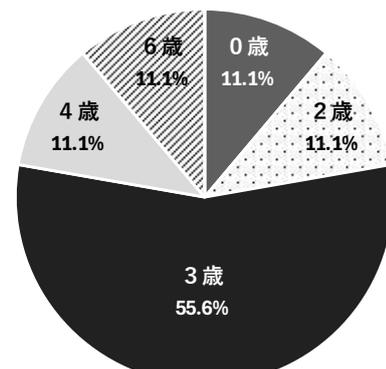
1年より先に就労する場合の末子の年齢は、「3歳」が55.6%で最も高くなっています。次いで「0歳」「2歳」「4歳」「6歳」が11.1%で続いています。

【1年後以降の就労希望】



n=12

【1年より先に就労を希望するときの末子の年齢】



n=9

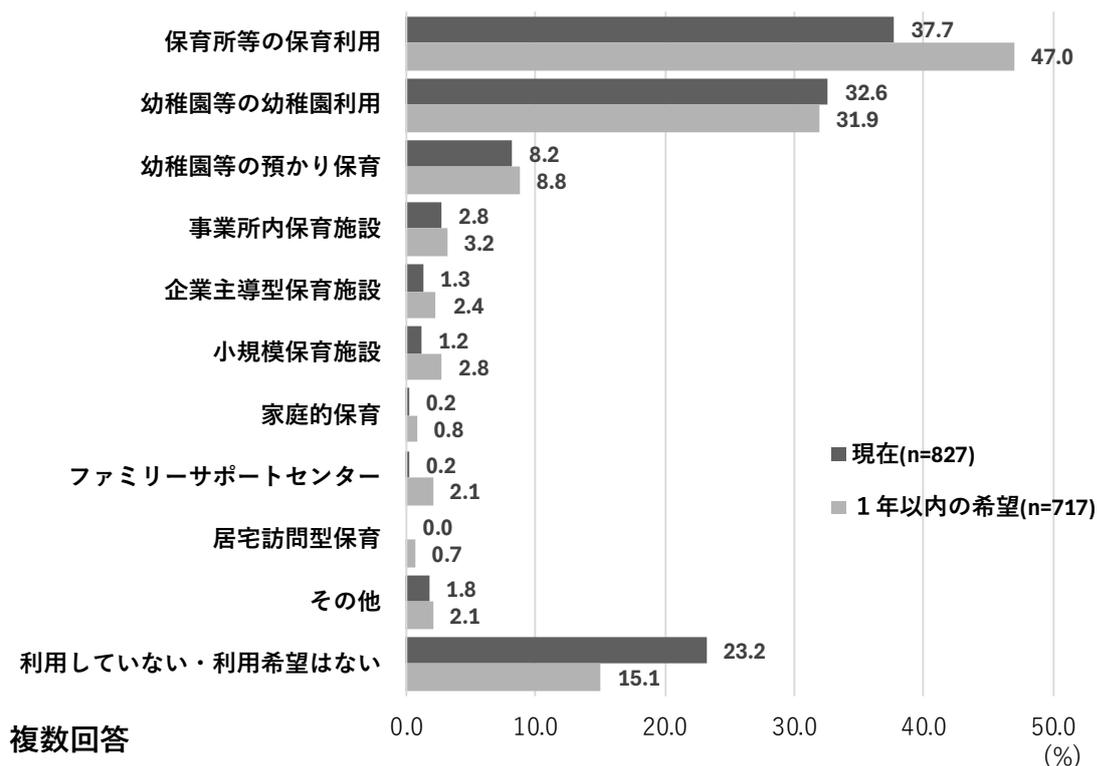
### 3 お子さんの平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

問 11 お子さんは、現在、平日にどのようなサービスを、どのくらい利用していますか。

- ① 年間を通じて「定期的」に利用しているサービスの利用状況をお答えください。  
(MA)
- ② 1年以内に利用を希望するサービス、利用を継続したいサービスをお答えください。  
(MA)

現在の利用は「保育所、認定こども園の保育利用」が37.7%で最も高くなっています。次いで「幼稚園、認定こども園の幼稚園利用」が32.6%、「保育サービスを利用していない、利用希望はない」が23.2%で続いています。

1年以内の希望は「保育所、認定こども園の保育利用」が47.0%で最も高くなっています。次いで「幼稚園、認定こども園の幼稚園利用」が31.9%、「保育サービスを利用していない、利用希望はない」が15.1%で続いています。



問 11A～H 各サービスの週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望（数量）

「幼稚園、認定こども園の幼稚園利用」を除く各サービスの現在の利用日数と1年以内の希望利用日数（いずれも週当たり）をまとめたところ、下表のとおりとなりました。

なお、各サービスの利用開始時間・終了時間（現在及び1年以内の希望）も含めた詳細は次ページ以降の通りです。

サービス別の現在の利用日数と1年以内の希望利用日数（週当たり）

（単位：％）

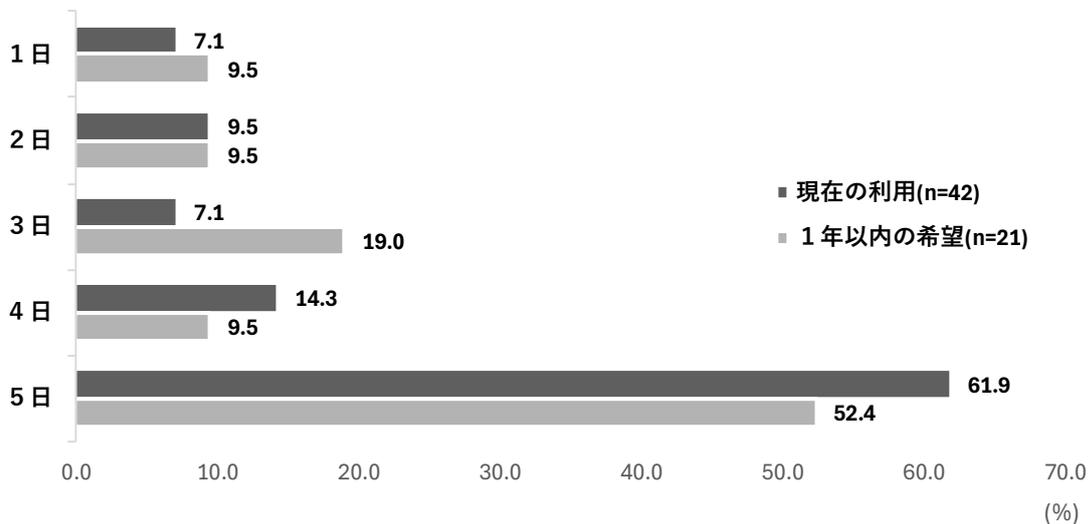
|    | 幼稚園等の<br>預かり保育利用    |                       | 保育所等の保育利用            |                        | 小規模保育施設利用          |                      | 事業所内保育施設利用          |                       |
|----|---------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|
|    | 現在の<br>利用<br>(n=42) | 1年以内の<br>希望<br>(n=21) | 現在の<br>利用<br>(n=226) | 1年以内の<br>希望<br>(n=186) | 現在の<br>利用<br>(n=6) | 1年以内の<br>希望<br>(n=3) | 現在の<br>利用<br>(n=14) | 1年以内の<br>希望<br>(n=10) |
| 1日 | 7.1                 | 9.5                   | 2.2                  | 0.5                    | 0.0                | 0.0                  | 7.1                 | 0.0                   |
| 2日 | 9.5                 | 9.5                   | 0.4                  | 1.6                    | 16.7               | 33.3                 | 7.1                 | 0.0                   |
| 3日 | 7.1                 | 19.0                  | 1.3                  | 2.2                    | 0.0                | 33.3                 | 7.1                 | 0.0                   |
| 4日 | 14.3                | 9.5                   | 1.3                  | 2.7                    | 16.7               | 0.0                  | 7.1                 | 0.0                   |
| 5日 | 61.9                | 52.4                  | 94.7                 | 93.0                   | 66.7               | 33.3                 | 71.4                | 100.0                 |

|    | 企業主導型<br>保育施設利用    |                      | 家庭的保育利用            |                      | ファミリーサポート<br>センター利用 |                      | その他の教育保育<br>サービス利用 |                      |
|----|--------------------|----------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
|    | 現在の<br>利用<br>(n=8) | 1年以内の<br>希望<br>(n=4) | 現在の<br>利用<br>(n=1) | 1年以内の<br>希望<br>(n=0) | 現在の<br>利用<br>(n=2)  | 1年以内の<br>希望<br>(n=1) | 現在の<br>利用<br>(n=5) | 1年以内の<br>希望<br>(n=2) |
| 1日 | 0.0                | 0.0                  | 0.0                |                      | 100.0               | 0.0                  | 20.0               | 0.0                  |
| 2日 | 0.0                | 0.0                  | 0.0                |                      | 0.0                 | 0.0                  | 60.0               | 50.0                 |
| 3日 | 0.0                | 0.0                  | 100.0              |                      | 0.0                 | 100.0                | 20.0               | 50.0                 |
| 4日 | 12.5               | 0.0                  | 0.0                |                      | 0.0                 | 0.0                  | 0.0                | 0.0                  |
| 5日 | 87.5               | 100.0                | 0.0                |                      | 0.0                 | 0.0                  | 0.0                | 0.0                  |

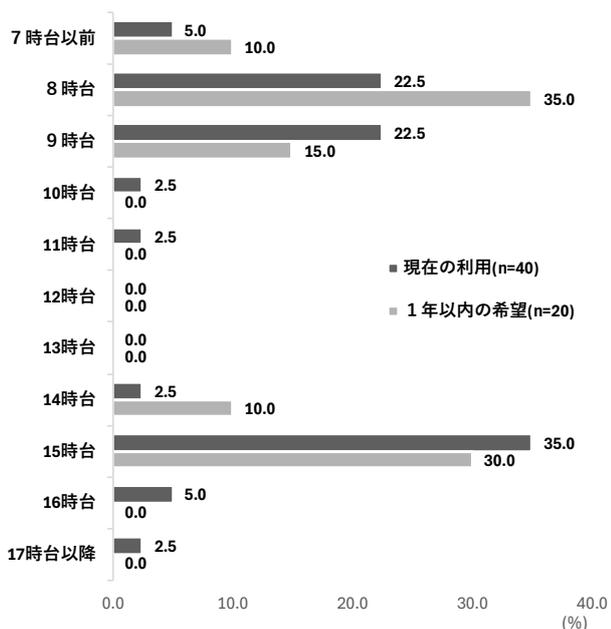
\* 居宅訪問型保育については日数・時間の回答なし

問 11A 「幼稚園、認定こども園の預かり保育利用」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望(数量)

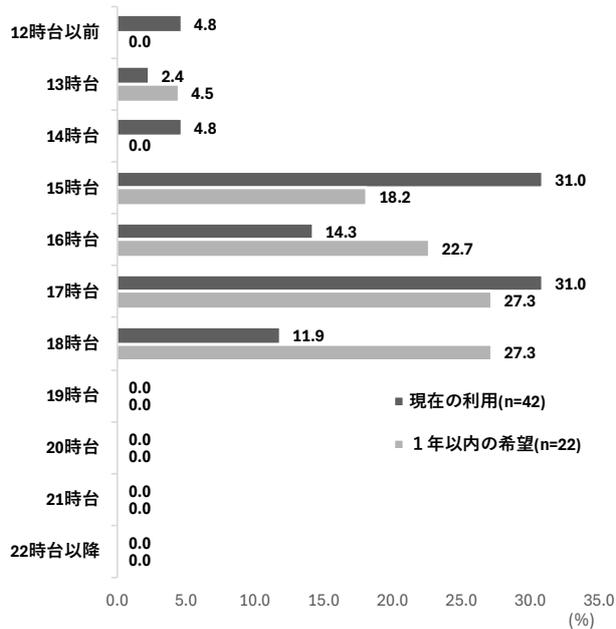
【週利用日数】



【開始時間】

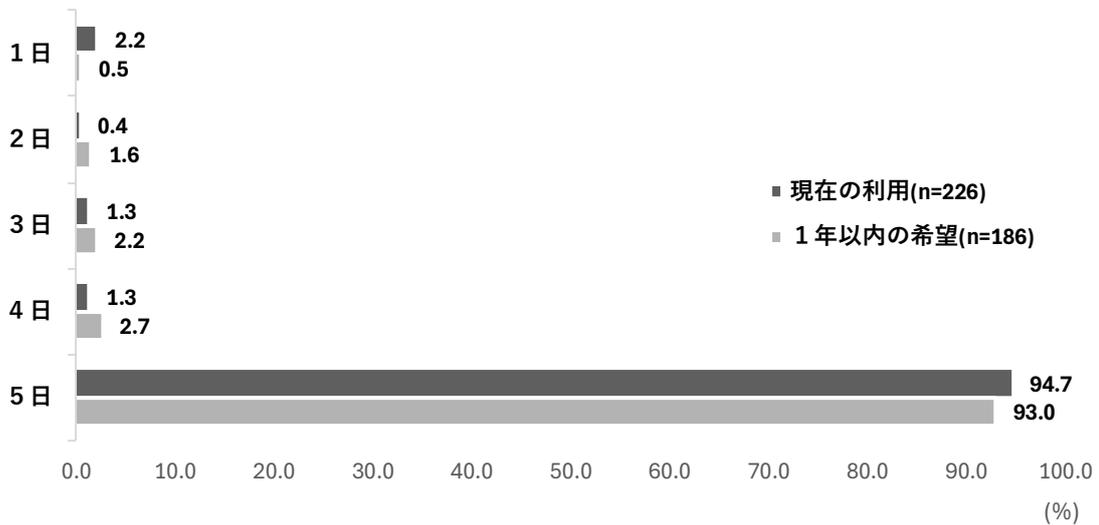


【終了時間】

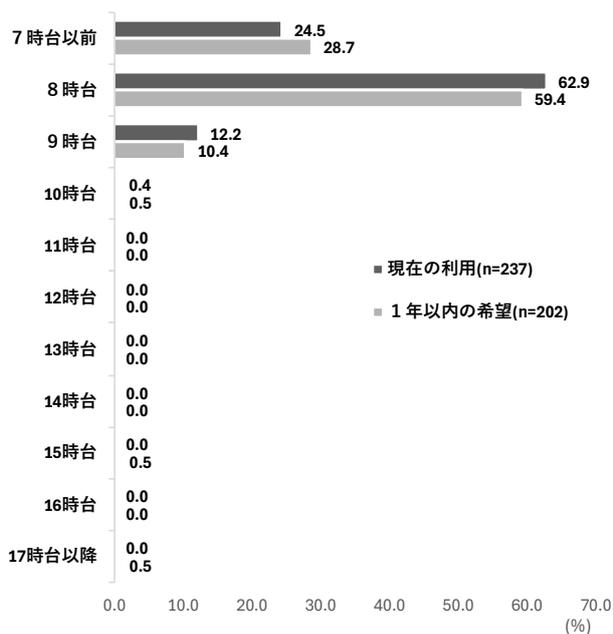


問 11B 「保育所、認定こども園の保育利用」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望(数量)

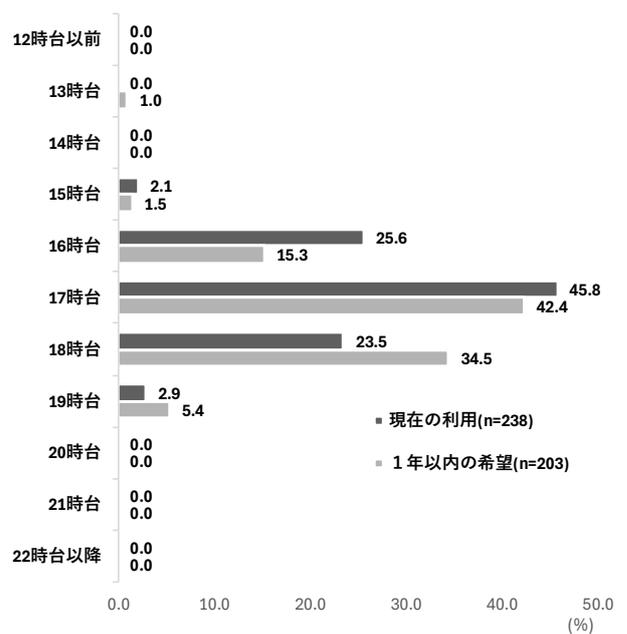
【週利用日数】



【開始時間】

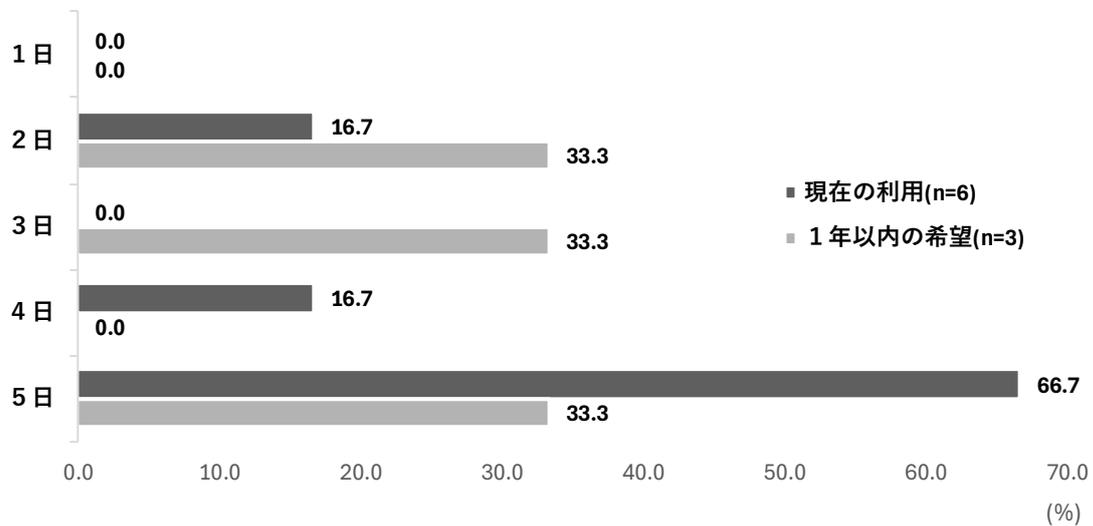


【終了時間】

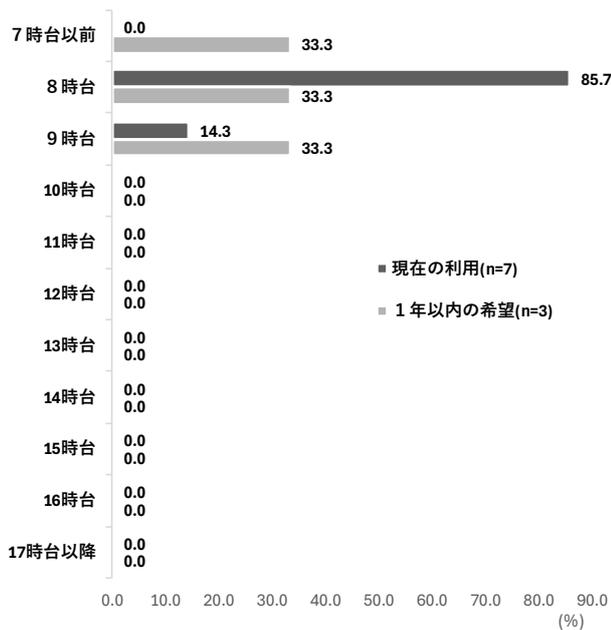


問 11C 「小規模保育施設」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望(数量)

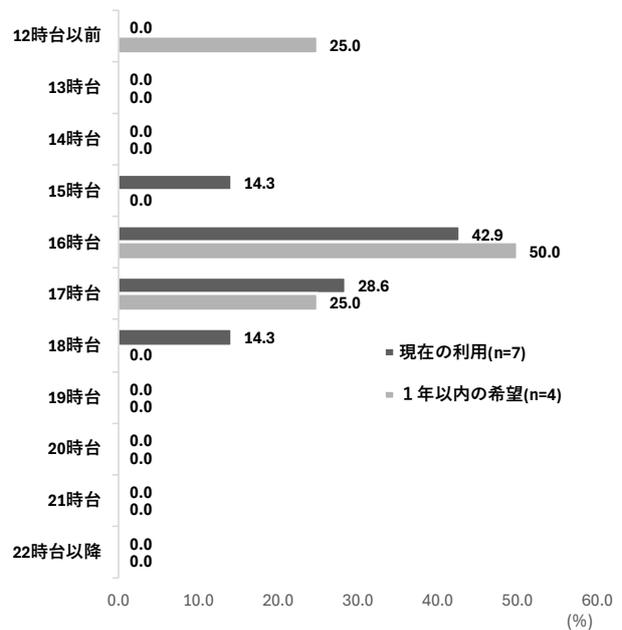
【週利用日数】



【開始時間】

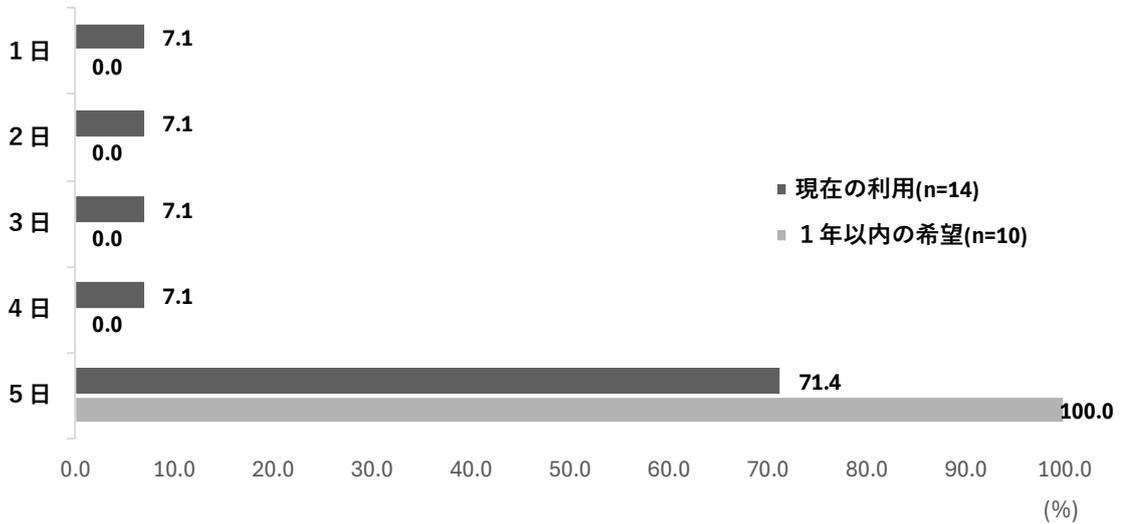


【終了時間】

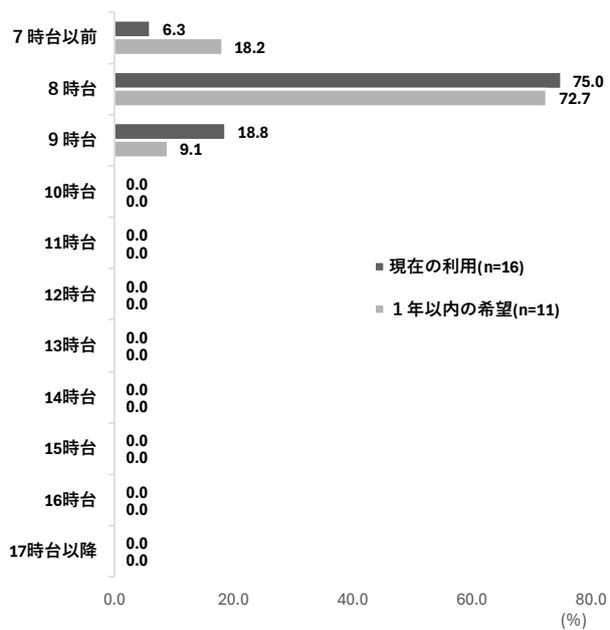


問 11D 「事業所内保育施設」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望（数量）

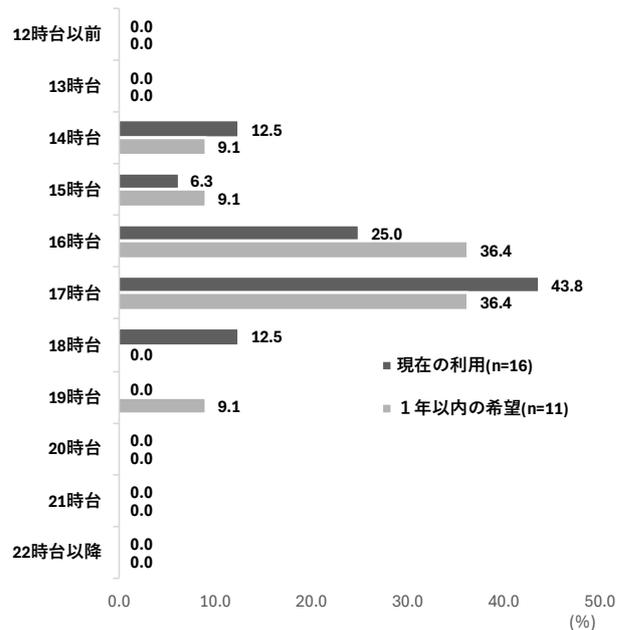
【週利用日数】



【開始時間】

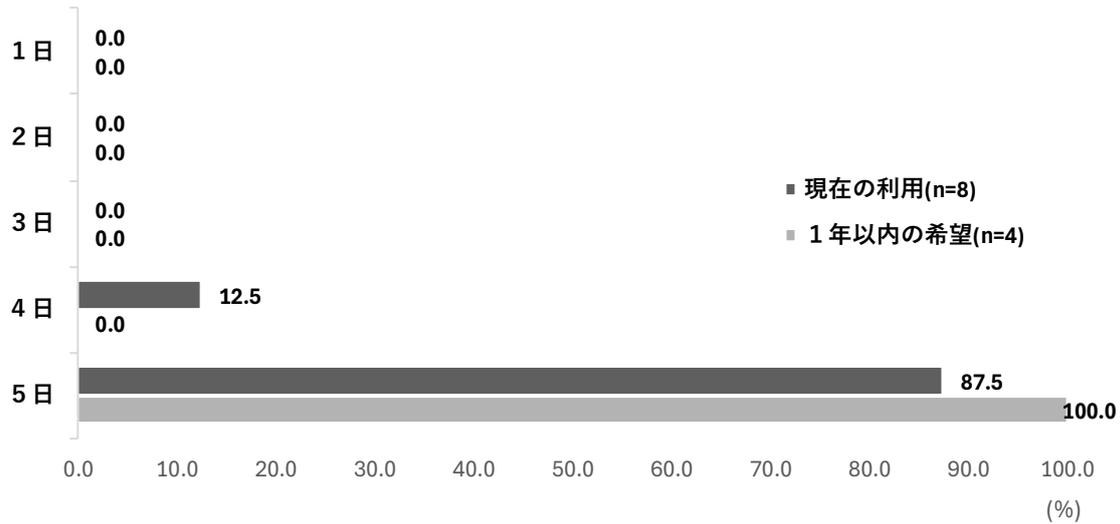


【終了時間】

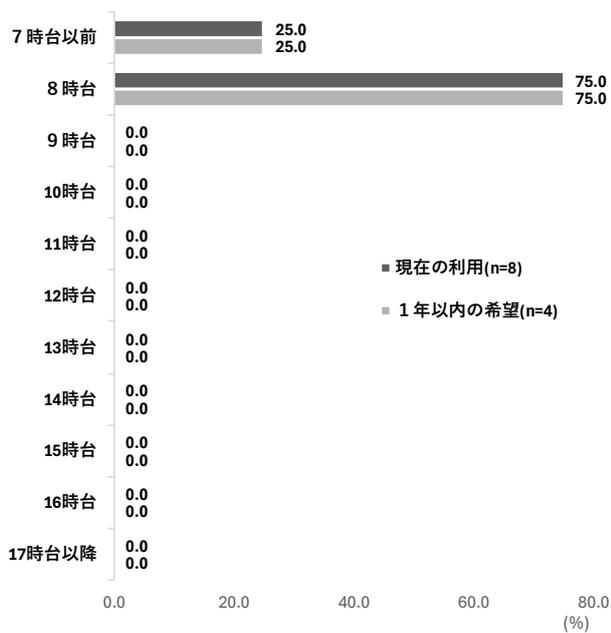


問 11E 「企業主導型保育施設」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望  
(数量)

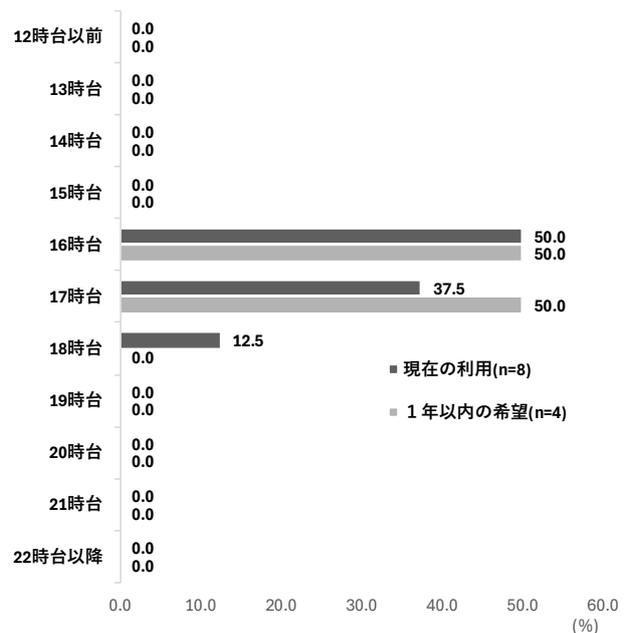
【週利用日数】



【開始時間】

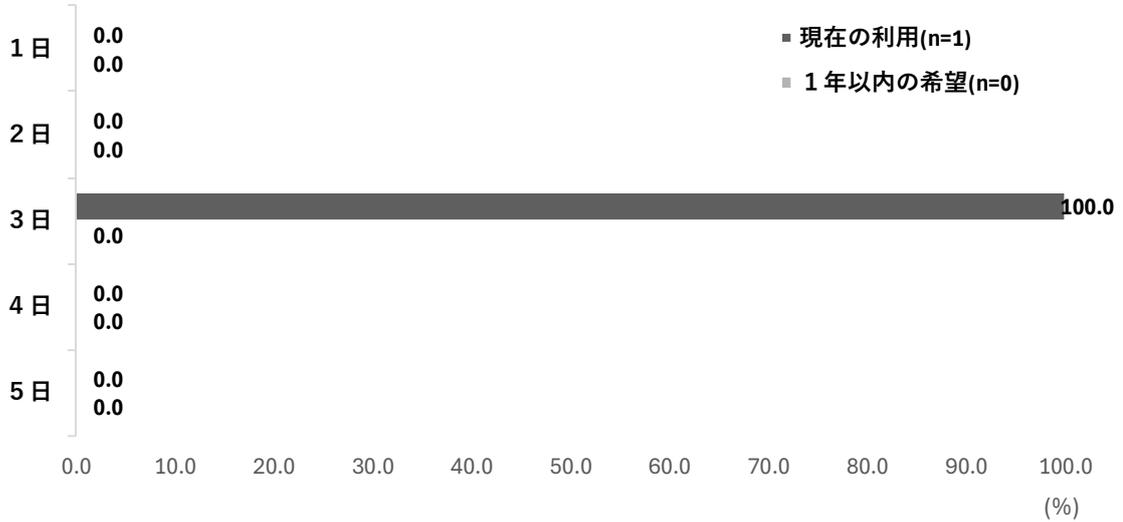


【終了時間】

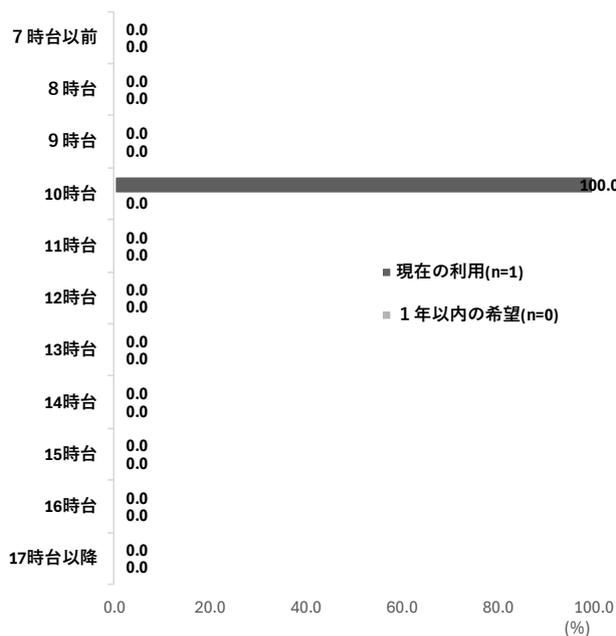


問 11F 「家庭的保育」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望(数量)

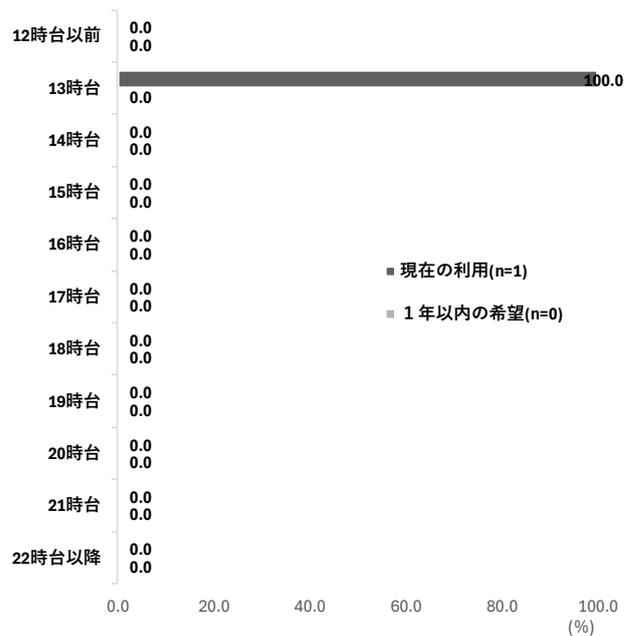
【週利用日数】



【開始時間】

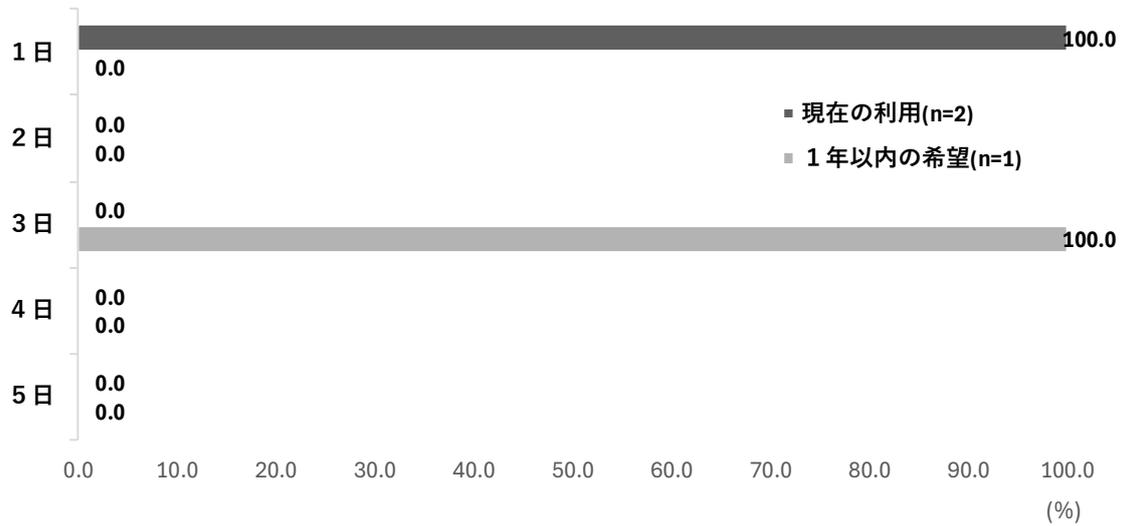


【終了時間】

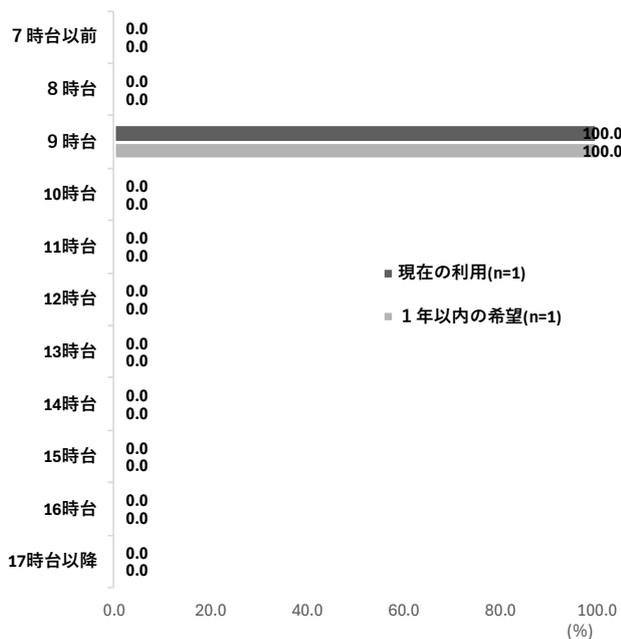


問 11G 「ファミリーサポートセンター」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望(数量)

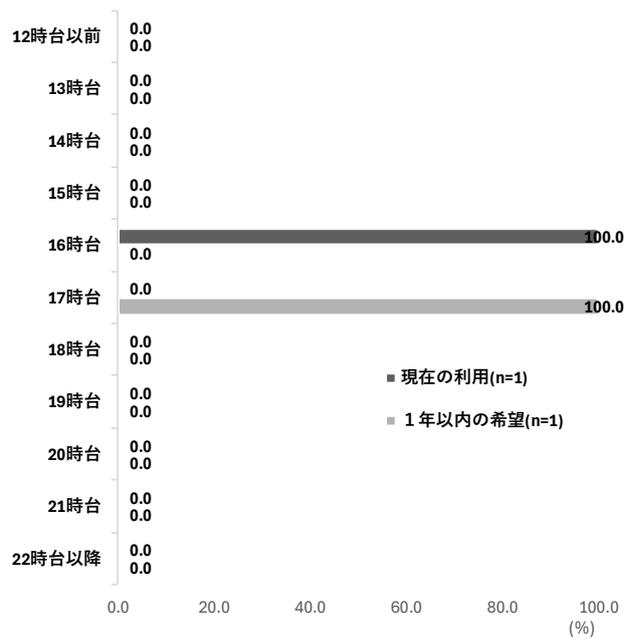
【週利用日数】



【開始時間】

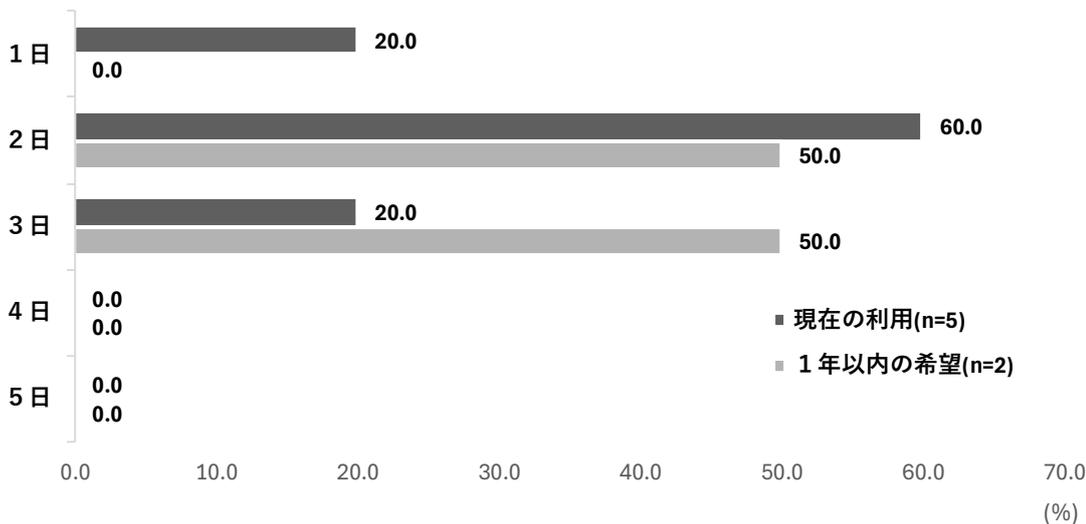


【終了時間】

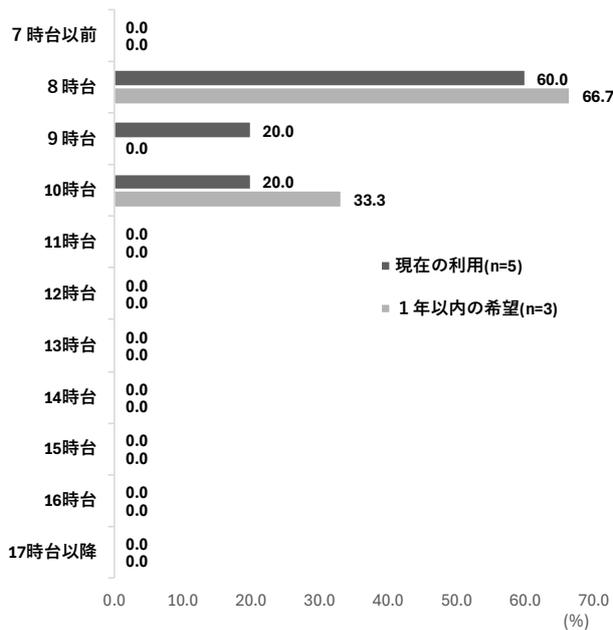


問 11H 「その他の保育サービス」の週利用日数と利用開始時間・終了時間の現在と希望  
(数量)

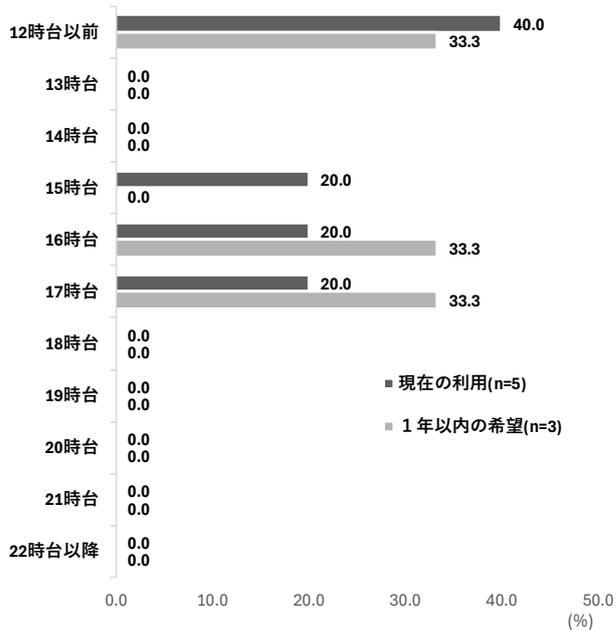
【週利用日数】



【開始時間】



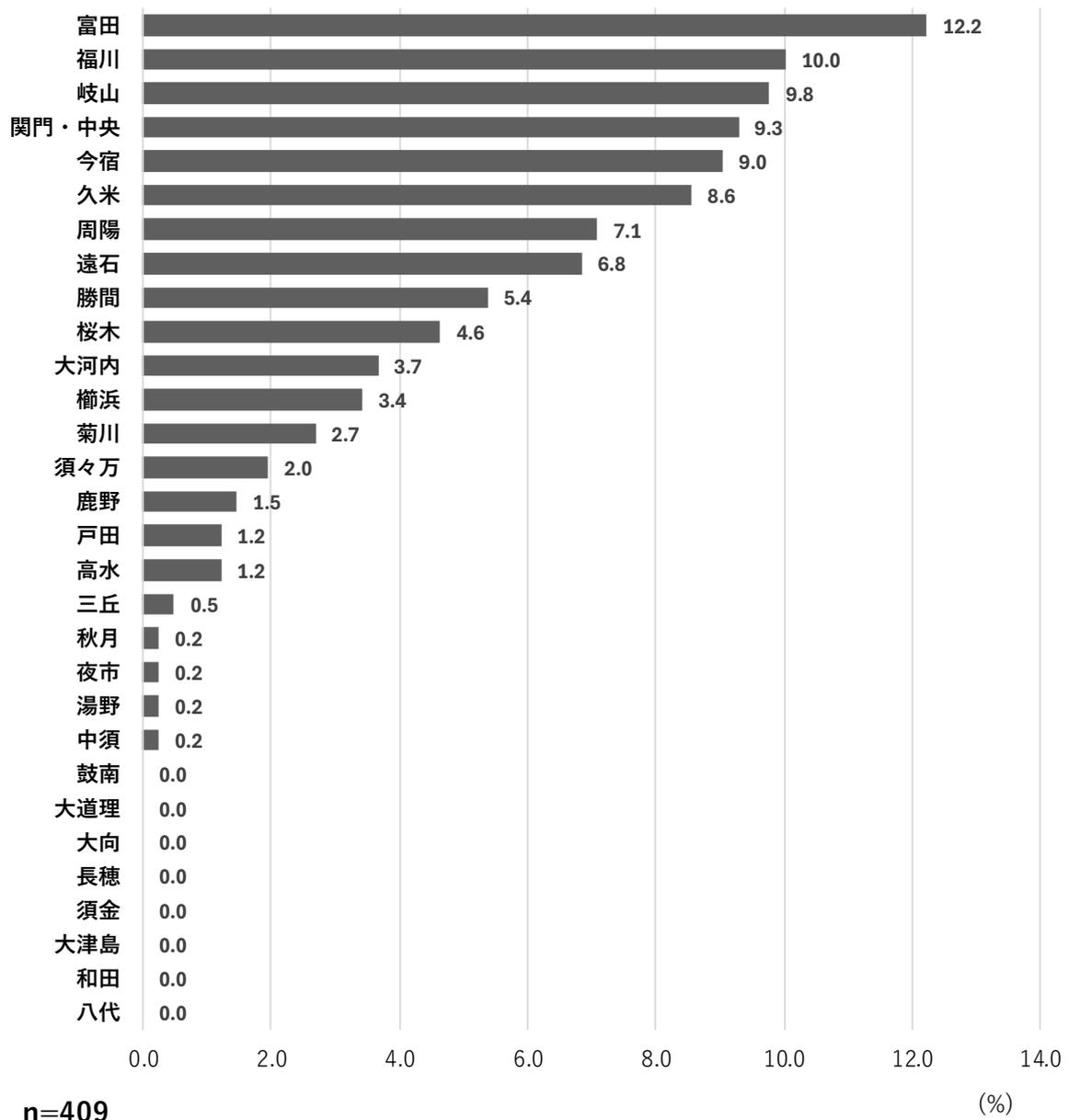
【終了時間】



問 11 で「現在サービスを利用している」を選んだ方におうかがいします。

問 11-1 現在、利用している教育・保育サービスはどの地区で受けられていますか。  
(SA)

「富田」が12.2%で最も高くなっています。次いで「福川」が10.0%、「岐山」が9.8%が続いています。



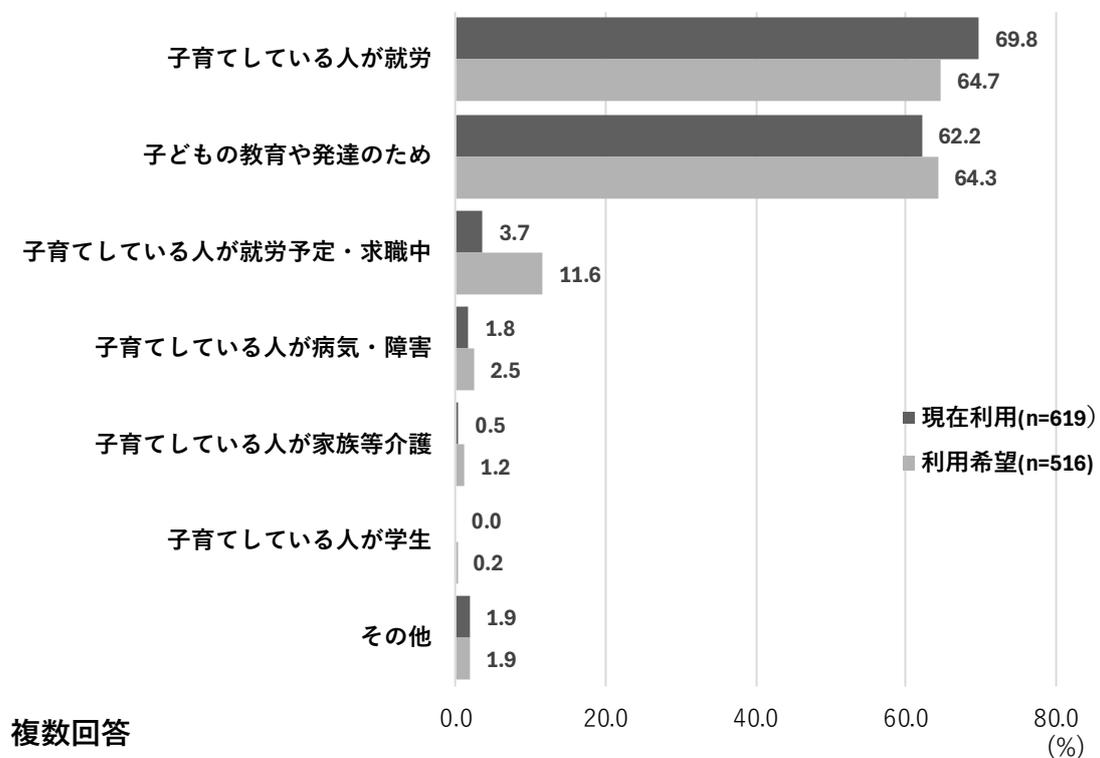
問 11 で「現在サービスを利用している」「1年以内に利用希望がある」を選んだ方におうかがいします。

問 11-2 平日に定期的にサービスを利用している、又は利用したい理由は何ですか。

(MA)

現在の利用理由では「子育てをしている人が現在就労している」が 69.8%で最も高くなっています。次いで、「子どもの教育や発達のため」が 62.2%、「子育てをしている人に就労予定がある／求職中である」が 3.7%で続いています。

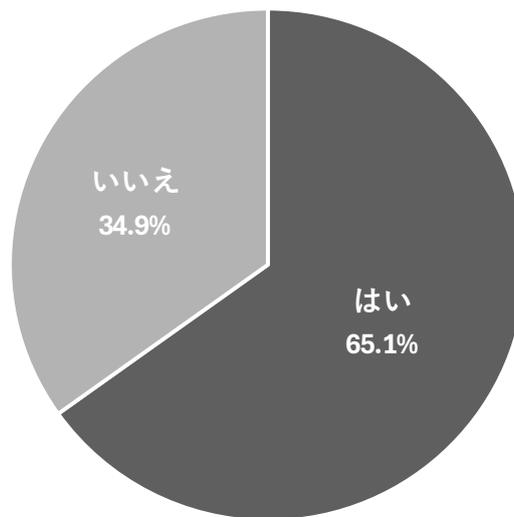
今後の利用希望理由では「子育てをしている人が現在就労している」が 64.7%で最も高くなっています。次いで、「子どもの教育や発達のため」が 64.3%、「子育てをしている人に就労予定がある／求職中である」が 11.6%で続いています。



問 11②の「1年以内の利用希望」で幼稚園利用を含むサービスを希望された方におうかがいします。

問 11-3 特に幼稚園（保育ではなく教育）の利用を強く希望しますか。（SA）

「1年以内に幼稚園（保育ではなく教育）の利用を強く希望する」保護者が65.1%と過半数を占めています。

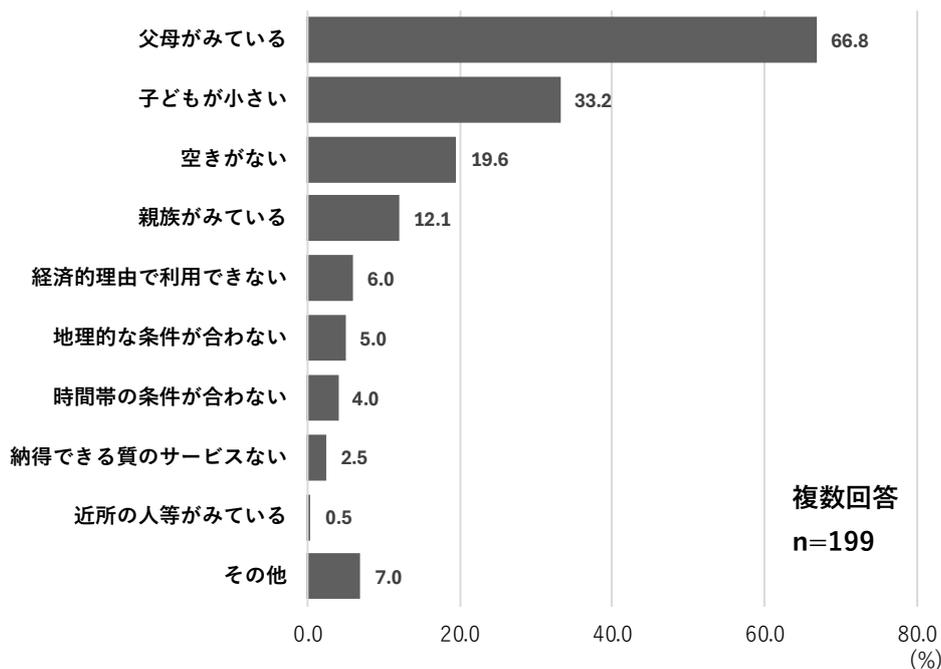


n=301

問 11 で「保育サービスを利用していない、利用希望はない」を選んだ方におうかがいします。

#### 問 11-4 平日に定期的にサービスを利用しない理由は何ですか。(MA)

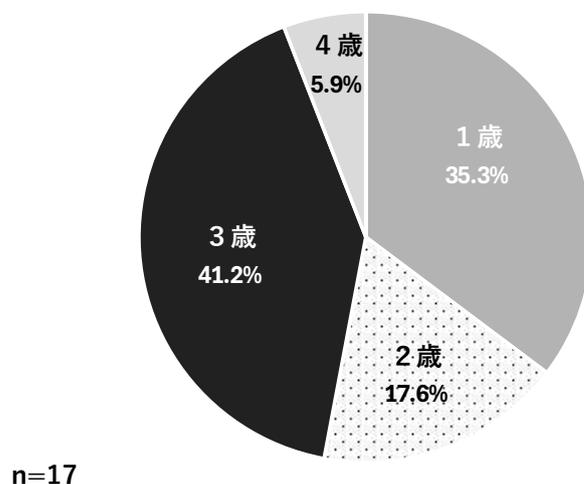
「父母が子どもをみている」が 66.8% で最も高くなっています。次いで「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が 33.2%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 19.6% で続いています。



問 11-4 で「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方におうかがいします。

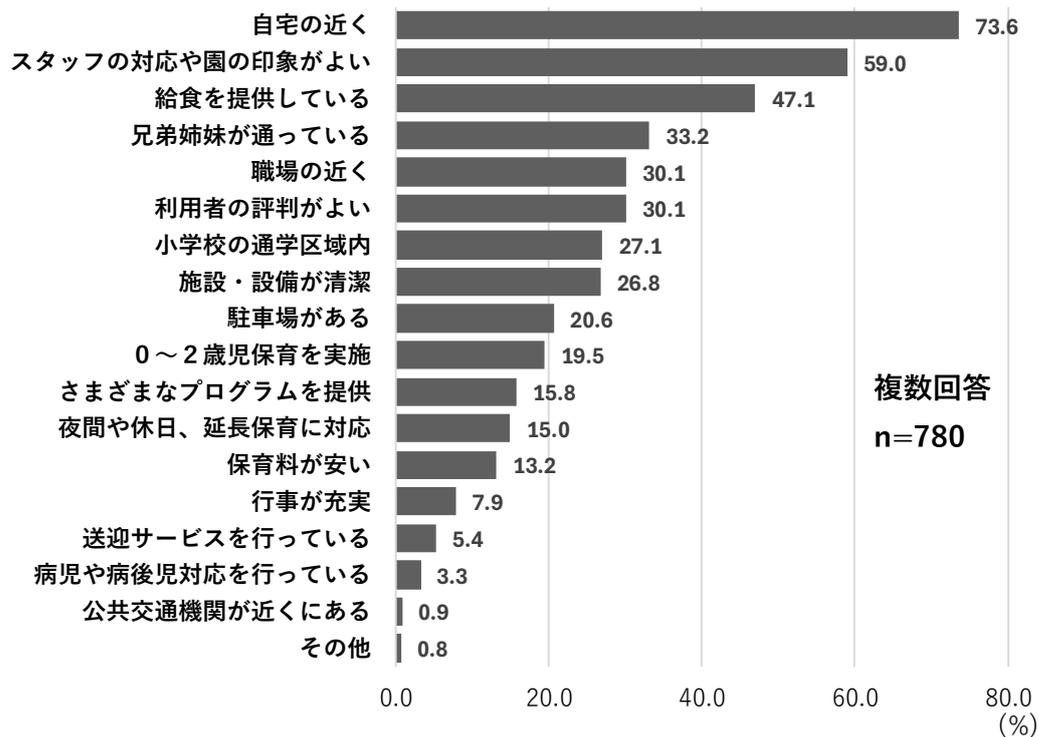
#### 問 11-4 子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えていますか。(数量)

「3歳」が 41.2% と最多で、2 番目に多い「1歳」(35.3%)、3 番目に多い「2歳」(17.6%) まで合わせると 9 割以上を占めています。



問 12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんを平日に預ける施設やサービスを選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(MA)

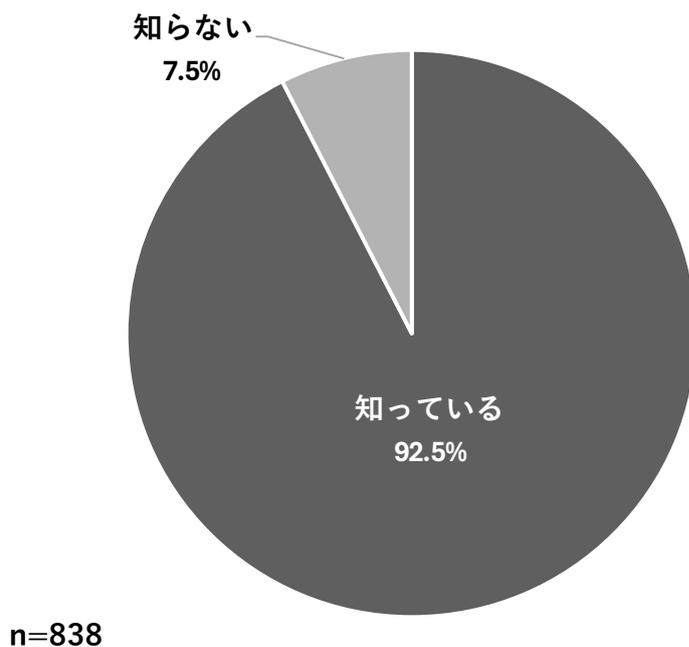
「自宅の近く」の73.6%が最も高く、以下は「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」の59.0%、「給食を提供している」の47.1%と続いています。また、「兄弟姉妹が通っている」が33.2%に達しています。



#### 4 地域子育て支援拠点施設等の利用状況について

問 13 市の地域子育て支援施設等のいずれかを知っていますか。(SA)

市の地域子育て支援施設等について「知っている」が92.5%を占めています。

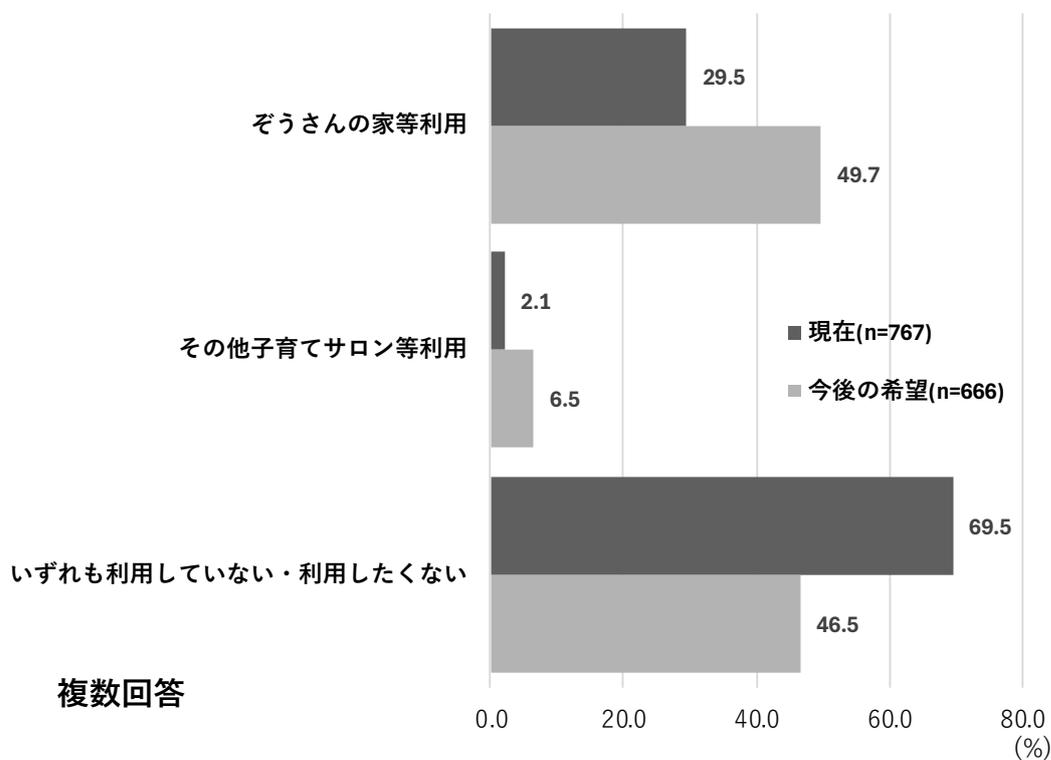


問 14① 現在、市内の「子育て交流センターぞうさんの家」「子育て支援センター」「子育てひろば」等を親子で利用していますか。

② また、今後、新たに利用したい、利用を増やしたいと思うセンター等がありますか。(MA)

現在の利用は「いずれも利用していない・利用したくない」が 69.5%で最も高くなっています。次いで「子育て交流センターぞうさんの家、子育て支援センター、子育てひろば（以下「ぞうさんの家等）」が 29.5%、「その他の子育てサロン、子育てサークル（以下「その他子育てサロン等）」が 2.1%で続いています。

今後の利用希望は「ぞうさんの家等」が 49.7%で最も高くなっています。次いで「いずれも利用していない・利用したくない」が 46.5%、「その他子育てサロン等」が 6.5%で続いています。

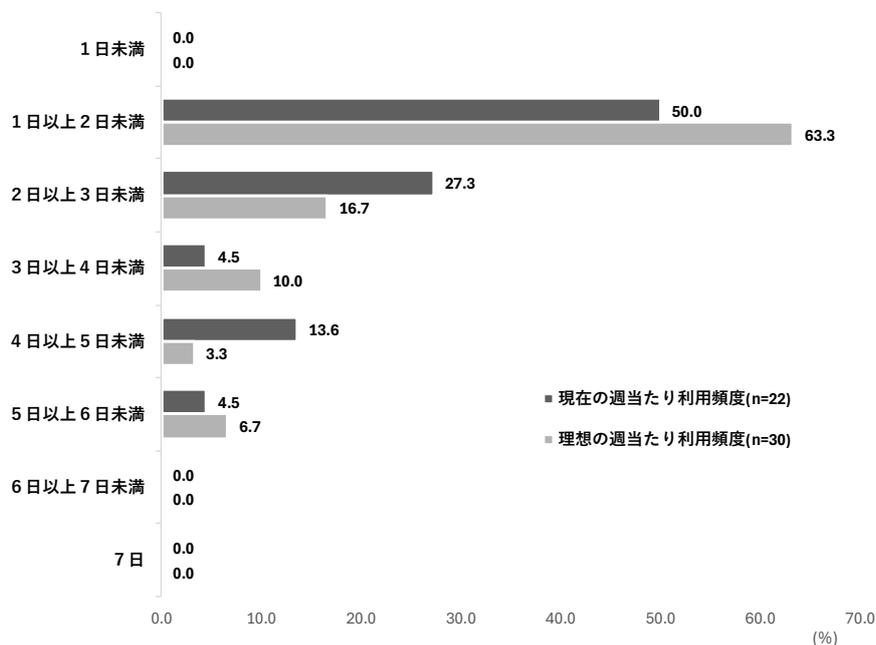


問 14①で「子育て交流センターぞうさんの家、子育て支援センター、子育てひろば」を選んだ方におうかがいします。

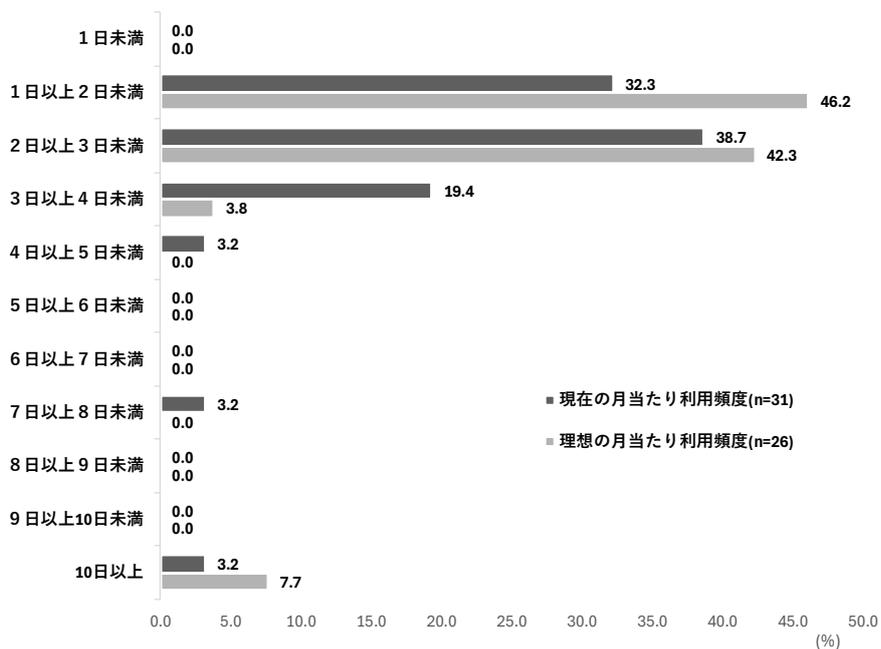
問 14—1 「子育て交流センターぞうさんの家」「子育て支援センター」「子育てひろば」等の現在の利用頻度及び理想の利用頻度 (SA)

「子育て交流センターぞうさんの家」「子育て支援センター」「子育てひろば」等の利用頻度に関する「現在の利用頻度」と「理想の利用頻度」を比較すると、週あたりでは「1日以上2日未満」が最も多い(満たされていないニーズが最多)状況となっています。

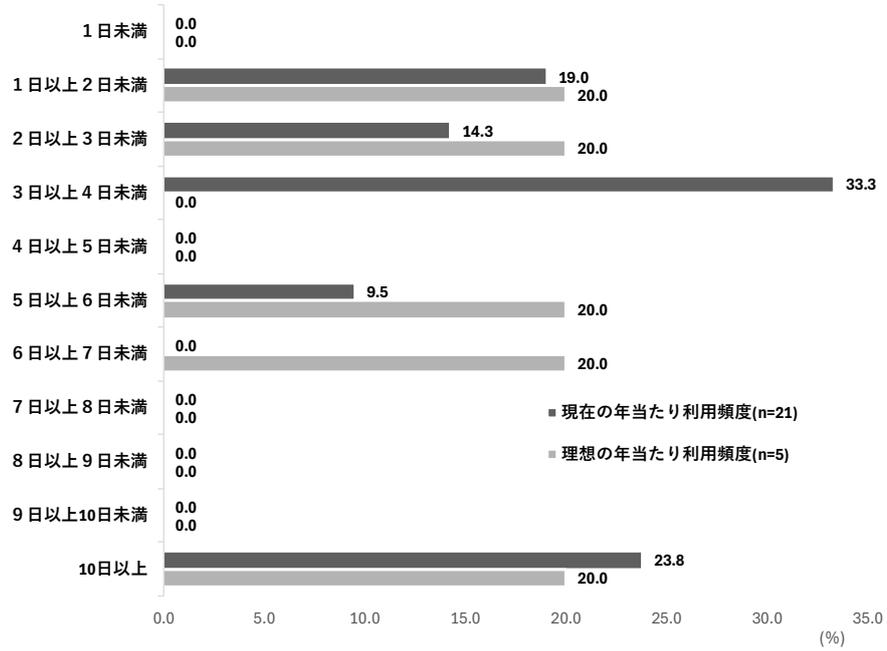
【現在の週あたり利用頻度・理想の週あたり利用頻度】



【現在の月当たり利用頻度・理想の月当たり利用頻度】



**【現在の年当たり利用頻度・理想の年当たり利用頻度】**



## 5 「土曜日」「日曜日・祝日」「幼稚園の長期休暇中など」に区分した「定期的」な保育所・認定こども園などの利用希望について

問 15① お子さんについて、『土曜日』に、保育所・認定こども園などの施設やサービスの利用希望はありますか。(SA)

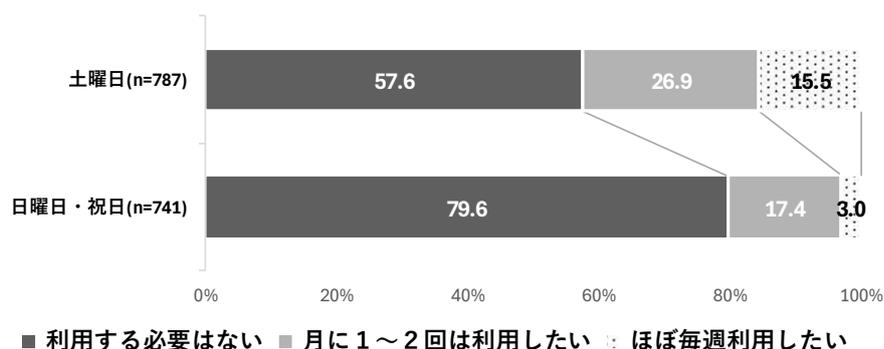
問 15② お子さんについて、『日曜日・祝日』に、保育所・認定こども園などの施設やサービスの利用希望はありますか。(SA)

問 15③ お子さんについて、『幼稚園の長期休暇中など』に、保育所・認定こども園などの施設やサービスの利用希望はありますか。(SA)

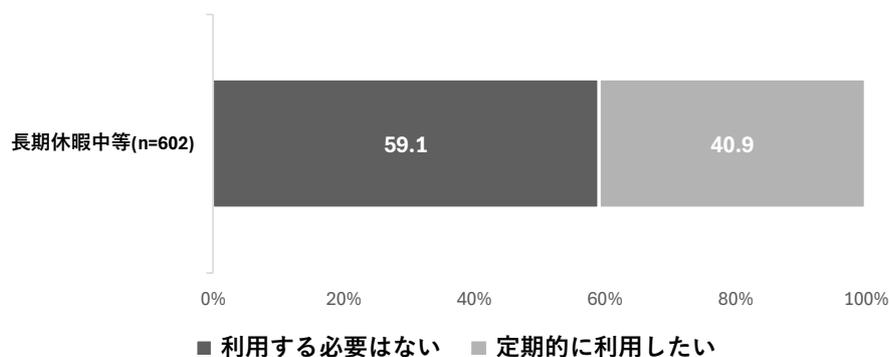
土曜日については、「利用する必要はない」が57.6%、「月に1～2回は利用したい」が26.9%、「ほぼ毎週利用したい」が15.5%となっています。日曜日・祝日については、「利用する必要はない」が79.6%、「月に1～2回は利用したい」が17.4%、「ほぼ毎週利用したい」が3.0%となっています。幼稚園の長期休暇中などについては、「利用する必要はない」が59.1%、「定期的に利用したい」が40.9%となっています。

なお、利用希望時間は次ページ以降の通りです。

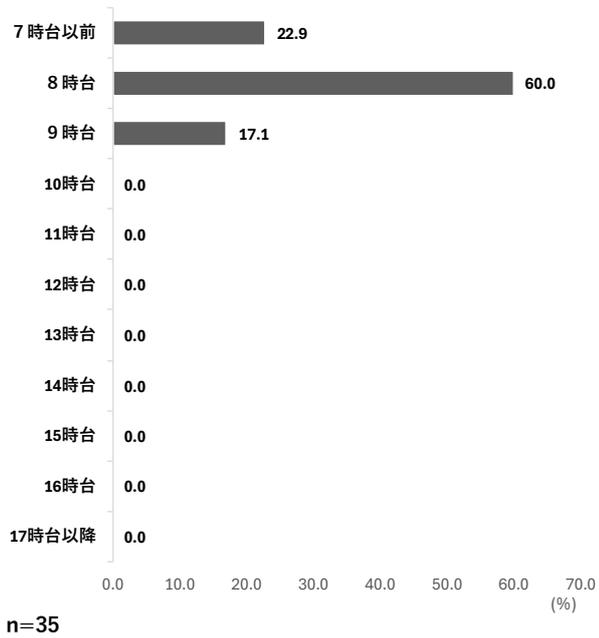
【土曜日や日曜日・祝日の利用希望】



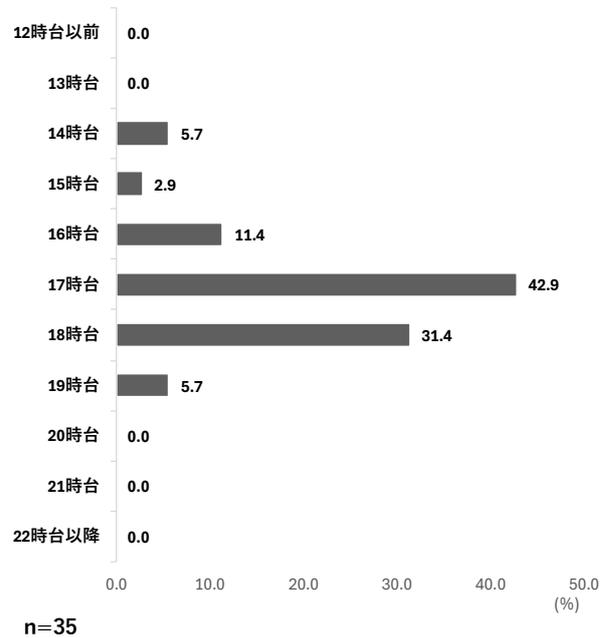
【長期休暇中などの利用希望】



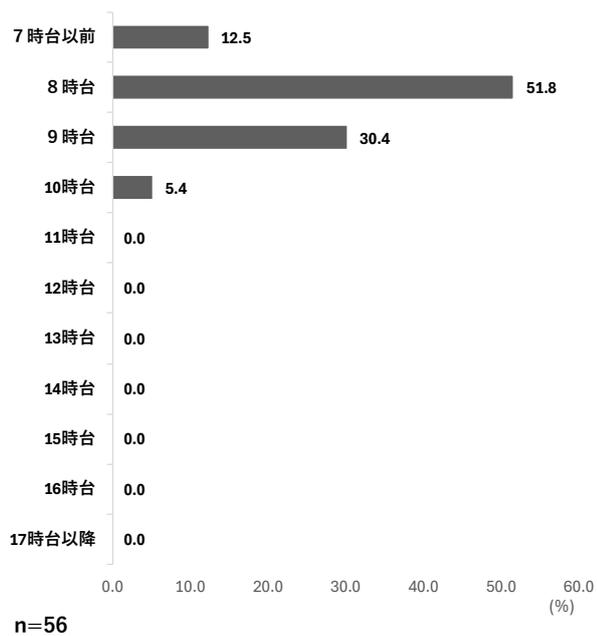
【「土曜日にほぼ毎週利用したい」の開始時間】



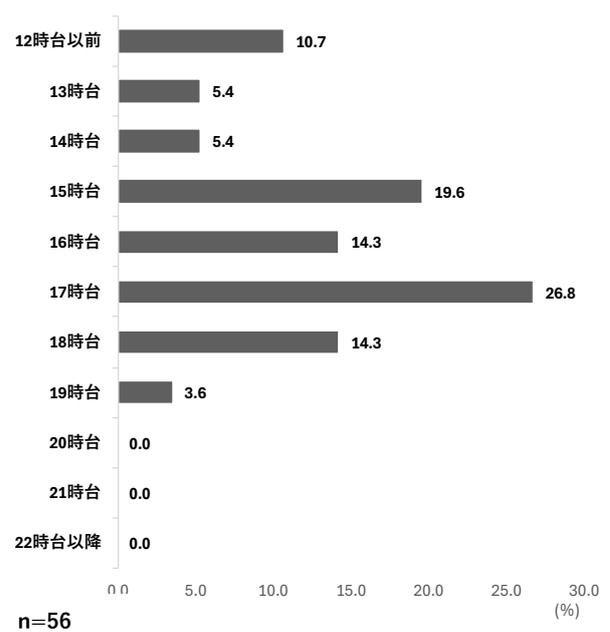
【「土曜日にほぼ毎週利用したい」の終了時間】



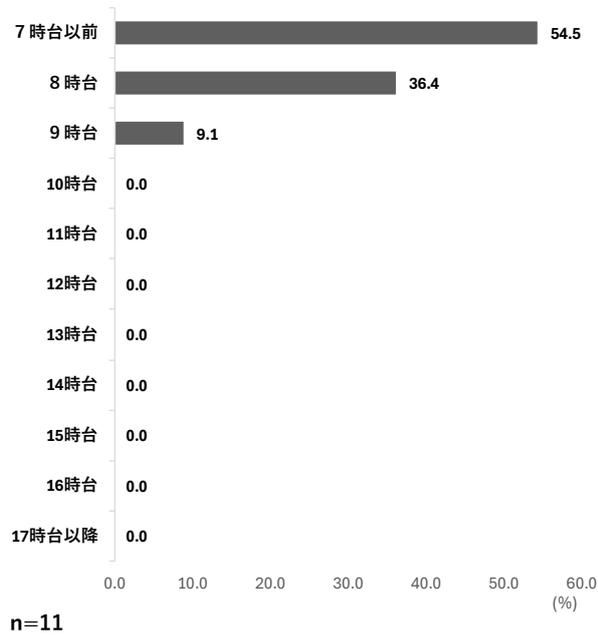
【「土曜日に月1~2回利用したい」の開始時間】



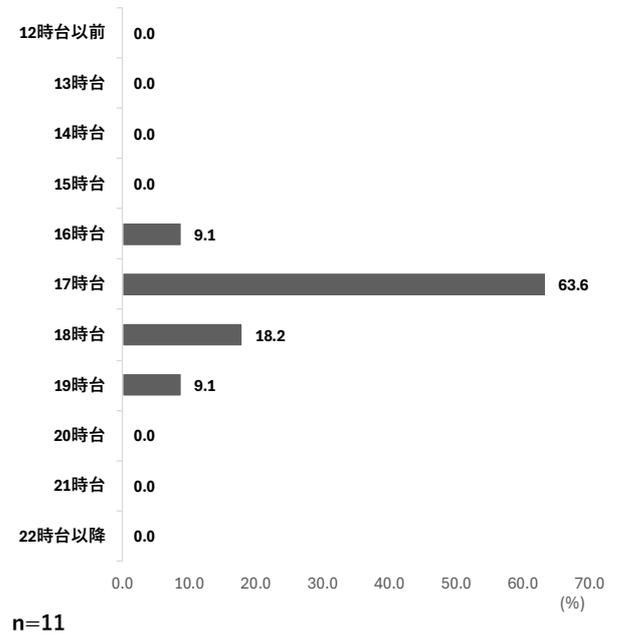
【「土曜日に月1~2回利用したい」の終了時間】



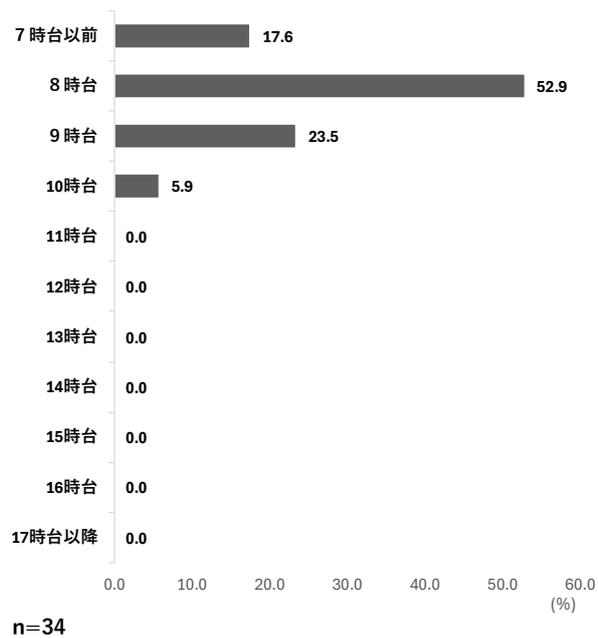
【「日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい」の  
開始時間】



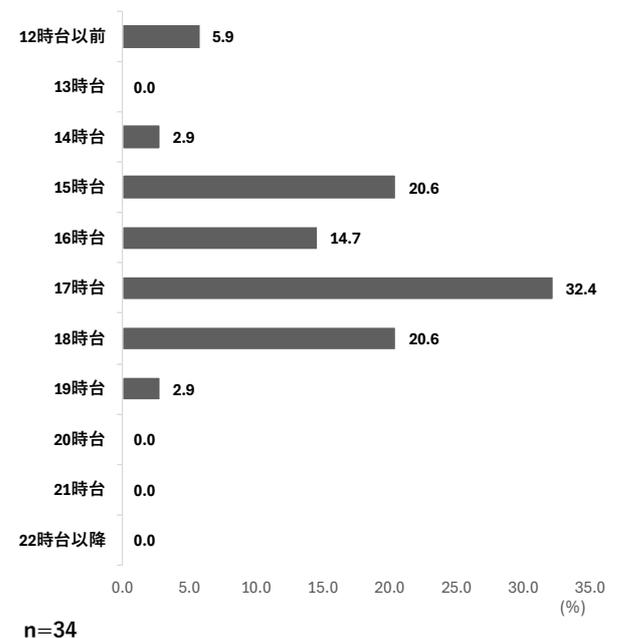
【「日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい」の  
終了時間】



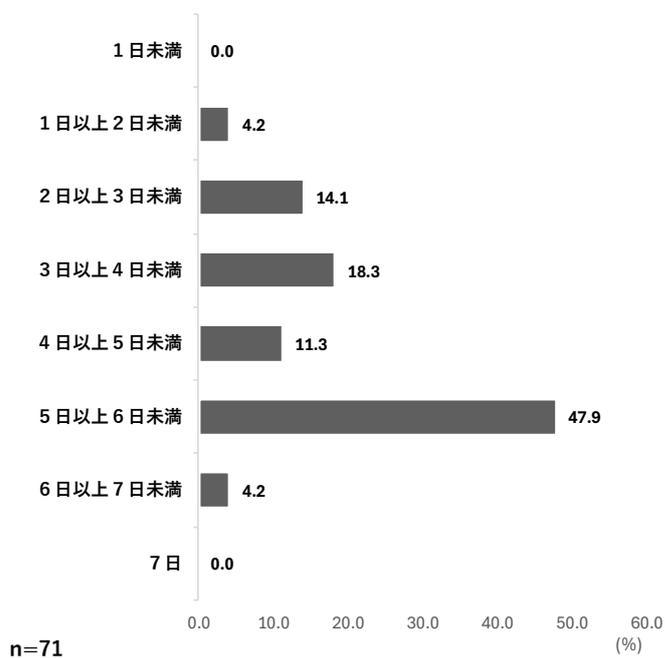
【「日曜日・祝日に月1~2回利用したい」の  
開始時間】



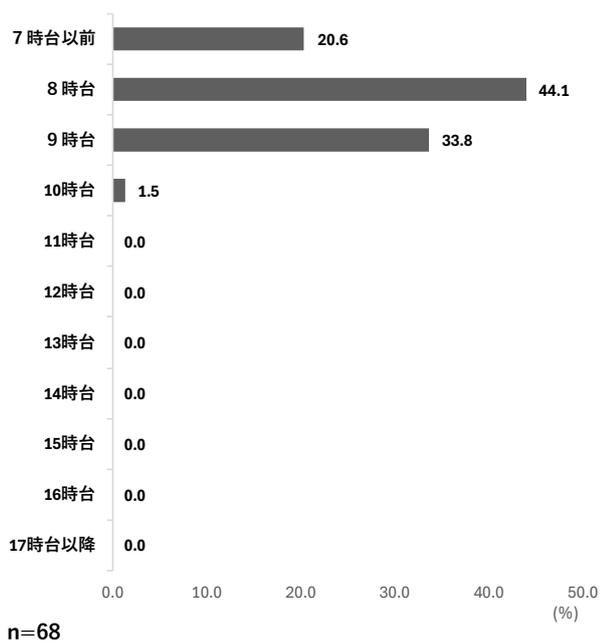
【「日曜日・祝日に月1~2回利用したい」の  
終了時間】



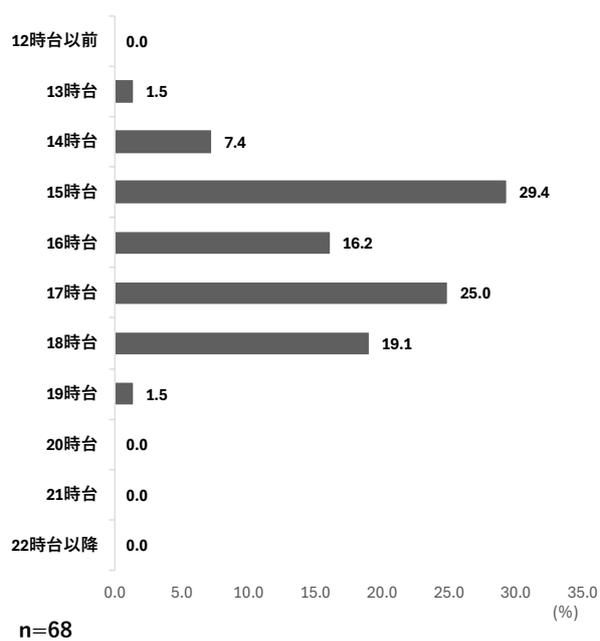
【「長期休暇中などに利用したい」の週希望利用日数】



【「長期休暇中などに利用したい」の開始時間】



【「長期休暇中などに利用したい」の終了時間】

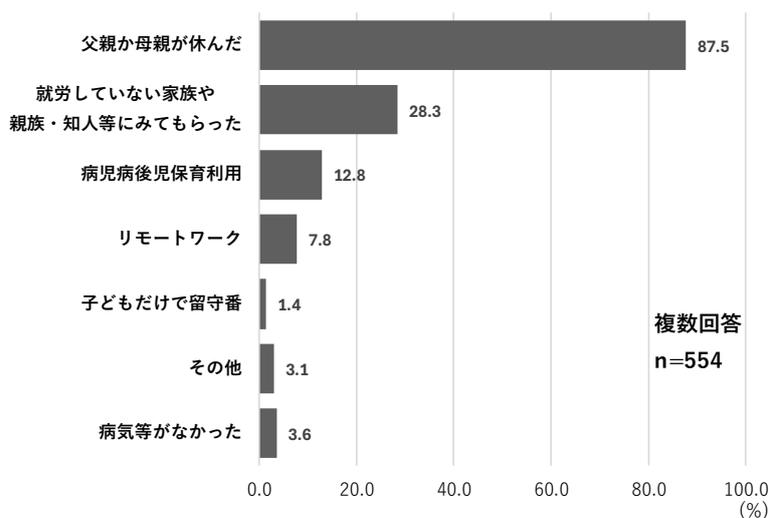


## 6 お子さんが病気の時などの対応について

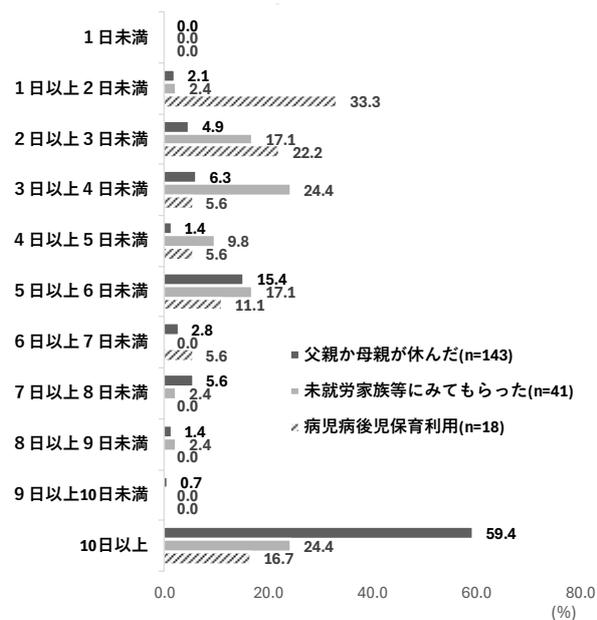
※平日定期的に保育所や認定こども園などを利用していると答えた方におうかがいします。

問 16 お子さんが病気やケガで普段利用している施設やサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。(MA)

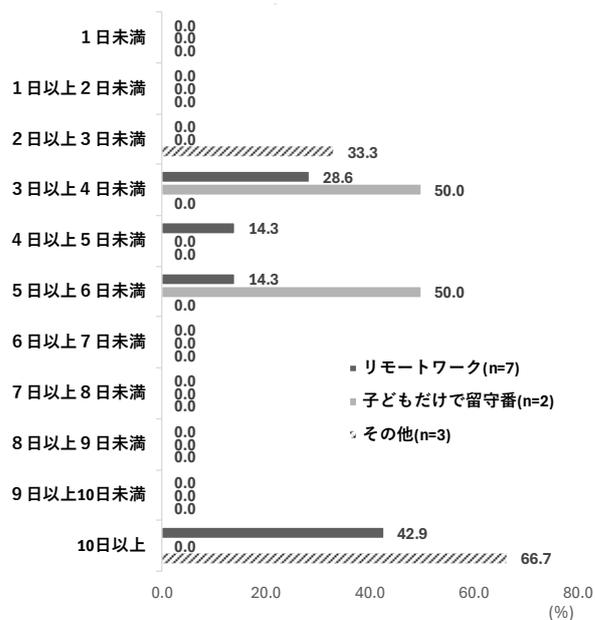
「父親、又は母親が休んだ」が87.5%で最多、2番目に多いのは「就労していない家族や、親族・知人等にみてもらった」の28.3%で3番目以下は20%未満となっています。



【施設等を利用できなかった場合の対処日数】



【施設等を利用できなかった場合の対処日数】

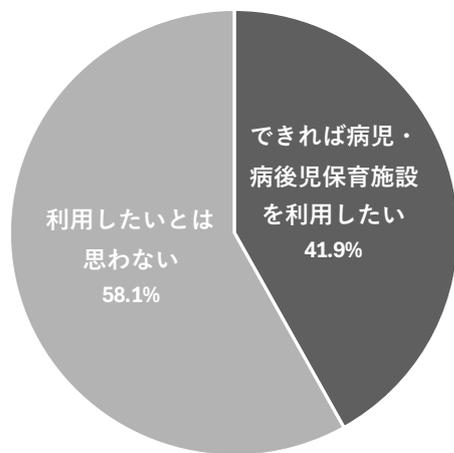


問 16 で「父親、又は母親が休んだ」を選んだ方におうかがいします。

問 16-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いましたか。(SA)

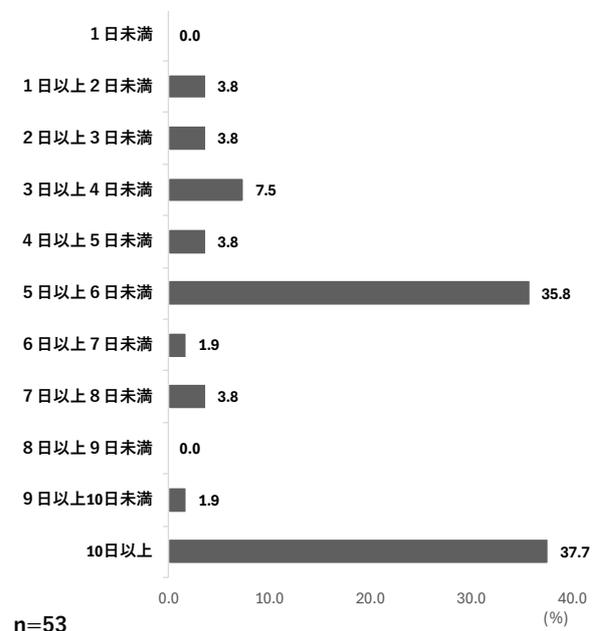
「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」場合、年に何日ですか。(数量)

お子さんが病気やケガで普段利用している施設やサービスが利用できなかった際に、父親、又は母親が休んだ方のうち、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と回答したのは 41.9%で、年間利用希望日数は「10 日以上」の 37.7%、「5 日以上 6 日未満」の 35.8%の 2 つが突出して多くなっています。



n=499

【病児・病後児保育施設の年間利用希望日数】

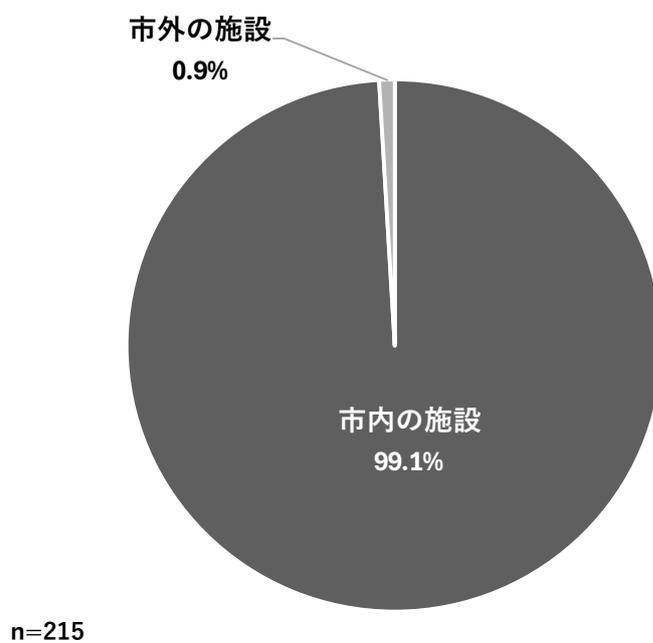


n=53

問 16- 1 で「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問 16 - 2 病児・病後児保育施設は、市内・市外のどちらを希望しますか。(SA)

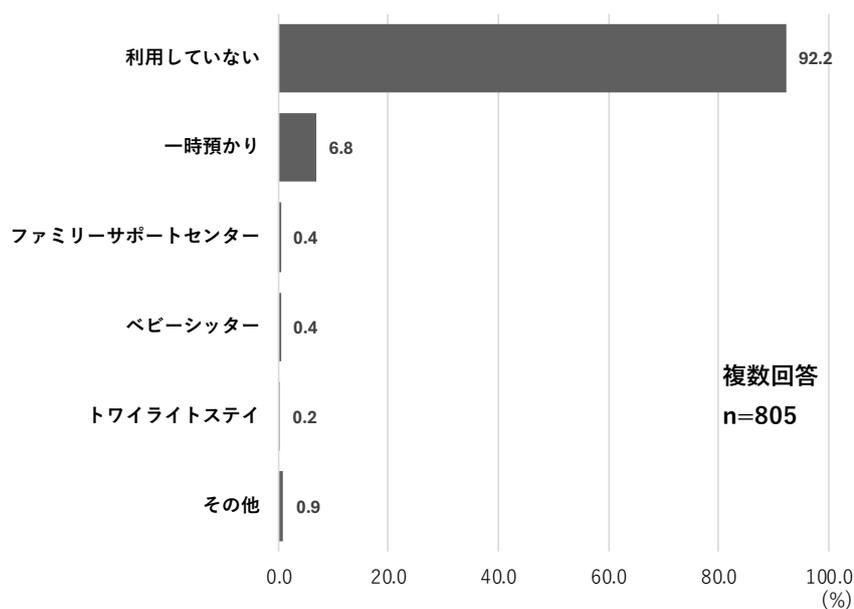
「市内の施設」が 99.1%を占めています。



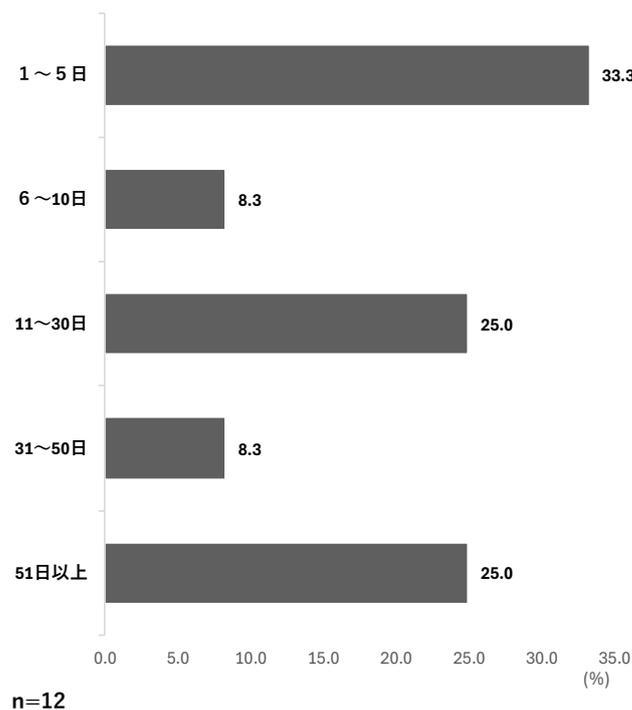
## 7 一時預かり等の利用について

問 17 お子さんについて、私用、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労などの理由で、「不定期」に利用しているサービスはありますか。(MA)

お子さんについて、私用、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労などの理由で、「不定期」に利用しているサービスは「利用していない」が92.2%となっています。



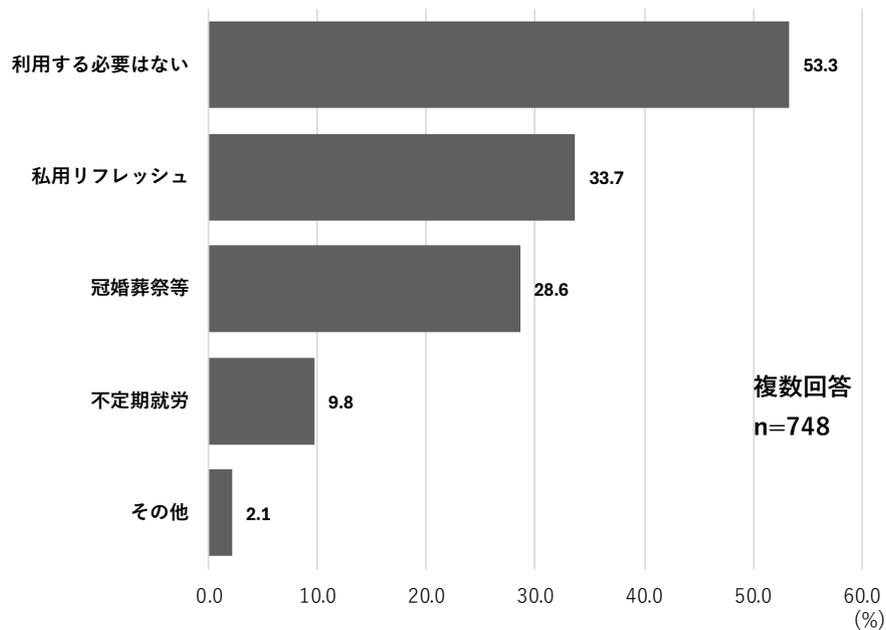
### 【不定期サービスの年間利用日数】



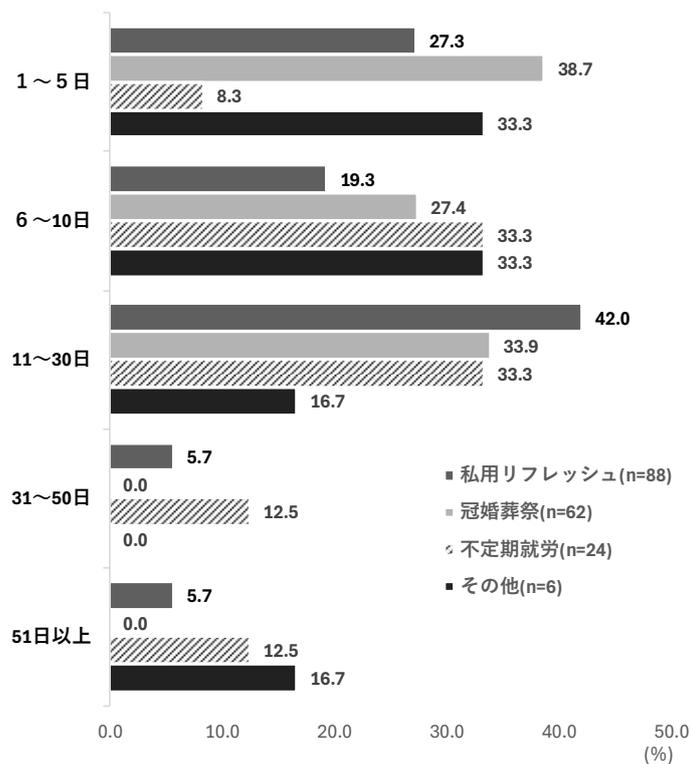
問 18 お子さんについて、私用、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(MA)

「利用する必要はない」が53.3%、「私用やリフレッシュ目的で利用したい」が33.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で利用したい」が28.6%となっています。

年間利用希望日数は30日以内が多いものの、「不定期就労」「その他」については31日以上も10%以上の希望があります。



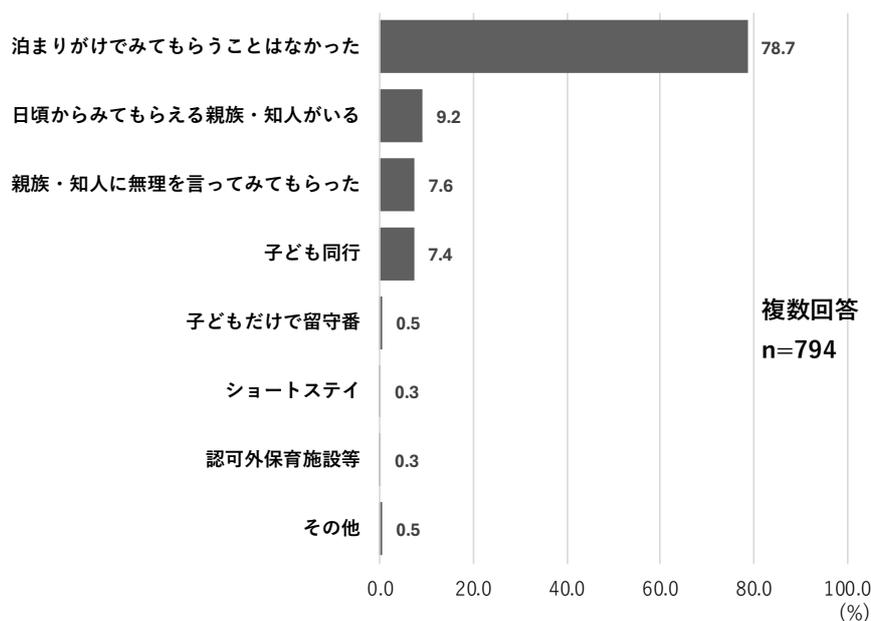
【不定期サービスの年間利用希望日数】



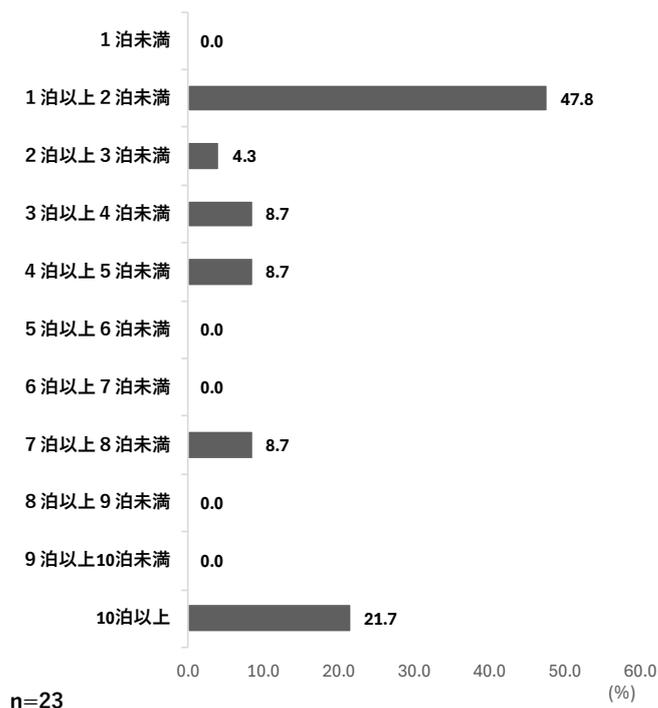
問 19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、お子さんを「泊まりがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(MA)

「泊まりがけでみてもらうことはなかった」が78.7%で最も高くなっています。続くのは「日頃からみてもらえる親族・知人がいる」の9.2%、「親族・知人に無理を言ってみてもらった」の7.6%などです。

泊まりがけでみてもらった年間泊数は最多が「1泊以上2泊未満」の47.8%、2番目に多いのは「10泊以上」の21.7%でした。



#### 【泊まりがけでみてもらった年間泊数】

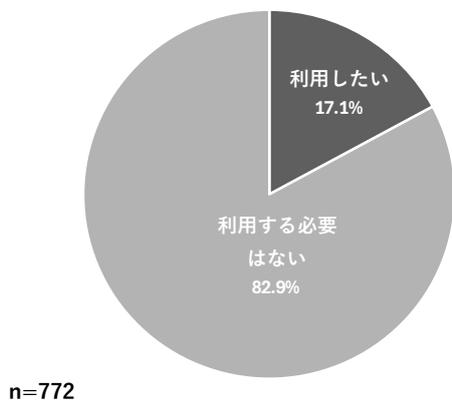


問 20 今後1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。(MA)

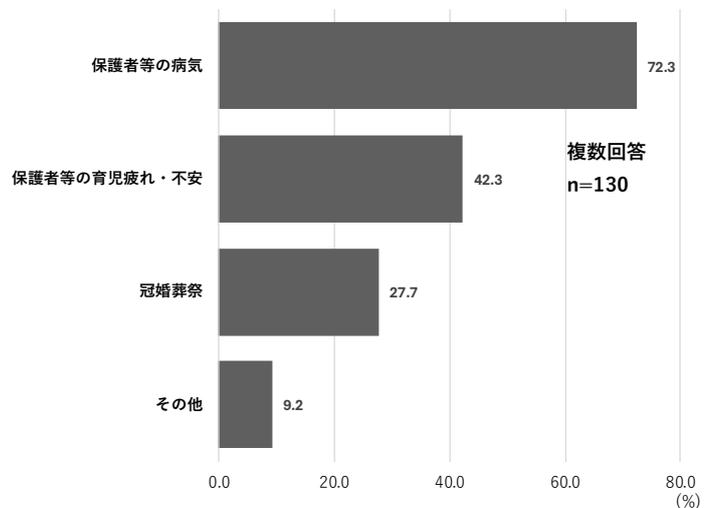
利用希望の有無については、「利用する必要はない」が82.9%、「利用したい」が17.1%となっています。

泊まりがけでみてもらう理由については、「保護者や家族の病気」が72.3%で最も高くなっています。次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が42.3%、「冠婚葬祭」が27.7%で続いています。

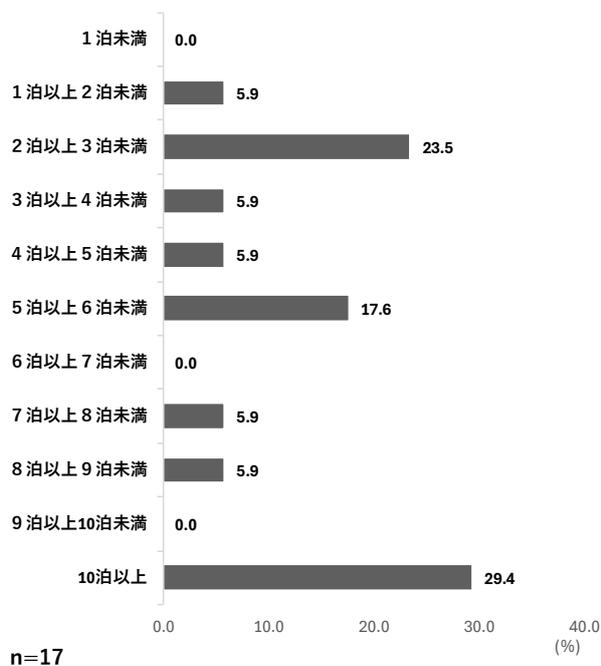
【泊まりがけでみてもらう事業利用希望】



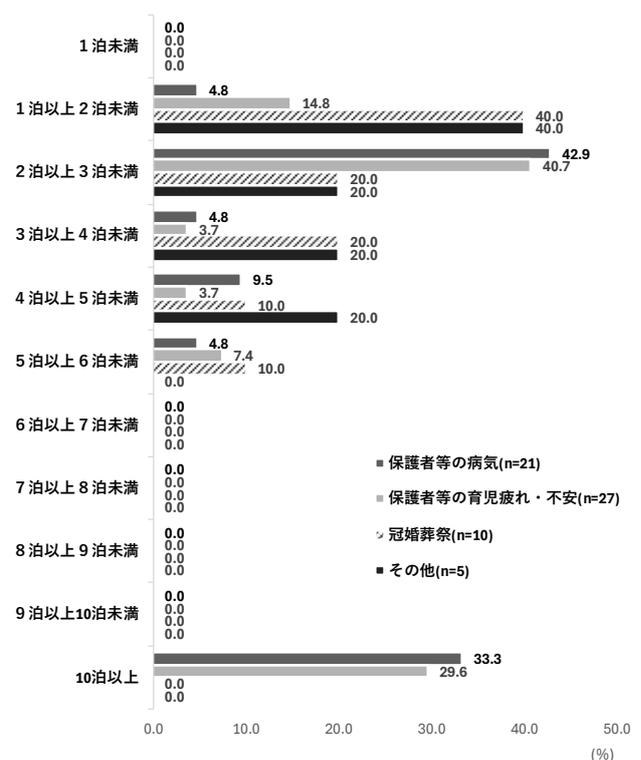
【泊まりがけでみてもらう理由】



【泊まりがけでみてもらう年間泊数】



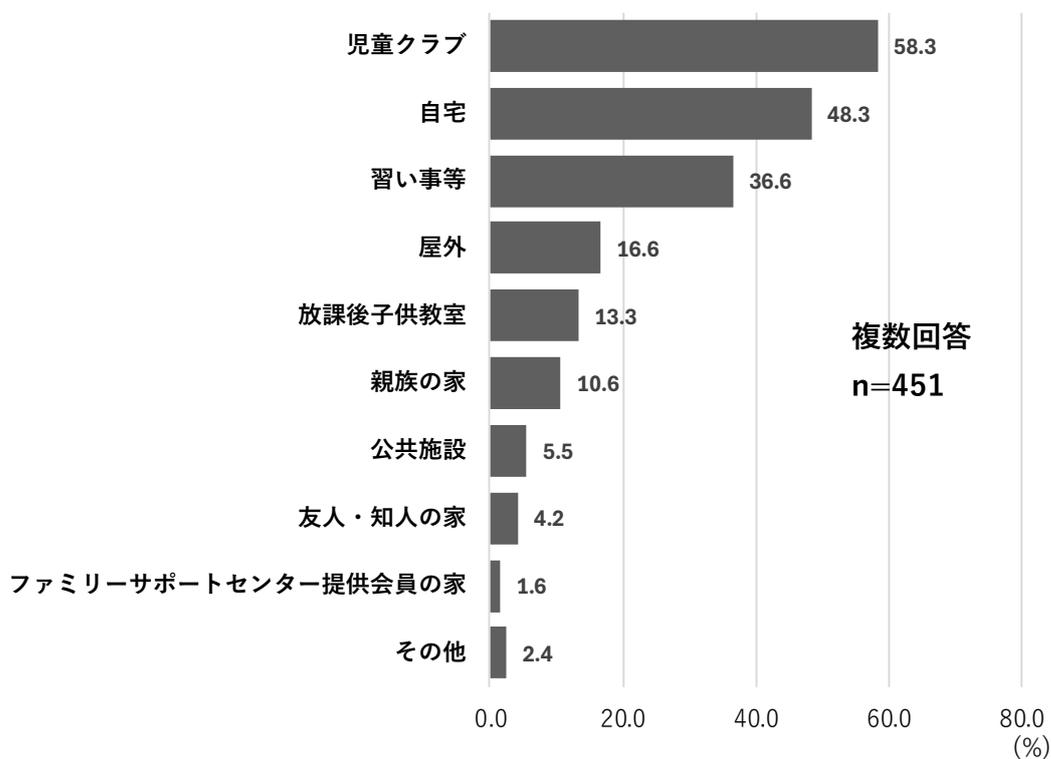
【泊まりがけでみてもらう年間泊数】



## 8 5歳以上のお子さんの小学校入学後の放課後の過ごし方について

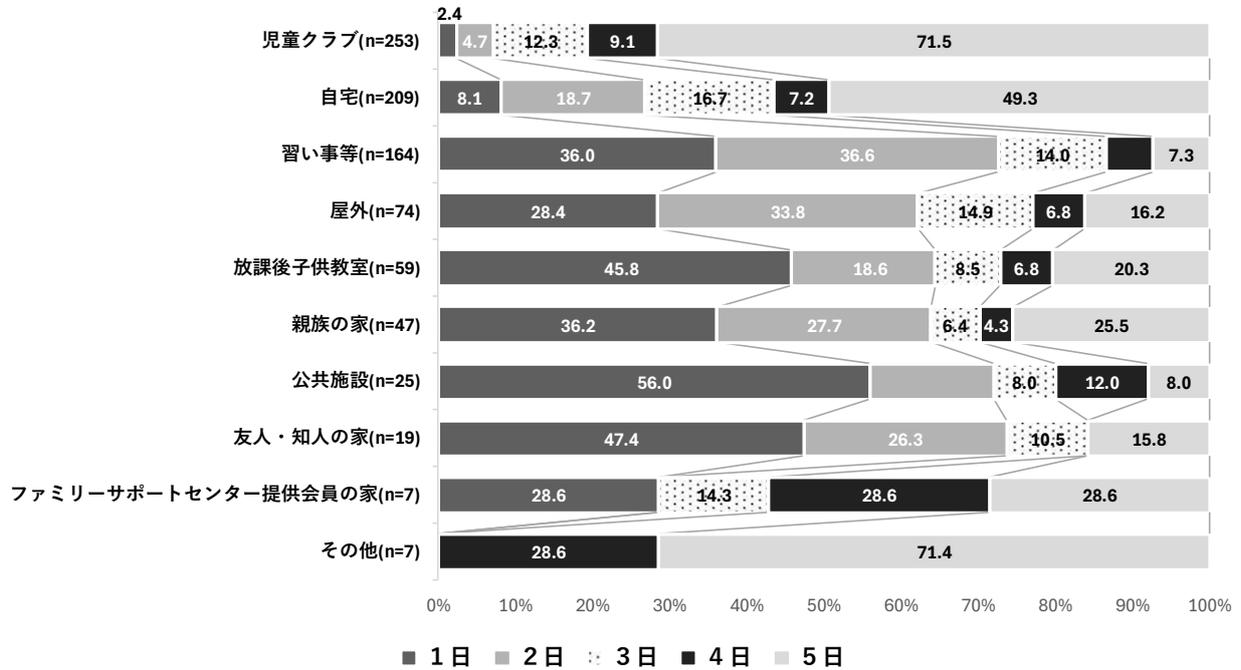
問 21 お子さんが小学校に入ったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(MA)

「児童クラブ」が58.3%で最も高く、次いで「自宅」の48.3%、「習い事・スポーツ活動」の36.6%となっており、他は2割未満となっています。

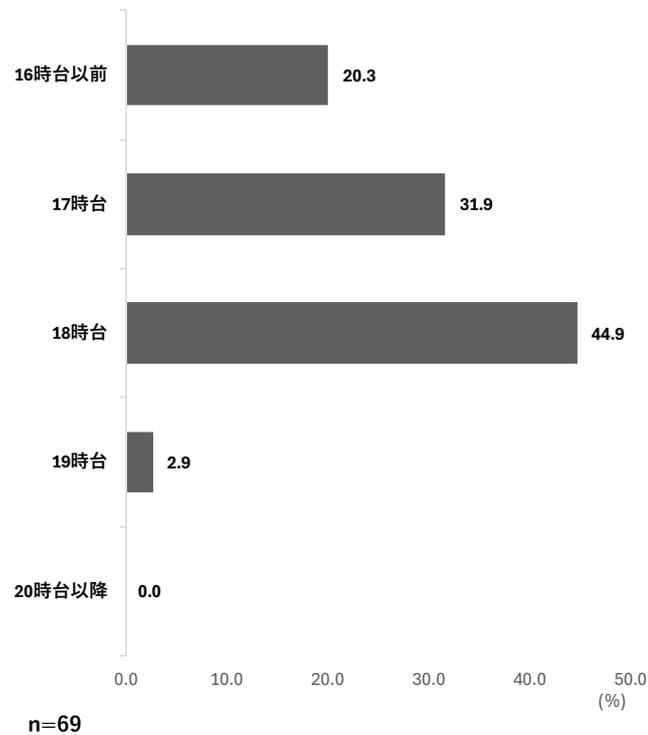


放課後に過ごさせたい1週間当たりの日数（平日）を希望場所ごとに尋ねたところ、「児童クラブ」は「5日」が71.5%となっています。「自宅」については、「5日」が49.3%となっています。

### 【放課後の過ごし方（場所別日数）】



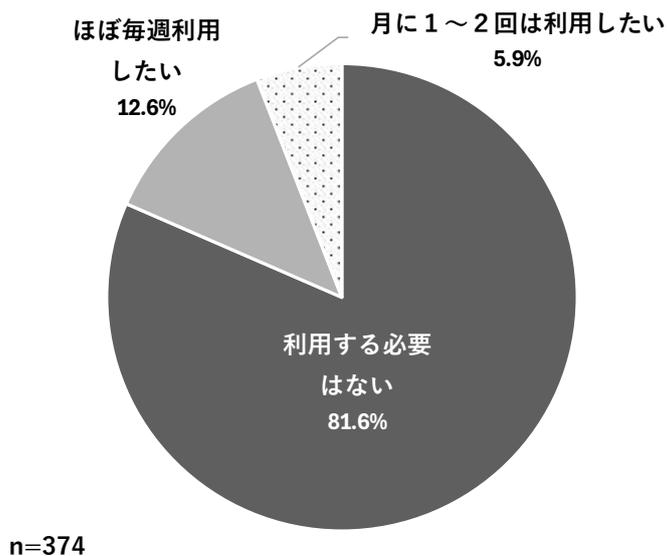
### 【児童クラブ利用終了時間】



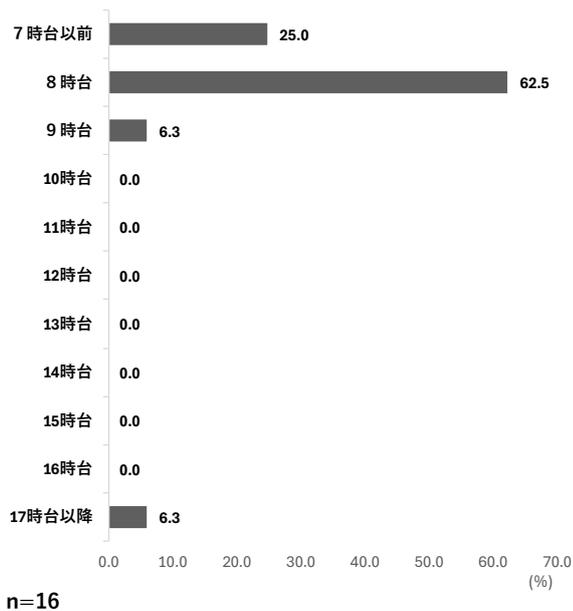
問 22① お子さんが小学校に入ったら、『土曜日』に、児童クラブの利用希望はありますか。(SA)

「利用する必要はない」の回答割合が81.6%であるのに対し、「ほぼ毎週利用したい」の12.6%と「月に1～2回は利用したい」の5.9%を合わせて2割弱の利用希望があります。

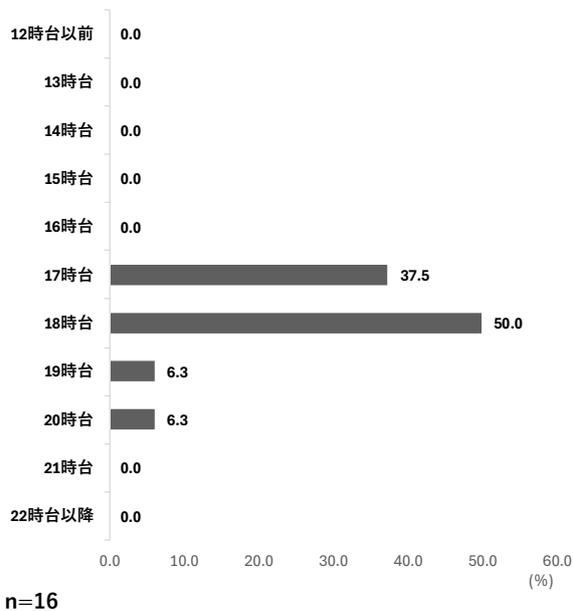
「土曜日ほぼ毎週利用希望」「土曜日月1～2回利用希望」とで、「利用開始時間」の違いは小さい一方で、「利用終了時間」については「土曜日ほぼ毎週利用希望」が17時台と18時台に集中し、「土曜日月1～2回利用希望」は15時台から18時台までが10%以上と幅広い時間帯が希望されています。



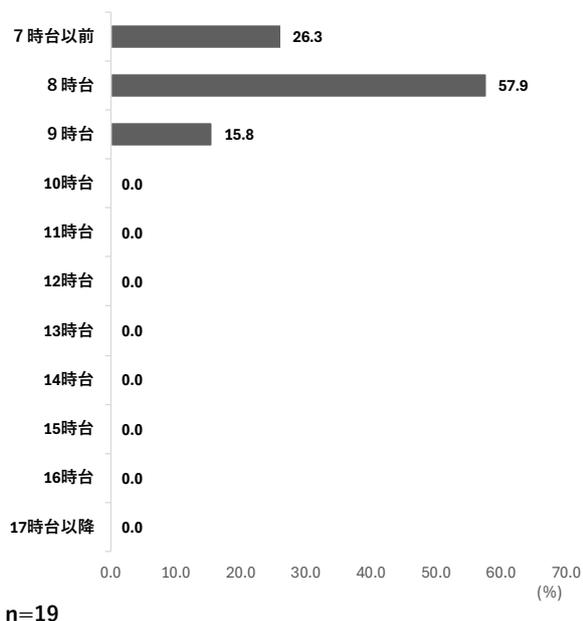
【「土曜日にほぼ毎週利用したい」の開始時間】



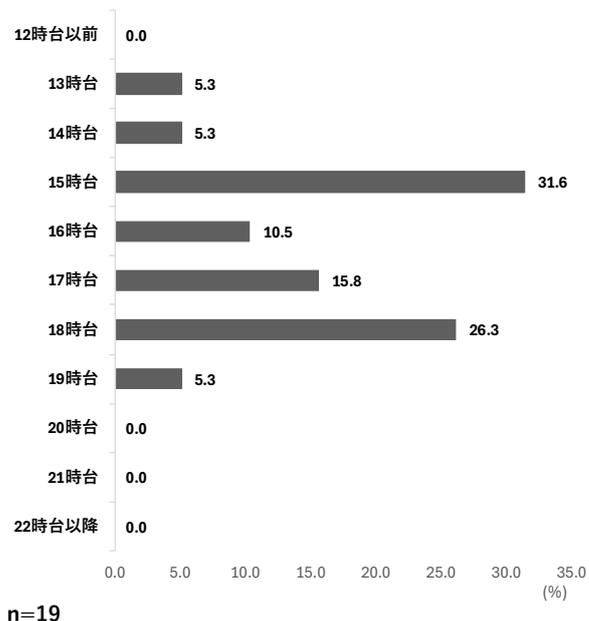
【「土曜日にほぼ毎週利用したい」の終了時間】



【「土曜日に月1～2回利用したい」の開始時間】



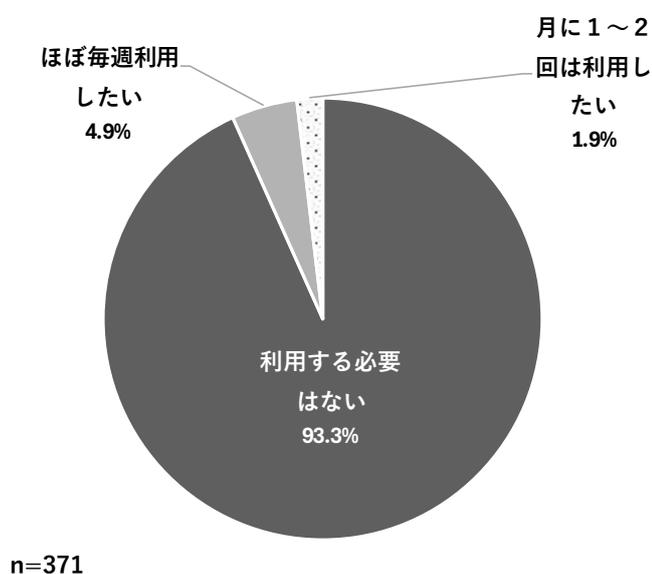
【「土曜日に月1～2回利用したい」の終了時間】



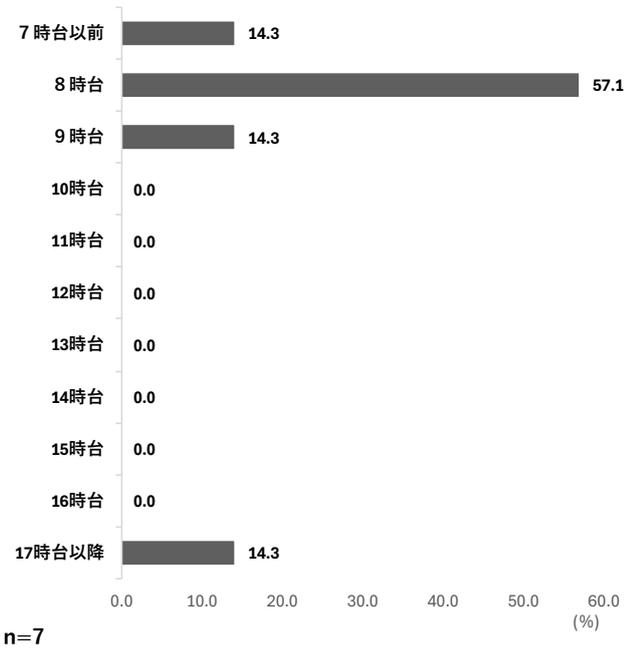
問 22② お子さんが小学校に入ったら、『日曜日・祝日』に、児童クラブの利用希望はありますか。(SA)

「日曜日・祝日」の「利用する必要はない」は93.3%と、「土曜日」の81.6%よりも11.7ポイント多くなっています。「ほぼ毎週利用したい」は4.9%、「月に1～2回は利用したい」は1.9%と、共に5%未満になっています。

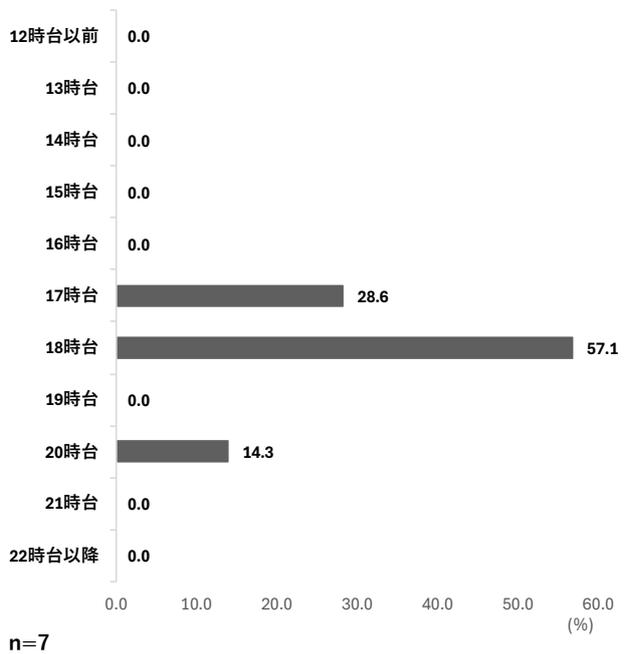
利用開始時間・利用終了時間共に、概ね土曜日と同様の希望時間帯となっています。



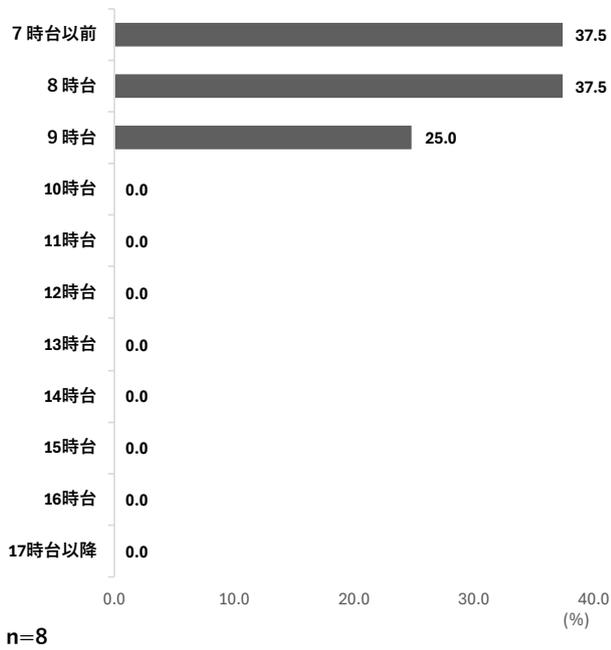
【「日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい」の開始時間】



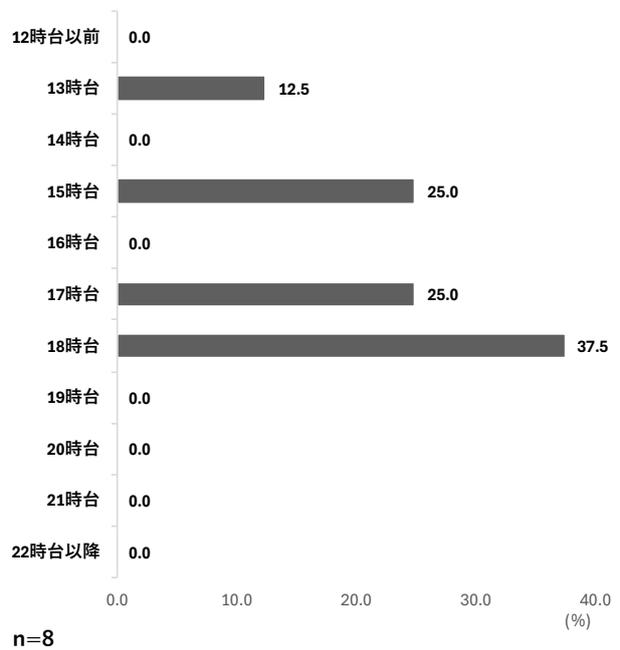
【「日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい」の終了時間】



【「日曜日・祝日に月1~2回利用したい」の開始時間】



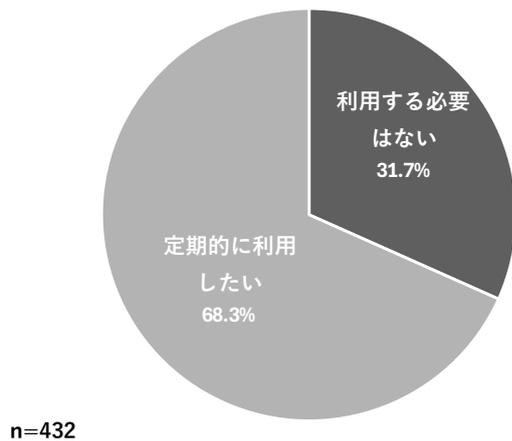
【「日曜日・祝日に月1~2回利用したい」の終了時間】



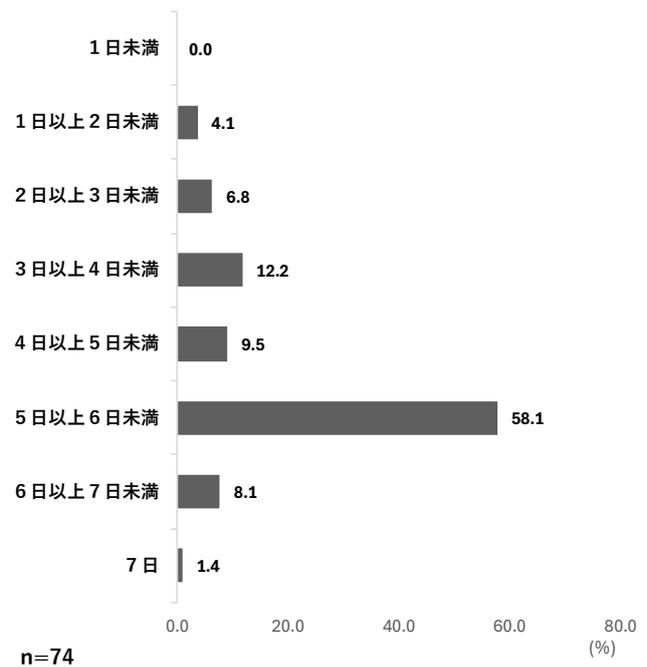
問 22③ お子さんが小学校に入ったら、『長期休暇中』に、児童クラブの利用希望はありますか。(SA)

『長期休暇中』について「定期的にご利用したい」との回答が68.3%を占めています。

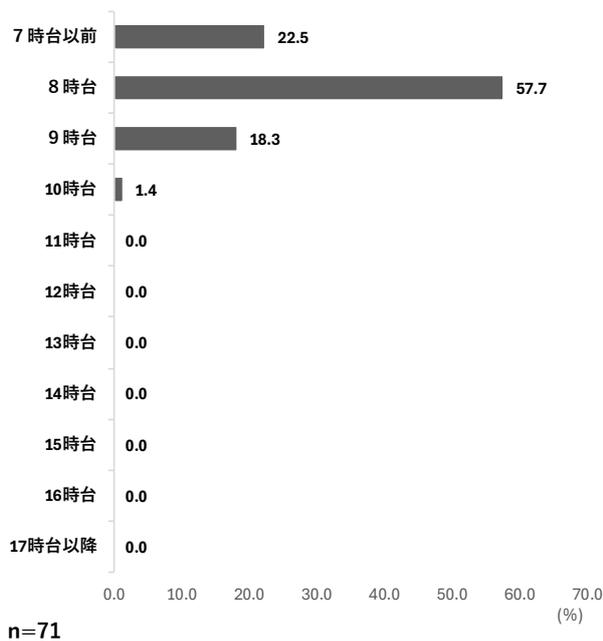
利用開始時間の希望は「7時台以前」から「9時台」までで98.5%と大半を占めています。利用終了時間の希望は、「14時台」を皮切りに段階的に高くなり、「18時台」の35.2%がピークになっています。



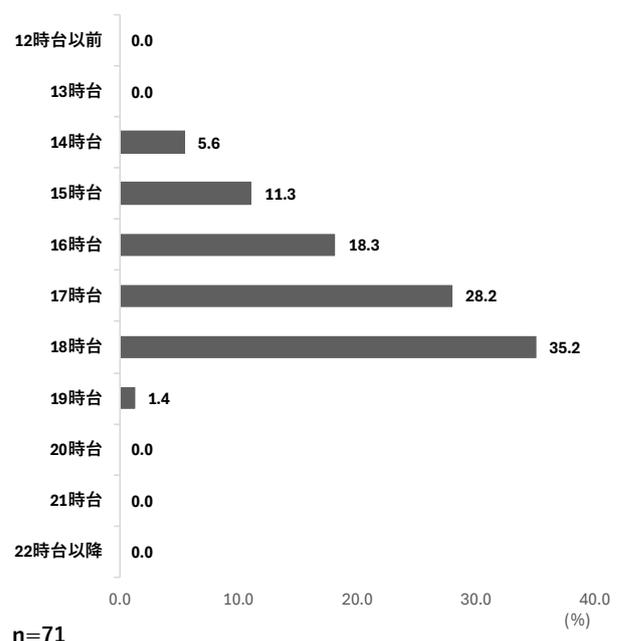
【「長期休暇中に利用したい」の週希望利用日数】



【「長期休暇中に利用したい」の開始時間】



【「長期休暇中に利用したい」の終了時間】

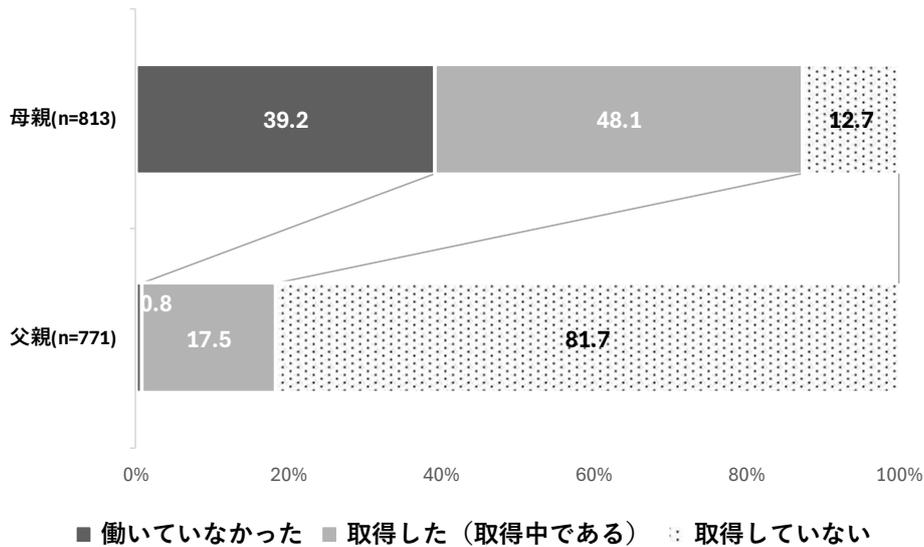


## 9 両親の育児休業等の取得状況について

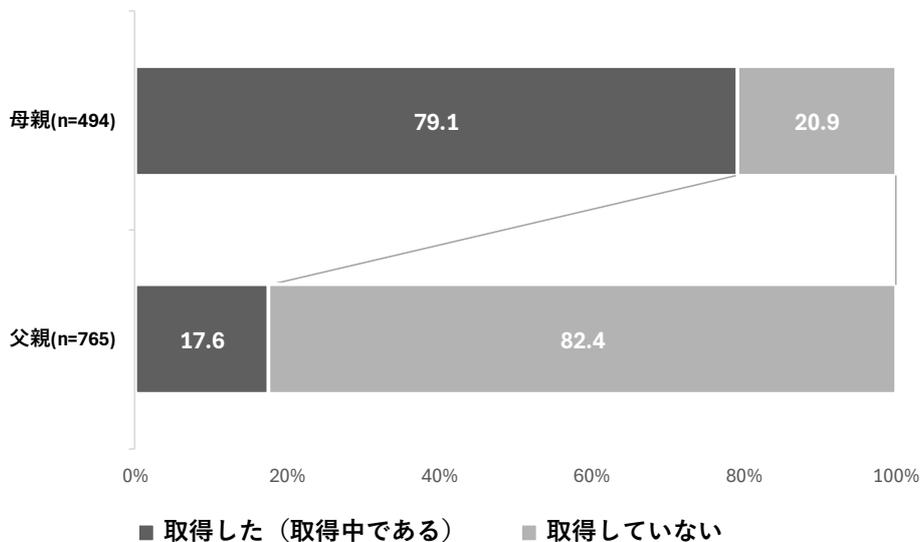
### 問 23① お子さんが生まれたとき、育児休業等を取得しましたか。(SA)

回答者全体では、母親では「取得した(取得中である)」が48.1%で最も高く、次いで「働いていなかった」が39.2%、「取得していない」が12.7%となっています。一方、父親では「取得していない」が81.7%を占めています。

「働いていなかった」を除くと、「取得した(取得中である)」の割合は母親が79.1%、父親が17.6%となっており、父親の取得者の割合は母親の2割程度に過ぎません。



#### 【「働いていなかった」を除く】

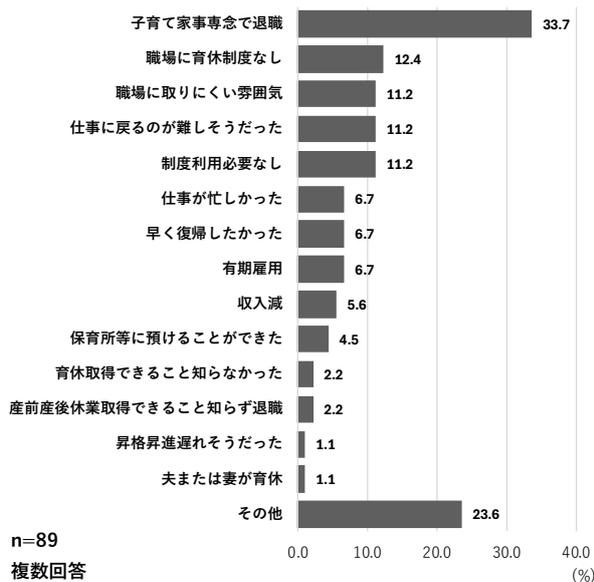


問 23② 育児休業を取得していない場合はその理由をお答えください。(MA)

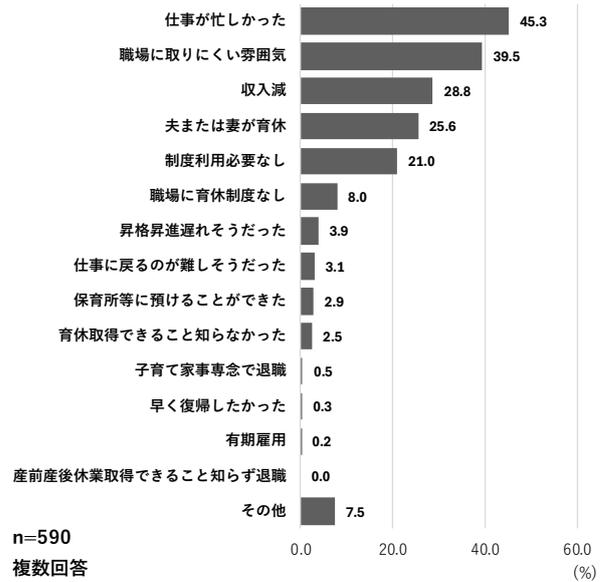
母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 33.7%で最も高くなっています。次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 12.4%で続いています。

父親では「仕事が忙しかった」が 45.3%で最も高くなっています。次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 39.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 28.8%で続いています。

【育休取得していない理由(母親)】



【育休取得していない理由(父親)】



就学前児童保護者

母親・父親別の「育児休業を取得していない理由」上位5項目

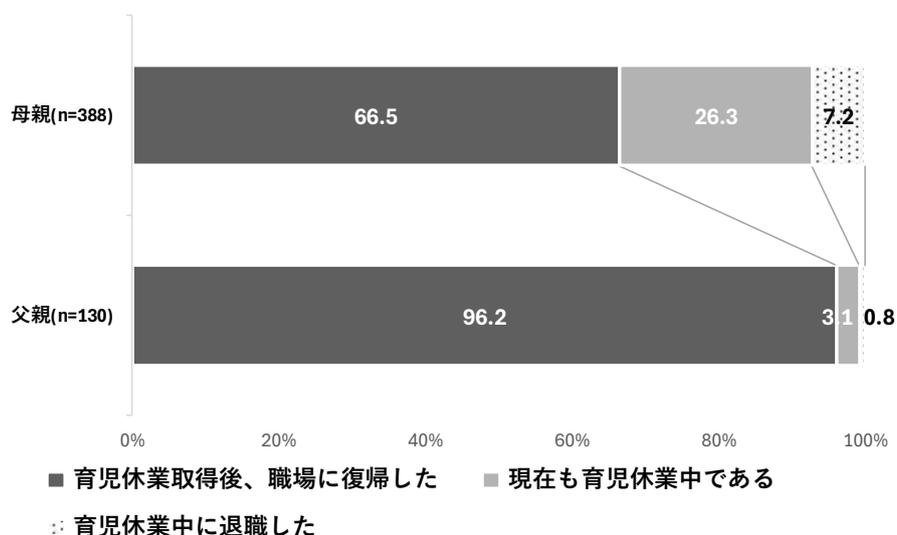
| 母親 |                |       | 父親 |             |       |
|----|----------------|-------|----|-------------|-------|
| 順番 | 理由             | 割合    | 順番 | 理由          | 割合    |
| 1  | 子育て家事専念で退職     | 33.7% | 1  | 仕事が忙しかった    | 45.3% |
| 2  | 職場に育休制度なし      | 12.4% | 2  | 職場に取りにくい雰囲気 | 39.5% |
| 3  | 職場に取りにくい雰囲気    | 11.2% | 3  | 収入減         | 28.8% |
| 3  | 仕事に戻るのが難しそうだった | 11.2% | 4  | 夫または妻が育休    | 25.6% |
| 3  | 制度利用必要なし       | 11.2% | 5  | 制度利用必要なし    | 21.0% |

問 23 で「育児休業を取得した(取得中である)」を選んだ方におうかがいします。

### 問 23- 1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 66.5%、「現在も育児休業中」が 26.3%で、「育児休業中に退職した」は 7.2%でした。

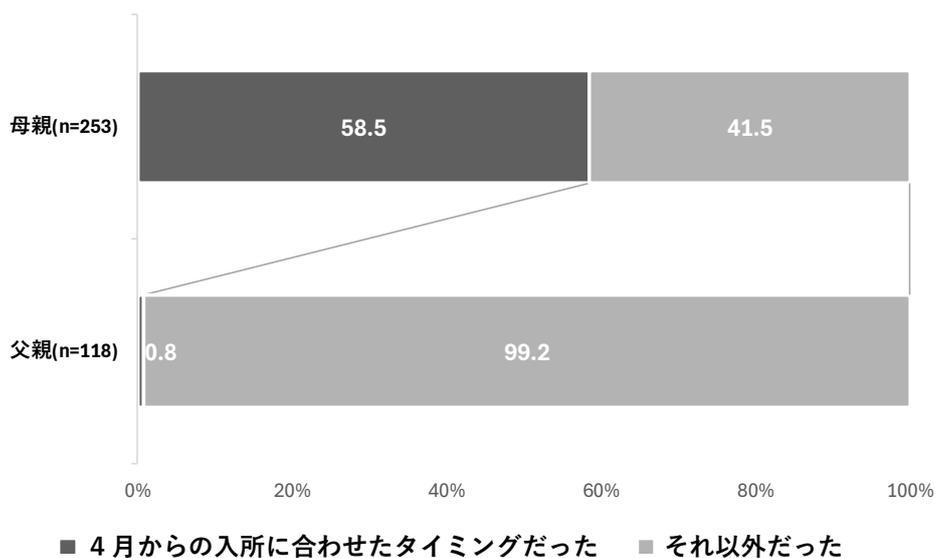
一方、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 96.2%と大半を占めています。



問 23- 1 で「育児休業を取得後、職場に復帰した」を選んだ方におうかがいします。

### 問 23- 2 育児休業から職場に復帰したのは、4月からの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(SA)

母親では「4月からの入所に合わせたタイミングだった」が 58.5%、「それ以外だった」が 41.5%となっています。父親では「それ以外だった」が 99.2%を占めています。



問 23-1 で「育児休業を取得後、職場に復帰した」を選んだ方におうかがいします。

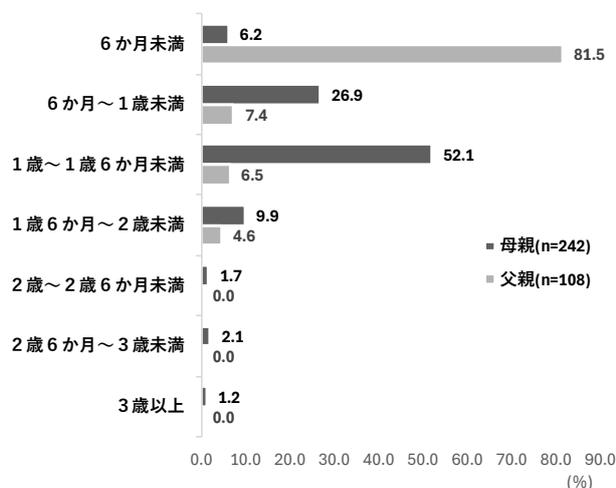
問 23-3 ① 育児休業から「実際」に職場復帰したのは、お子さんがいくつのときですか。(数量)

問 23-3 ② 「職場の育児休業の制度の期間内」で、「希望」としてはお子さんがいくつのときまで取りたかったですか。(数量)

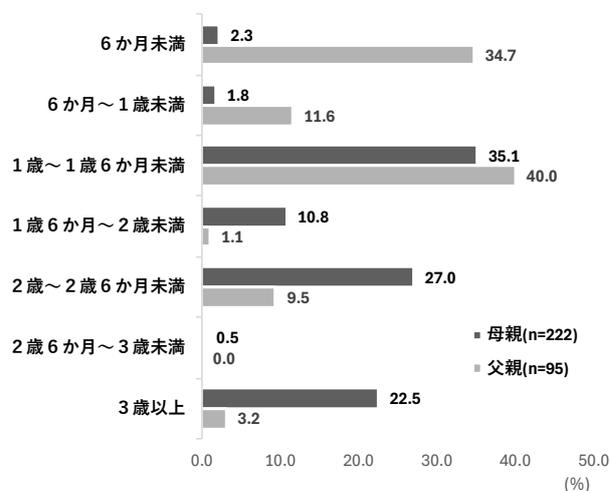
「実際」の職場復帰時の子どもの年齢は、母親では「1歳～1歳6か月未満」が52.1%で最も高く、次いで「6か月～1歳未満」が26.9%、「1歳6か月～2歳未満」が9.9%で続いています。一方、父親では「6か月未満」が81.5%で最も高く、次いで「6か月～1歳未満」が7.4%、「1歳～1歳6か月未満」が6.5%で続いています。

「希望」としての職場復帰時の子どもの年齢は、母親では「1歳～1歳6か月未満」が35.1%で最も高く、次いで「2歳～2歳6か月未満」が27.0%、「3歳以上」が22.5%で続いています。一方、父親では「1歳～1歳6か月未満」が40.0%で最も高く、次いで「6か月未満」が34.7%、「6か月～1歳未満」が11.6%で続いています。

【育児休業から「実際」に職場復帰した際の  
子どもの年齢】



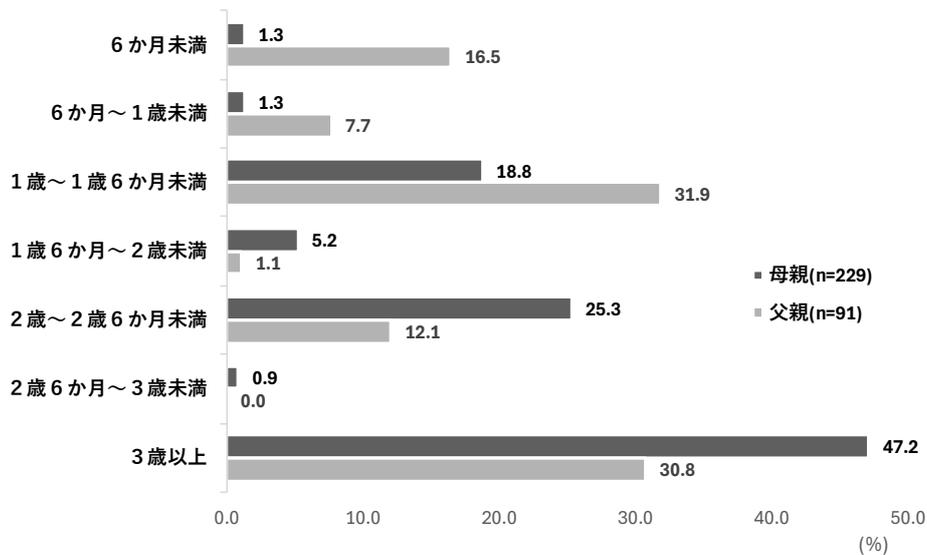
【職場の制度の範囲内で「希望」として  
育児休業したかった子どもの年齢】



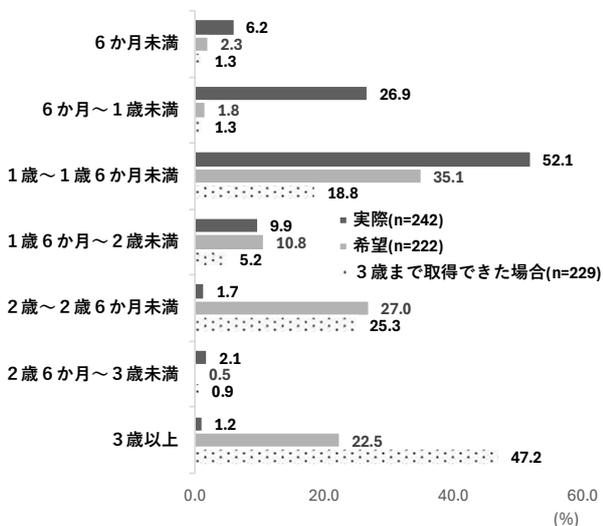
問 23- 1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方におうかがいします。

問 23- 4 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんがいくつのときまで取りたかったですか。(数量)

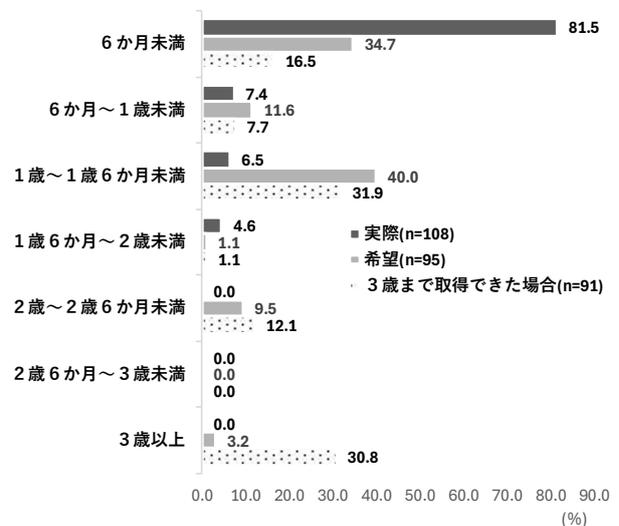
3歳まで育児休業を取得できた場合の、希望としての取得上限に対応した子どもの年齢については、母親では「3歳以上」が47.2%で最も高く、次いで「2歳～2歳6か月未満」が25.3%、「1歳～1歳6か月未満」が18.8%で続いています。一方、父親では「1歳～1歳6か月未満」が31.9%で最も高く、次いで「3歳以上」が30.8%、「6か月未満」が16.5%で続いています。



【育児休業に係る子どもの年齢（母親）】



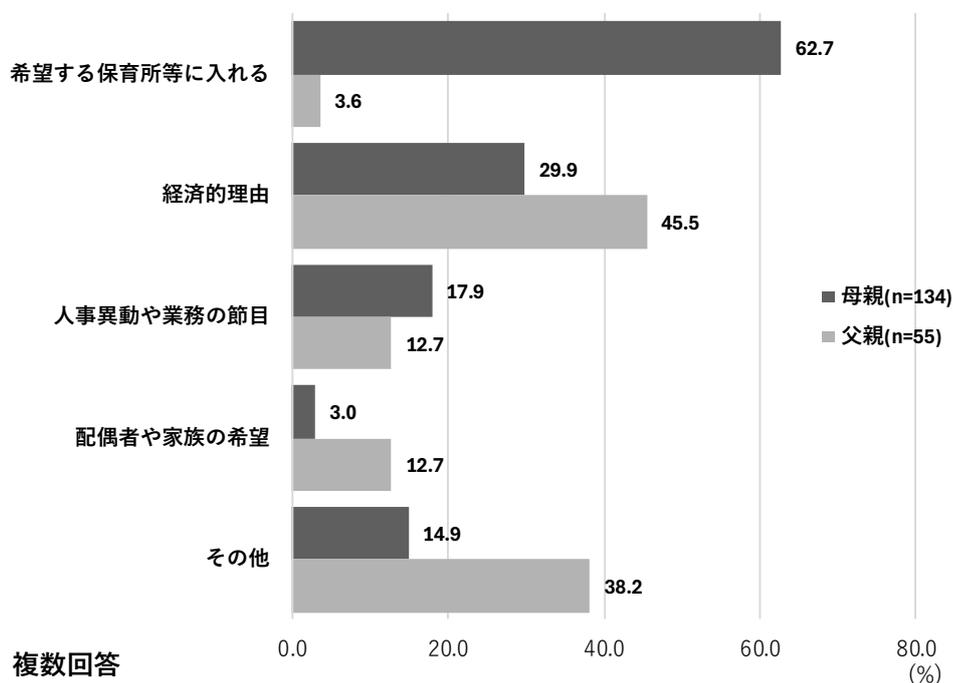
【育児休業に係る子どもの年齢（父親）】



問 23-3 で「実際の復帰が希望より早かった」方におうかがいします。

### 問 23-6 希望より早く育児休業から復帰した理由は何ですか。(MA)

母親では「希望する保育所・認定こども園等に入れるため」が 62.7%で最も高くなっています。次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 29.9%で続いています。一方、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 45.5%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「配偶者や家族の希望があったため」が 12.7%で同率になっており、「その他」（主な内容は下表の通り）が 38.2%を占めています。



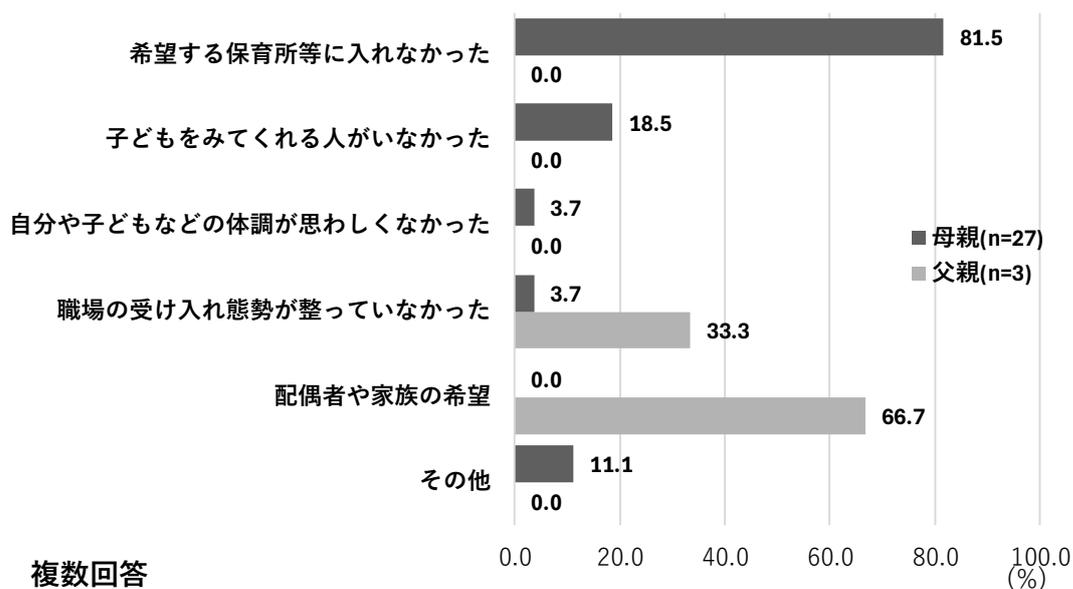
#### <父親が希望より早く復帰した理由「その他」の主な内容>

- ・ 育休を取りづらい。
- ・ 職場の雰囲気。
- ・ 忙しかった為。
- ・ 育休を取る人が周りにいない。
- ・ 長期間取らせてくれない。
- ・ 育休取得制度が定着していなかった。
- ・ 1ヶ月程度で大丈夫だと思った。
- ・ 仕事を1ヶ月以上休む事に精神的不安があった。
- ・ 他に子どもを見る人がいた。

問 23- 3 で「実際の復帰が希望より遅かった」方におうかがいします。

### 問 23- 7 希望より遅く育児休業から復帰した理由は何ですか。(MA)

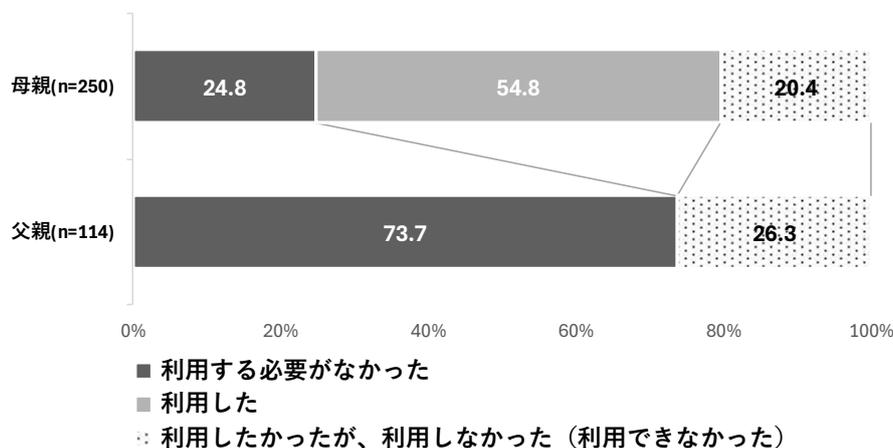
母親では「希望する保育所・認定こども園等に入れなかったため」が 81.5%で最も高くなっています。次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 18.5%で続いています。一方、父親では「配偶者や家族の希望があったため」が 66.7%で最も高くなっています。



問 23- 1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方におうかがいします。

問 23- 5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(SA)

母親では「利用した」が 54.8%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が 24.8%となっています。父親では「利用する必要がなかった」が 73.7%を占めています。

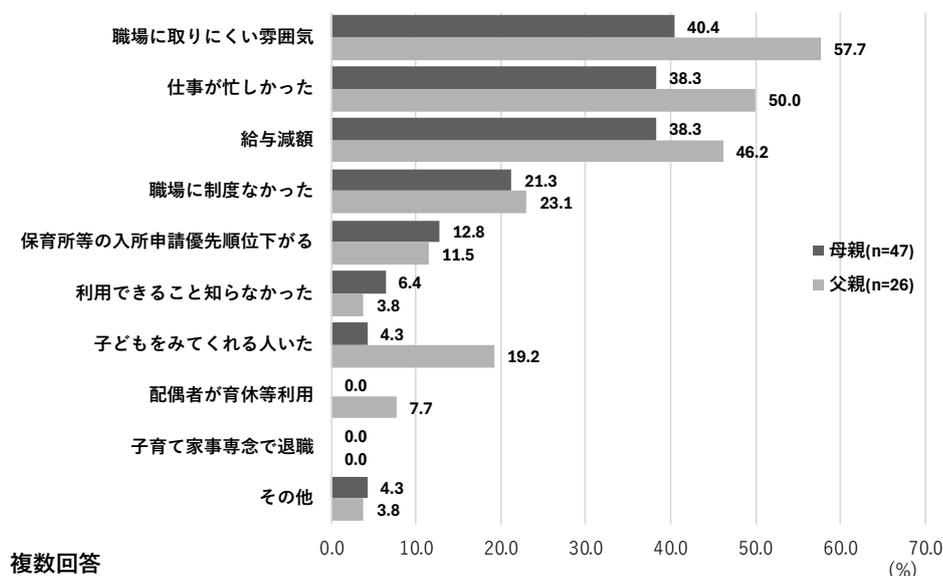


問 23- 5 で「短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選んだ方におうかがいします。

問 23- 8 育児休業からの短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(MA)

母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 40.4%で最も高くなっています。次いで「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」が 38.3%で続いています。

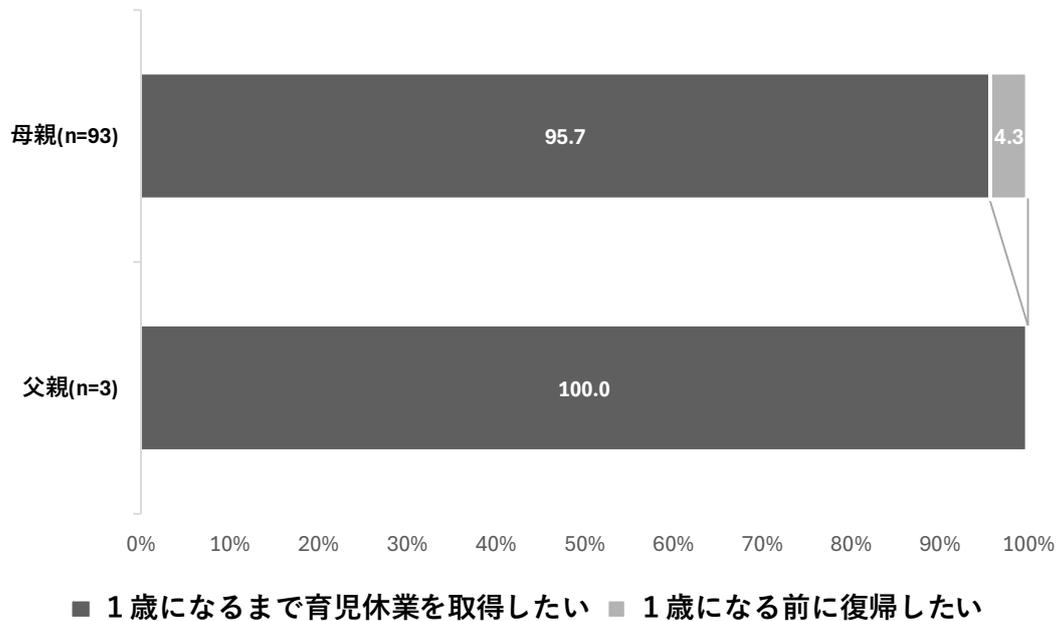
父親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 57.7%で最も高くなっています。次いで「仕事が忙しかった」が 50.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 46.2%で続いています。



問 23- 1 で「現在も育児休業中である」を選んだ方におうかがいします。

問 23- 9 お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育施設があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる施設があっても1歳になる前に職場復帰しますか。(SA)

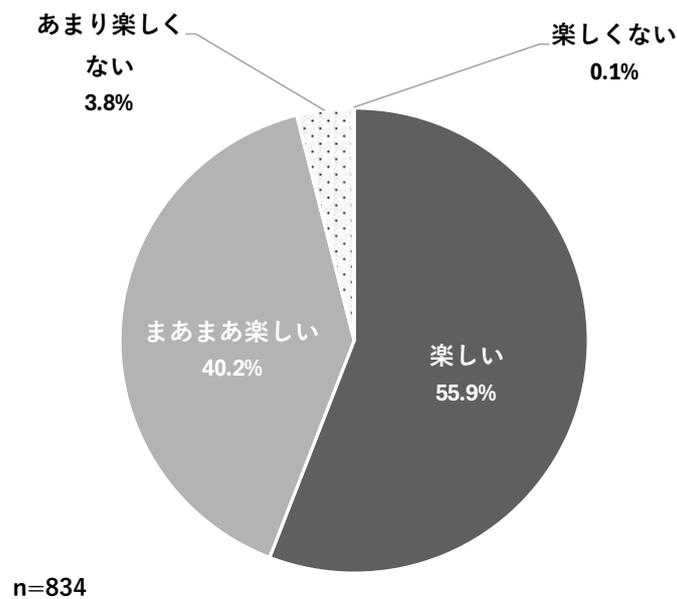
母親の95.7%、父親の全員（回答者は3名のみ）が「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答しています。



## 10 お子さんとの暮らしについて

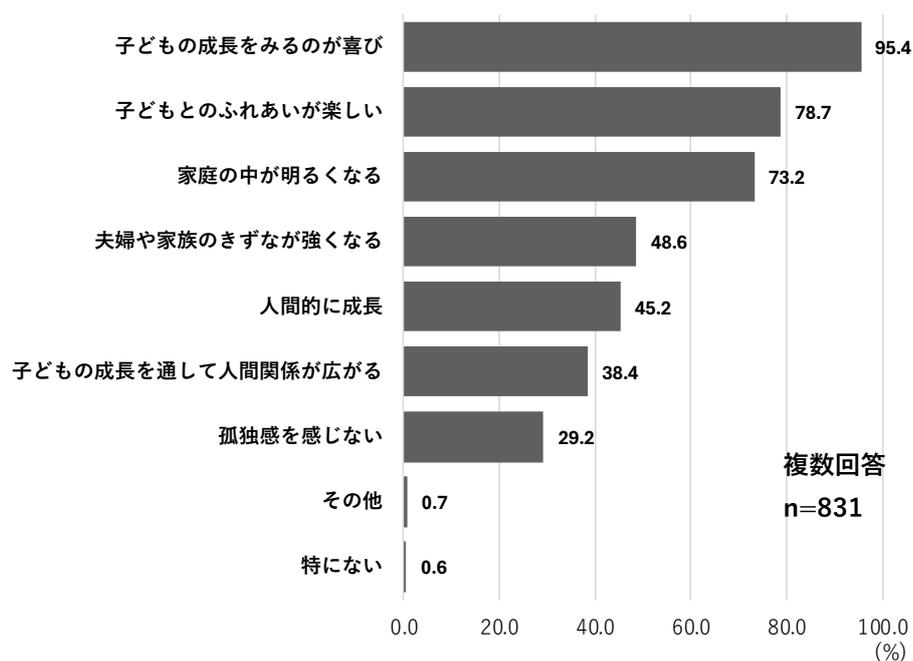
問 24 子育ては楽しいと思いますか。(SA)

「楽しい」が55.9%、「まあまあ楽しい」が40.2%で、合計すると96.1%が子育てを楽しいと思っています。



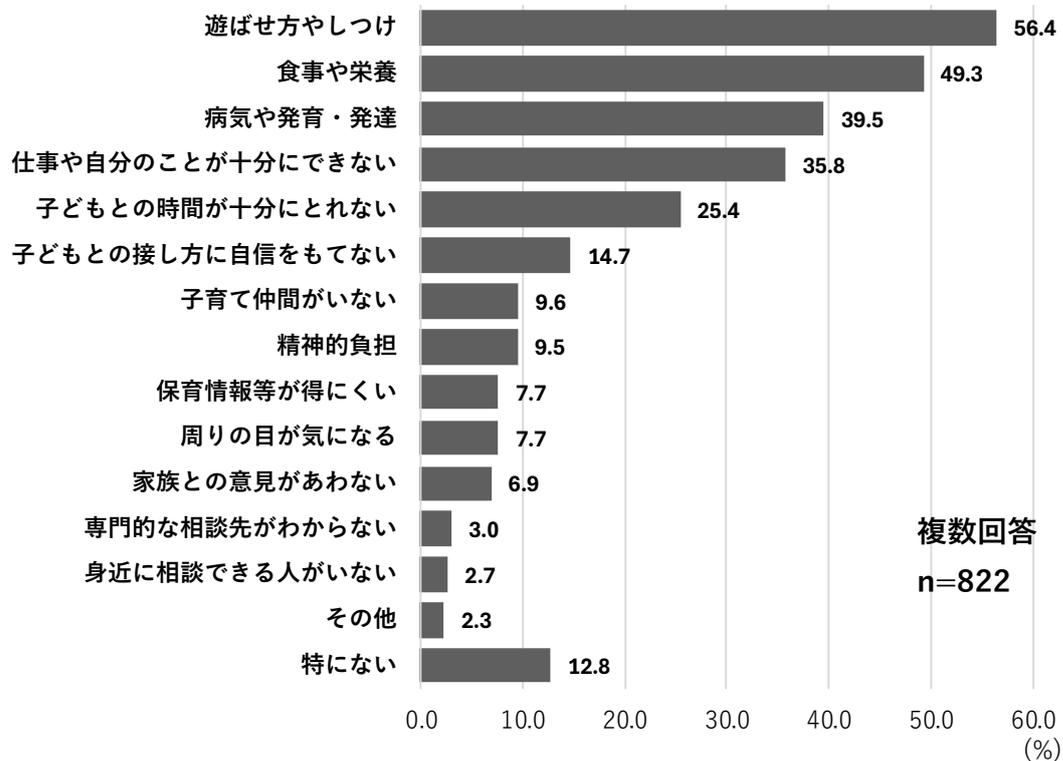
問 25 子育てをされていて良かったことや喜びを感じたことはどのようなことですか。(MA)

「子どもの成長をみるのが喜びである」が95.4%で最も高くなっています。次いで、「子どもとのふれあいが楽しい」が78.7%、「家庭の中が明るくなる」が73.2%で続いています。



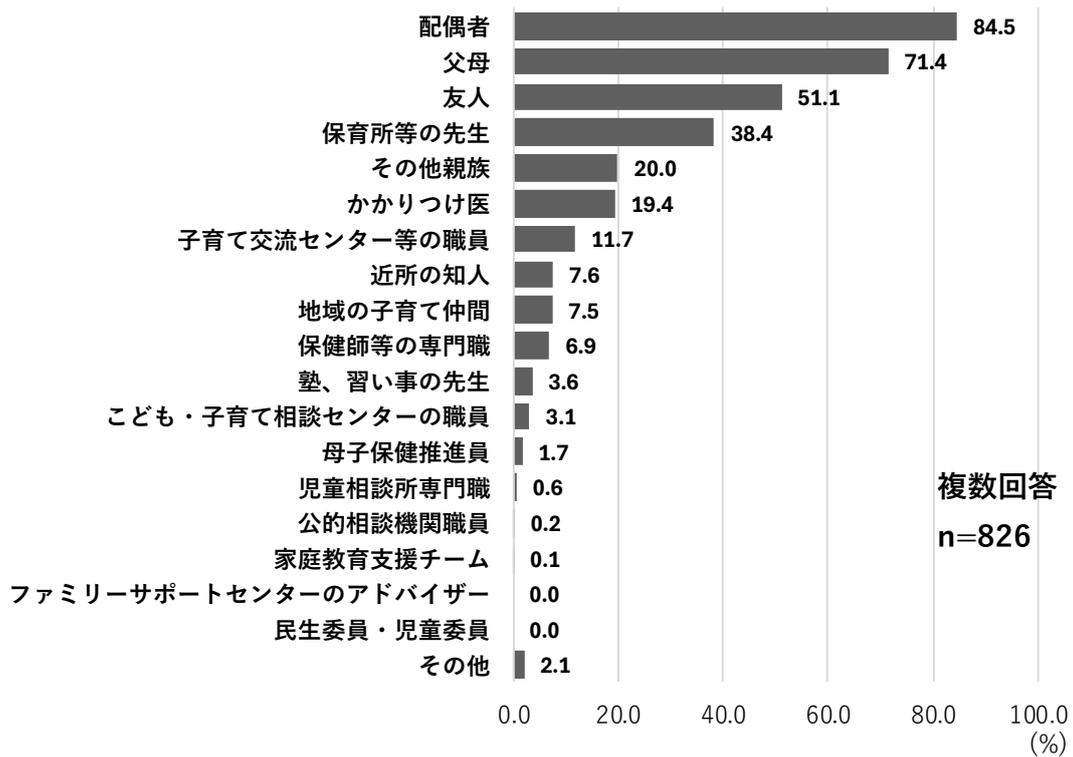
問 26 子育てに関して、悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
(MA)

「子どもの遊ばせ方やしつけ」が56.4%で最も高くなっています。次いで、「子どもの食事や栄養」が49.3%、「子どもの病気や発育・発達」が39.5%が続いています。



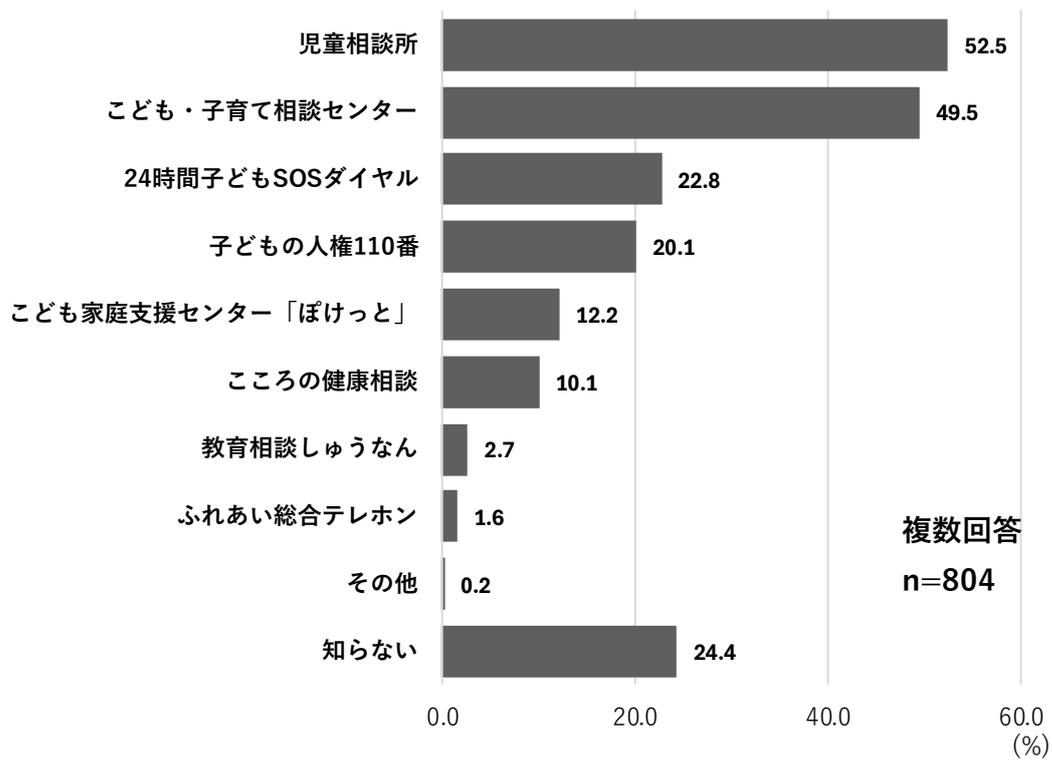
問 26- 1 お子さんのことで何かわからないことや困ったこと、悩み事があるとき、誰に相談していますか。(MA)

「配偶者」が84.5%で最も高くなっています。次いで、「父母(子どもの祖父母)」が71.4%、「友人」が51.1%で続いています。



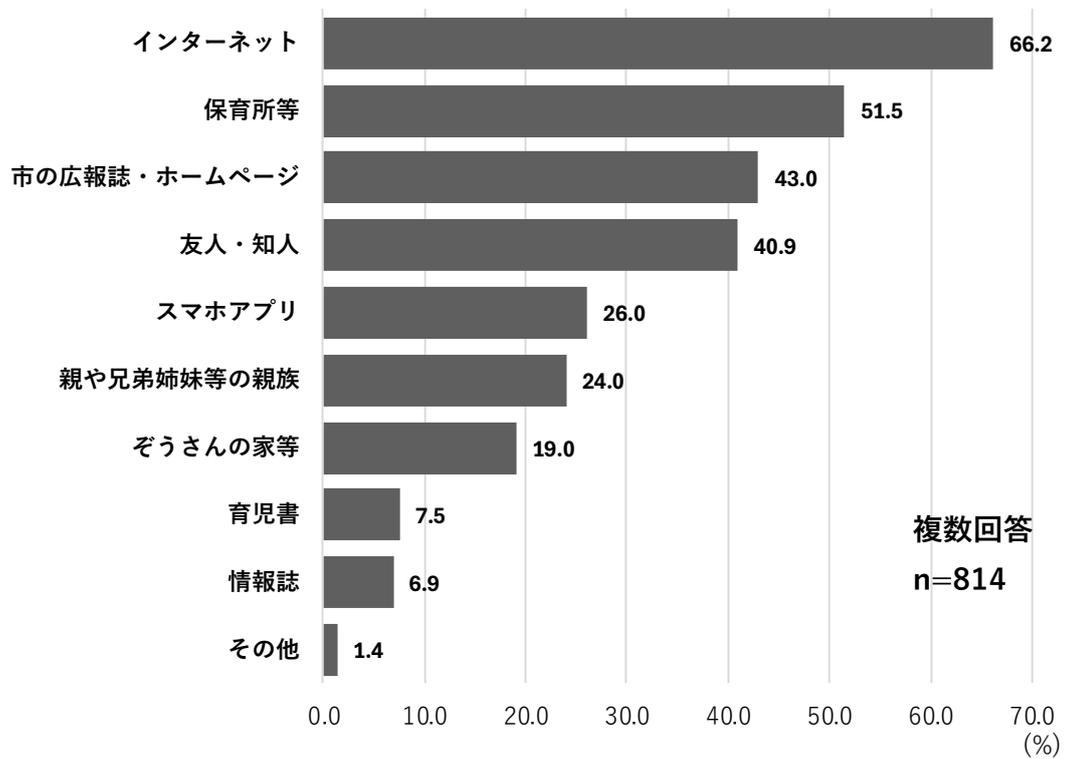
問 27 県内には子どもの悩みにこたえるために、いろいろな相談窓口があります。次のうちの窓口をご存知ですか。(MA)

50%以上が知っているとは回答したのは「児童相談所」だけになっています。「知らない」との回答は24.4%でした。



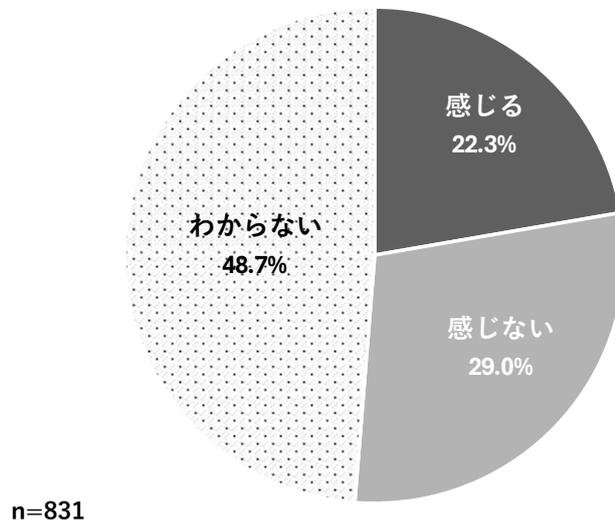
問 28 子育てに関する情報はどのように入手していますか。(MA)

「インターネット」が66.2%と最も多く、以下は「保育所・幼稚園・認定こども園等」(51.5%)、「市の広報誌・ホームページ」(43.0%)「友人・知人」(40.9%)の順でした。



問 29 市の子育て支援サービスの情報は入手しやすいと感じますか。(SA)

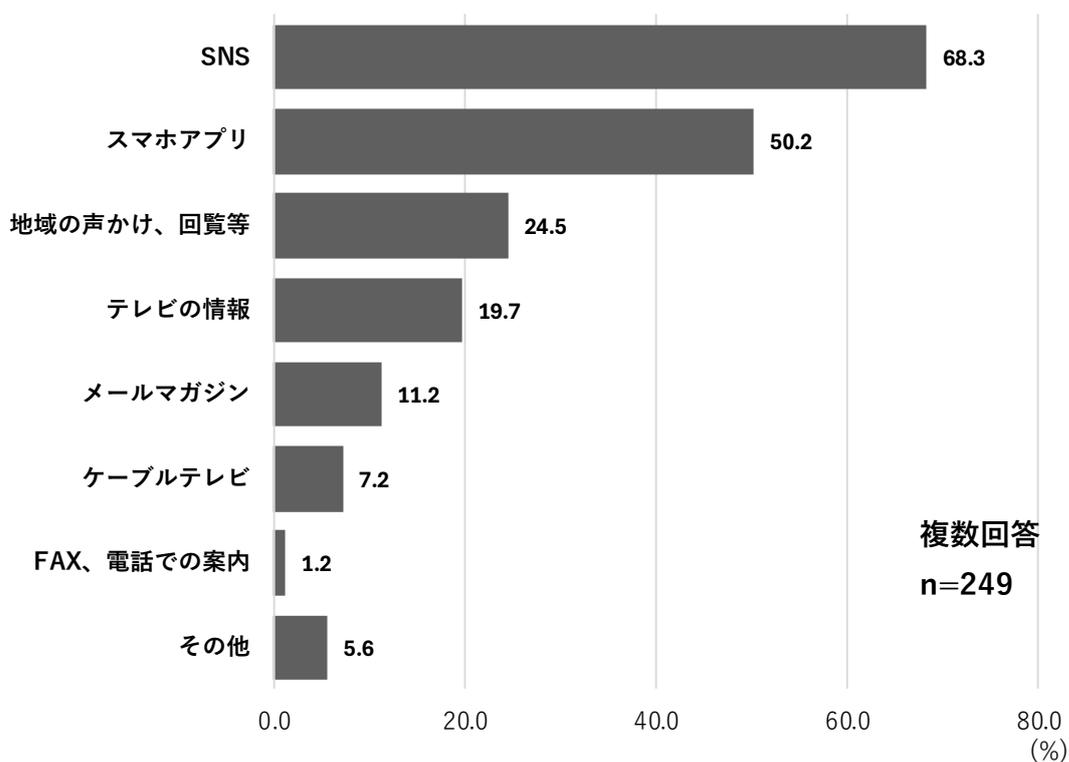
入手しやすいと「感じる」との回答は2割程度で最も少なく、「感じない」が約3割、「わからない」がほぼ半数を占めました。



問 29 で「情報を入手しやすいと感じない」を選んだ方におうかがいします。

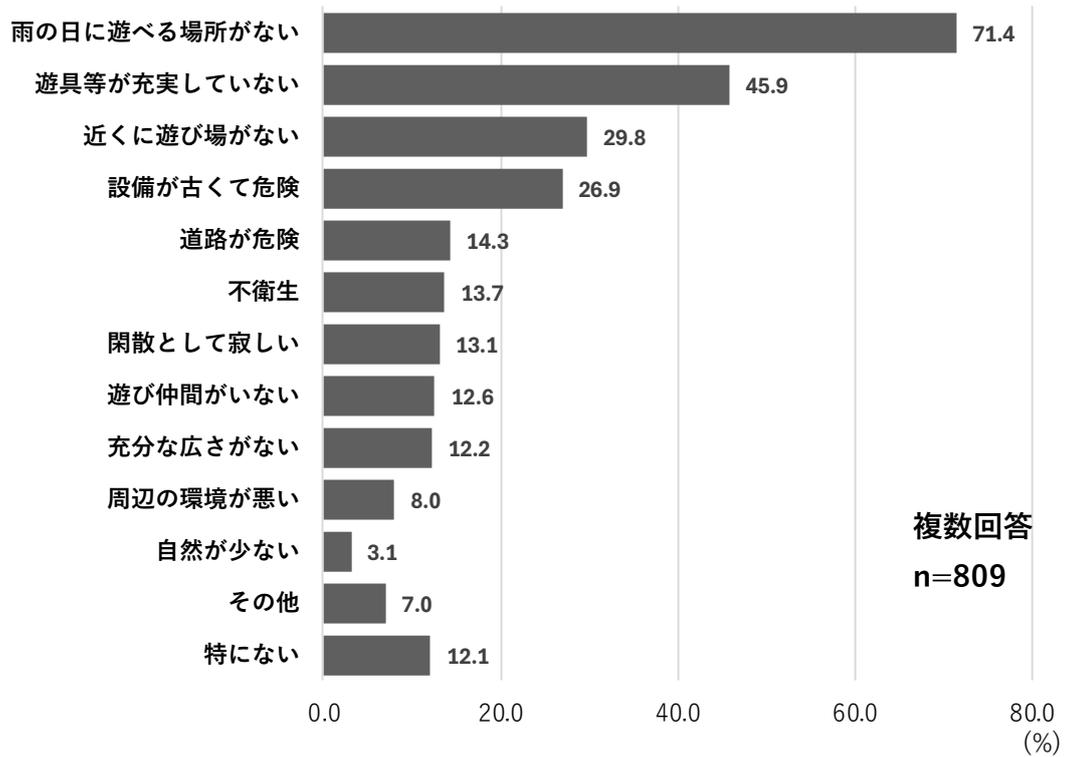
問 29-1 どのような手段で情報を入手できればよいと思いますか。(MA)

50%を超えたのが「フェイスブック、LINE などの SNS」(68.3%)、「スマホアプリ(プッシュ通知)」(50.2%)といずれも web 媒体となっています。



問 30 家の近くでお子さんの遊び場について、日ごろ困っていることはありますか。  
(MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が71.4%で最も高くなっています。次いで、「遊具等の種類が充実していない」が45.9%、「近くに遊び場がない」が29.8%が続いています。

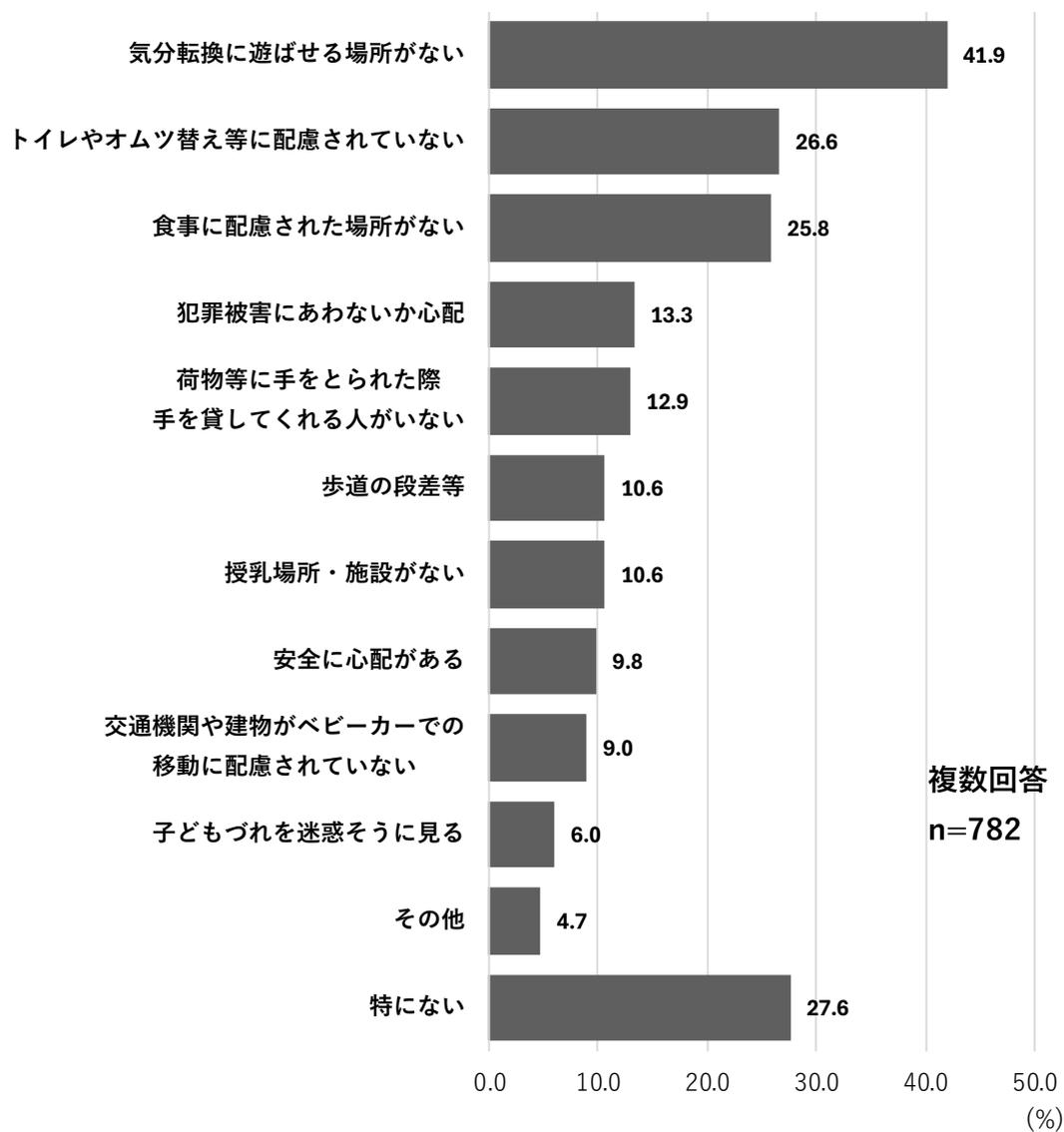


### 問 31 お子さんと一緒に外出する際に困ることは何ですか。(MA)

回答の多い順に「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」(41.9%)、「トイレやオムツ替え、親子での移動に配慮されていない」(26.6%)、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」(25.8%)となっています。

「荷物等に手をとられて困っているときに手を貸してくれる人がいない」(12.9%)、「周囲の人が子どもづれを迷惑そうに見る」(6.0%)といった、周囲からの理解・配慮に困っている保護者も見られます。

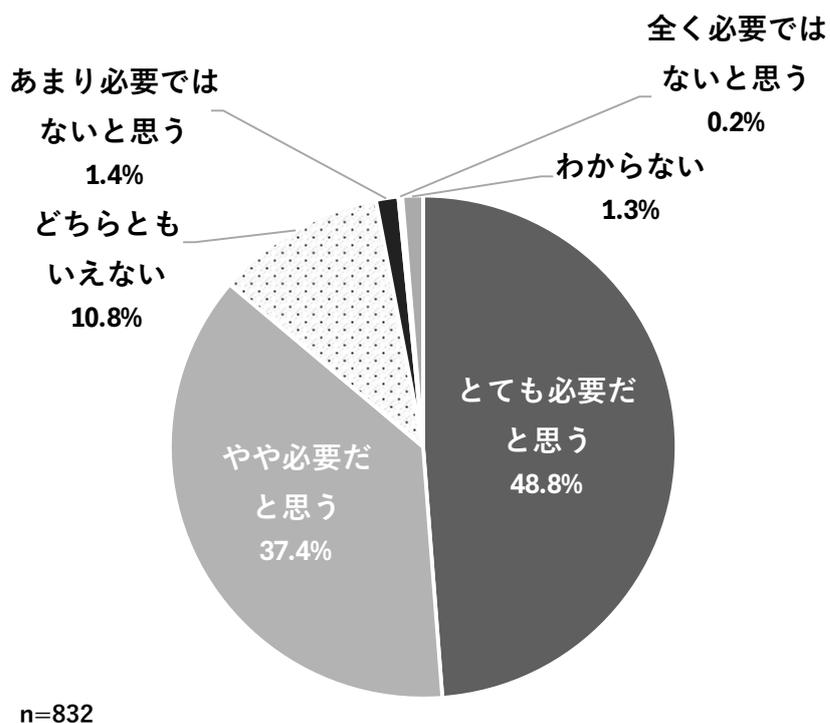
一方で、子どもとの外出について困っていることが「特にない」と回答した保護者が27.6%に達しています。



## 11 子育てと地域の関わりについて

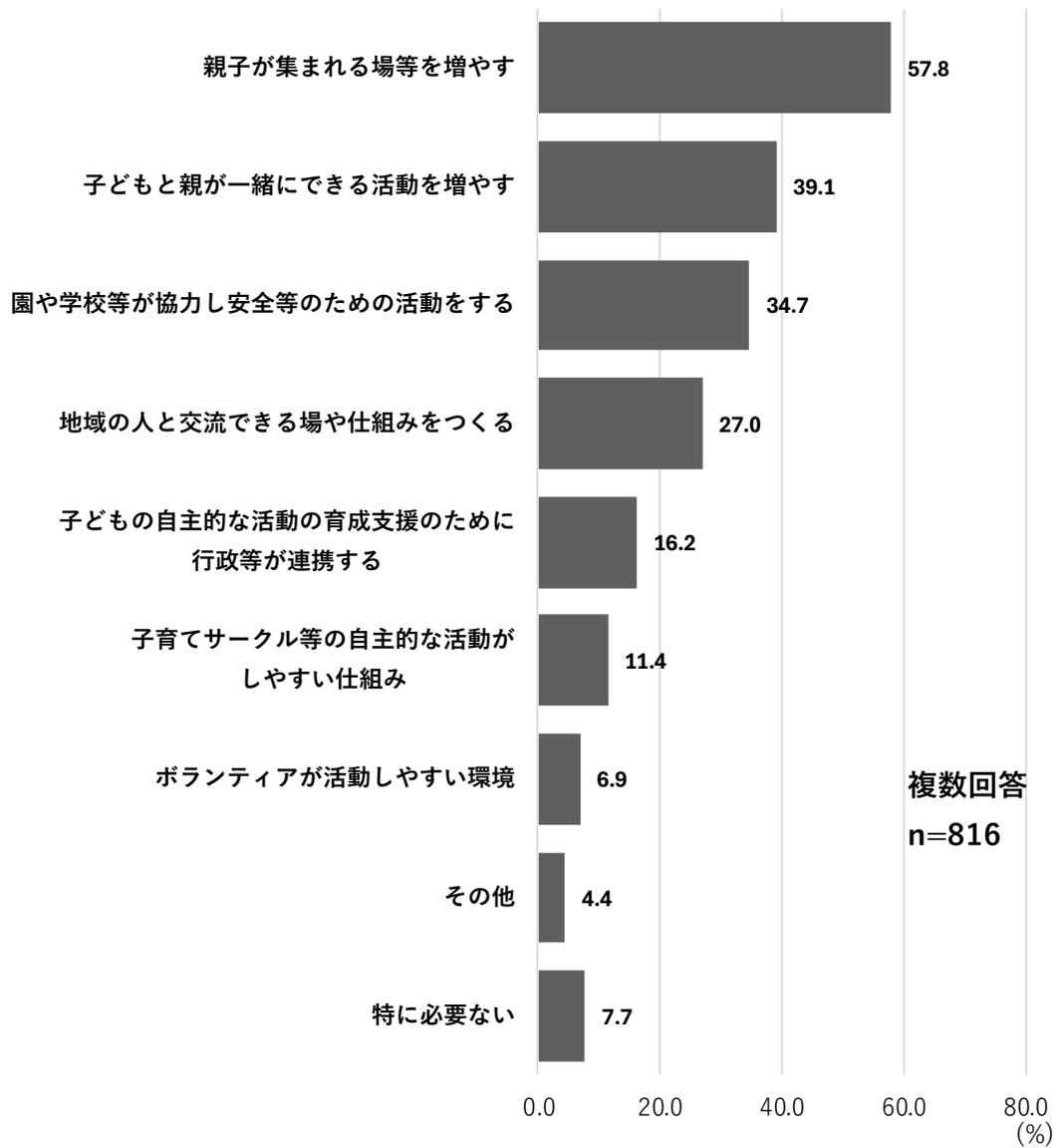
問 32 子育てをする人にとって、地域の支えは必要だと思いますか。(SA)

「とても必要だと思う」(48.8%)と「やや必要だと思う」(37.4%)を合計すると86.2%で、「あまり必要ではないと思う」と「全く必要ではないと思う」は合計しても1.6%に過ぎません。



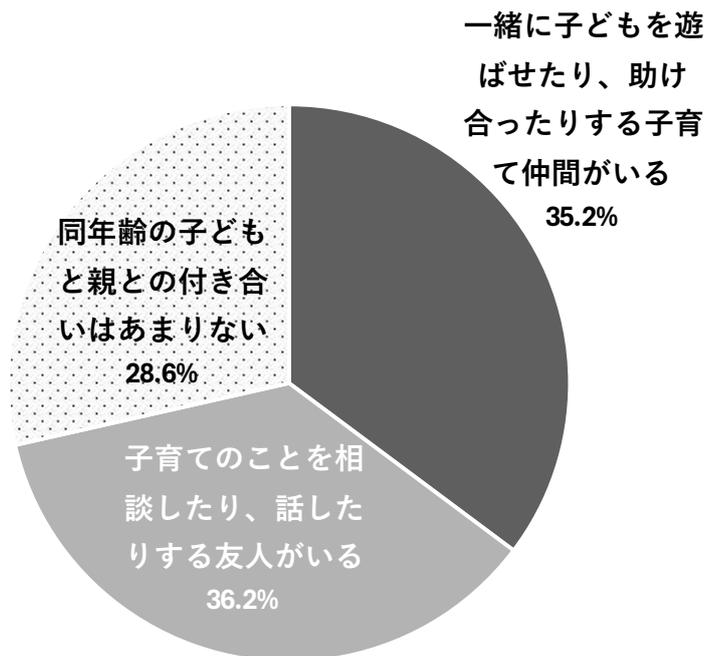
問 33 地域で子育てを支えるために、どんなことが必要だと思いますか。(MA)

「子育て中の親子が集まれる場や遊べる場を増やす」が57.8%で最多、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が39.1%で2番目となっています。



問 34 あなたは、子をもつ親同士のつきあい、育児グループ等の子育ての仲間はいますか。  
(SA)

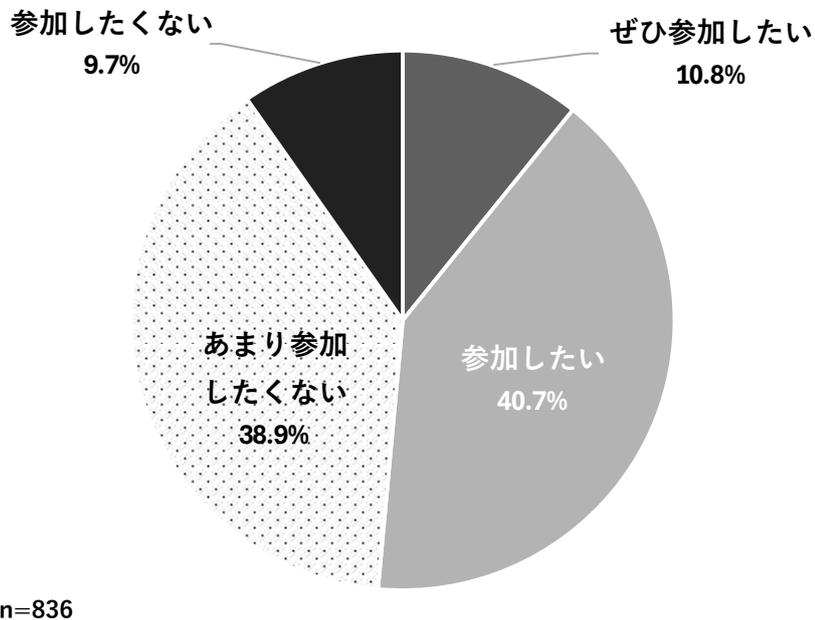
「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が 36.2%で最多となり、2 番目に多い「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」の 35.2%と合計すると 7 割程度は子育て仲間が一定数以上いると回答しています。その一方で、「同年齢の子どもと親との付き合いはあまりない」が 28.6%を占めています。



n=823

問 34-1 子育ての仲間づくりの機会があれば、参加したいと思いますか。(SA)

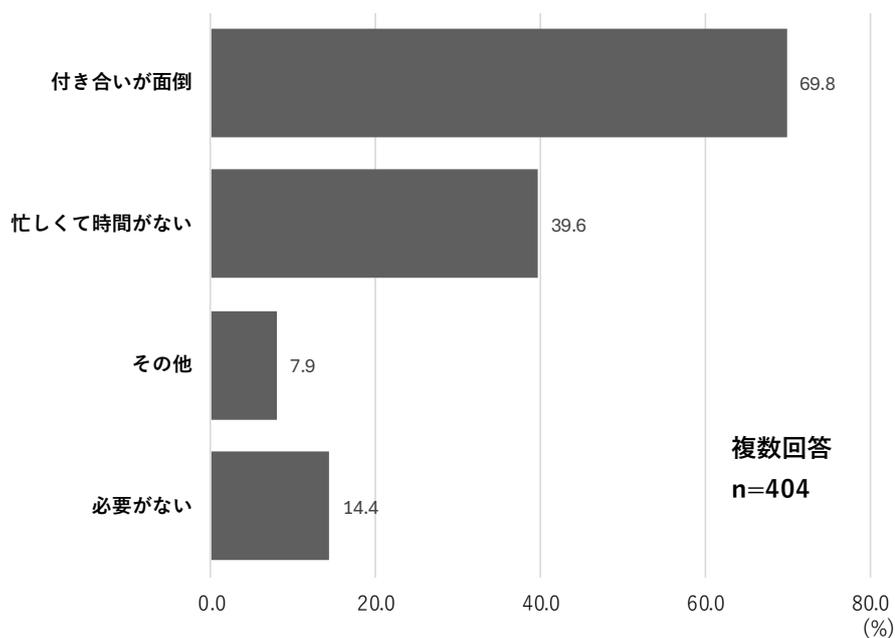
「ぜひ参加したい」(10.8%)と「参加したい」(40.7%)の合計が51.5%、「あまり参加したくない」(38.9%)と「参加したくない」(9.7%)の合計が48.6%となっています。



問 34-1 で「あまり参加したくない」「参加したくない」を選んだ方におうかがいします。

問 34-2 参加したくない理由は何ですか。(MA)

「付き合いが面倒」が69.8%で最も高くなっています。次いで「忙しくて時間がない」が39.6%、「必要がない」が14.4%が続いています。



## 12 仕事と子育ての両立について

問 35 保護者の1日平均の育児時間及び育児以外の家事時間はどれくらいですか。平日と休日に分けてお答えください。(数量)

平日の育児時間については、母親において「10時間以上」が22.8%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間～2時間未満」が28.3%と最も高くなっています。

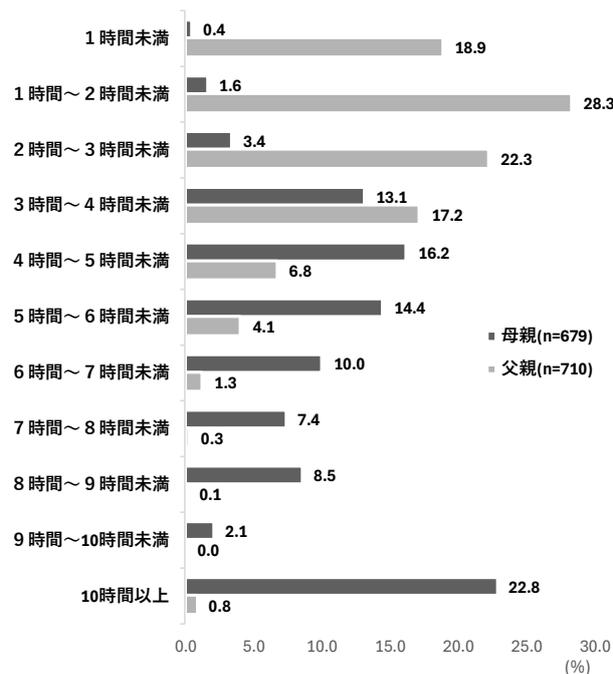
休日の育児時間については、母親において「10時間以上」が57.5%と最も高くなっているのに対し、父親も「10時間以上」が31.8%と最も高くなっていますが、母親とは25ポイント程度の差があります。

平日の育児以外の家事時間については、母親において「3時間～4時間未満」が25.2%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」が56.9%と最も高くなっています。

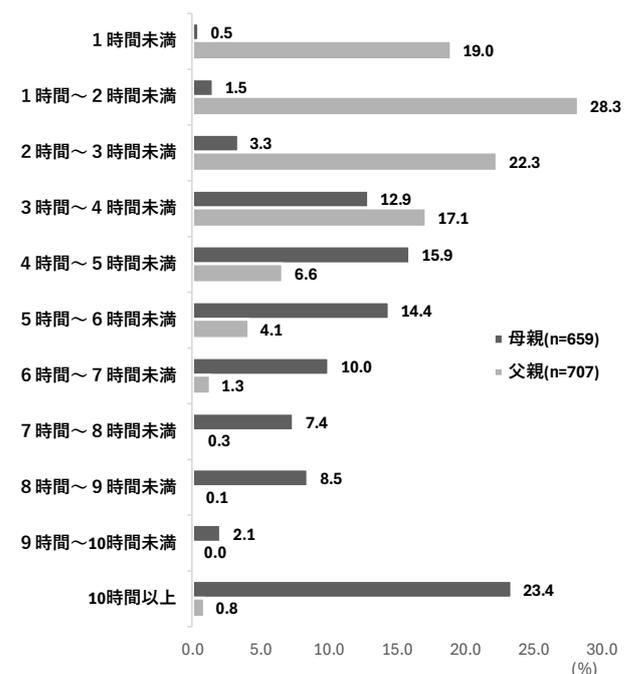
休日の育児以外の家事時間については、母親において「3時間～4時間未満」が24.5%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」と「1時間～2時間未満」が29.3%と最も高くなっています。

なお、上記の結果は1人親を含むものですが、2人親に限定しても、違いはほとんどみられませんでした。

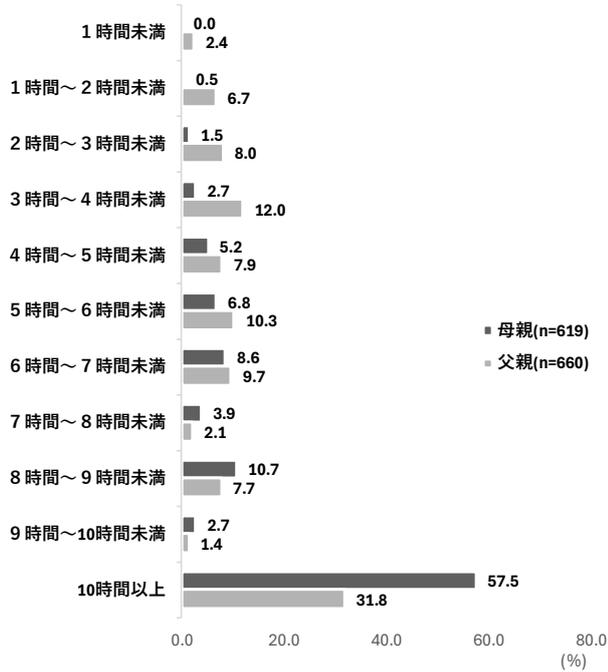
【平日の育児時間】



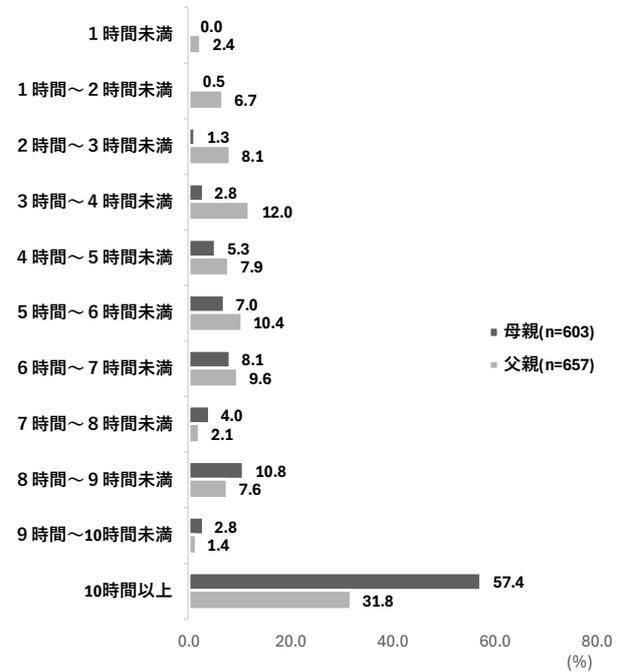
【平日の育児時間（2人親のみ）】



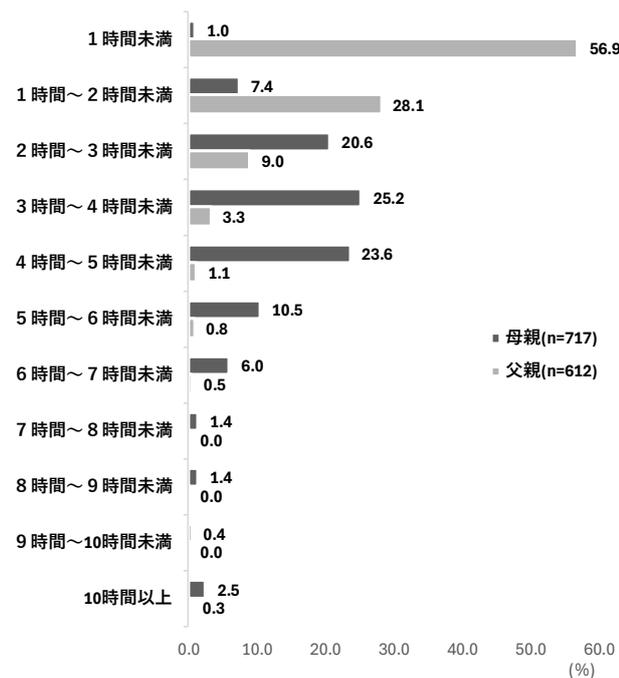
【休日の育児時間】



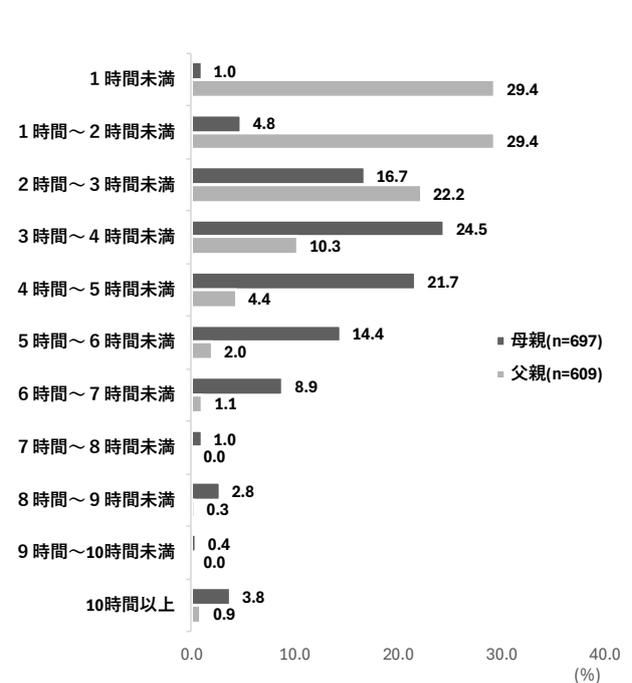
【休日の育児時間（2人親のみ）】



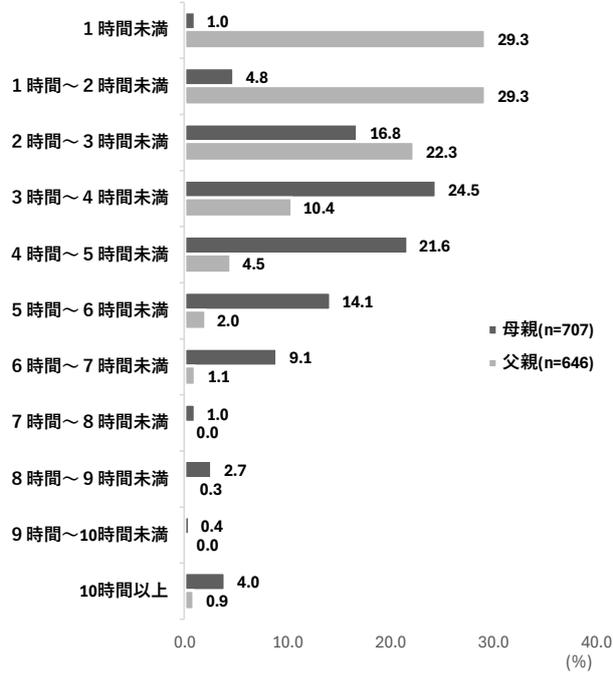
【平日の育児以外の家事時間】



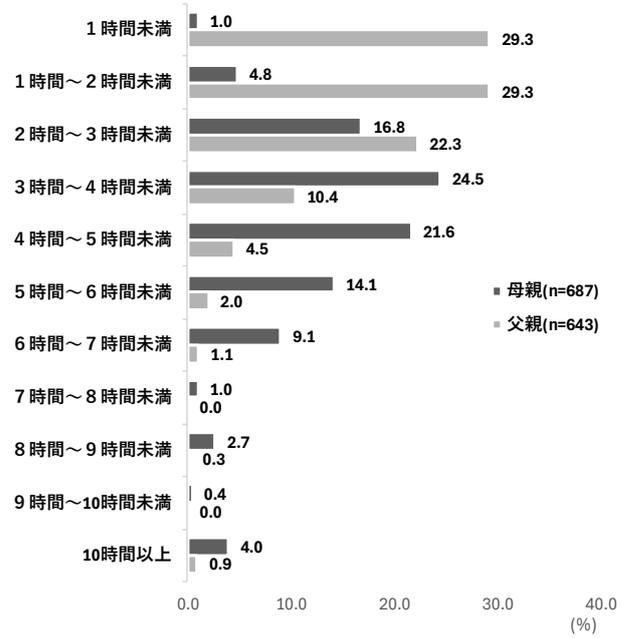
【平日の育児以外の家事時間（2人親のみ）】



【休日の育児以外の家事時間】

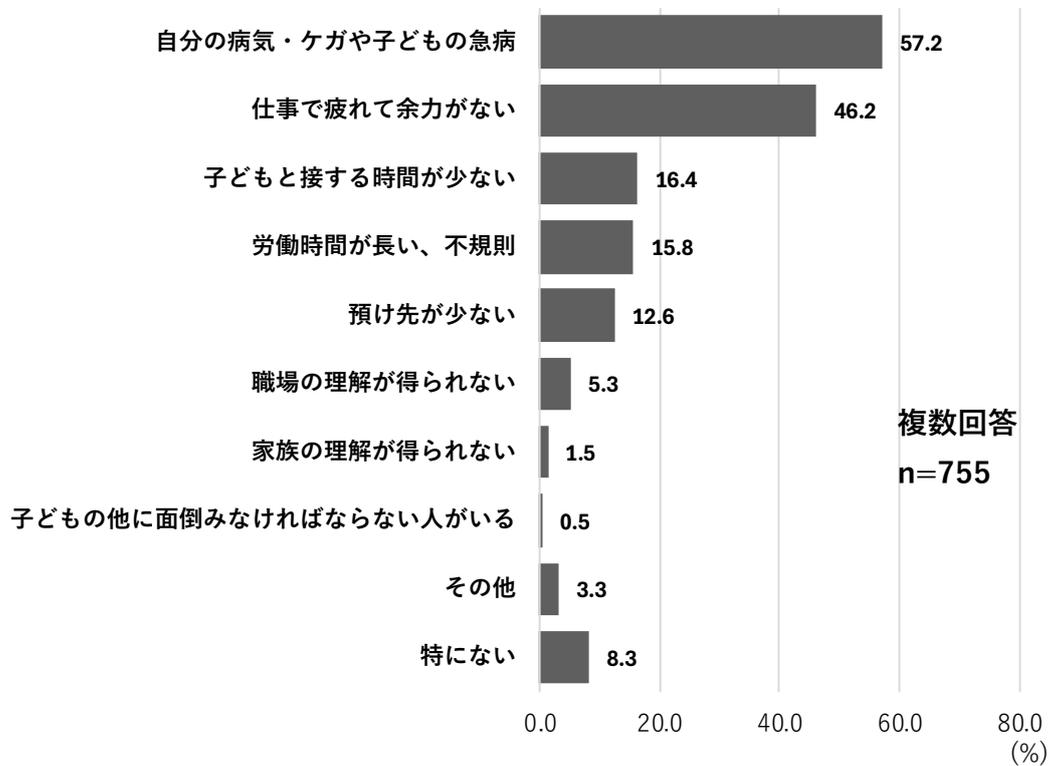


【休日の育児以外の家事時間（2人親のみ）】



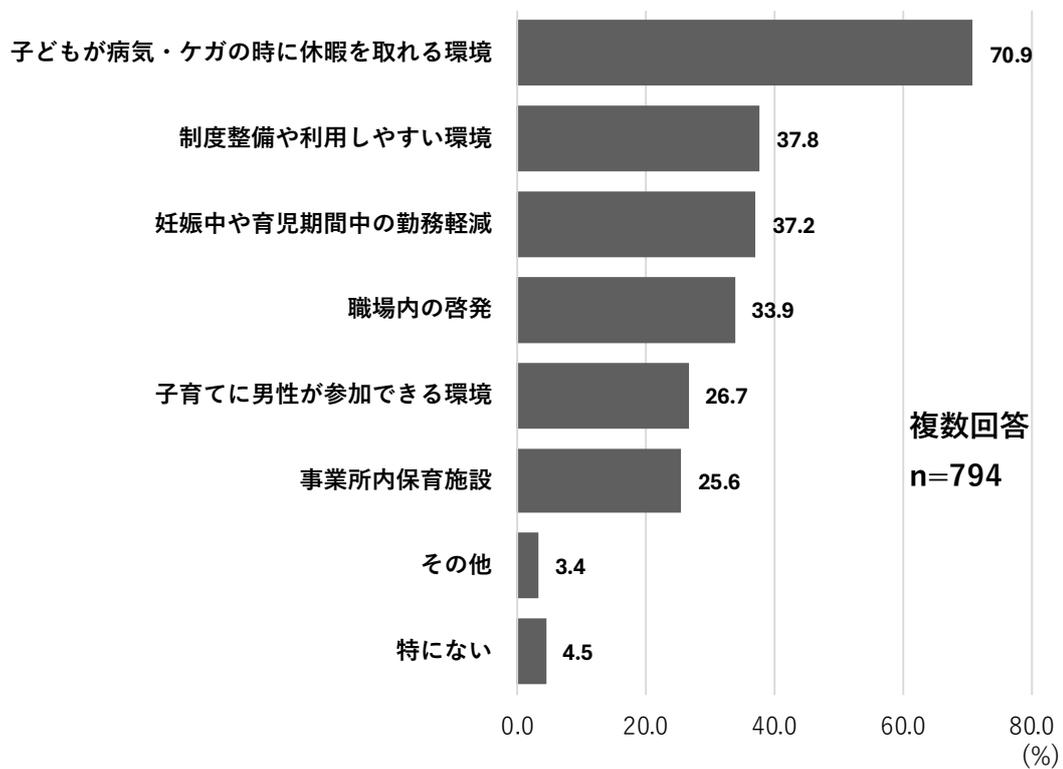
問 36 仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。(MA)

「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときの対応」が57.2%で最多、2番目に多いのが「仕事で疲れて子育ての余力がない」の46.2%となっています。



問 37 仕事と子育ての両立のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(MA)

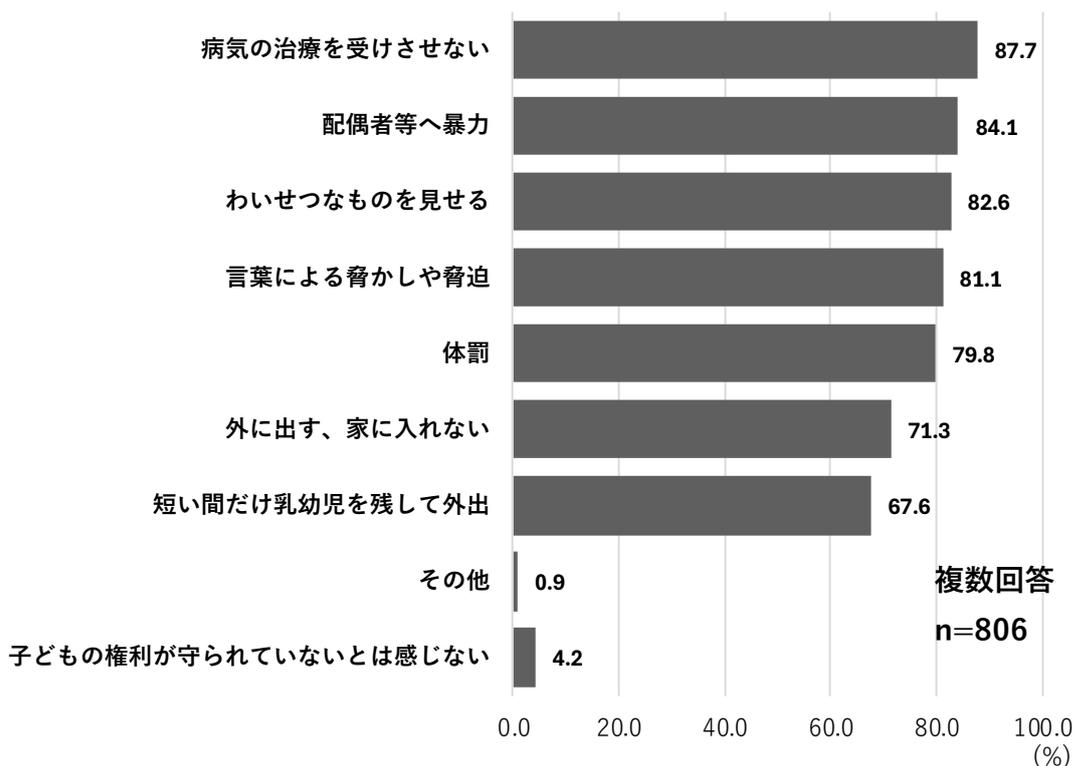
「子どもが病気やケガの時に休暇を取れる環境をつくる」が70.9%で最も高くなっています。



## 13 子どもの権利について

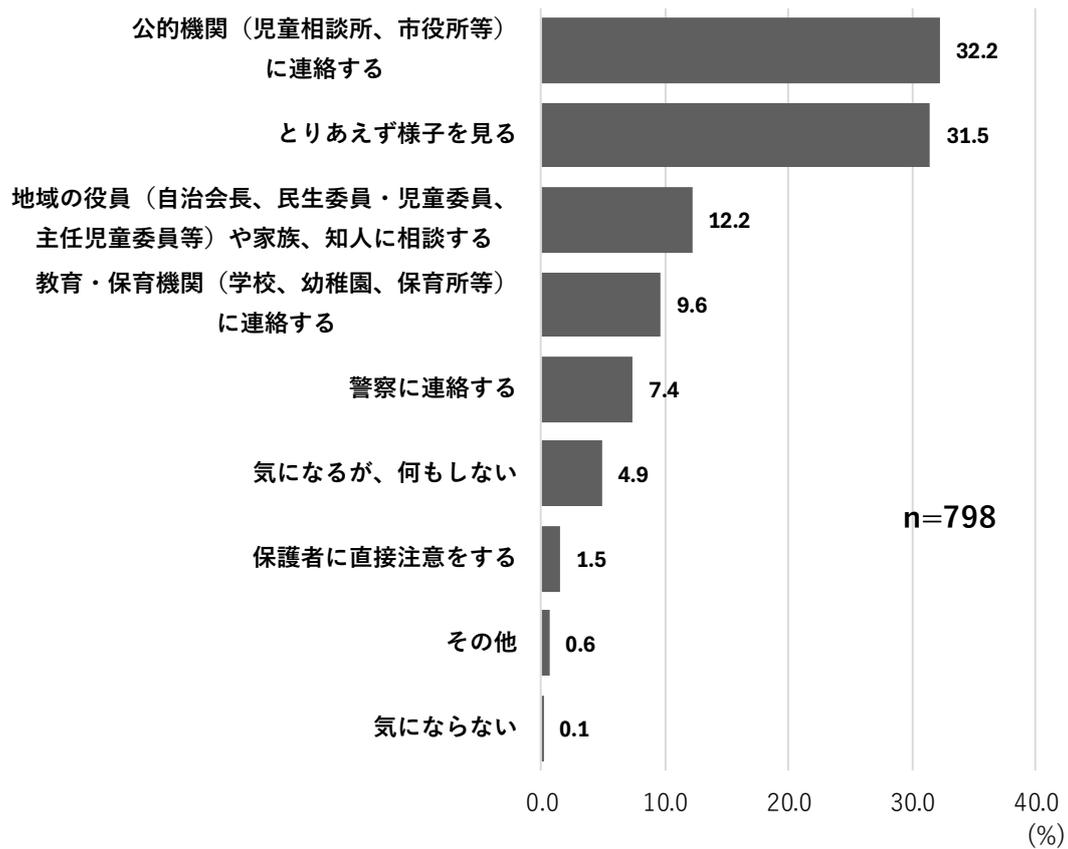
問 38 あなたはどのような行為に対して、子どもの権利が守られていないと感じますか。(MA)

「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が87.7%で最も高くなっています。次いで「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」が84.1%、「子どもにわいせつなものを見せる」が82.6%で続いています。「子どもの権利が守られていないと感じない」は4.2%と僅かでした。



問 39 子どもの権利が守られてないと感じられる行為が行われている家庭を知った時、あなたなら最初に対処しますか。(SA)

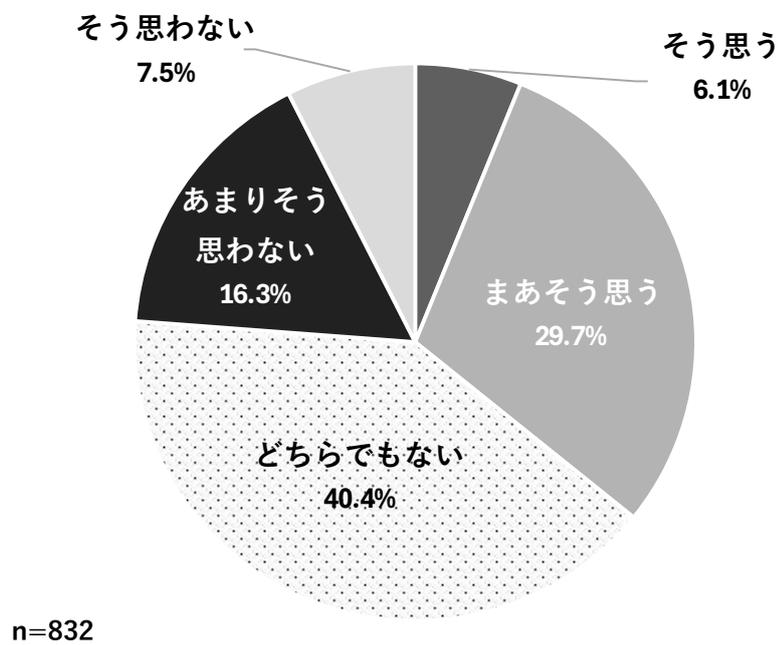
市役所、地域の役員、教育・保育機関といった外部へ連絡するという回答が6割を占めています。「とりあえず様子を見る」が31.5%、「気になるが、何もしない」が4.9%と、どこにも連絡しないという回答が36.4%となっています。「保護者に直接注意をする」は1.5%と僅かでした。



## 14 子育てに関する市の取組について

問 40 周南市は子育てがしやすいまちだと思いますか。(SA)

「そう思う」(6.1%)と「まあそう思う」(29.7%)の合計が35.8%、「どちらでもない」が40.4%、「あまりそう思わない」(16.3%)と「そう思わない」(7.5%)の合計が23.8%となっています。



問 40 で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方におうかがいします。

#### 問 40－1 そう思った理由を自由にお書きください。(FA)

「周南市が子育てしやすいまちか」という質問に「そう思う」もしくは「まあそう思う」と回答した理由を自由記述式で尋ねたところ、243 件の回答がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

##### <周南市が子育てしやすいまちだと思う理由（主なものを抜粋）>

###### 【子育て支援センターが充実】

- ・ 子育て支援センターが他の市より充実している。
- ・ 地域の方が子育てサークルの紹介をするなど、気にかけてくれる。
- ・ 困っている時に手伝ってくれる人が多い。
- ・ 子育て支援センターへ行けば悩みを聞いてくれる。
- ・ 子育て支援センター・幼稚園の未就園児親子行事・児童館をよく利用した。

###### 【公園が多い】

- ・ 無料で遊べる公園が多い。
- ・ 動物園や大きな公園がある。
- ・ 大きめの公園が数ヶ所ある。

###### 【保育園・幼稚園が多い】

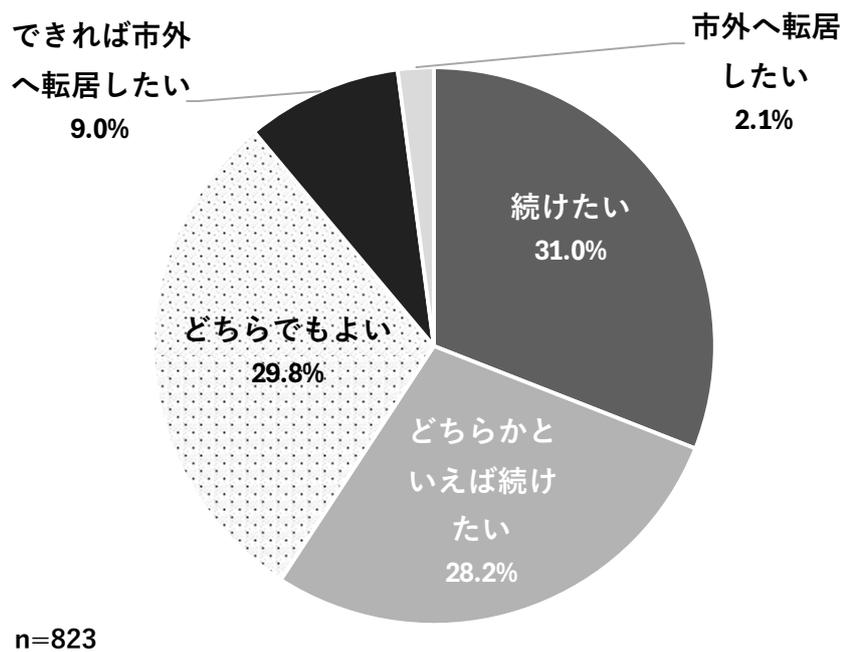
- ・ 保育園や幼稚園に入りやすい。
- ・ 保育園が多いから希望した保育園に入れる。
- ・ 幼少期の受験戦争がない分子供に自由がある。
- ・ 都市部以外にも保育園や支援センターがある。

###### 【医療費が無料】

- ・ 市長が女性なので、子育て中の母親の気持ちを分かってくれる。
- ・ 高校まで医療費無料なので助かる。

問 41 今後も、周南市で子育てを続けたいと思いますか。(SA)

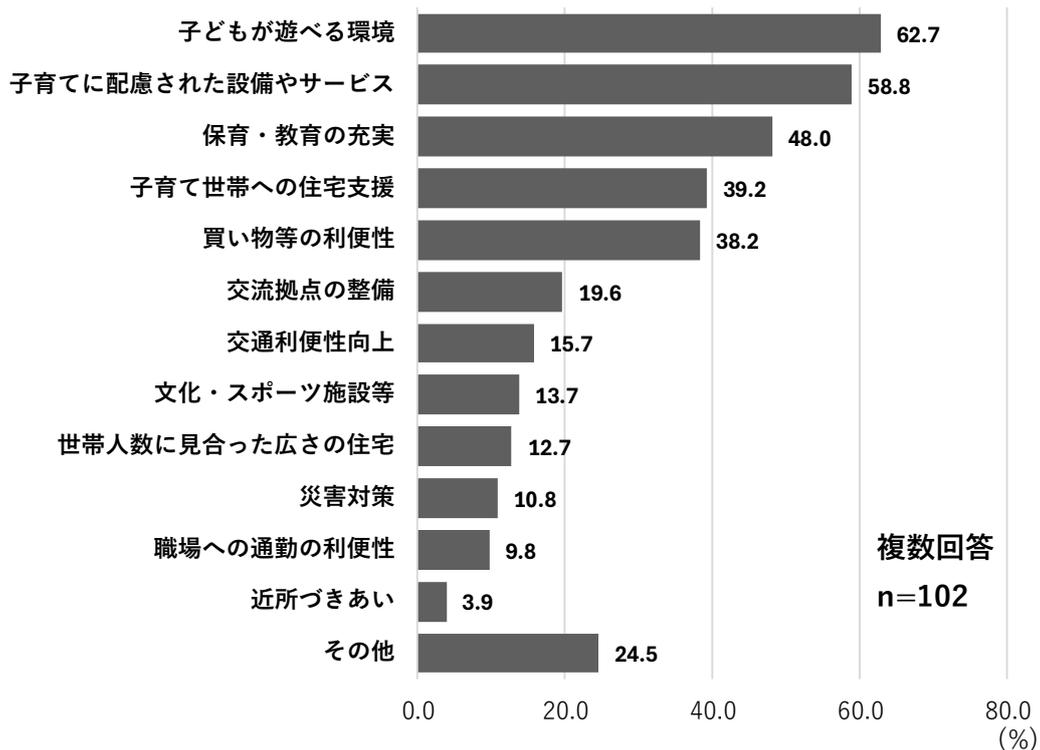
「続けたい」(31.0%)と「どちらかといえば続けたい」(28.2%)の合計が59.2%、「どちらでもよい」が29.8%、「できれば市外へ転居したい」(9.0%)と「市外へ転居したい」(2.1%)の合計が11.1%となっています。



問 41 で「できれば市外へ転居したい」「市外へ転居したい」を選んだ方におうかがいします。

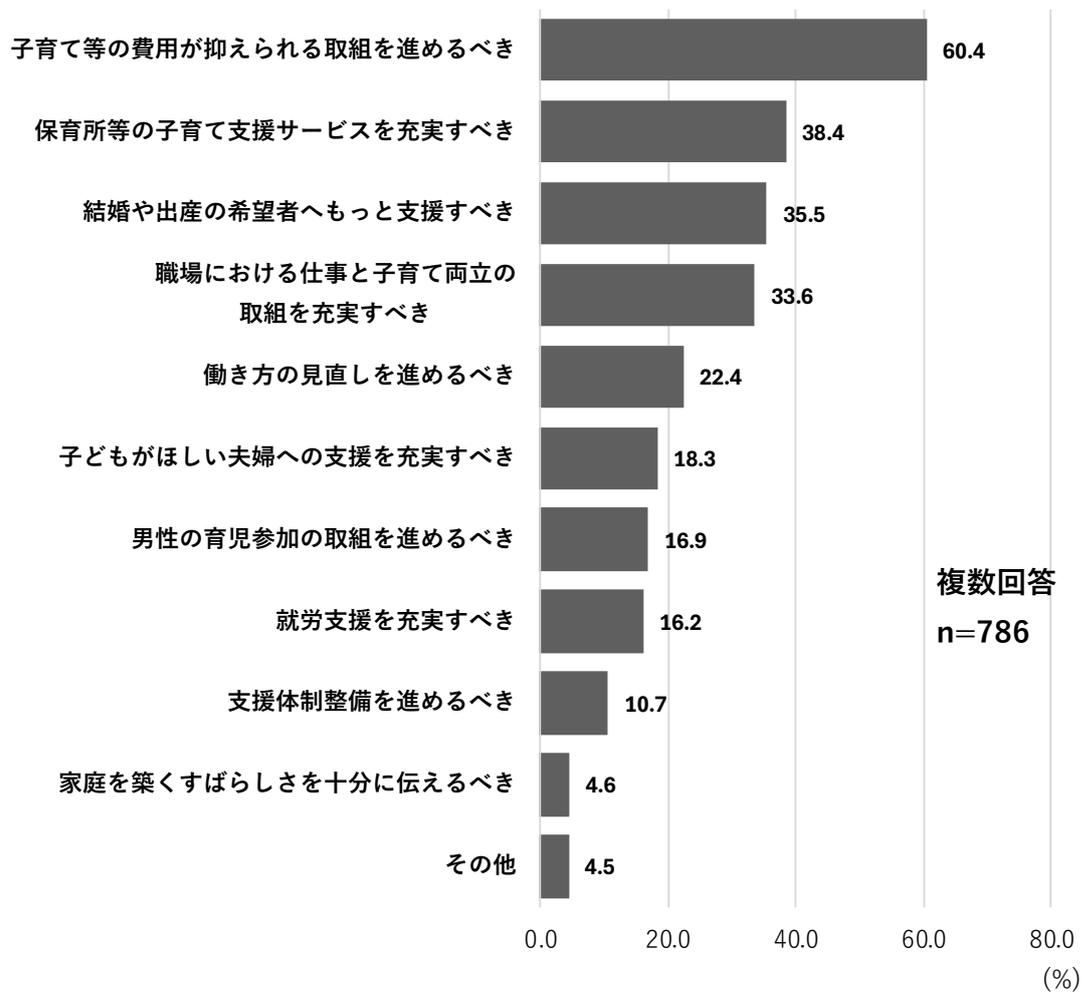
問 41－1 周南市で子育てを続けるために大切なことは何ですか。(MA)

回答のうち 50%を超えているのは「公園など子どもが遊べる環境」(62.7%)及び「子育てに配慮された設備やサービス」(58.8%)ですが、他にも、「子育て世帯への住宅支援」(39.2%)や「買い物等の利便性」(38.2%)のように、幅広い領域に回答が分散しています。



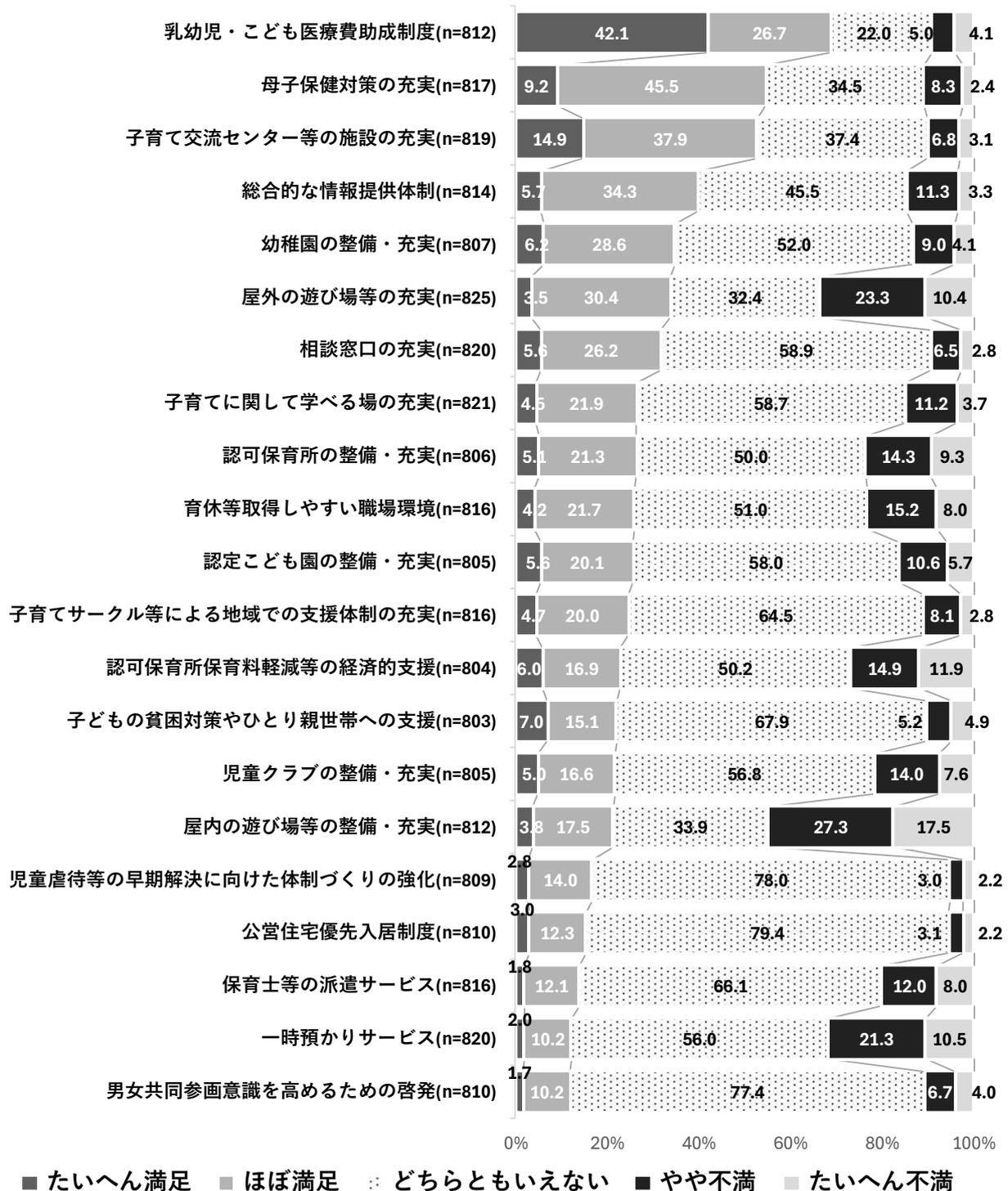
問 42 少子化対策に関して、どのようにお考えですか。(MA)

「子育てや教育にかかる費用が抑えられるような取組を進めるべきである」が 60.4%で最も高くなっています。次いで、「保育所など地域における子育て支援サービスを充実すべきである」が 38.4%、「結婚や出産を希望する方へもっと支援すべきである」が 35.5%で続いています。



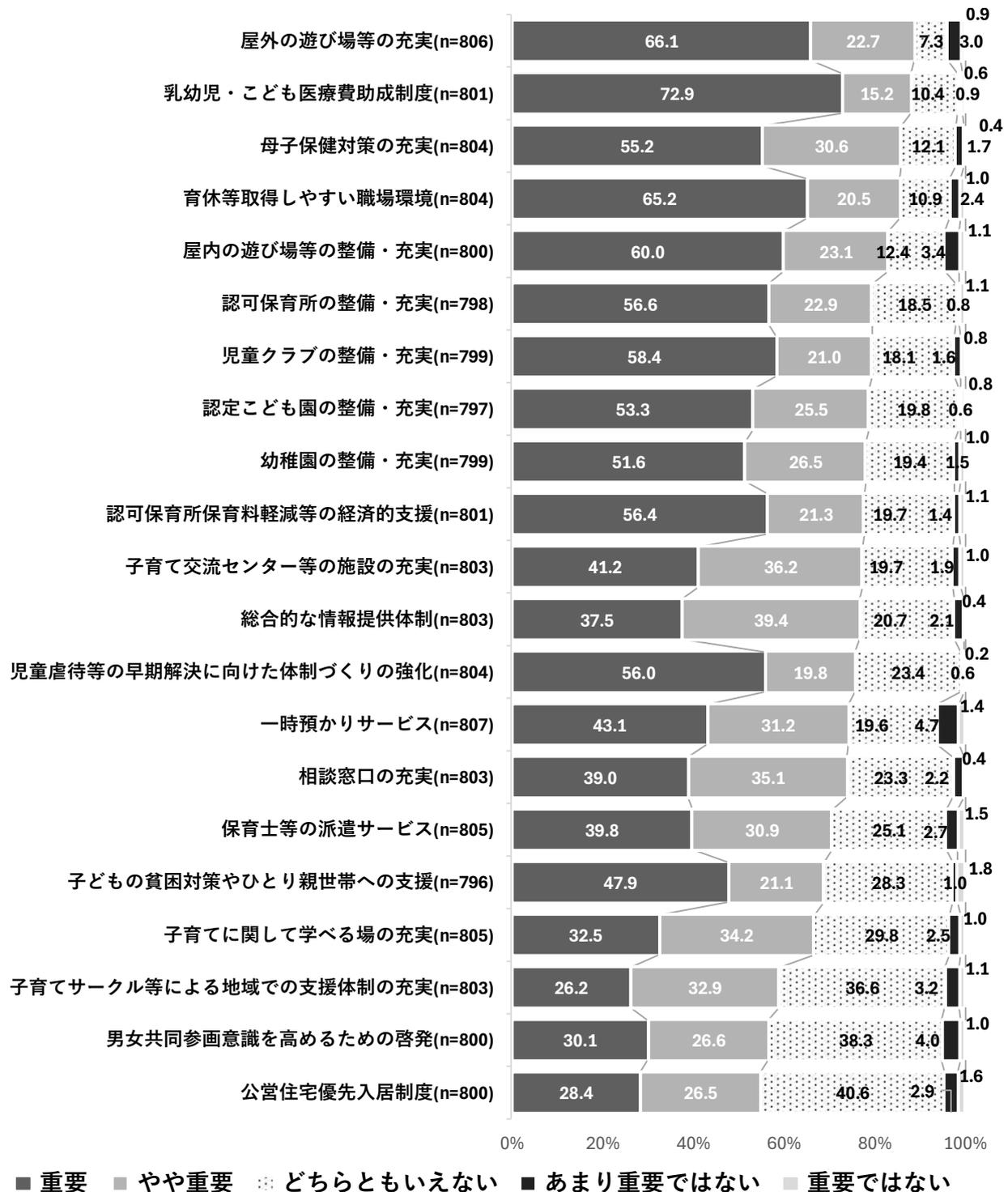
問 43① 周南市の子育て支援策についての「満足度」について教えてください。(SA)

「たいへん満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合の高い項目は、「乳幼児医療費・こども医療費助成制度」が68.8%、「妊娠・出産等・母子保健対策の充実」が54.7%、「子育て交流センターや子育て支援センターの施設等の充実」が52.8%の順に高くなっています。一方、「やや不満」と「たいへん不満」を合わせた割合の高い項目は、「子どもや親子で楽しめる屋内の遊び場・居場所の整備・充実」が44.8%、「子どもや親で楽しめる公園等屋外の遊び場・居場所の充実」が33.7%、「ちょっとした用事やリフレッシュのために利用できる一時預かりサービス」が31.8%の順に高くなっています。



問 43② 周南市の子育て支援策についての「重要度」について教えてください。(SA)

「重要」と「やや重要」を合わせた割合の高い項目は、「子どもや親で楽しめる公園等屋外の遊び場・居場所の充実」が88.8%、「乳幼児医療費・こども医療費助成制度」が88.1%、「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」が85.8%の順に高くなっています。



## 15 意見要望

お子さんが小学生になった時に気になることや不安なことがあれば、自由に記入してください。

最後に、周南市の子ども・子育て支援に関するご意見など、自由に記入してください。

子どもが小学生になったときに気になることや不安なことについて、自由記述欄において、合計 388 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

### <お子さんが小学生になった時に気になることや不安なこと（主なものを抜粋）>

#### 【児童クラブについて】

- ・ 定員や利用できるか不安。
- ・ 3年生以降は難しいと聞いていて不安。
- ・ 3年生以降の長期休暇に8時間も一人で家においておくのは怖い。
- ・ 仕事の時だけでいいので預かってほしい。

#### 【通学時の安全について】

- ・ 自転車と子どもが同じ歩道を通行する場面が多く見られ、危険。
- ・ 通学路が狭い。ガードレールを設置してほしい。
- ・ 通学路に側溝が多い。

#### 【仕事との関係】

- ・ 下校時間が早い事が多く、仕事をしながら育児ができるか不安。
- ・ 三人の子どもが保育園、幼稚園、小学校に通うようになることを想像するだけで不安。
- ・ 台風など、急に学校が休みになった時に職場を休むことができるか不安。
- ・ 今の働き方だと、子どもと関わる時間がなくなってしまう。
- ・ 小学校に通い始めても働き続けられるのか、不安。
- ・ 時短勤務を希望したいが、職場の周りの目も気になる。

一方、周南市の子ども・子育て支援に関する意見について、自由記述欄において、合計 363 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

**<周南市の子ども・子育て支援に関する意見（主なものを抜粋）>**

**【保育園について】**

- ・ 子どもが1歳までしか育休が取れない。
- ・ 年度途中だと保育所に入れなため、職場復帰の時期が4月になる。
- ・ 育休中に支払われるお金が増えればありがたい。
- ・ 第一子が小学校に入学すると第2子の保育料が全額かかることは不公平。
- ・ きょうだいの歳の差関係なく第2子以降は保育料半額にしてほしい。
- ・ 子育て支援センターより保育所に入れるように力を入れてほしい。
- ・ 育休を取りたくても取れなかったので、保育所に入るのが大変だった。
- ・ 今、二人の子どもがいるが、同じ保育所に入れたいけれど、入れられるか不安。

**【子育て支援センターについて】**

- ・ 土・日、午前・午後ともに利用可としてほしい。
- ・ 支援センターの開所日を増やし、混雑を解消してほしい。
- ・ 土曜日が休館となるので遊び場に困る。
- ・ 就園後に利用できないため、歳の差兄弟の場合、遊べる施設が減る。

**【遊び場について】**

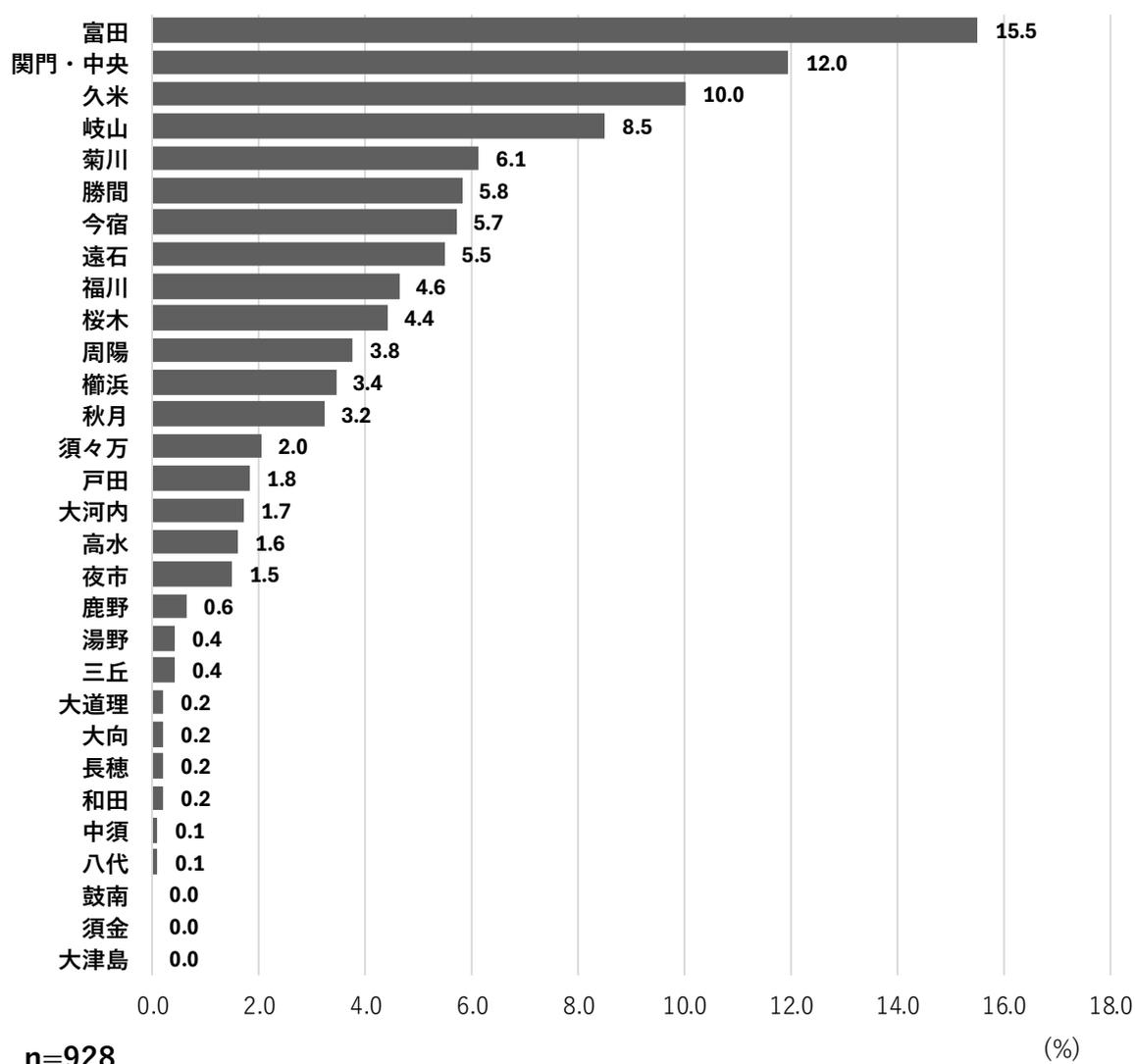
- ・ 山間部にアスレチックのような遊びができる施設を誘致してほしい。
- ・ 子どもが外遊びできる場所、特に自然の中で遊べる場所を作ってほしい。
- ・ 休日に子どもを遊ばせる施設を増やしてほしい。
- ・ 防府のメバル公園、長門市総合公園、玖珂総合公園等のような子どもの遊び場がほしい。
- ・ 雨天時に遊べる施設（キッズランドUS等）がほしい。
- ・ 雨天時に、公民館の講堂のような広い空間を開放してほしい。
- ・ 下関にある「モーヴィー」を徳山のボートレース場にも作ってほしい。
- ・ 徳山ボートレース場の「あそらぼ」はよく参加する。
- ・ 北九州市の「元気のもり」や「子どもの館」のような安心して遊べる無料の施設がほしい。

### Ⅲ 小学校児童保護者対象調査結果

#### 1 お子さんのご家族の状況について

問1 お子さんのお住まいの地区はどちらですか。(SA)

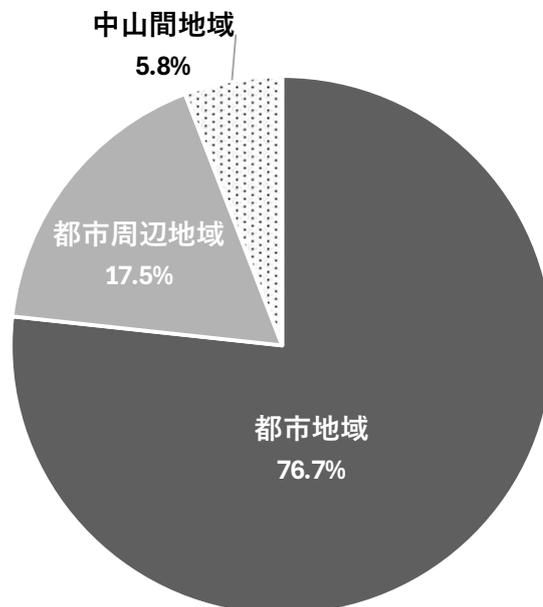
「富田」が15.5%で最も高くなっています。次いで「関門・中央」が12.0%、「久米」が10.0%で続いています。



問1 教育・保育提供区域 (SA)

---

「都市地域」が76.7%、「都市周辺地域」が17.5%、「中山間地域」が5.8%となっています。

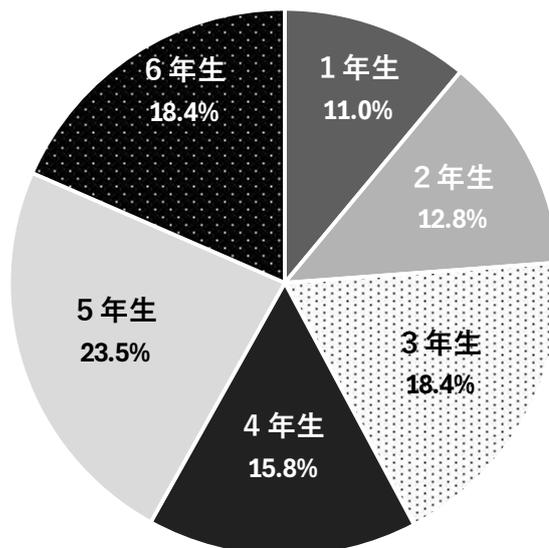


n=928

問2 お子さんは何年生ですか。(SA)

---

「5年生」が23.5%で最も高くなっています。次いで「3年生」と「6年生」が18.4%が続いています。

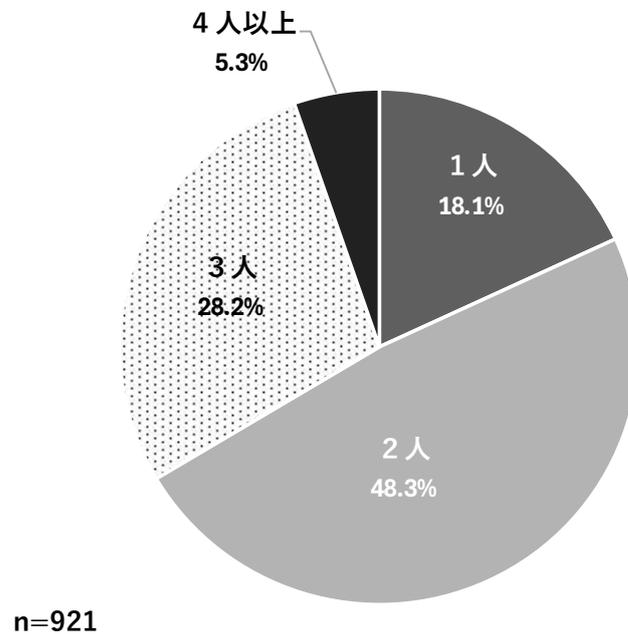


n=928

問 3A お子さんは何人いますか。(数量)

---

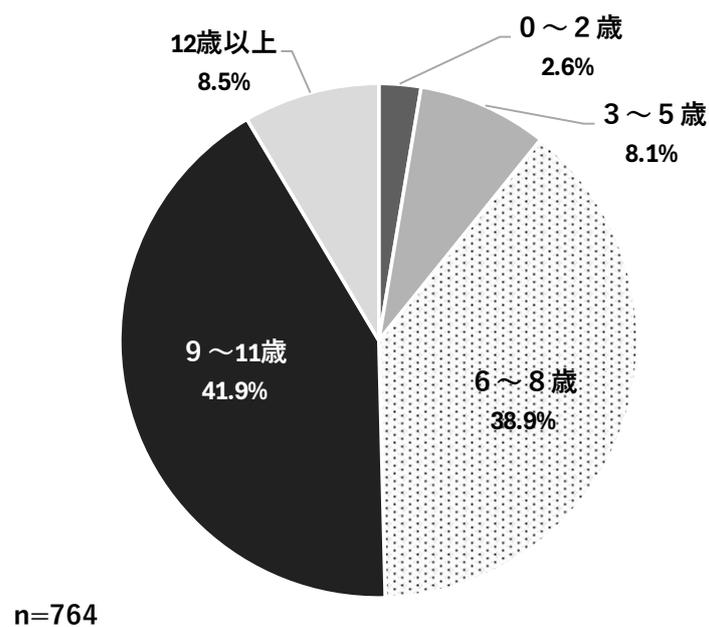
「2人」が48.3%で最も高くなっています。次いで「3人」が28.2%、「1人」が18.1%が続いています。



問 3B 2人以上いる場合、末子の年齢(令和6年1月1日現在の年齢)をご記入ください。  
(数量)

---

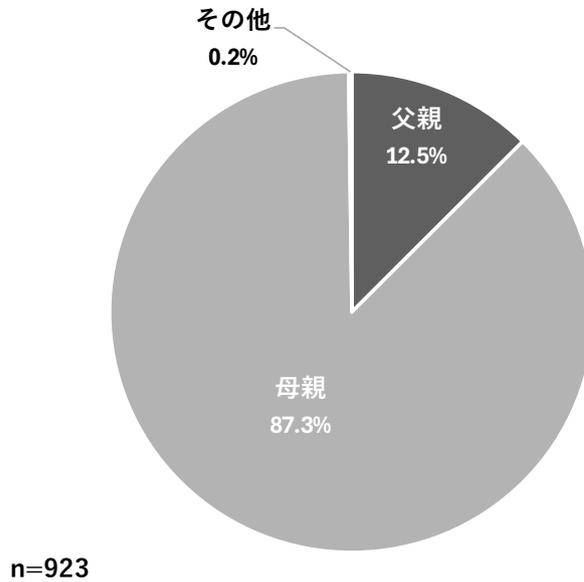
「9～11歳」が41.9%で最も高くなっています。次いで「6～8歳」が38.9%、「12歳以上」が8.5%が続いています。



問4 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。(SA)

---

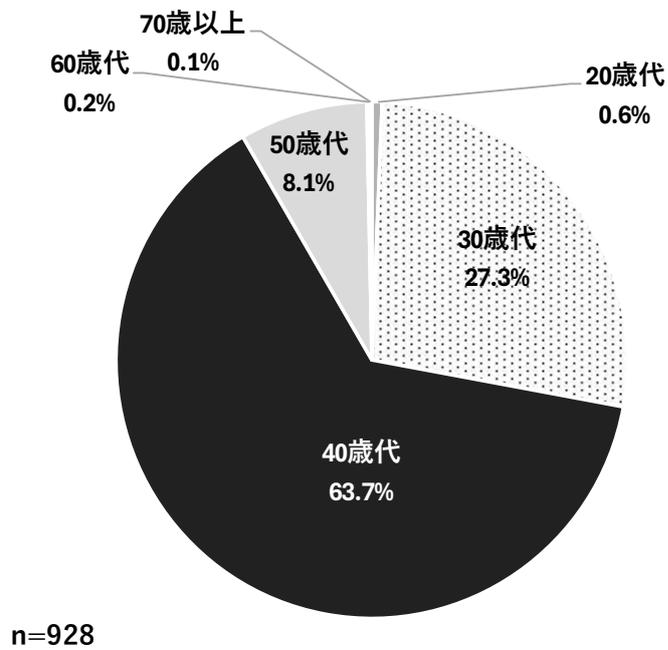
「母親」が87.3%を占めています。



問5 あなたの年齢を教えてください。(SA)

---

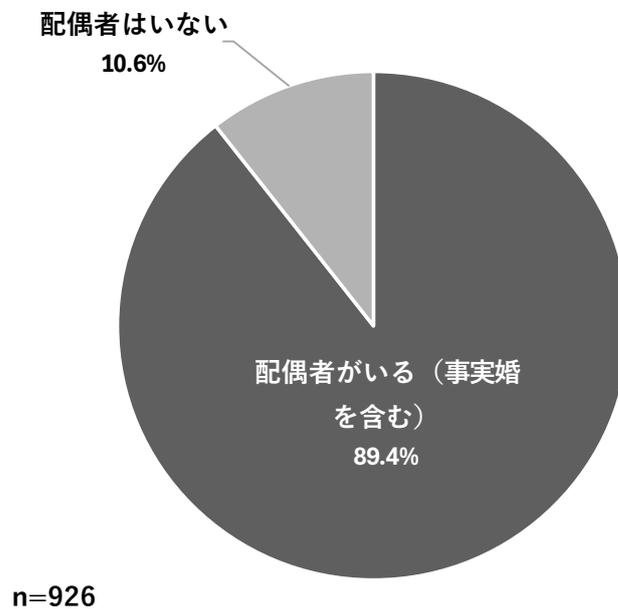
「40歳代」が63.7%で最も高くなっています。次いで「30歳代」が27.3%が続いています。



問6 あなたに配偶者はいますか。(SA)

---

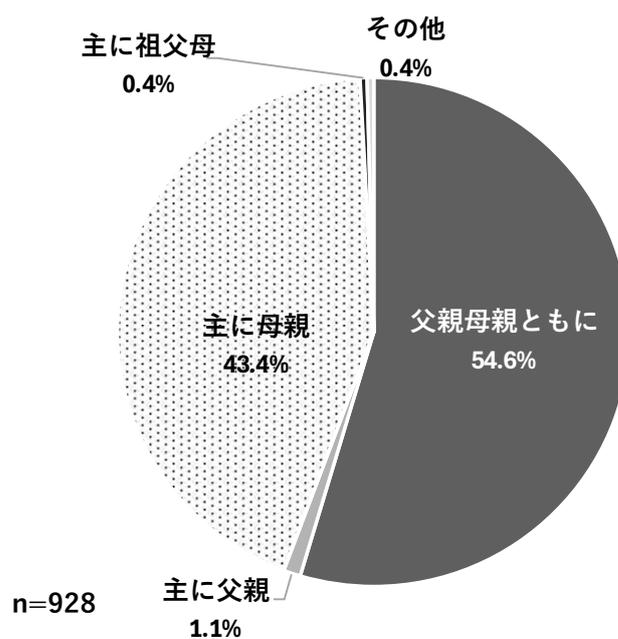
「配偶者がいる(事実婚を含む)」が89.4%を占めています。



問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(SA)

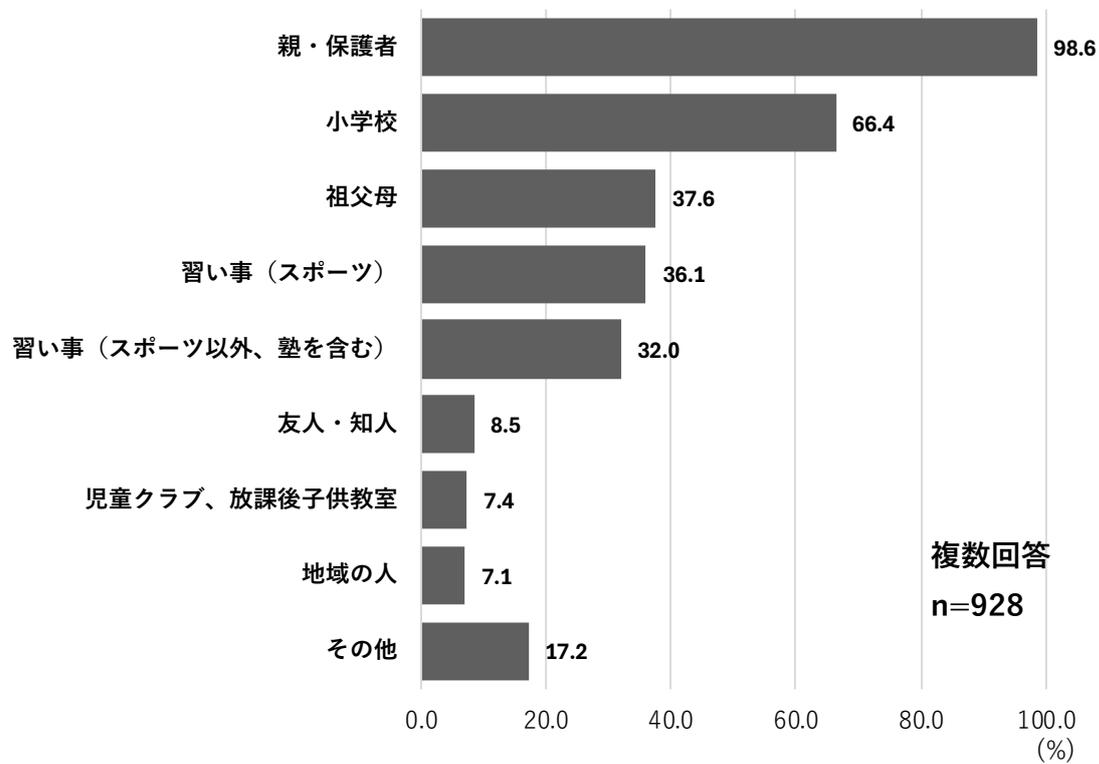
---

「父親母親ともに」が54.6%で最も高くなっています。次いで「主に母親」が43.4%が続いています。



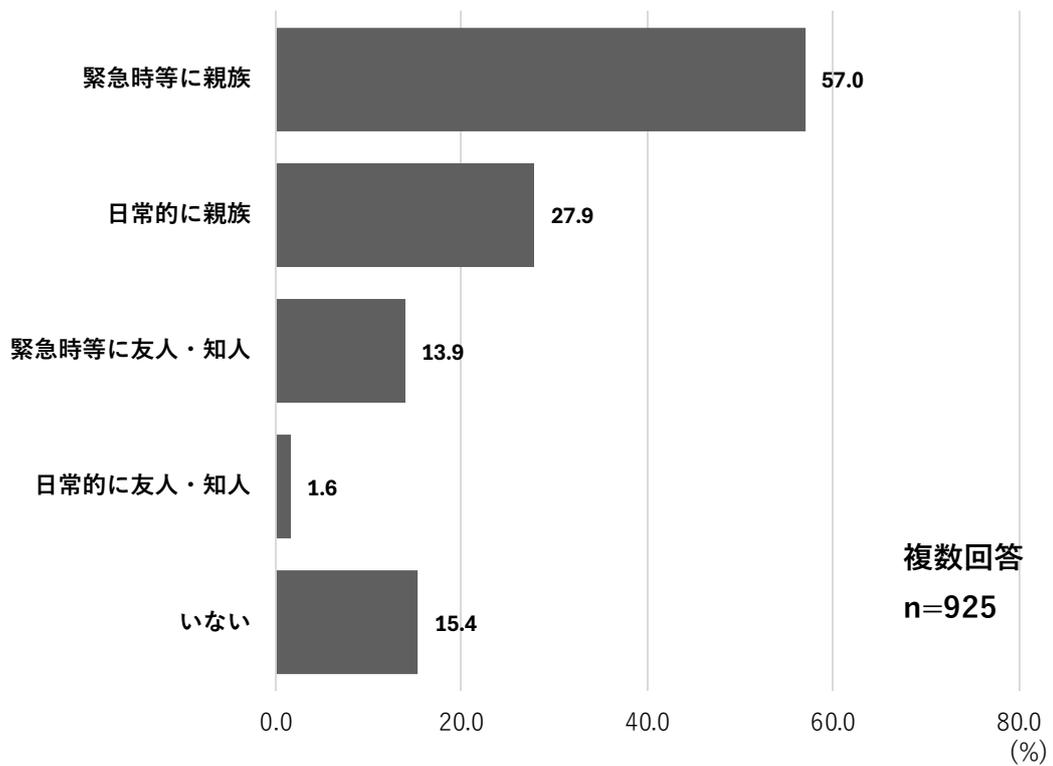
問 8 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方は誰(どこ)ですか。(MA)

「親・保護者」が98.6%で最も高くなっています。次いで「小学校」が66.4%、「祖父母」が37.6%で続いています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.0%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.9%、「いずれもない」が15.4%が続いています。



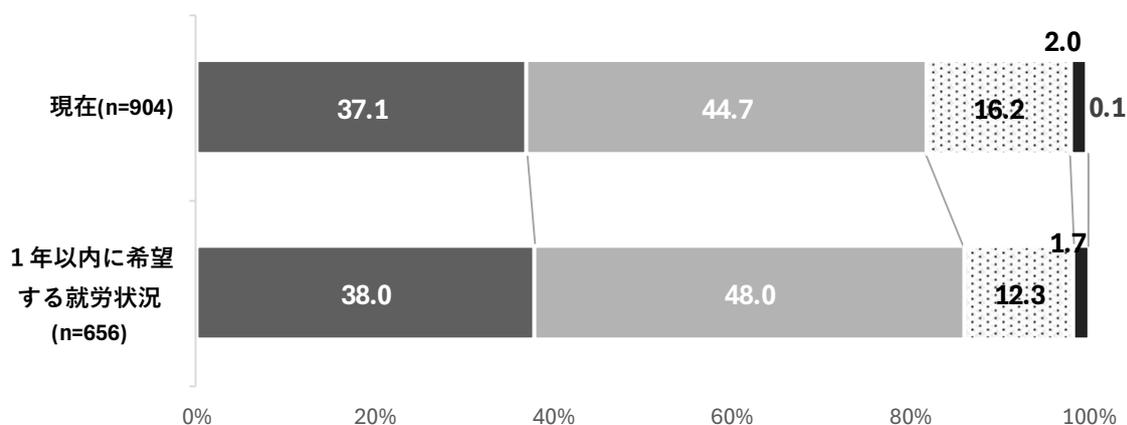
## 2 保護者の就労状況について

問 10① 保護者の『現在の就労状況』を教えてください。(SA)

② 保護者の『1年以内に希望する就労状況』を教えてください。(SA)

現在の就労では「1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている」が44.7%で最も高くなっています。次いで「2人ともフルタイムで働いている」が37.1%が続いています。

1年以内に希望する就労状況は「1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている」が48.0%で最も高くなっています。次いで「2人ともフルタイムで働いている」が38.0%が続いています。



- 2人ともフルタイムで働いている
- 1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている
- ▨ 1人はフルタイム又はパートで働いていて、1人は働いていない
- 2人ともパートタイムで働いている
- 2人とも働いていない

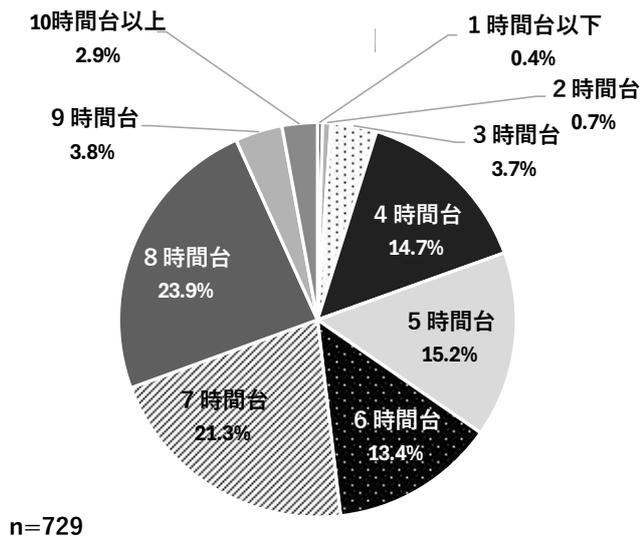
問 10 の①で「現在働いている」を選んだ方におうかがいします。

問 10 - 1 ①A 『母親』は 1 日平均何時間働いているかをご記入ください。(数量)

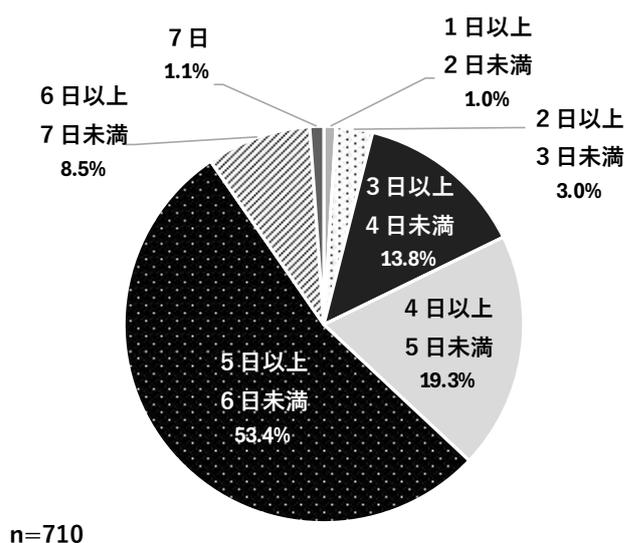
①B 『母親』は週何日働いているかをご記入ください。(数量)

就労時間は「8 時間台」が 23.9%、就労日数は「5 日以上 6 日未満」が 53.4%で最も高くなっています。

【1 日平均就労時間】

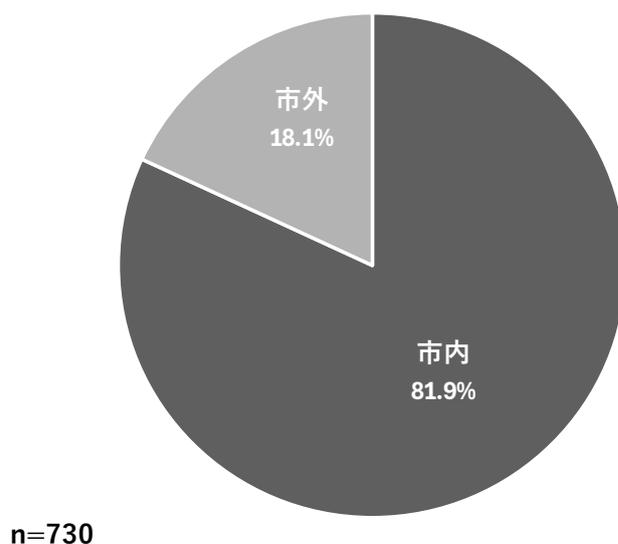


【週当たり就労日数】



問 10 - 1 ①C 『母親』は市内・市外のどちらで働いているかをご記入ください。(SA)

「市内」が 81.9%を占めています。

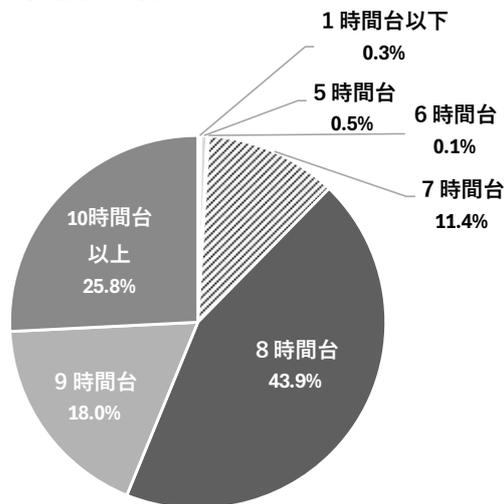


問 10-1 ②A 『父親』は1日平均何時間働いているかをご記入ください。(数量)

②B 『父親』は週何日働いているかをご記入ください。(数量)

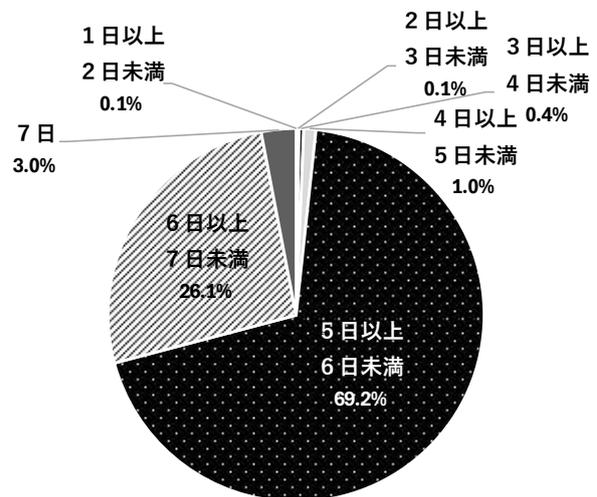
就労時間は「8時間台」が43.9%、就労日数は「5日以上6日未満」が69.2%で最も高くなっています。

【1日平均就労時間】



n=748

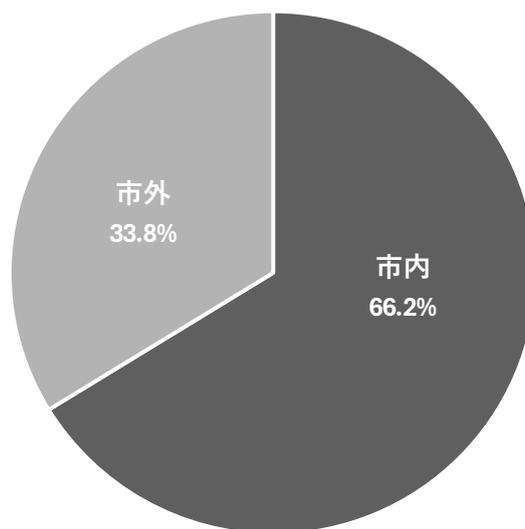
【週当たり就労日数】



n=769

問 10-1 ②C 『父親』は市内・市外のどちらで働いているかをご記入ください。(SA)

「市内」が66.2%を占めています。



n=794

問 10 の②で1年以内の就労希望が「働いていない」を選んだ方におうかがいします。

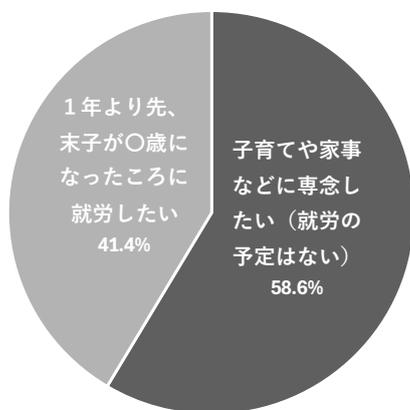
問 10-2 ① 『母親』の1年後以降の就労希望についておうかがいします。(SA)

1年より先、末子が何歳になったところに就労したいですか。(数量)

1年後以降の就労希望は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が58.6%を占めています。

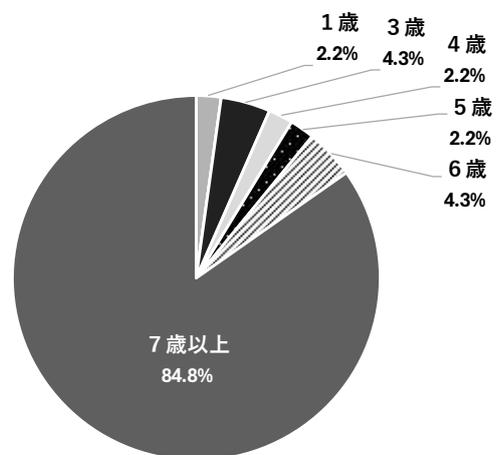
1年より先に就労する場合の末子の年齢は「7歳以上」が84.8%で最も高くなっています。次いで「3歳」と「6歳」が4.3%で続いています。

【1年後以降の就労希望】



n=111

【1年より先に就労を希望するときの末子の年齢】



n=46

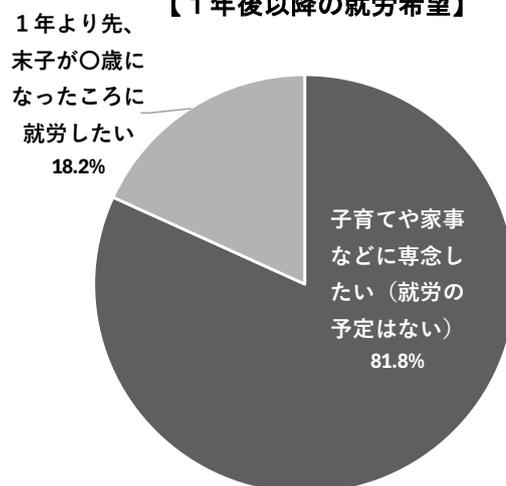
問 10-2 ② 『父親』の1年後以降の就労希望についておうかがいします。(SA)

1年より先、末子が何歳になったところに就労したいですか。(数量)

1年後以降の就労希望は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が81.8%となっています。

1年より先に就労する場合の末子の年齢は、回答のあった2名いずれも「5歳」となっています。

【1年後以降の就労希望】

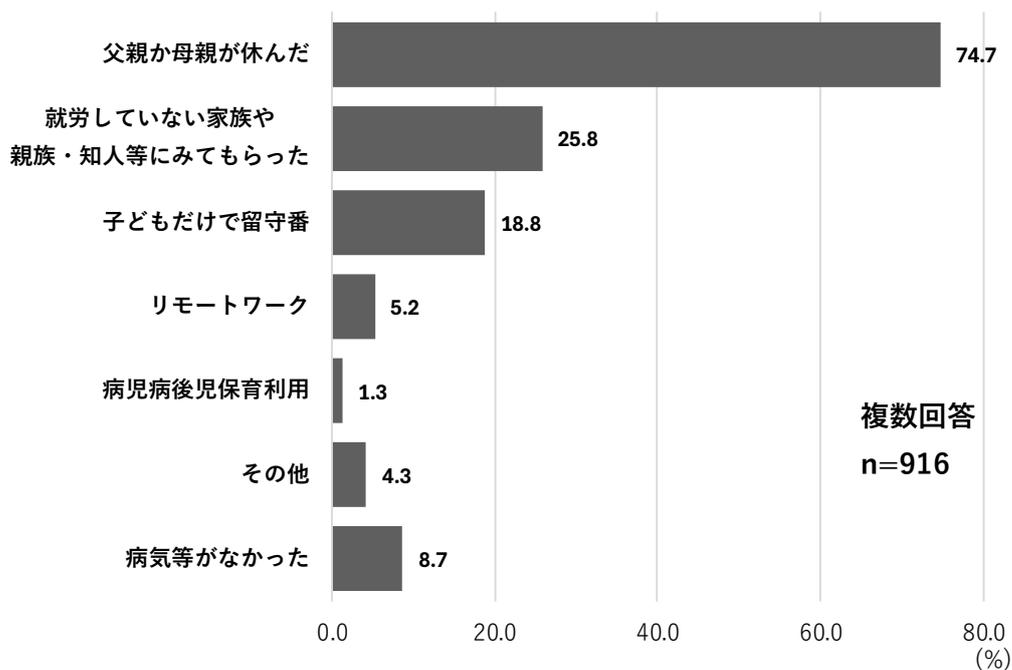


n=11

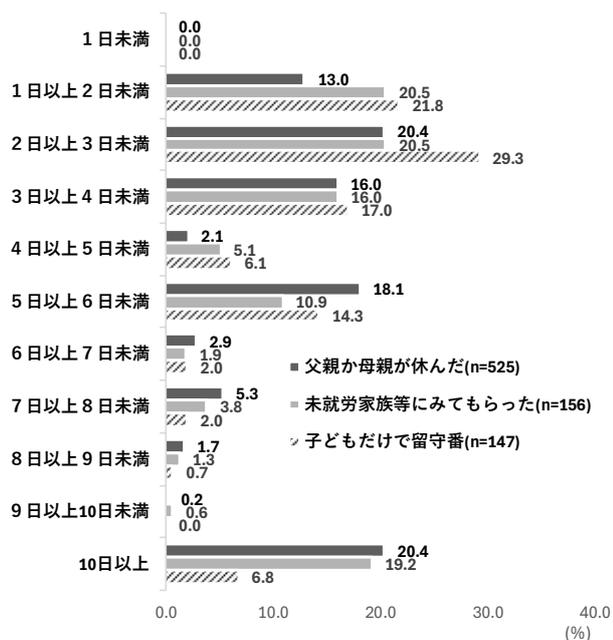
### 3 お子さんが病気の時などの対応について

問 11 お子さんが病気やケガで学校等に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。(MA)

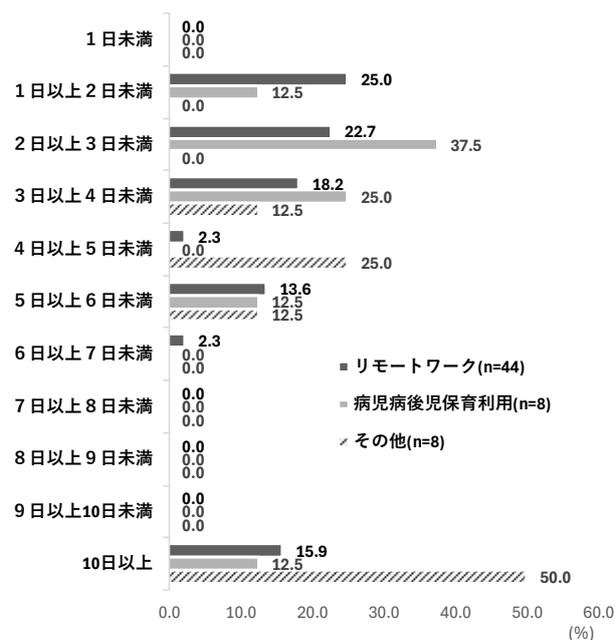
「父親、又は母親が休んだ」が74.7%で最も高くなっています。次いで「就労していない家族や、親族・知人などに子どもをみてもらった」が25.8%、「子どもだけで留守番をさせた」が18.8%で続いています。



【施設等を利用できなかった場合の対処日数】



【施設等を利用できなかった場合の対処日数】

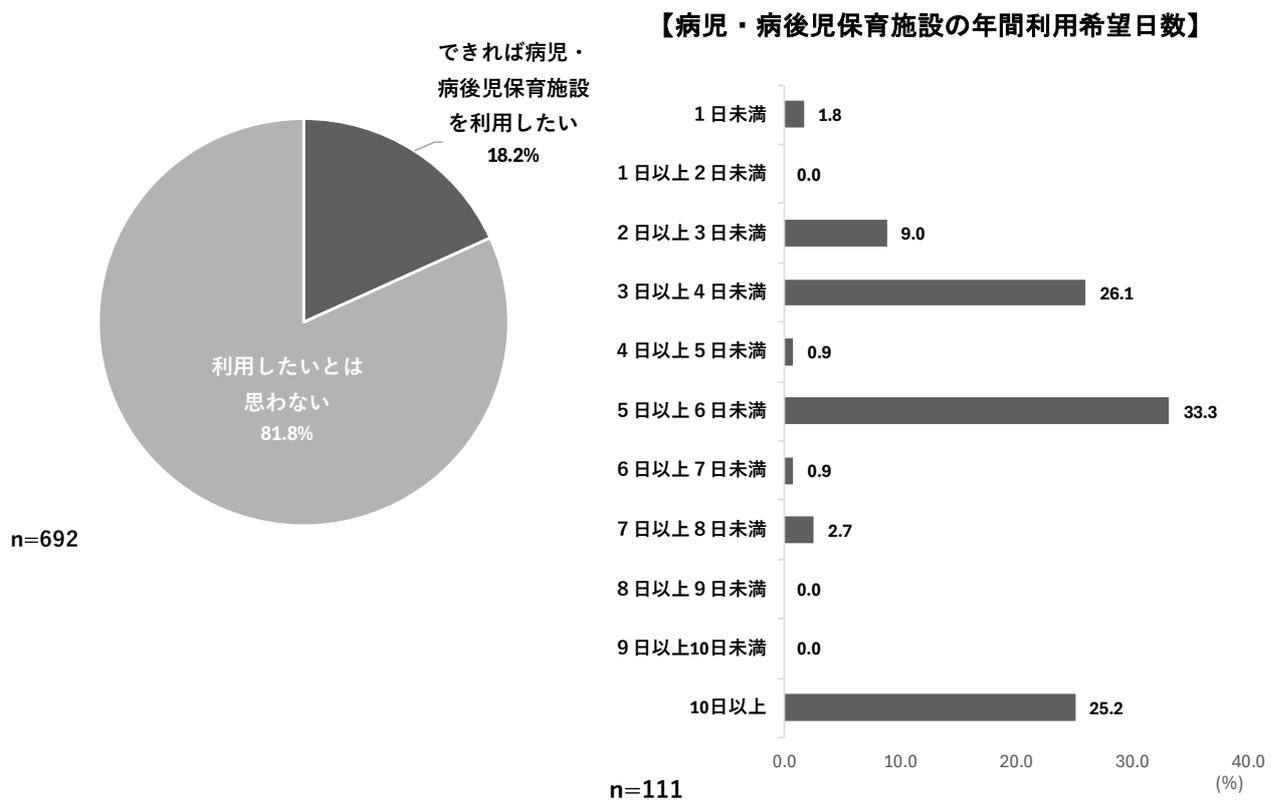


問 11 で「父親、又は母親が休んだ」を選んだ方におうかがいします。

問 11-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いましたか。(SA)

「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」場合、年に何日ですか。(数量)

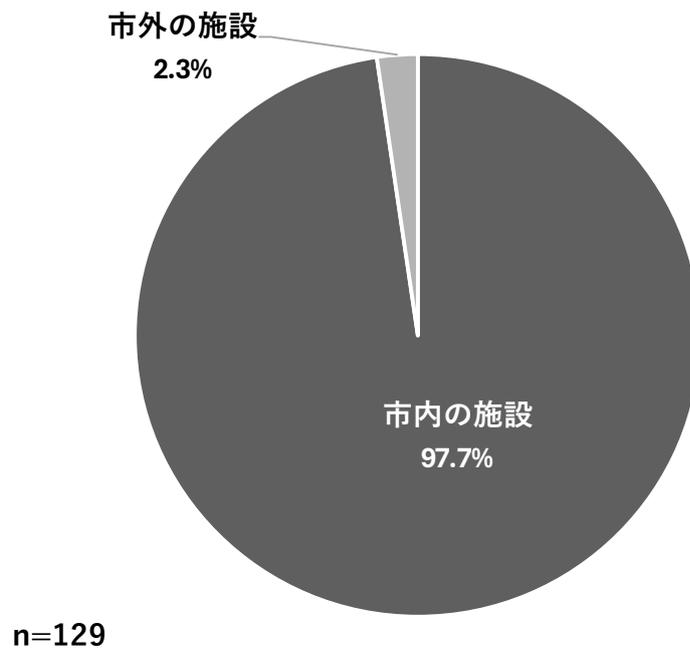
「利用したいとは思わない」が 81.8%、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が 18.2%となっています。



問 11- 1 で「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問 11 - 2 病児・病後児保育施設は、市内・市外のどちらを希望しますか。(SA)

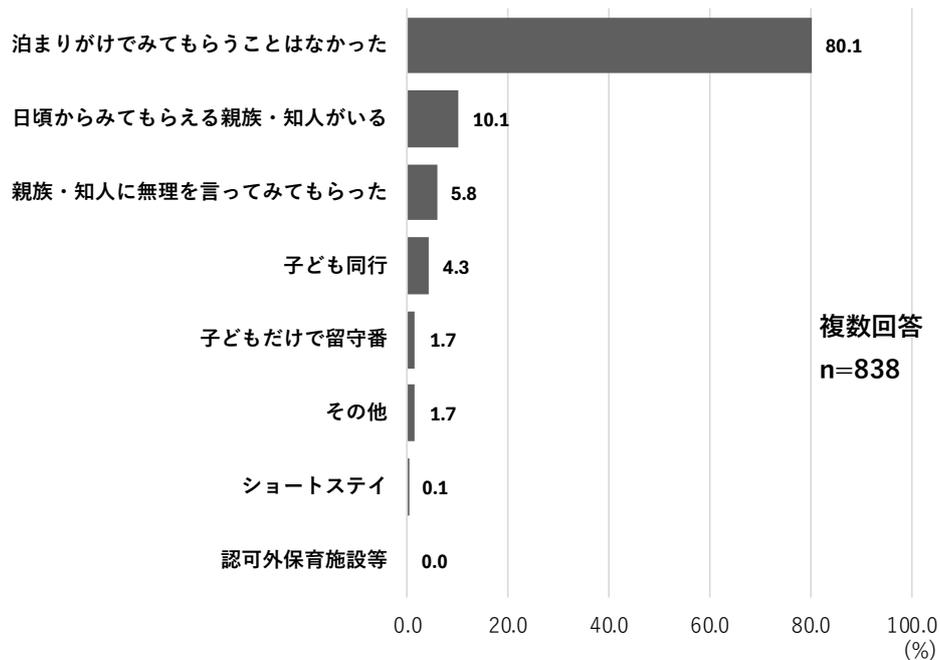
「市内の施設」が 97.7% を占めています。



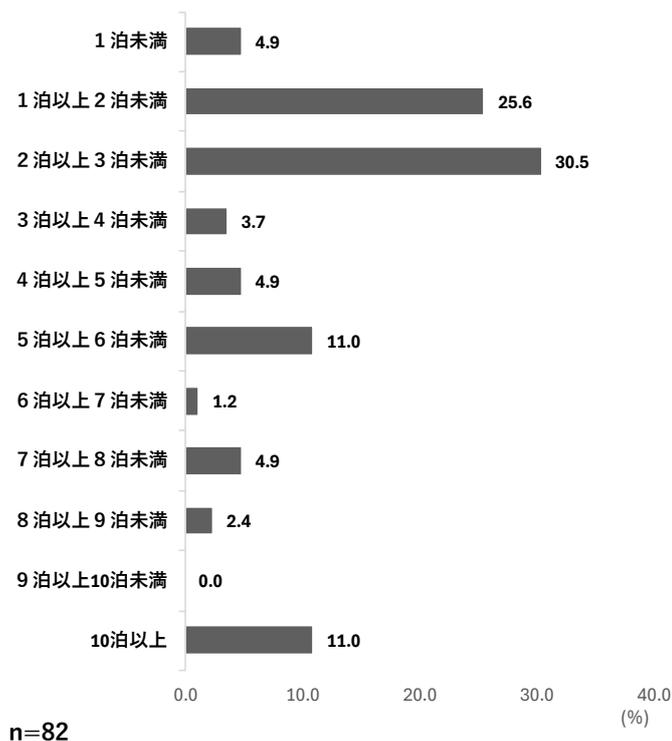
問 12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、お子さんを「泊まりがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(MA)

「泊まりがけでみてもらうことはなかった」が80.1%と最も高くなっています。2番目に多いのは「日頃からみてもらえる親族・知人がいる」の10.1%で、3番目以下は10%未満となっています。

3



【泊まりがけでみてもらった年間泊数】

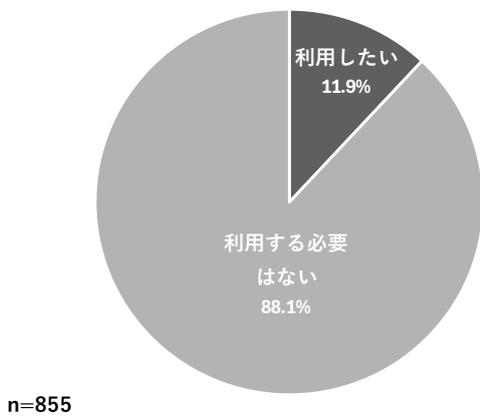


問 13 今後1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。(MA)

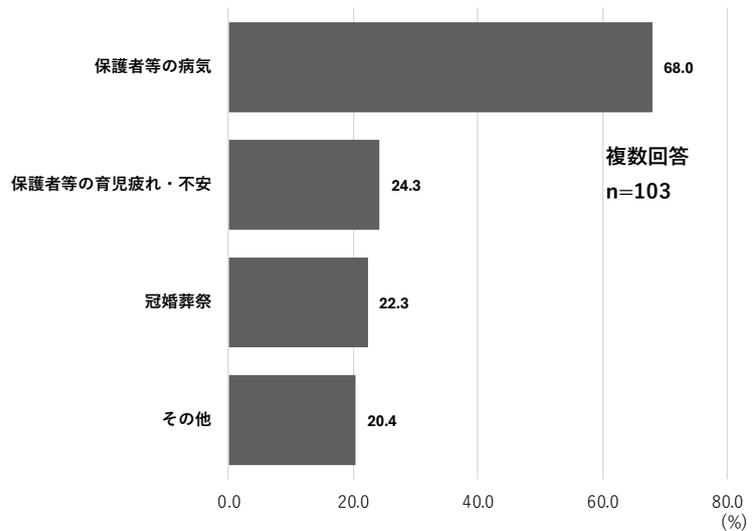
利用希望の有無については、「利用する必要はない」が88.1%、「利用したい」が11.9%となっています。

泊まりがけでみてもらう理由については、「保護者や家族の病気」が68.0%で最も高くなっています。次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が24.3%、「冠婚葬祭」が22.3%で続いています。

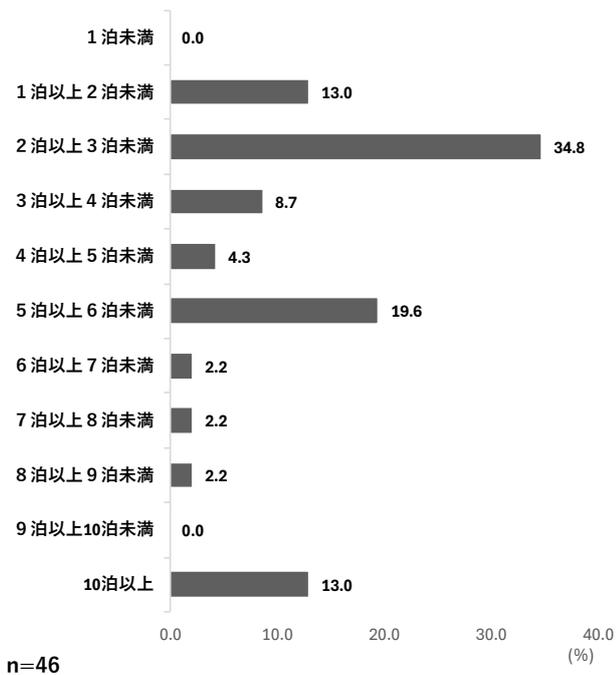
【泊まりがけでみてもらう事業利用希望】



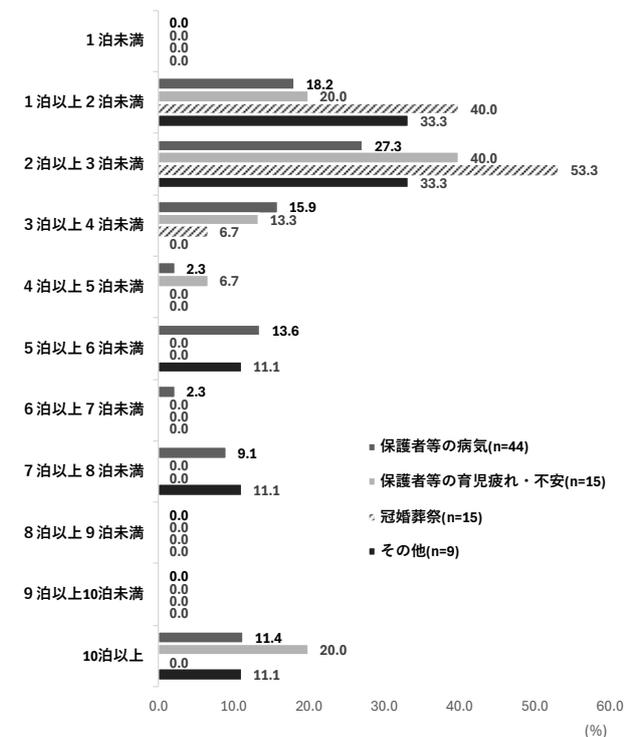
【泊まりがけでみてもらう理由】



【泊まりがけでみてもらう年間泊数】



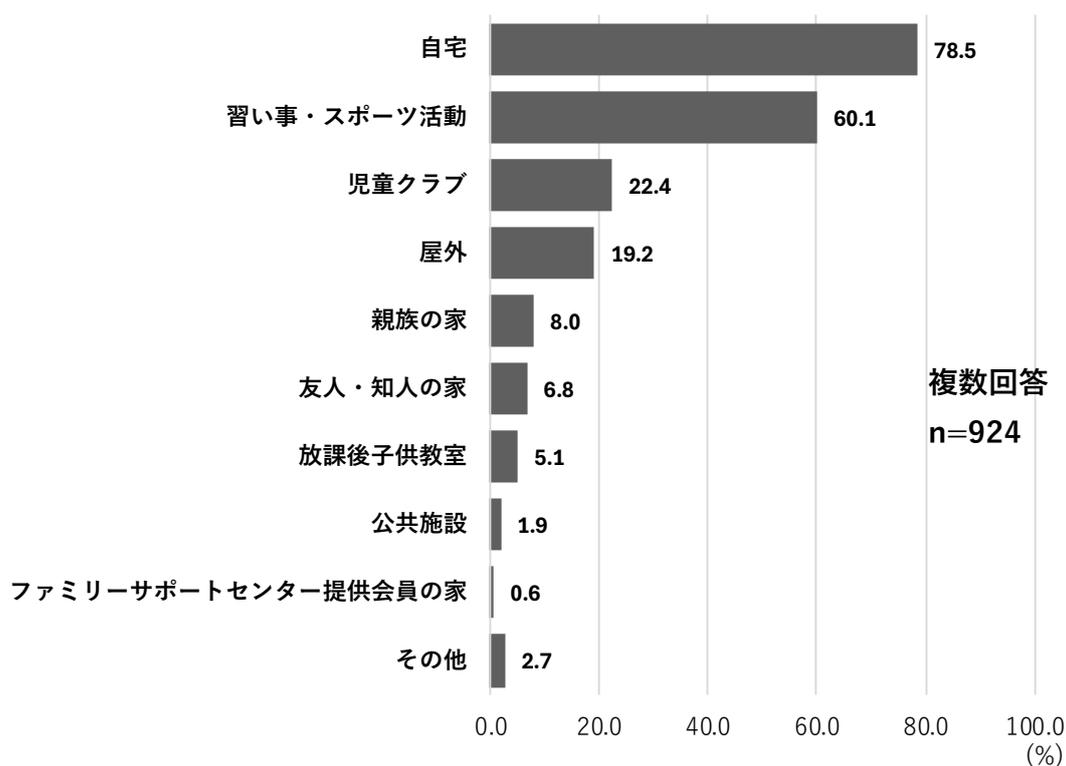
【泊まりがけでみてもらう年間泊数】



## 4 お子さんの放課後の過ごし方について

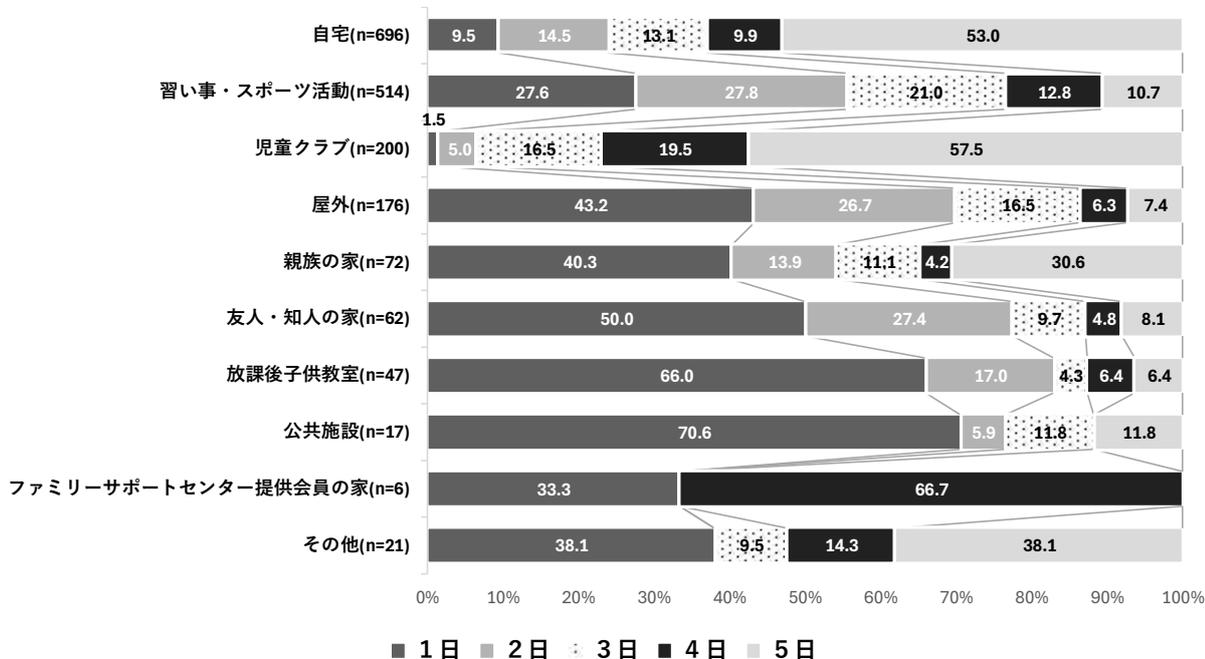
問 14 お子さんは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(MA)

「自宅」の78.5%が最も高く、次いで「習い事・スポーツ活動」の60.1%が高くなっています。「児童クラブ」「公園や校庭などの屋外」が2割程度で続き、他は1割未満となっています。

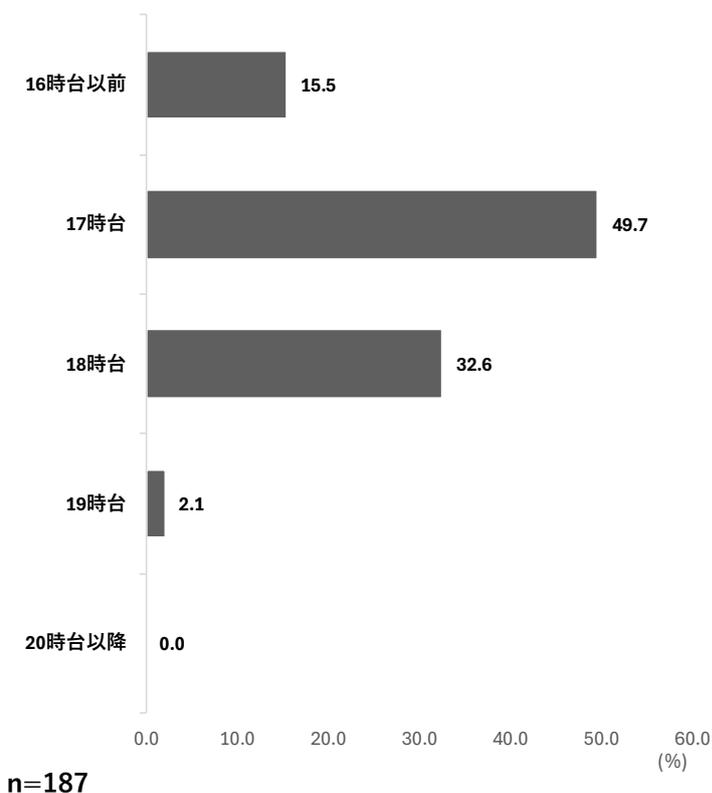


放課後に過ごしている1週間当たりの日数（平日）を場所ごとに尋ねたところ、「児童クラブ」は「5日」が約6割に達し、毎日利用している保護者の多さが窺えます。「自宅」については、「5日」が53.0%となっています。

【放課後の過ごし方（場所別日数）】

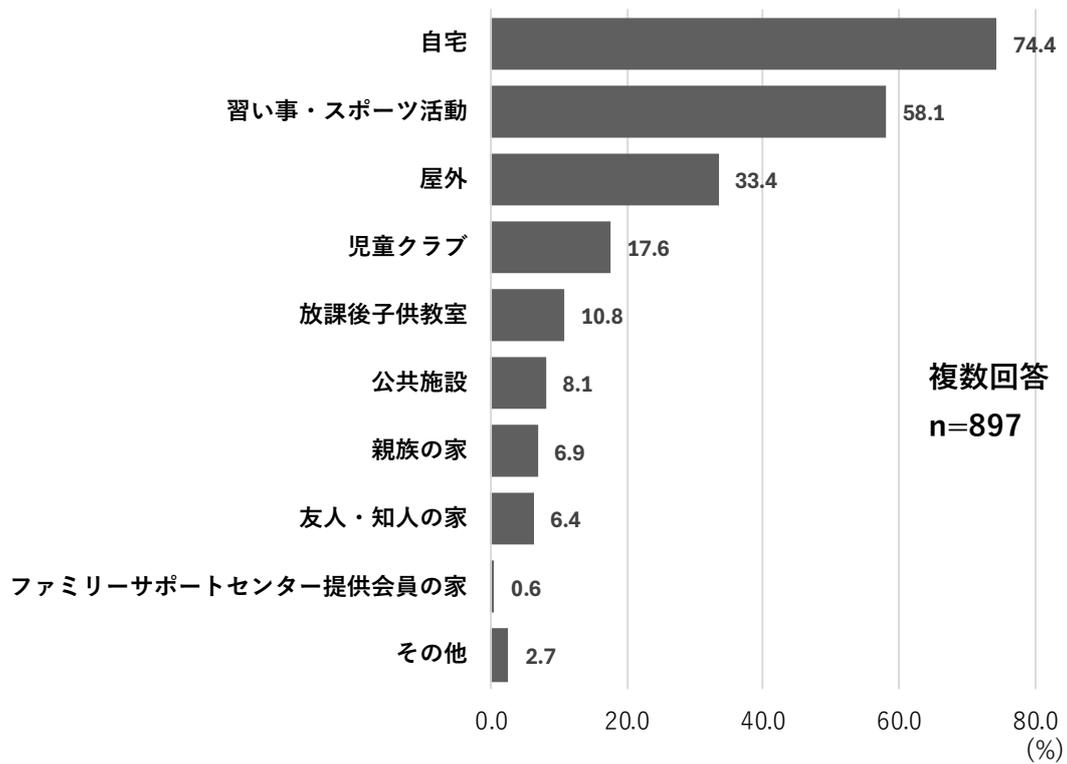


【児童クラブ利用終了時間】



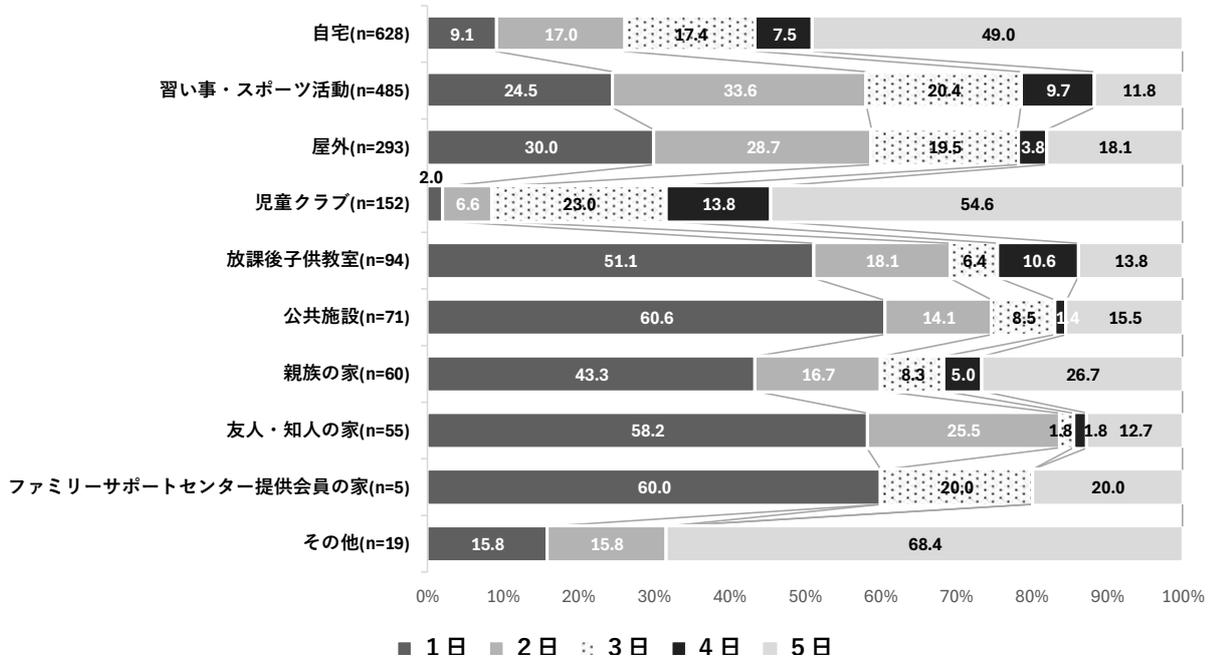
問 15 お子さんを、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。(MA)

「自宅」が74.4%で最も高くなっています。次いで「習い事・スポーツ活動」が58.1%、「公園や校庭などの屋外」が33.4%が続いています。

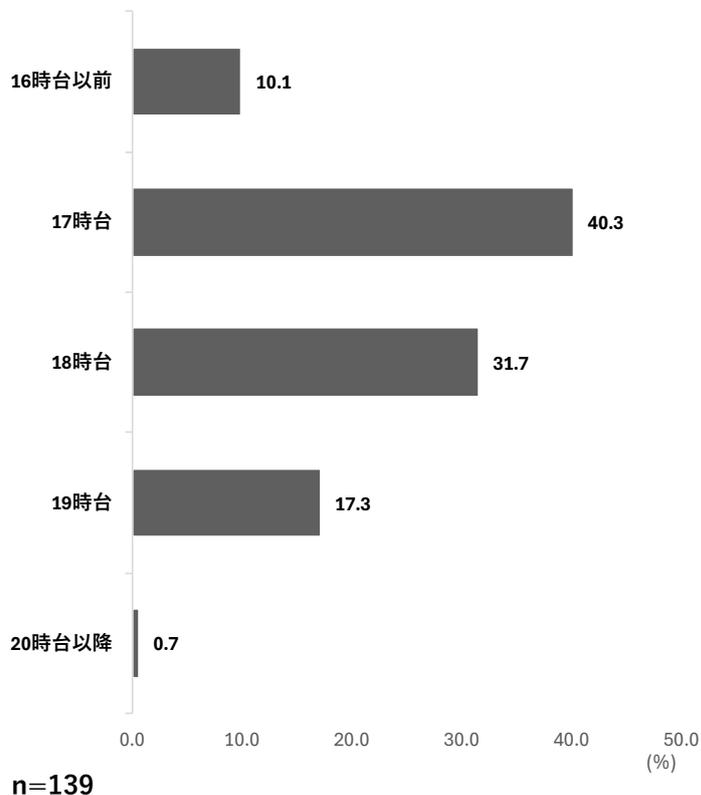


放課後に過ごさせたい1週間当たりの日数（平日）を希望場所ごとに尋ねたところ、「児童クラブ」は「5日」が過半数に達し、毎日利用したいという保護者の多さが窺えます。「自宅」については、「5日」が49.0となっています。

### 【放課後の過ごし方希望（場所別日数）】



### 【児童クラブ利用希望終了時間】



問 14、15 で「4. 習い事・スポーツ活動」を選択された方におうかがいします。

問 16 具体的に、どのような習い事、スポーツをしていますか。また、させたいと思えますか。(FA)

現在の習い事やスポーツについて自由記述式で尋ねたところ、573 件の回答がありました。これらについて、回答上位 10 項目を抽出したところ、以下の通りとなりました。

**<現在の習い事、スポーツ（件数上位 10 項目）>**

- ・ スイミング・水泳 (154 件)
- ・ 英語・英会話 (134 件)
- ・ ピアノ (92 件)
- ・ 習字・書道 (86 件)
- ・ 公文 (63 件)
- ・ 塾 (56 件)
- ・ サッカー (52 件)
- ・ 空手 (44 件)
- ・ 野球 (35 件)
- ・ 陸上 (34 件)

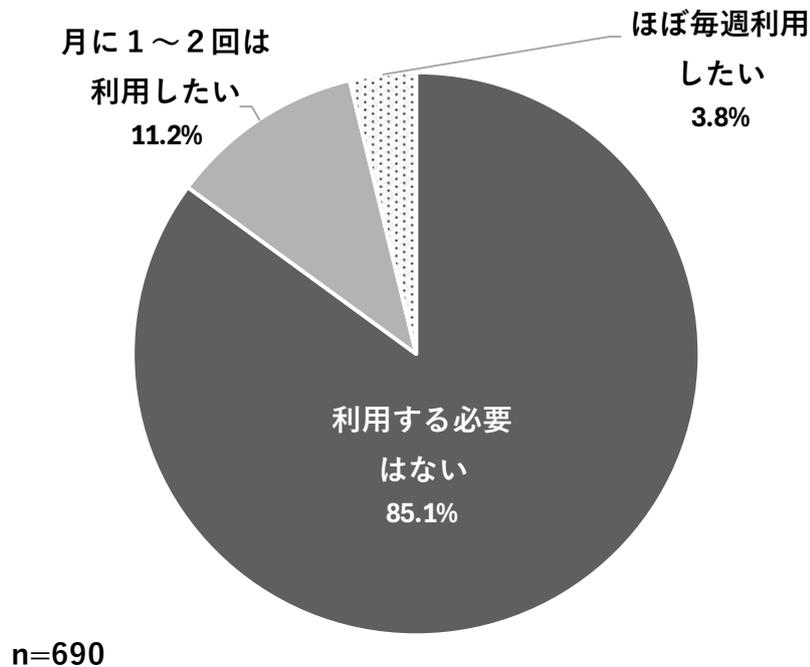
一方、させたい習い事やスポーツについて自由記述式で尋ねたところ、414 件の回答がありました。これらについて、回答上位 10 項目を抽出したところ、以下の通りとなりました。

**<させたい習い事、スポーツ（件数上位 10 項目）>**

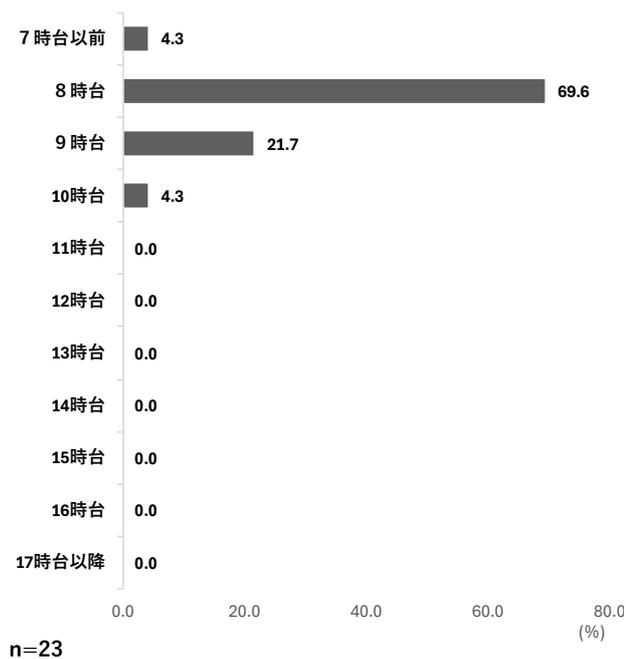
- ・ スイミング・水泳 (74 件)
- ・ 塾 (65 件)
- ・ 英語・英会話 (52 件)
- ・ 習字・書道 (42 件)
- ・ サッカー (37 件)
- ・ ピアノ (29 件)
- ・ 陸上 (27 件)
- ・ 野球 (26 件)
- ・ ダンス (24 件)
- ・ 空手 (21 件)

問 17① 児童クラブについて、『土曜日』の利用希望はありますか。(SA)

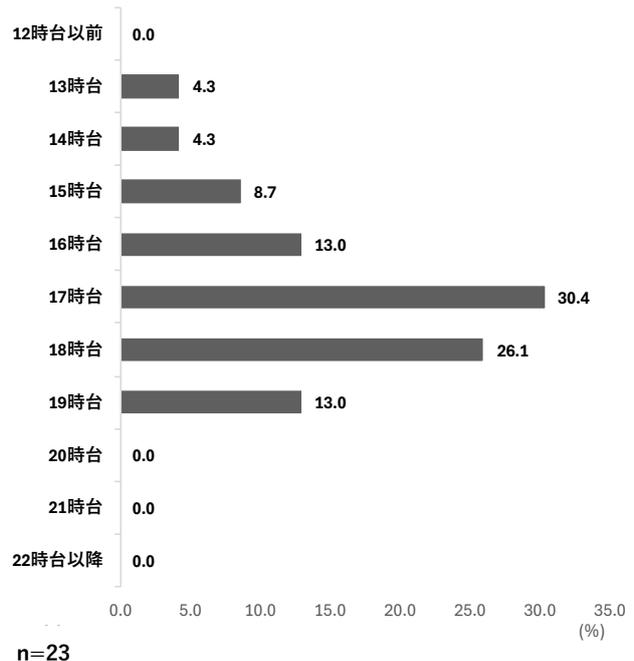
「利用する必要はない」が85.1%と大半を占めています。「月に1～2回は利用したい」が11.2%、「ほぼ毎週利用したい」が3.8%となっています。



【「土曜日にほぼ毎週利用したい」の開始時間】

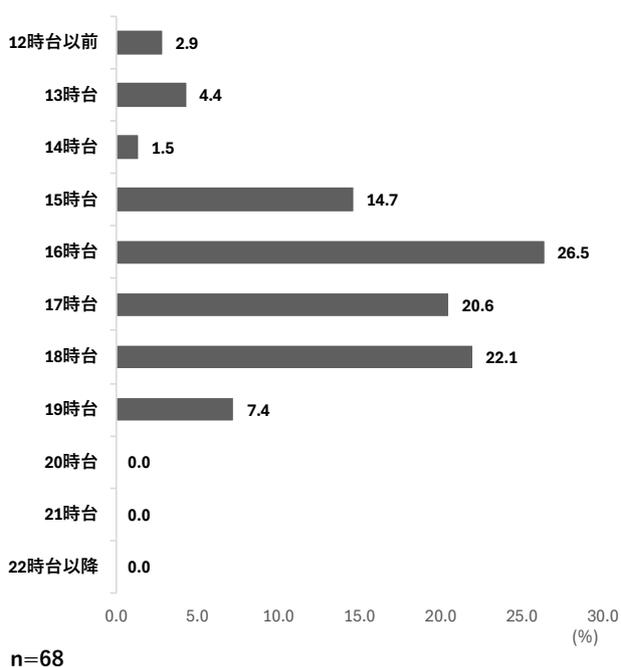
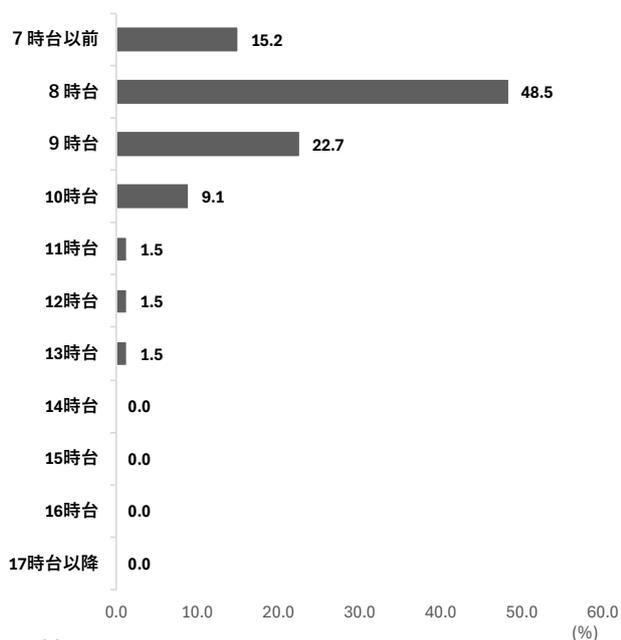


【「土曜日にほぼ毎週利用したい」の終了時間】



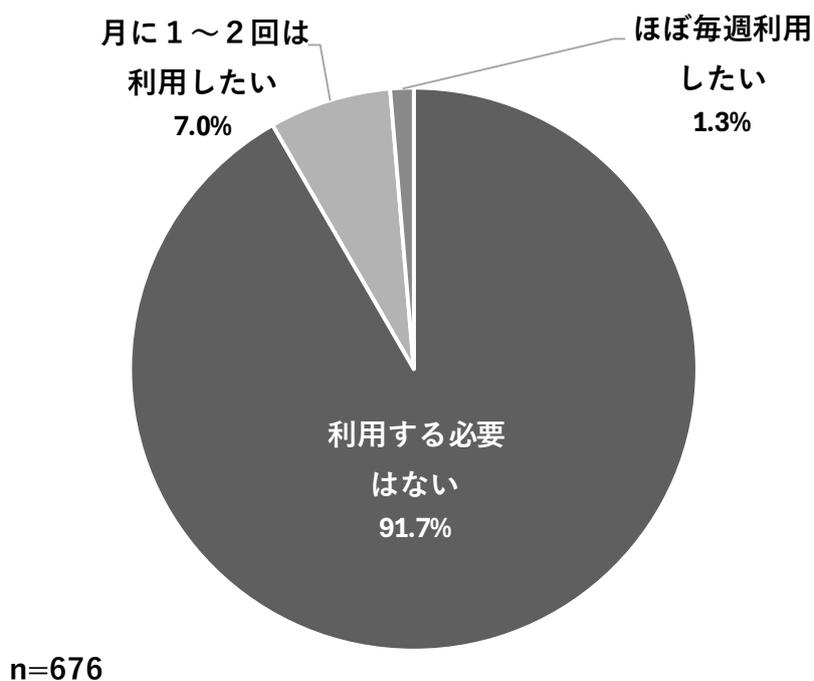
【「土曜日に月1～2回利用したい」の開始時間】

【「土曜日に月1～2回利用したい」の終了時間】

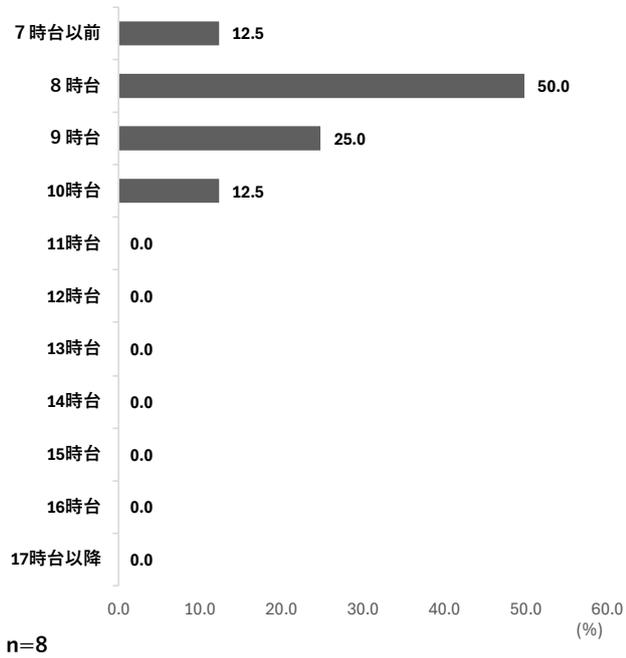


問 17② 児童クラブについて、『日曜日・祝日』の利用希望はありますか。(SA)

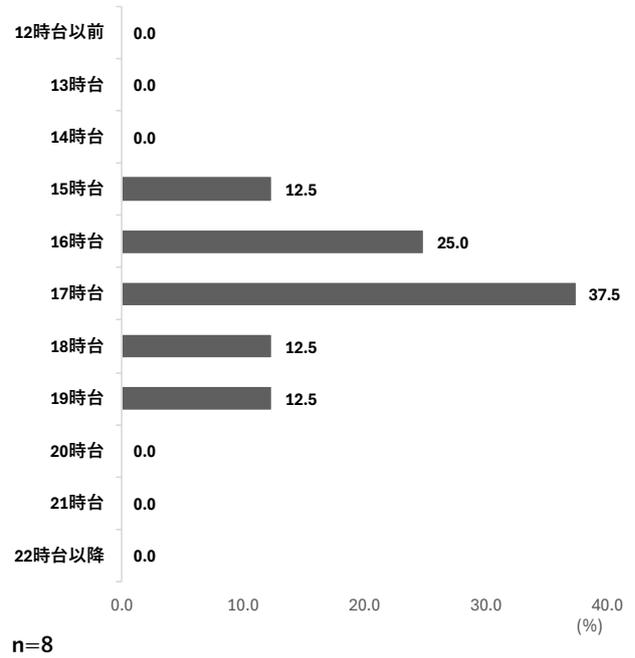
「利用する必要はない」が91.7%、「月に1～2回は利用したい」が7.0%、「ほぼ毎週利用したい」が1.3%となっています。



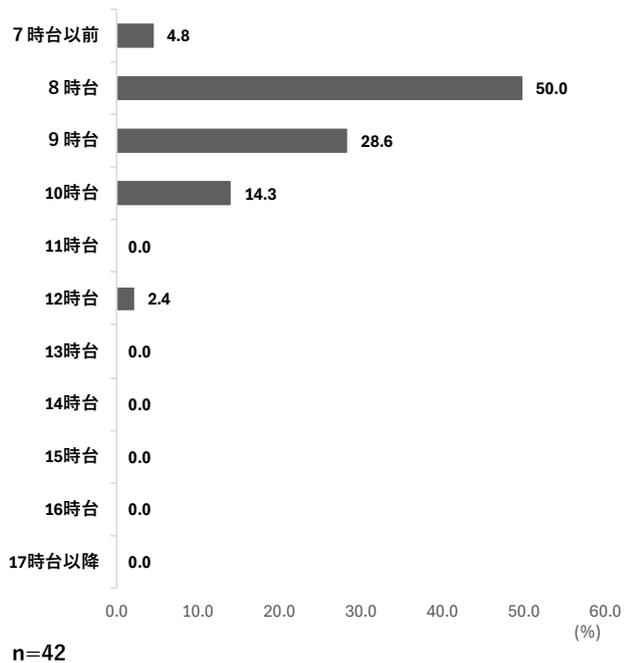
【「日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい」の開始時間】



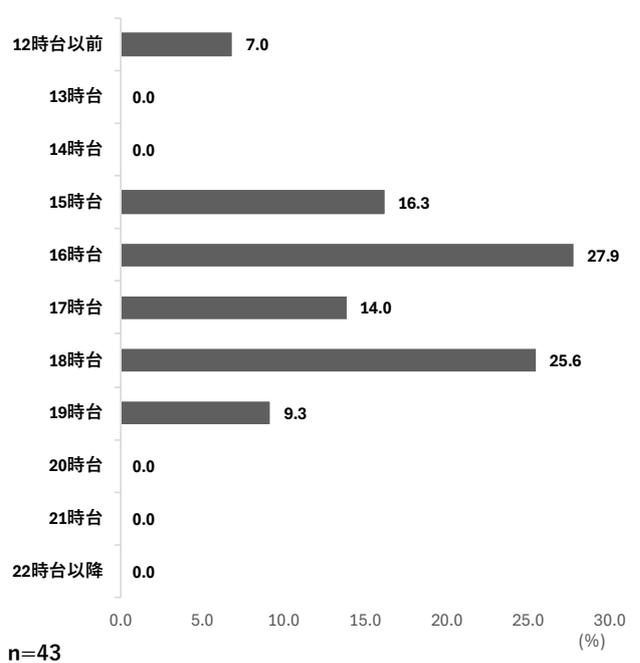
【「日曜日・祝日にほぼ毎週利用したい」の終了時間】



【「日曜日・祝日に月1~2回利用したい」の開始時間】

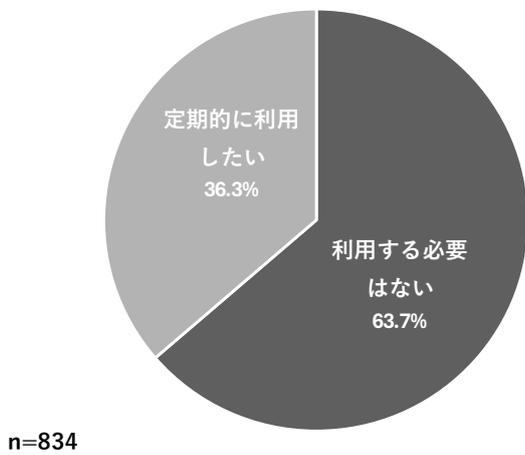


【「日曜日・祝日に月1~2回利用したい」の終了時間】

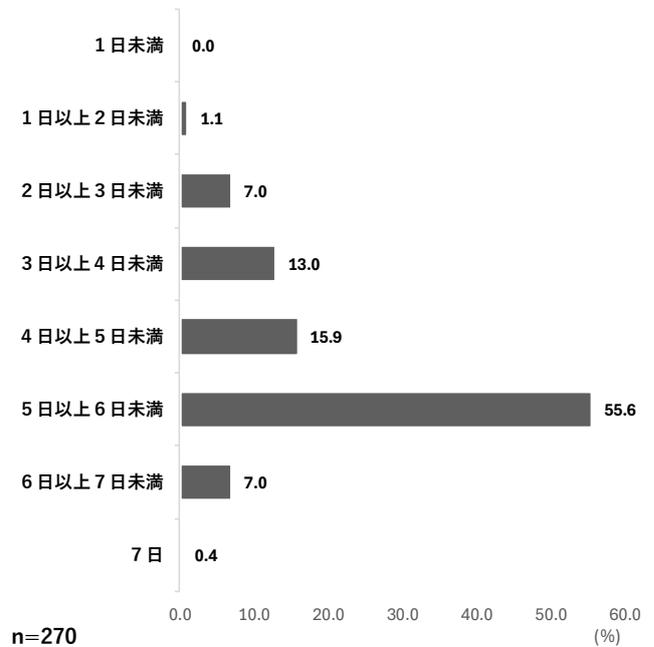


問 17③ 児童クラブについて、『小学校の長期休暇中』の利用希望はありますか。(SA)

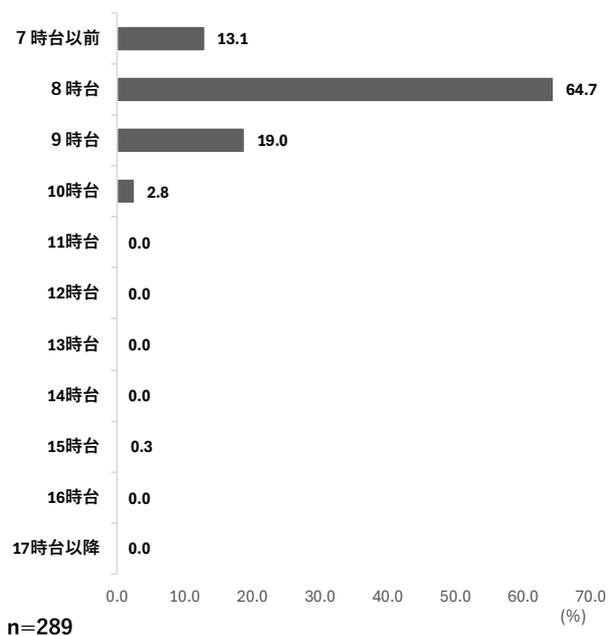
「利用する必要はない」が63.7%、「定期的に利用したい」が36.3%となっています。



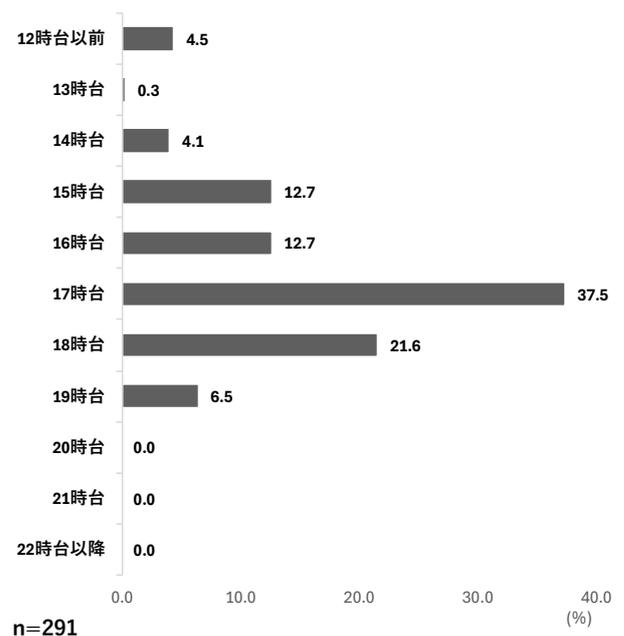
【「長期休暇中に利用したい」の週希望利用日数】



【「長期休暇中に利用したい」の開始時間】



【「長期休暇中に利用したい」の終了時間】



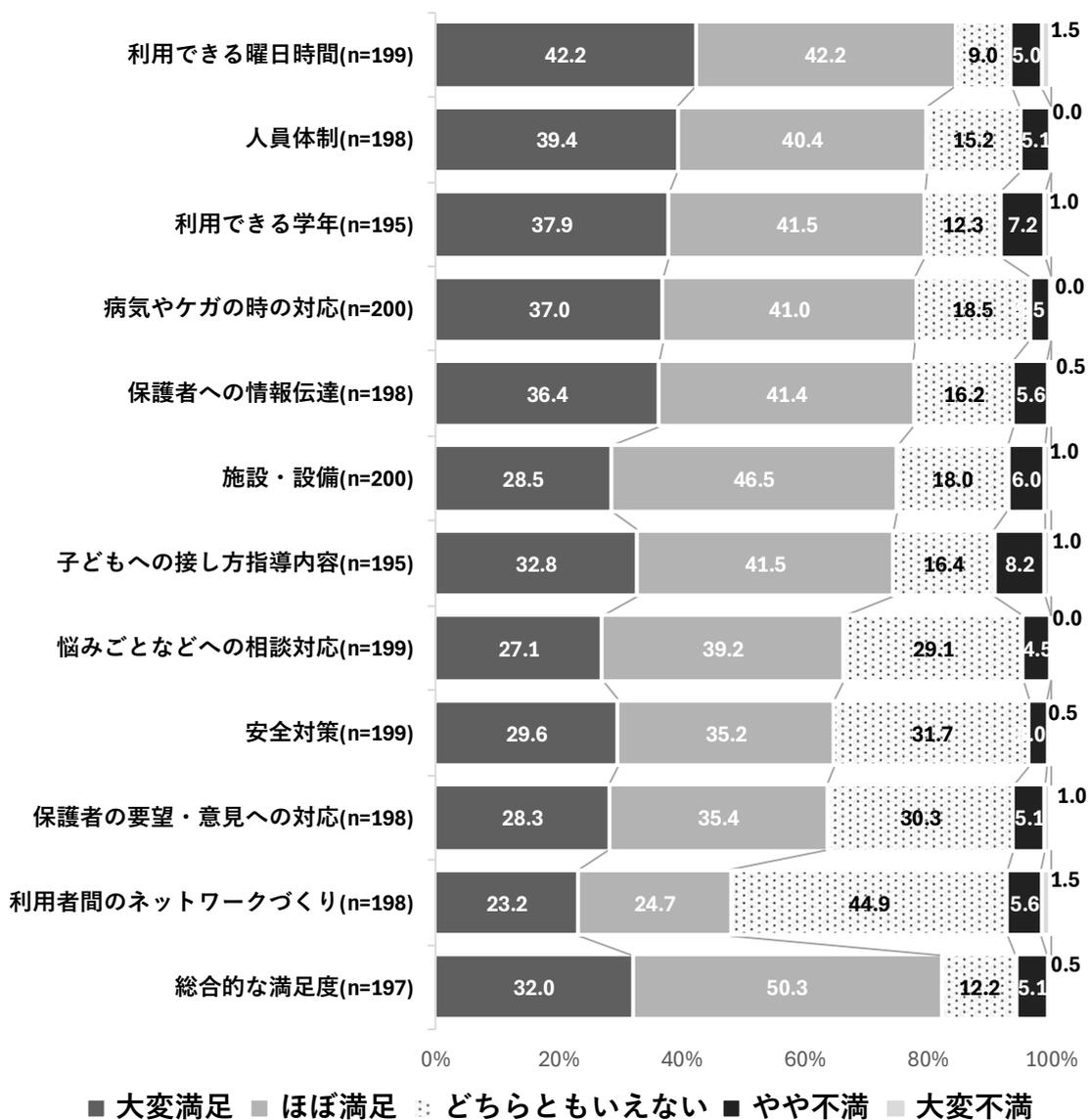
問 14 で「児童クラブ」を選んだ方におうかがいします。

問 18 現在通っている児童クラブに対してどのように感じていますか。(SA)

「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合の高い項目は、「利用できる曜日や時間」が 84.4%、「職員などの配置状況(人員体制)」が 79.8%、「利用できる学年」が 79.4%の順に高くなっています。

「やや不満」と「大変不満」を合わせた割合の高い項目は、「子どもへの接し方・指導内容」が 9.2%、「利用できる学年」が 8.2%、「利用者間のネットワークづくり」が 7.1%の順に高くなっています。

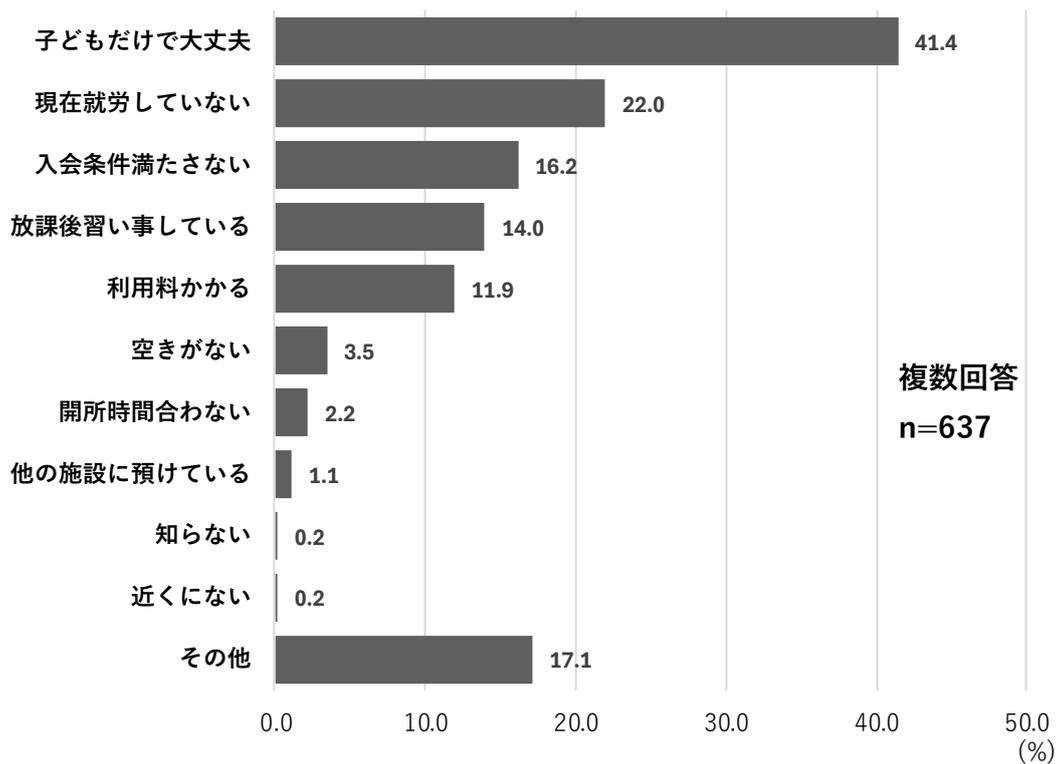
なお、総合的な満足度については、「大変満足」が 32.0%、「ほぼ満足」が 50.3%で、合計すると 8 割超が満足しているとの結果になりました。



問 14・15 のいずれでも「児童クラブ」を選択しなかった方におうかがいします。

問 19 児童クラブを利用していない理由を教えてください。(MA)

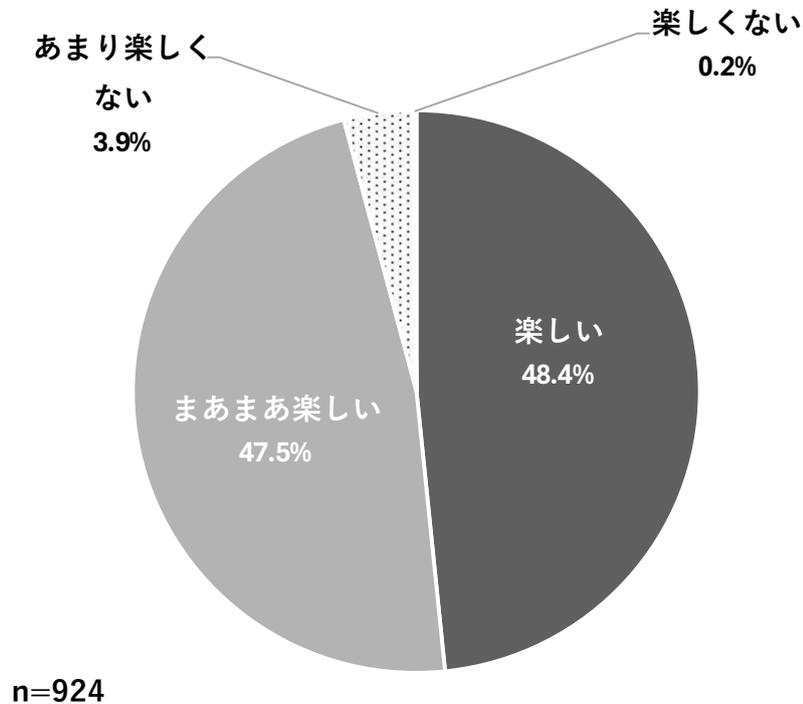
「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が41.4%で最多となっています。次いで、「現在就労していないから」が22.0%、「就労しているが、児童クラブの入会条件を満たさないから」が16.2%で続いています。



## 5 お子さんとの暮らしについて

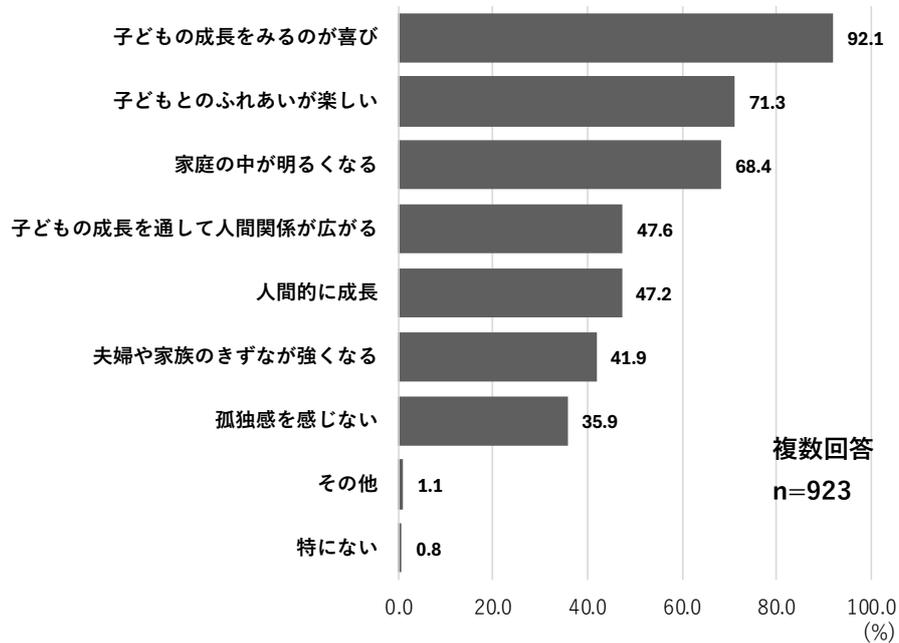
問 20 子育ては楽しいと思いますか。(SA)

「楽しい」(48.4%)、「まあまあ楽しい」(47.5%)を合計した約96%が楽しいと回答しています。



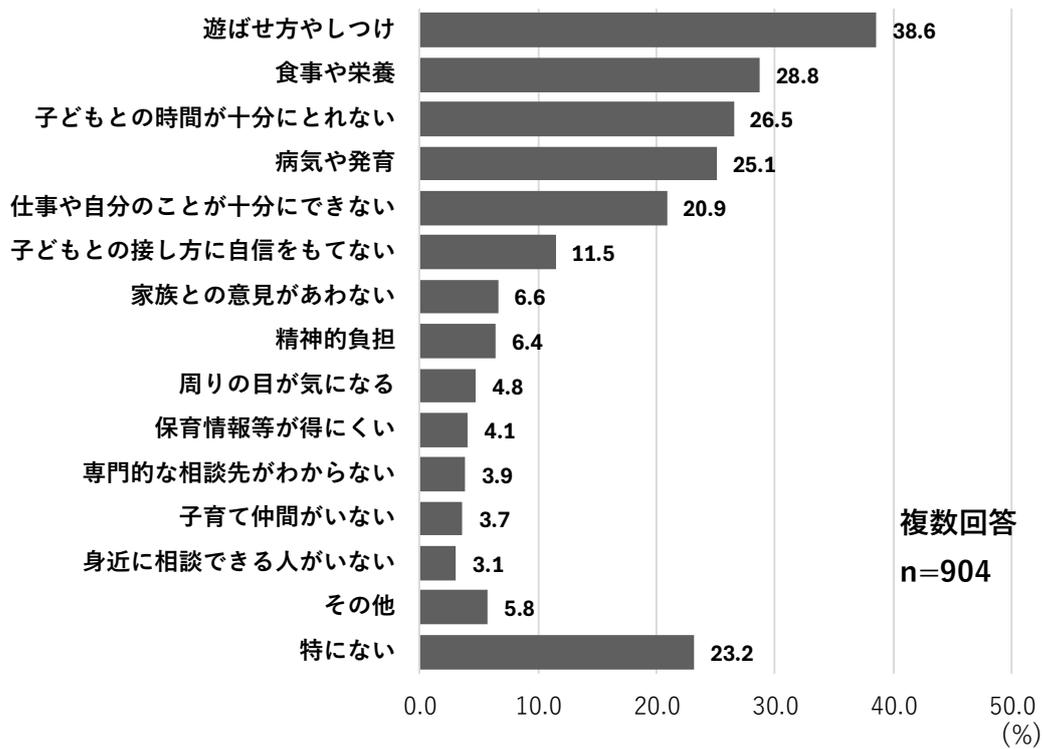
問 21 子育てをされていて良かったことや喜びを感じたことはどのようなことですか。(MA)

「子どもの成長をみるのが喜びである」が92.1%で最も高くなっています。次いで「子どもとのふれあいが楽しい」が71.3%、「家庭の中が明るくなる」が68.4%で続いています。



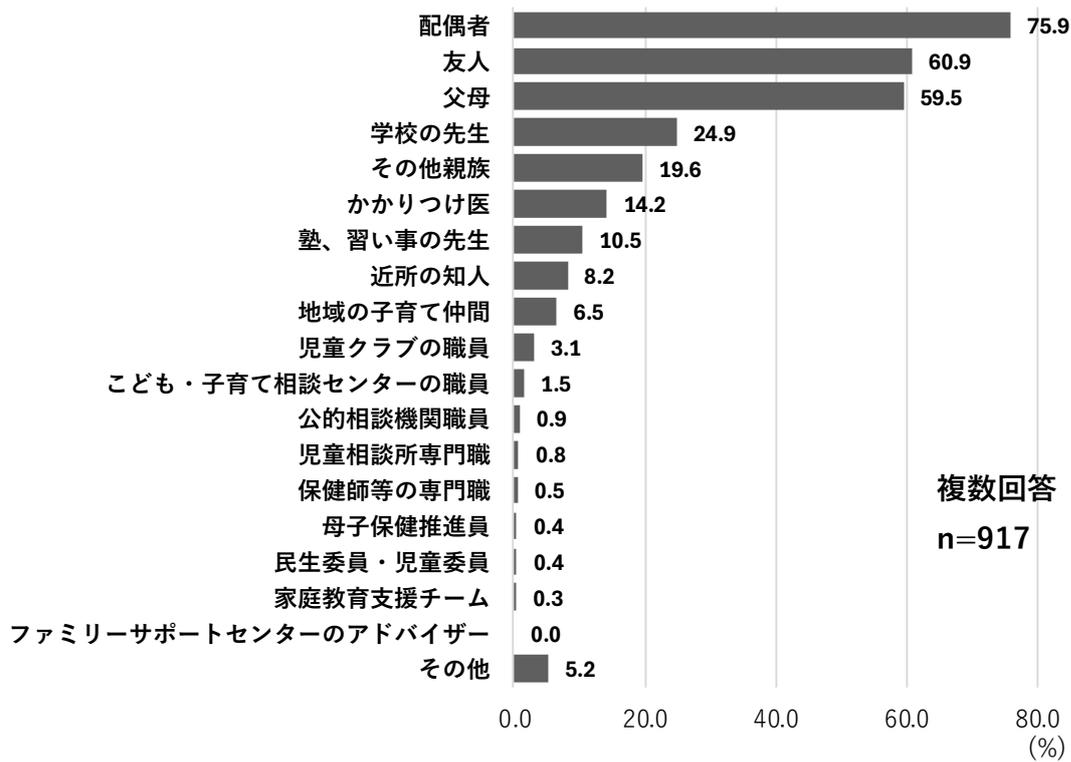
問 22 子育てに関して、悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
(MA)

「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が 38.6%で最も高くなっています。次いで「子どもの食事や栄養について」が 28.8%、「子どもとの時間が十分にとれない」が 26.5%で続いています。



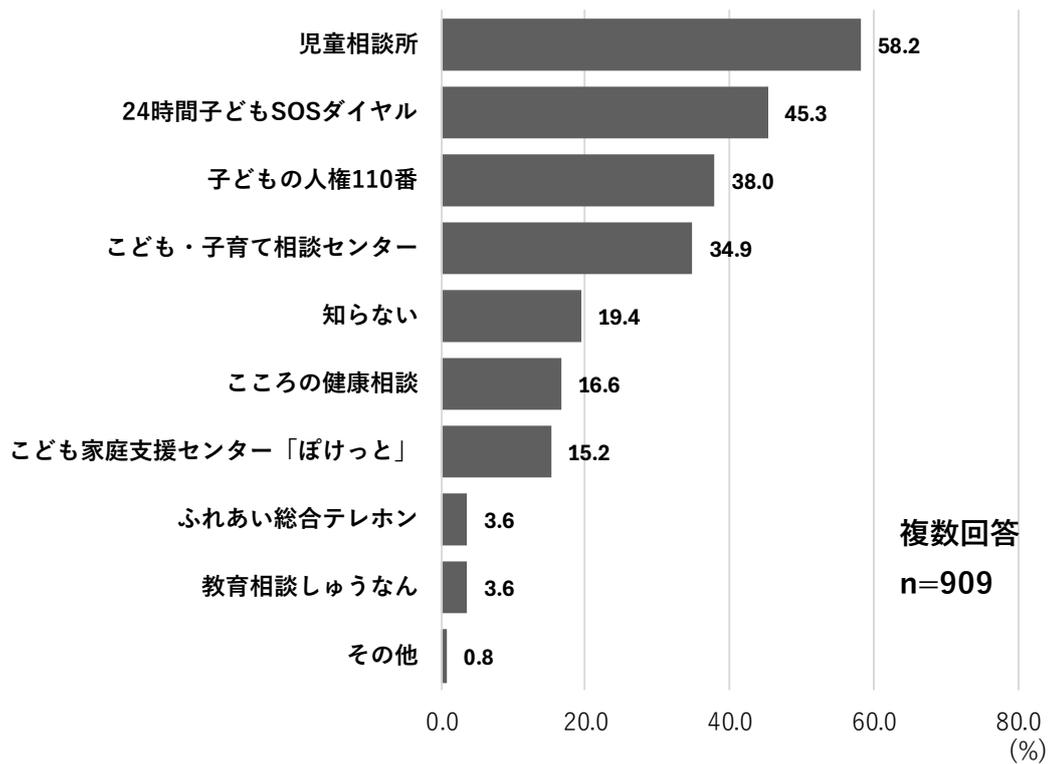
問 22-1 お子さんのことで何かわからないことや困ったこと、悩み事があるとき、誰に相談していますか。(MA)

「配偶者」(75.9%)、「友人」(60.9%)、「父母(子どもの祖父母)」(59.5%)の3項目が6割以上を占め、その他の項目は3割未満となっています。



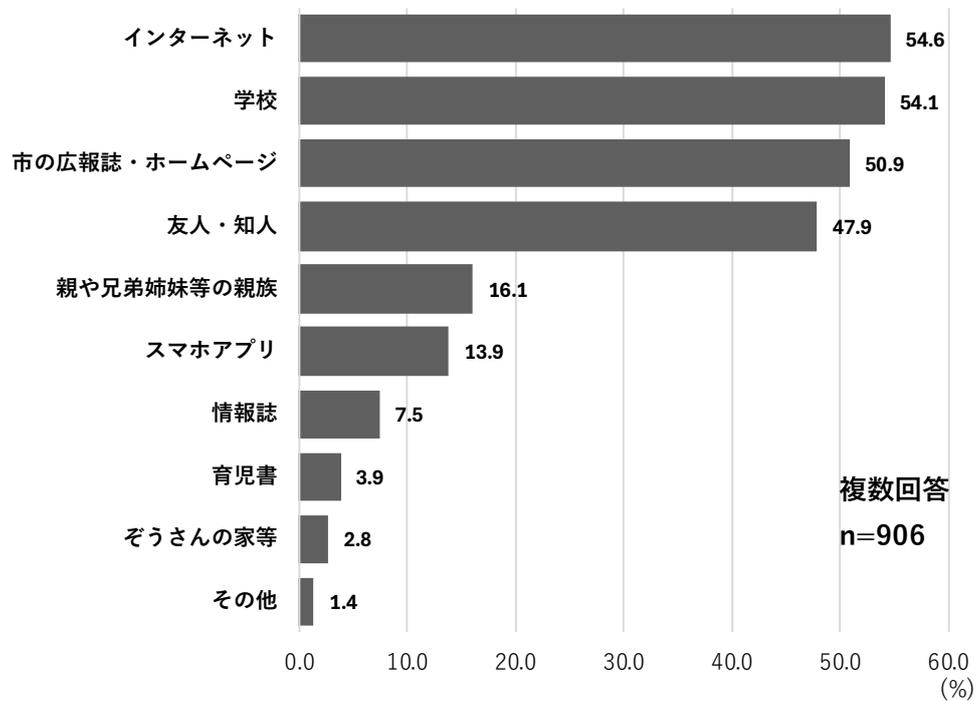
問 23 県内には子どもの悩みにこたえるために、いろいろな相談窓口があります。次のうちの窓口をご存知ですか。(MA)

「児童相談所」が58.2%で最も高くなっています。次いで、「24時間子どもSOSダイヤル(やまぐち子どもSOSダイヤル)」が45.3%、「子どもの人権110番」(38.0%)と「こども・子育て相談センター」(34.9%)が3割台が続いています。



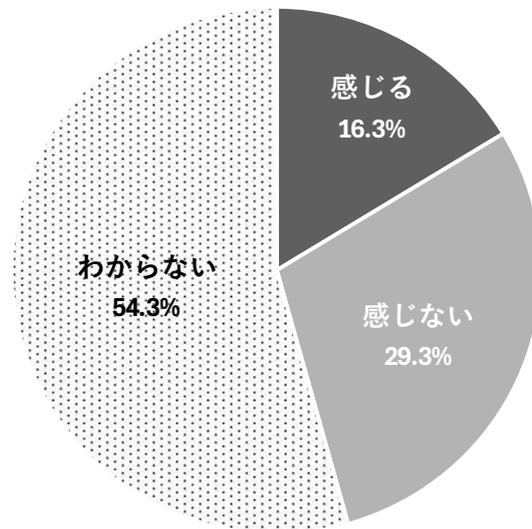
問 24 子育てに関する情報はどのように入手していますか。(MA)

「インターネット」(54.6%)、「学校」(54.1%)、「市の広報誌・ホームページ」(50.9%)、「友人・知人」(47.9%)の4つが5割前後で並んでいます。



問 25 市の子育て支援サービスの情報は入手しやすいと感じますか。(SA)

「感じる」は16.3%で、「わからない」が54.3%、「感じない」が29.3%となっています。

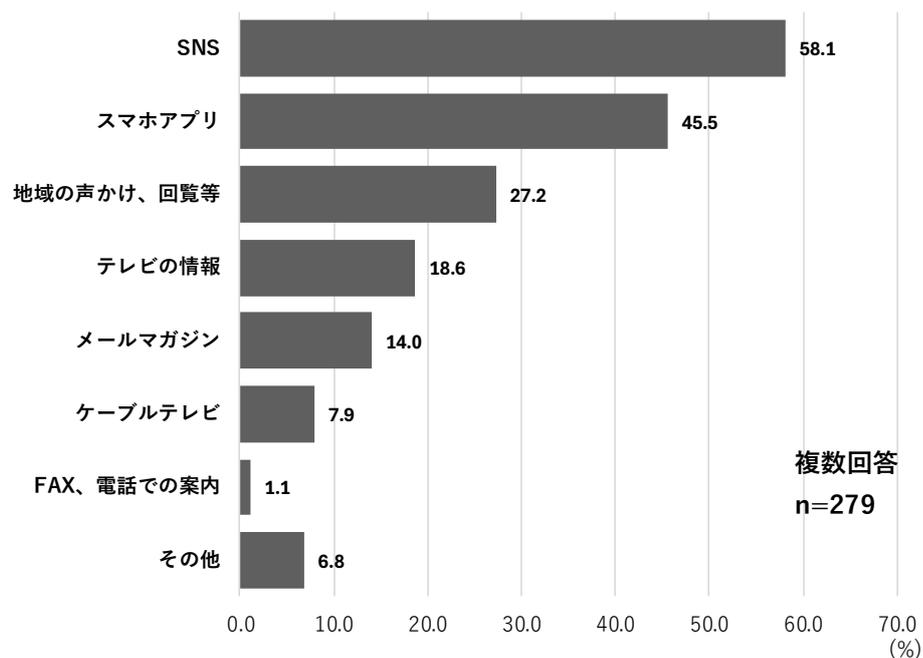


n=920

問 25 で「情報が入手しやすいと感じない」を選んだ方におうかがいします。

問 25-1 どのような手段で情報を入手できればよいと思いますか。(MA)

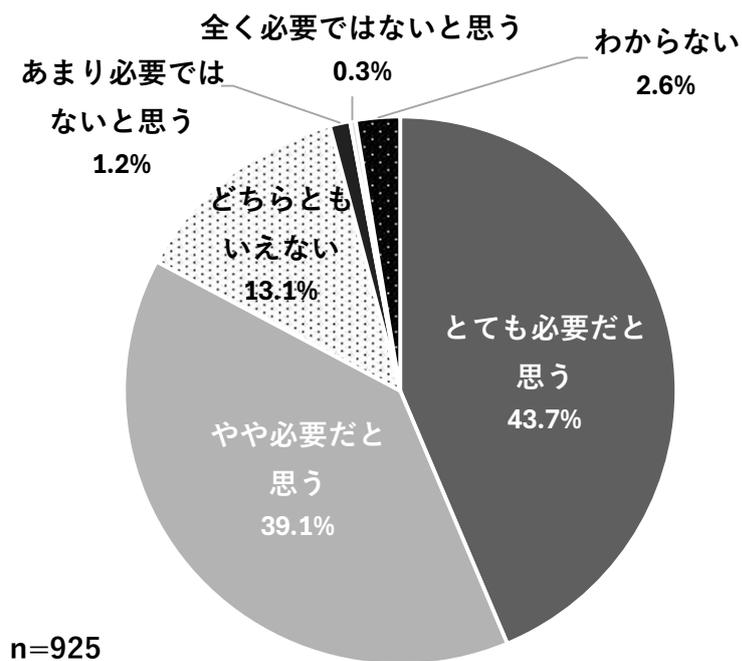
「フェイスブック、LINEなどのSNS」(58.1%)、「スマホアプリ(プッシュ通知)」(45.5%)と上位2つはいずれもweb媒体となっています。



## 6 子育てと地域の関わりについて

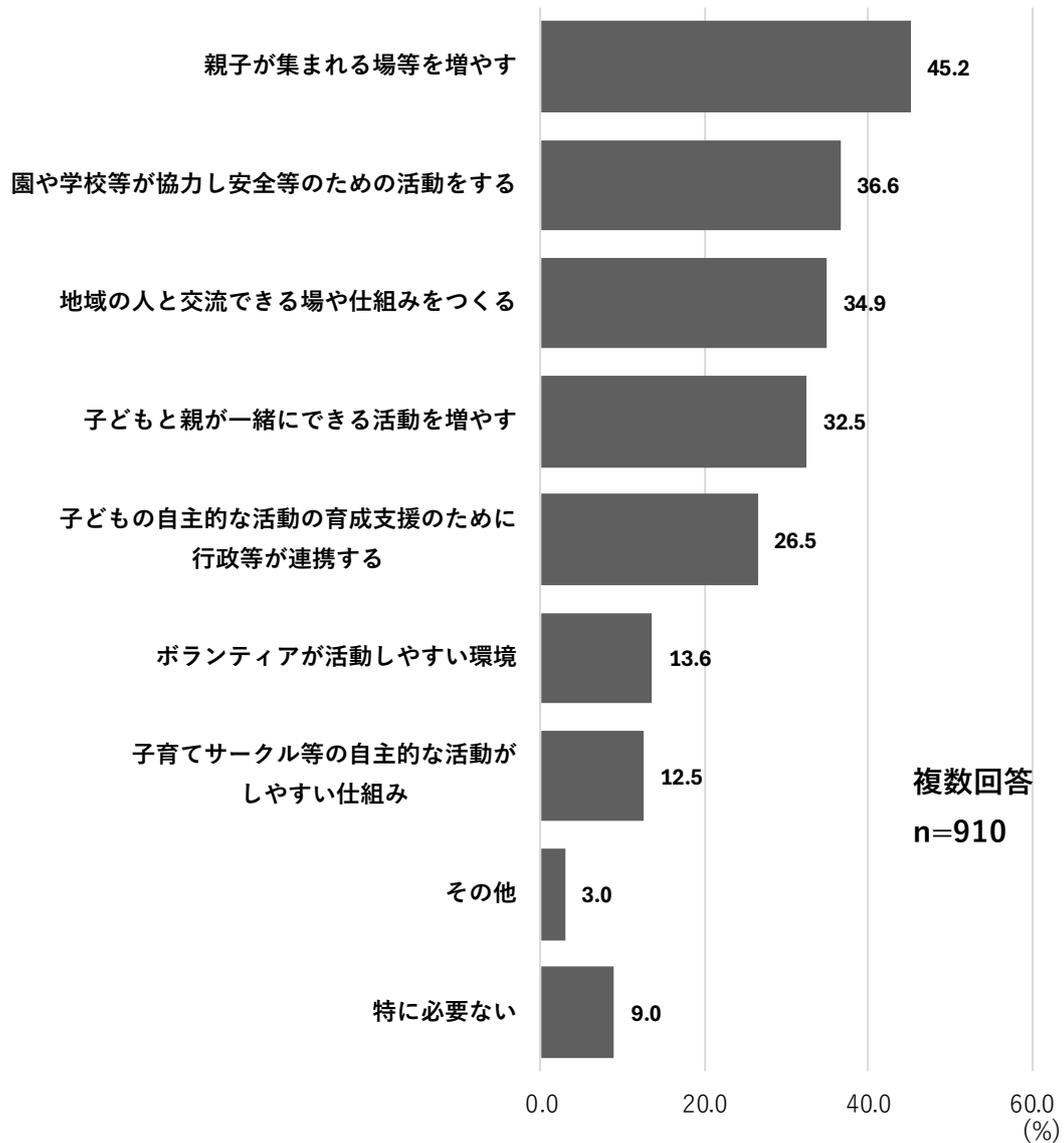
問 26 子育てをする人にとって、地域の支えは必要だと思いますか。(SA)

「とても必要だと思う」(43.7%)と「やや必要だと思う」(39.1%)を合計すると8割強の保護者が地域の支えが必要と考えています。9割近くであった「就学前児童の保護者(問32:67ページ)」よりはやや少なくなっています。



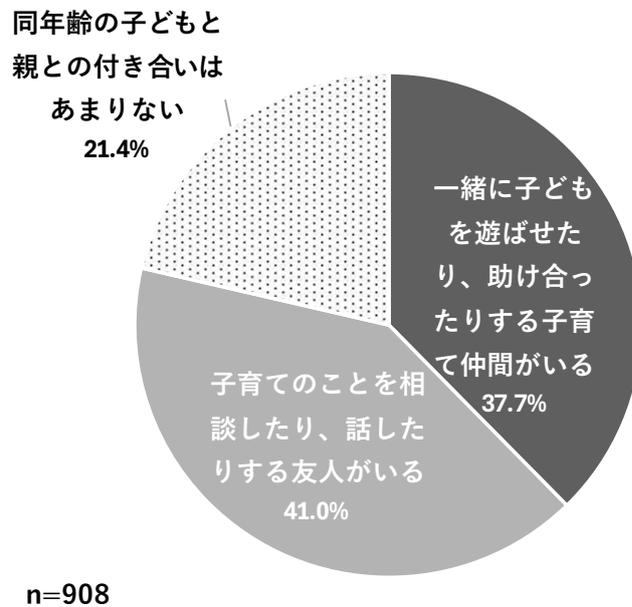
問 27 地域で子育てを支えるために、どんなことが必要だと思いますか。(MA)

「子育て中の親子が集まれる場や遊べる場を増やす」が45.2%で最多、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が36.6%で2番目となっています。



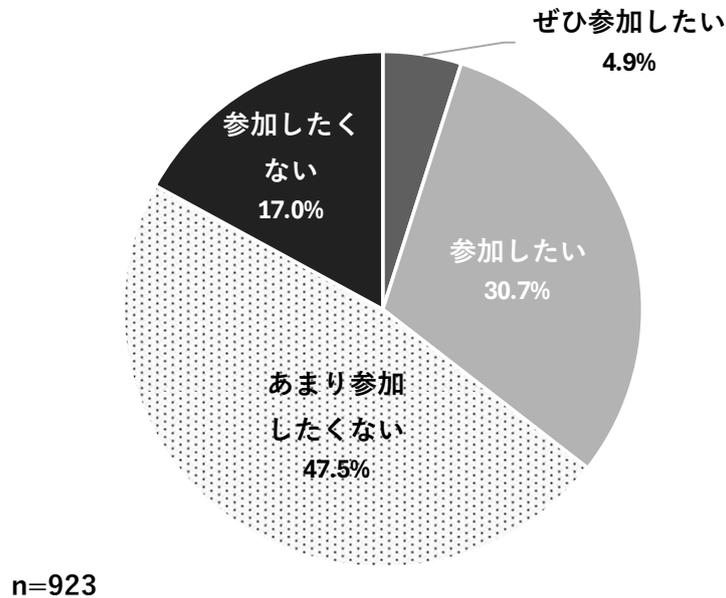
問 28 あなたは、子をもつ親同士のつきあい、子育ての仲間はいますか。(SA)

「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が41.0%で最多となっており、2番目に多い「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」の37.7%と合計すると8割弱は子育て仲間が一定数以上いると回答しています。



問 28- 1 子育ての仲間づくりの機会があれば、参加したいと思いますか。(SA)

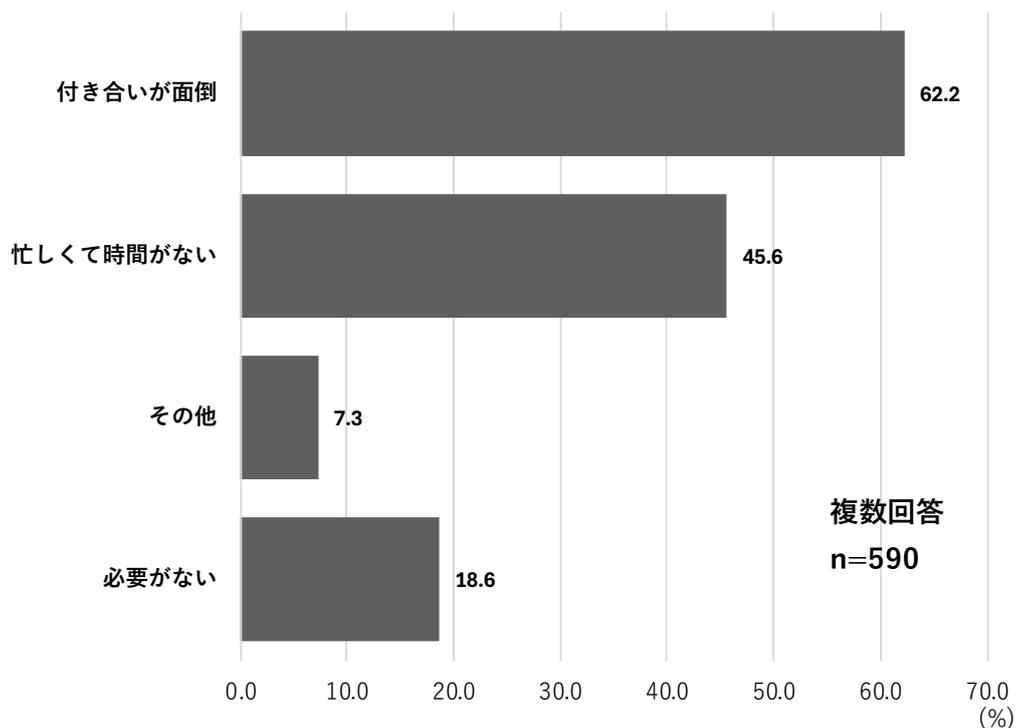
「ぜひ参加したい」(4.9%)と「参加したい」(30.7%)の合計35.6%よりも、「あまり参加したくない」(47.5%)と「参加したくない」(17.0%)の合計64.5%の方が多くなっています。



問 28- 1 で「あまり参加したくない」「参加したくない」を選んだ方におうかがいします。

問 28- 2 参加したくない理由は何ですか。(MA)

「付き合いが面倒」が62.2%で最も高くなっています。次いで「忙しくて時間がない」が45.6%、「必要がない」が18.6%が続いています。



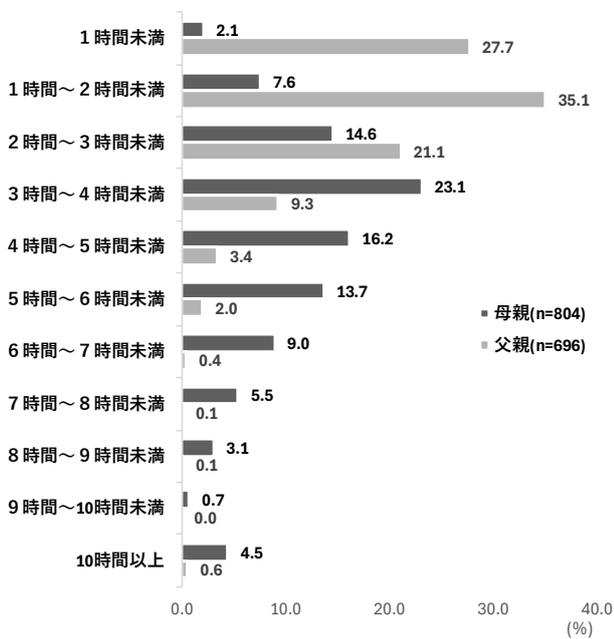
## 7 仕事と子育ての両立について

問 29 保護者の1日平均の育児時間及び育児以外の家事時間はどれくらいですか。平日と休日に分けてお答えください。(数量)

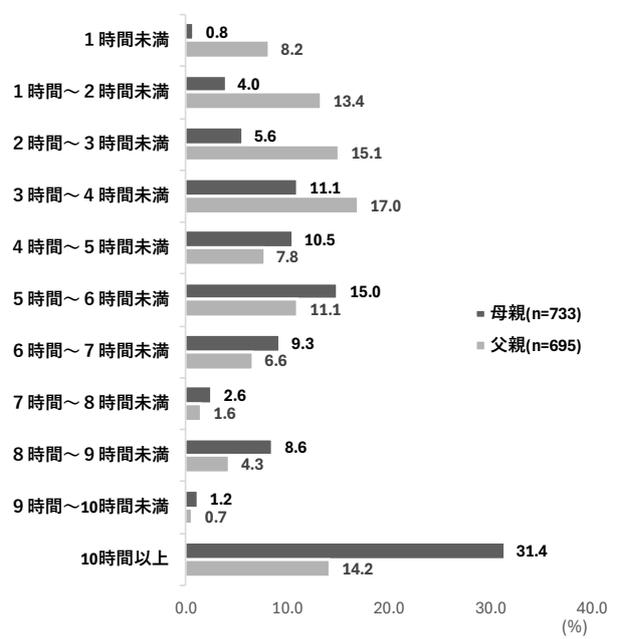
平日の育児時間については、母親において「3時間～4時間未満」が23.1%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間～2時間未満」が35.1%と最も高くなっています。

休日の育児時間については、母親において「10時間以上」が31.4%と最も高くなっているのに対し、父親においては「3時間～4時間未満」が17.0%と最も高くなっています。

【平日の育児時間】



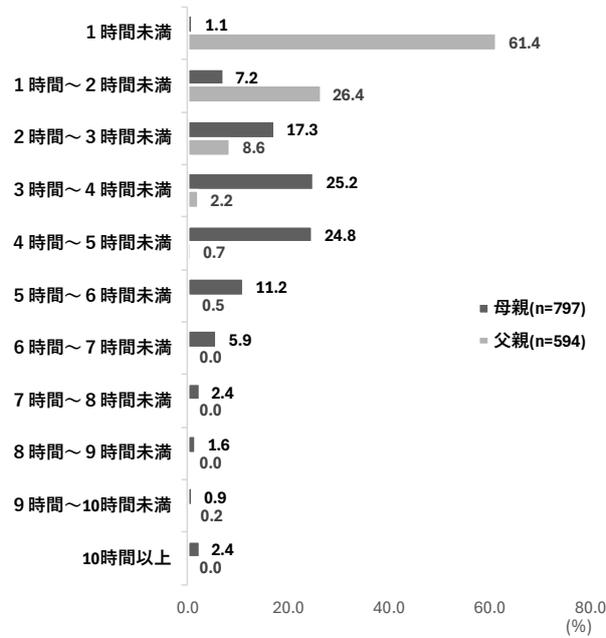
【休日の育児時間】



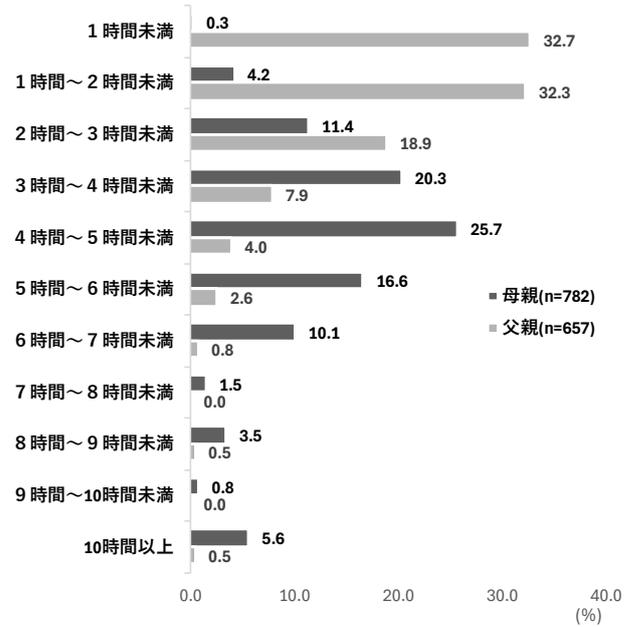
平日の育児以外の家事時間については、母親において「3時間～4時間未満」が25.2%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」が61.4%と最も高くなっています。

休日の育児以外の家事時間については、母親において「4時間～5時間未満」が25.7%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」が32.7%と最も高くなっています。

【平日の育児以外の家事時間】

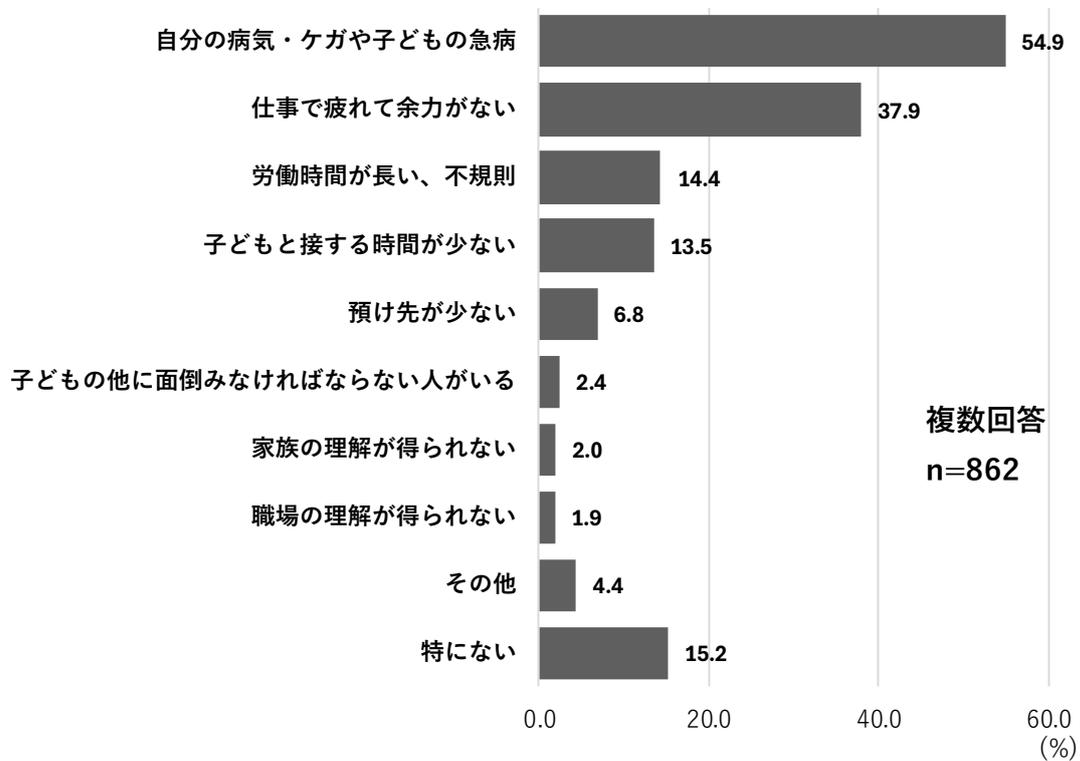


【休日の育児以外の家事時間】



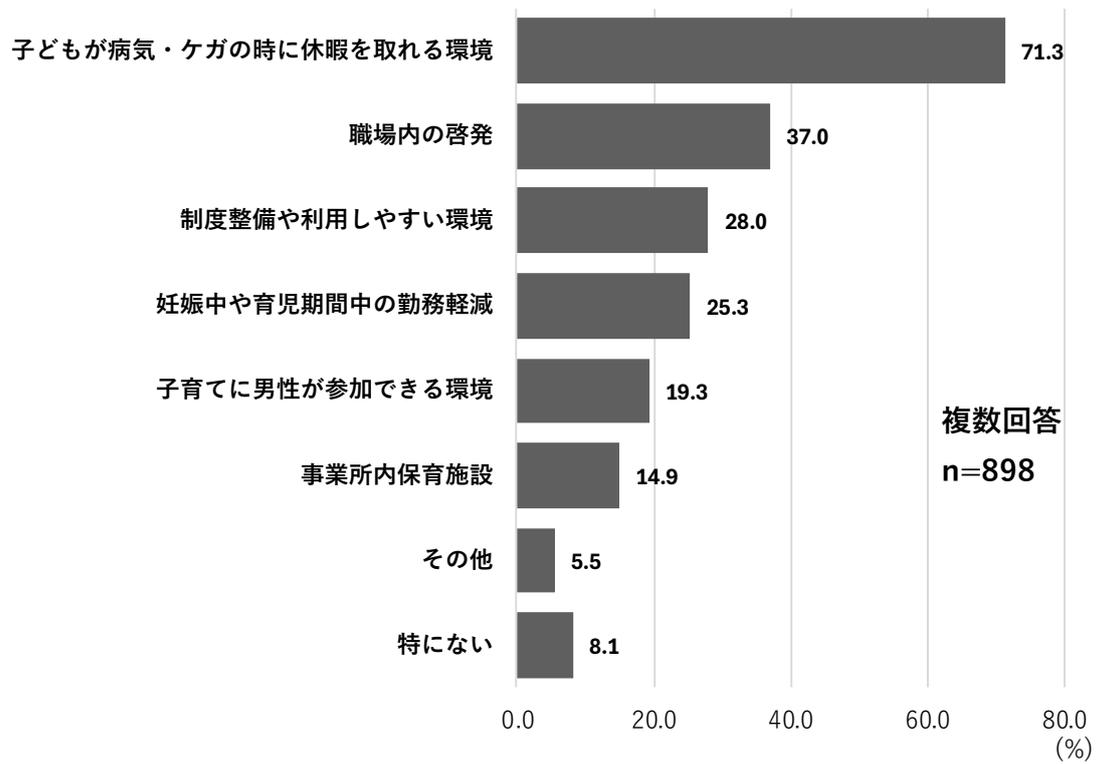
問 30 仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。(MA)

「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときの対応」が54.9%で最多となっており、2番目に多いのが「仕事で疲れて子育ての余力がない」の37.9%で、他は1割台以下となっています。



問 31 仕事と子育ての両立のために、企業等はどうのようなことに取り組む必要があると思いますか。(MA)

「子どもが病気やケガの時に休暇を取れる環境をつくる」が71.3%で、最も高い比率を占めています。

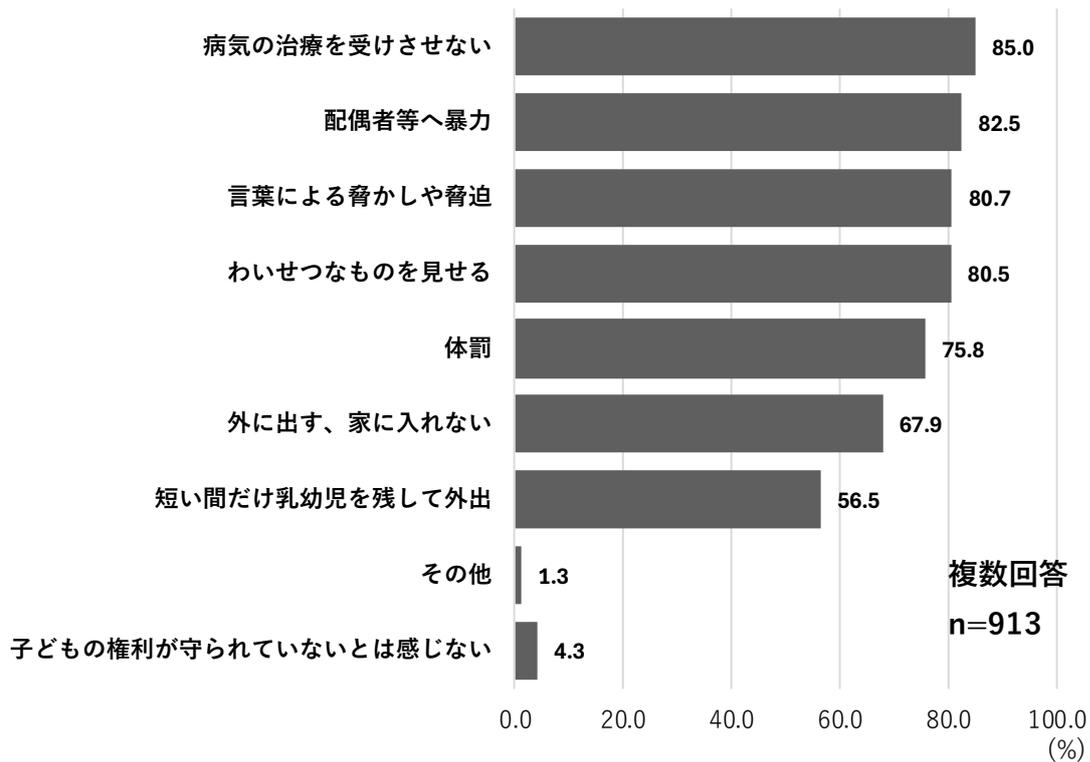


## 8 子どもの権利について

問 32 あなたはどのような行為に対して、子どもの権利が守られてないと感じますか。

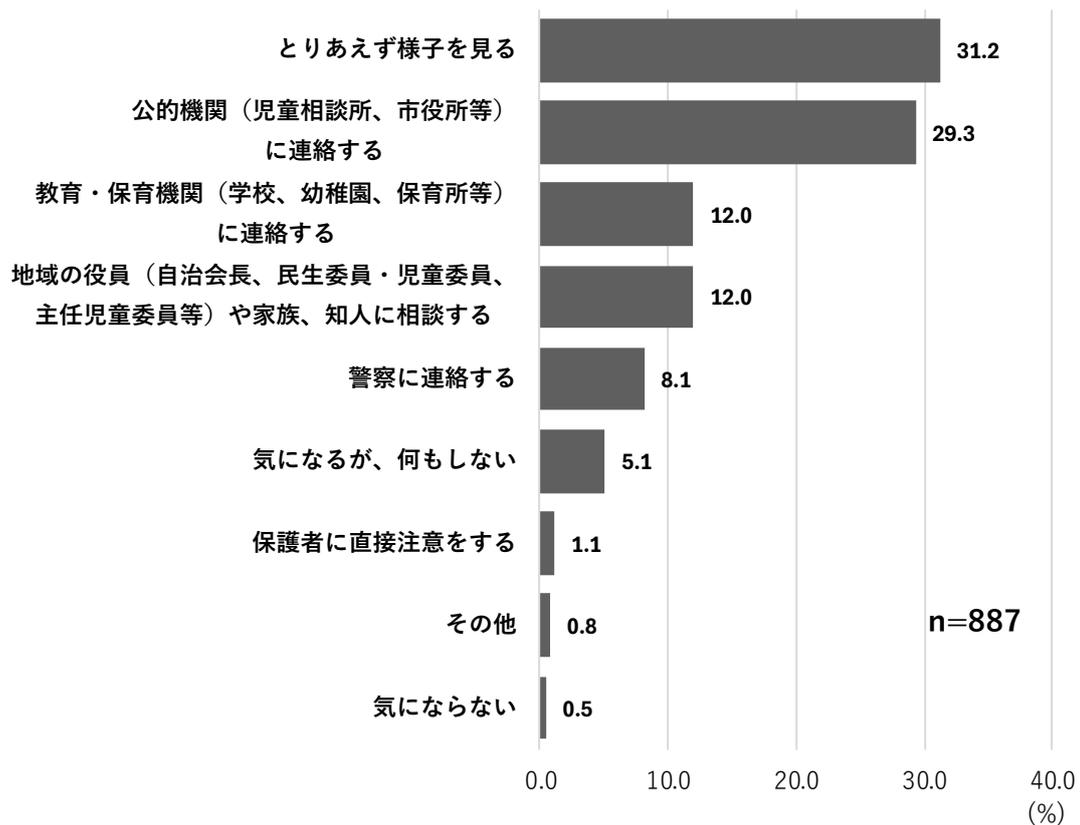
(MA)

「子どもの権利が守られていないと感じない」は 4.3%、「その他」は 1.3%と僅かであり、他の 7 項目の回答率は 5～8 割台を占めています。



問 33 子どもの権利が守られてないと感じられる行為が行われている家庭を知った時、あなたなら最初にどうしますか。(SA)

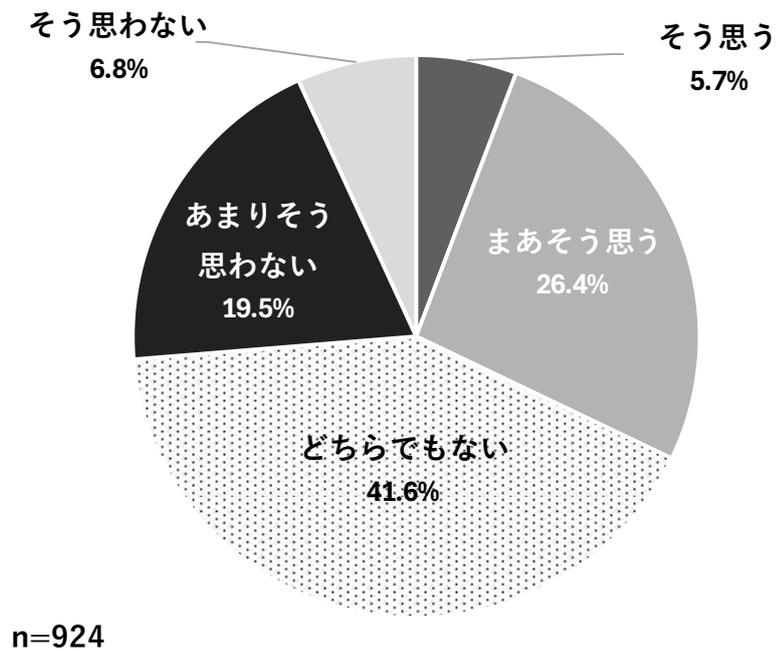
市役所、地域の役員、教育・保育機関といった外部へ連絡するという回答が6割を占めています。「とりあえず様子を見る」が31.2%、「気になるが、何もしない」が5.1%と、どこにも連絡しないという回答が36.3%となっています。「保護者に直接注意をする」は1.1%と僅かでした。



## 9 子ども子育てに関する市の取組について

問 34 周南市は子育てがしやすいまちだと思いますか。(SA)

「そう思う」(5.7%)と「まあそう思う」(26.4%)の合計が32.1%、「どちらでもない」が41.6%、「あまりそう思わない」(19.5%)と「そう思わない」(6.8%)の合計が26.3%となっています。



問 34 で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方におうかがいします。

問 34－1 そう思った理由を自由にお書きください。(FA)

「周南市が子育てしやすいまちか」という質問に「そう思う」もしくは「まあそう思う」と回答した理由を自由記述式で尋ねたところ、238 件の回答がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<周南市が子育てしやすいまちだと思う理由（主なものを抜粋）>

**【医療費が無料】**

- ・ 医療費の所得制限を撤廃し、高校まで無料にしてくれたこと。
- ・ 高齢者だけでなく、現役世代の人や子どもにお金を使ってほしい。

**【子育て支援センターが充実】**

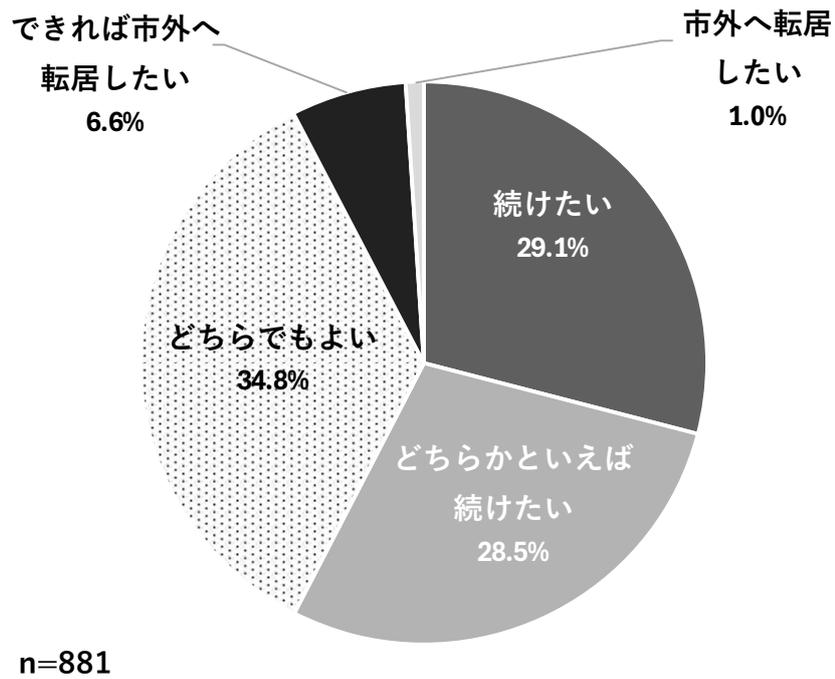
- ・ 子育て支援センターがいくつかある点。
- ・ 小さい頃は子育て支援センターによく通っていて、とても助かった。
- ・ 子育て支援センターや、保健センターでの活動に参加して、友だちができた。

**【公園が多い】**

- ・ 自然や公園が多い。
- ・ 子供を遊ばせる公園などの設備は充実している。
- ・ 小さいけれど公園が近くにたくさんあるところ。

問 35 今後も、周南市で子育てを続けたいと思いますか。(SA)

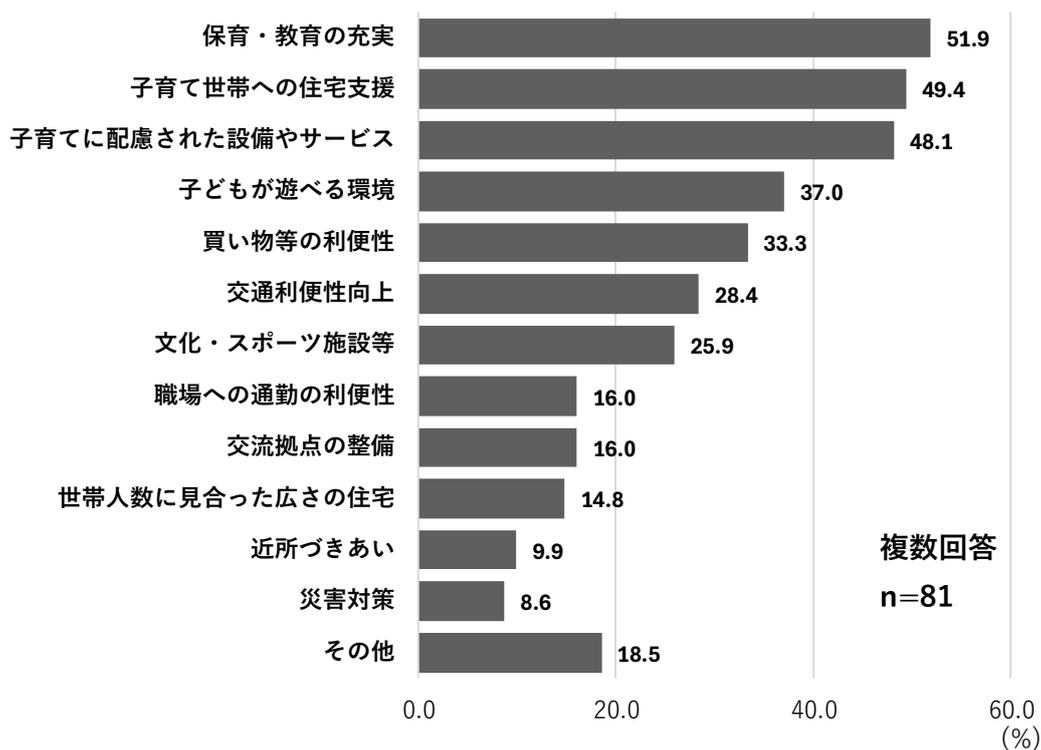
「続けたい」(29.1%)と「どちらかといえば続けたい」(28.5%)の合計が57.6%、「できれば市外へ転居したい」(6.6%)と「市外へ転居したい」(1.0%)の合計が7.6%となっています。



問 35 で「できれば市外へ転居したい」「市外へ転居したい」を選んだ方におうかがいします。

問 35－1 周南市で子育てを続けるために大切なことは何ですか。(MA)

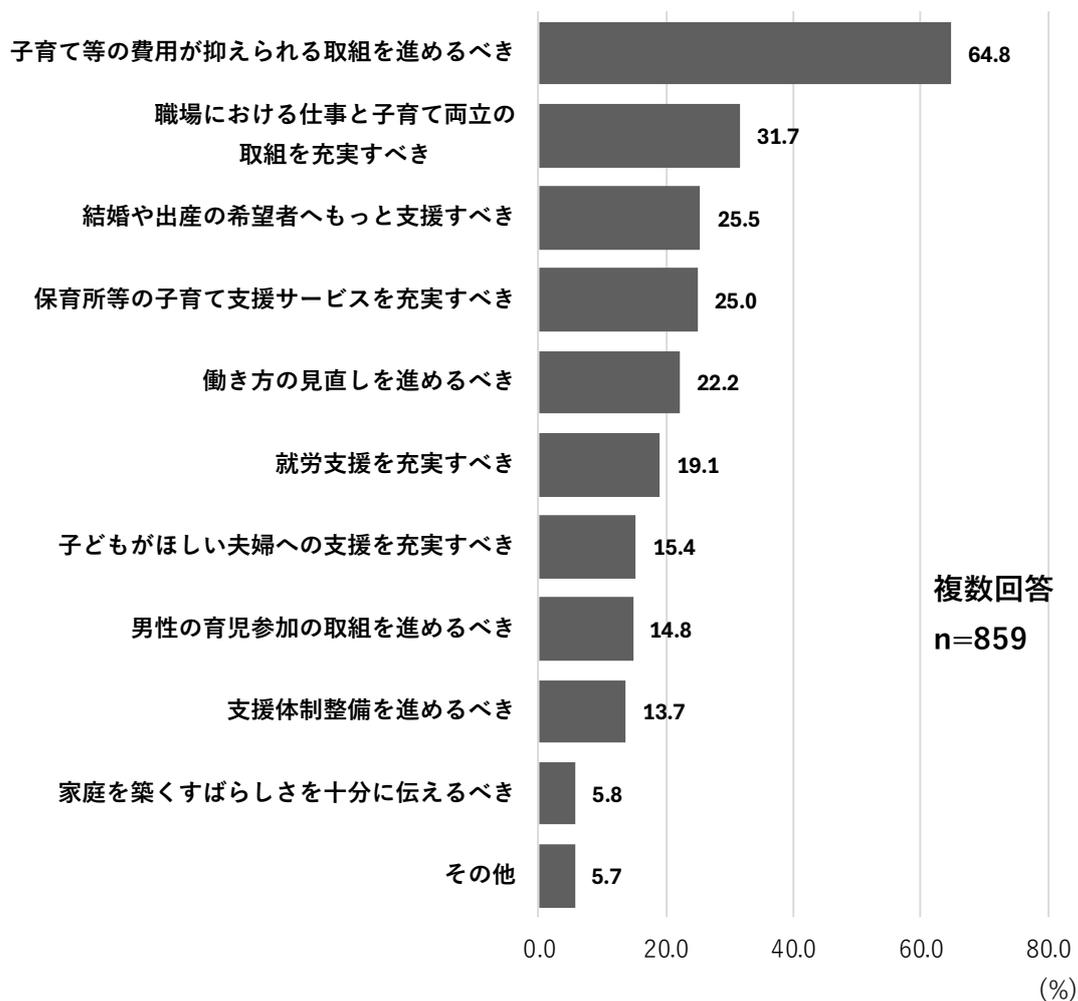
「保育・教育の充実」(51.9%)、「子育て世帯への住宅支援」(49.4%)、「子育てに配慮された設備やサービス」(48.1%)の3項目が5割程度の回答率となっています。



### 問 36 少子化対策に関して、どのようにお考えですか。(MA)

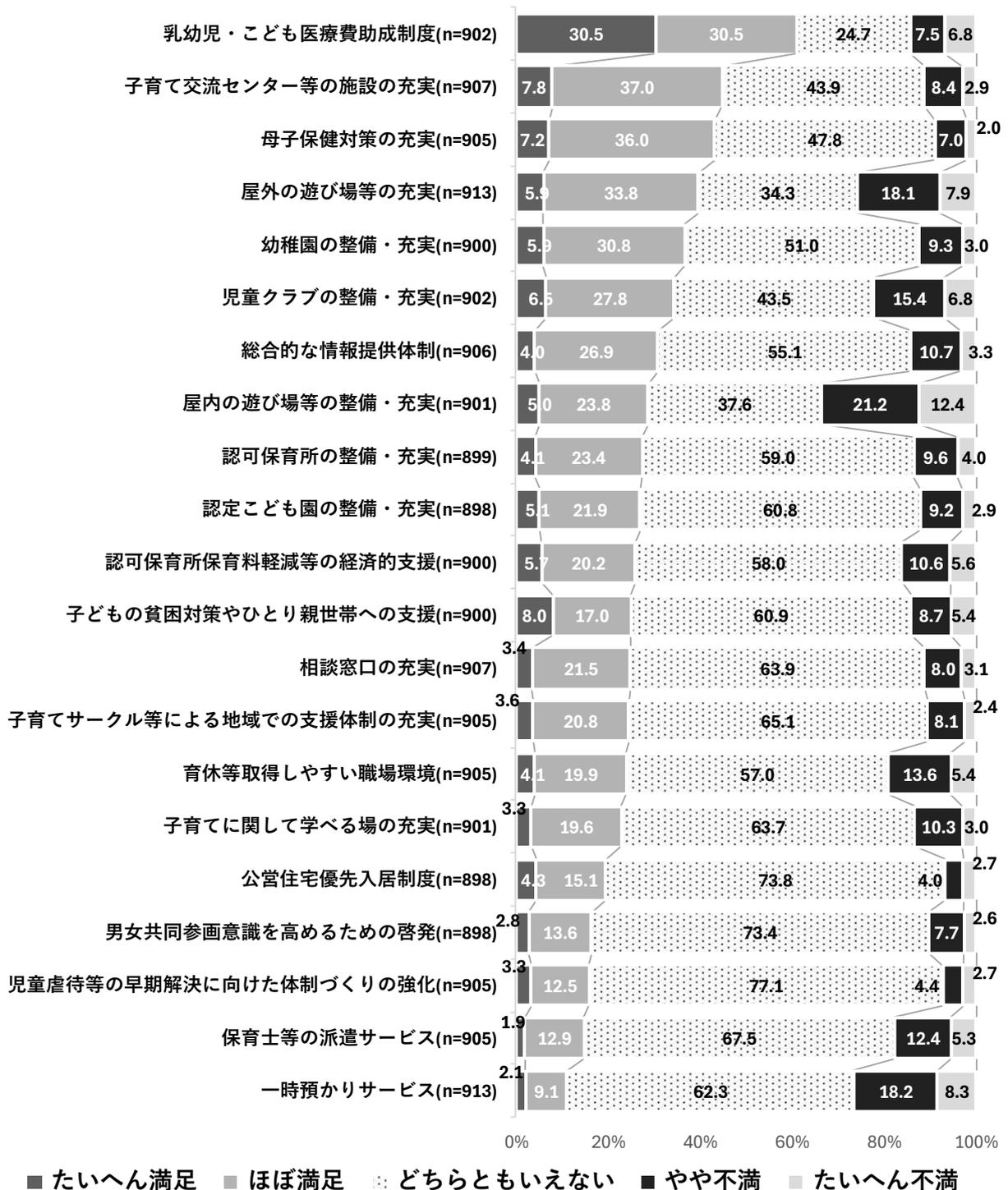
「子育てや教育にかかる費用が抑えられるような取組を進めるべきである」という費用対策が 64.8%で最も高くなっています。

2 番目に多いのは3割台を占める「職場における仕事と子育て両立のための取組を充実すべきである」(31.7%)となっています。2割台を占めているのは「結婚や出産を希望する方についてもっと支援すべきである」(25.5%)、「保育所など地域における子育て支援サービスを充実すべきである」(25.0%)、「長時間労働等の働き方の見直しを進めるべきである」(22.2%)となっています。



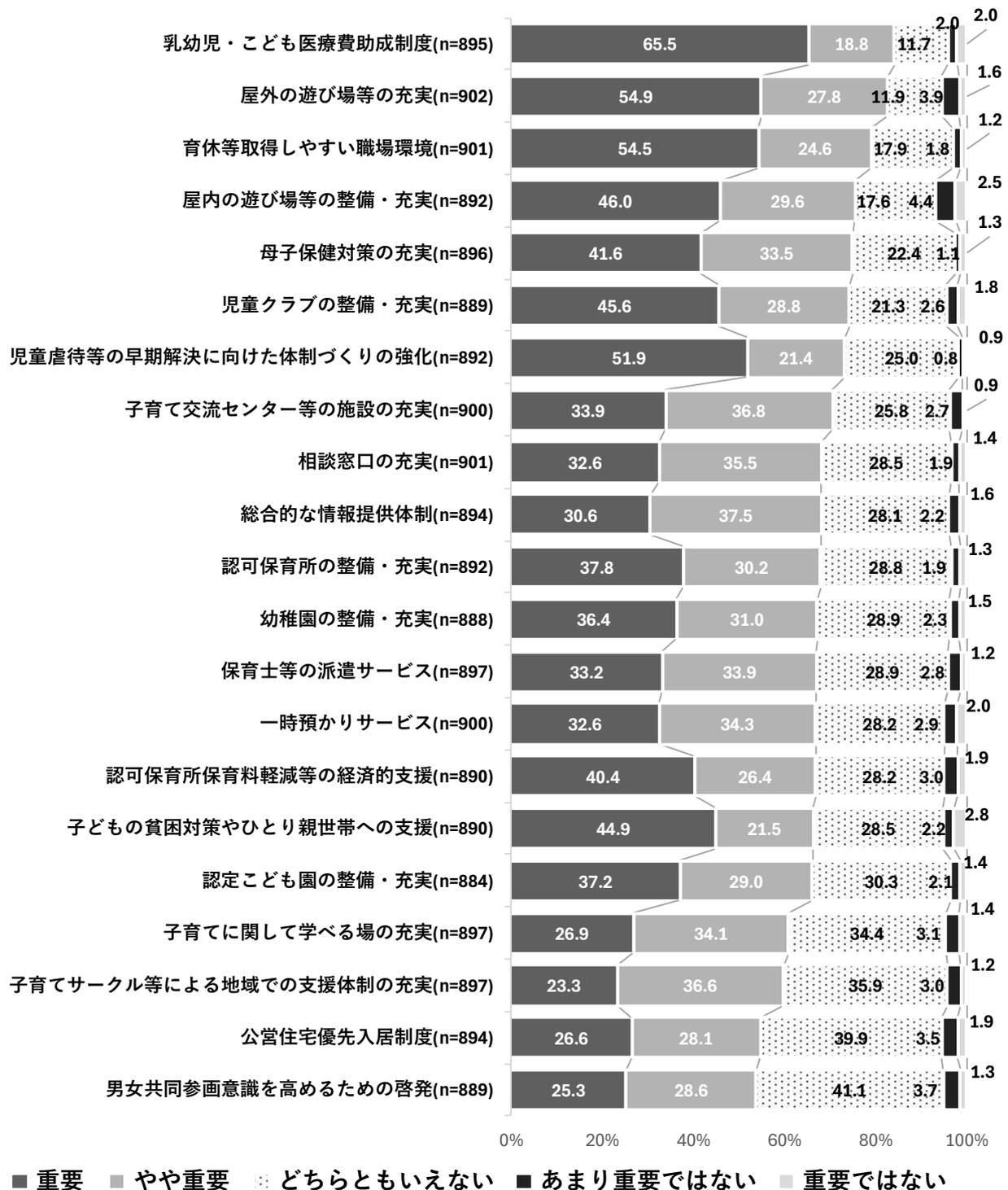
問 37① 周南市の子育て支援策についての「満足度」について教えてください。(SA)

「たいへん満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合の高い項目は、「乳幼児医療費・こども医療費助成制度」が61.0%、「子育て交流センターや子育て支援センターの施設等の充実」が44.8%、「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」が43.2%の順に高くなっています。一方、「やや不満」と「たいへん不満」を合わせた割合の高い項目は、「子どもや親子で楽しめる屋内の遊び場・居場所の整備・充実」が33.6%、「ちょっとした用事やリフレッシュのために利用できる一時預かりサービス」が26.5%、「子どもや親で楽しめる公園等屋外の遊び場・居場所の充実」が26.0%の順に高くなっています。



問 37② 周南市の子育て支援策についての「重要度」について教えてください。(SA)

「重要」と「やや重要」を合わせた割合の高い項目は、「乳幼児医療費・こども医療費助成制度」が84.3%、「子どもや親で楽しめる公園等屋外の遊び場・居場所の充実」が82.7%、「育児休暇等の取得しやすい職場環境づくり」が79.1%の順に高くなっています。



## 10 意見要望

お子さんが中学生になった時に気になることや不安なことがあれば、自由に記入してください。

最後に、周南市の子ども・子育て支援に関するご意見など、自由に記入してください。

子どもが中学生になったときに気になることや不安なことについて、自由記述欄において、合計 525 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

### <お子さんが中学生になった時に気になることや不安なこと（主なものを抜粋）>

#### 【部活動の地域移行について】

- ・ 部活動がなくなることが不安。
- ・ 送迎や費用が不安。
- ・ 運動、スポーツをする機会が減るのではないかと不安。
- ・ 地域移行している団体への補助金、設備の充実をしてほしい。
- ・ 山間部で仕事を持つ保護者は送迎など難しい。
- ・ 山間部地域の子ども達は、部活動にかわる活動は難しい。
- ・ 聞いたこともない謎のスポーツや文化活動ではなく、普通のスポーツや習い事を広めてほしい。
- ・ この先の目途、指導者の育成や確保をしてから、部活動の地域移行の話をしてほしかった。
- ・ 今後の内申書での評価は「成績のみ」となるのか。進学に向けて評価方法を明確にしてほしい。

#### 【その他】

- ・ 通学路に街路灯の設置数が少なく、暗い時間帯は不安。
- ・ 自転車通学時に、交通量の大変多い 2 号線を通らねばならないため、不安。
- ・ 積極的な進路相談があるのか、子供に適した進路を選ばせてあげられるか不安。

一方、周南市の子ども・子育て支援に関する意見について、自由記述欄において、合計 397 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<周南市の子ども・子育て支援に関する意見（主なものを抜粋）>

**【各種支援策の所得制限について】**

- ・ 高校授業料無償化の所得制限を改善してほしい。
- ・ 共働き世帯の所得制限の幅をもっと広げてほしい。
- ・ 児童扶養手当や児童手当の所得制限撤廃。
- ・ 給食費の無償化、もしくは減額。

**【経済的支援全般について】**

- ・ 一人親世帯に対する支援は手厚いが、所得や家族構成に関わらない援助をしてほしい。
- ・ お金がかかるのは一人目からかかるので、一人目こそ支援してほしい。
- ・ 高校生こそお金がかかる、高校生含めての支援を望む。
- ・ ひとり親世帯に給付金が毎月あってもいいのでは？

**【児童クラブについて】**

- ・ 児童クラブを土日祝の参観日の振替日にも使用できるようにしてほしい。
- ・ 休日の児童クラブは、子どもだけで退所させてほしい。
- ・ 平日は単独登校しているのに、児童クラブは駄目な理由がわからない。
- ・ 長期休みに通年利用者でも別のクラブとなる事があり、きょうだいで別々のクラブに送迎が生じる、利用の優先順位に兄弟児の有無を入れてもらうことはできないかどうか。

**【遊び場について】**

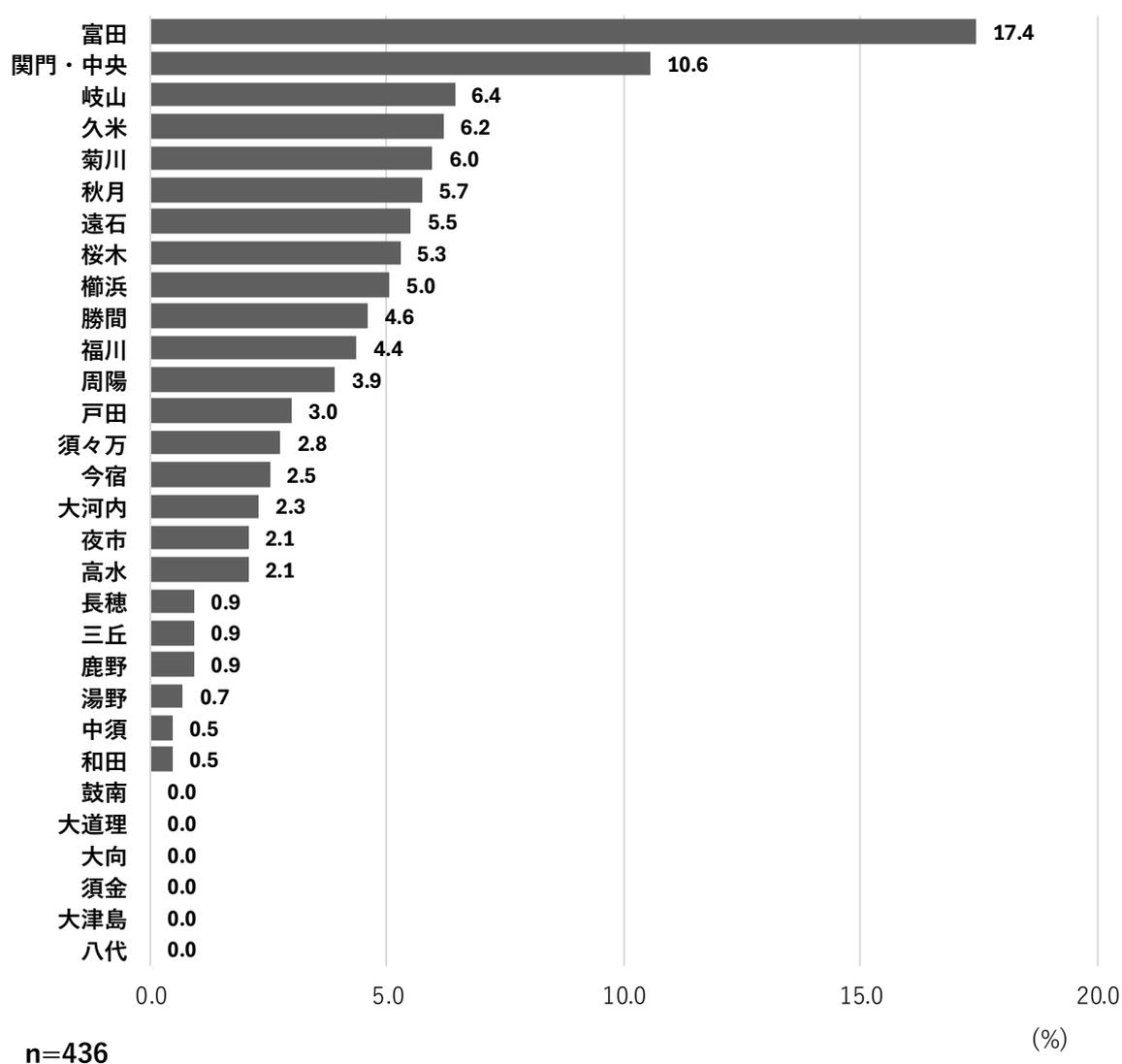
- ・ フレンドパークのような大きい公園がもっとあればよい。
- ・ フレンドパークも老朽化が目立つので、改善されるとよい。
- ・ 雨の日に無料で遊べる場所がほしい。
- ・ 雨の日でも子どもが遊べるよう、市の体育館などを開放してほしい。
- ・ ボルダリングや長縄などできたりする場所を作ってほしい。
- ・ 小さな公園の遊具を刷新し、外で遊ぶことが楽しくなるアスレチックを作ってほしい。
- ・ 大田原自然の家まで行かなくても、外でたくさんの体験ができる場所があるとよい。

## IV 中学校生徒保護者対象調査結果

### 1 お子さんのご家族の状況について

問1 お子さんのお住まいの地区はどちらですか。(SA)

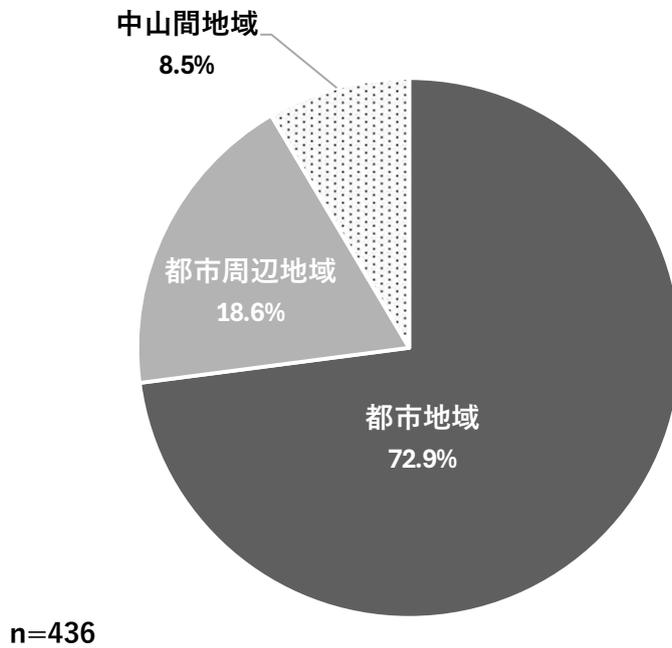
「富田」が17.4%で最も高くなっています。次いで「関門・中央」が10.6%、「岐山」が6.4%で続いています。



問1 教育・保育提供区域 (SA)

---

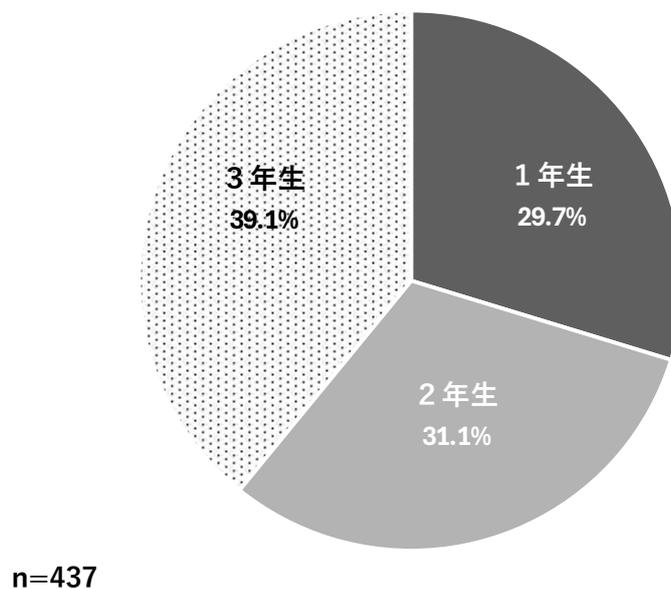
「都市地域」が72.9%、「都市周辺地域」が18.6%、「中山間地域」が8.5%となっています。



問2 お子さんは何年生ですか。(SA)

---

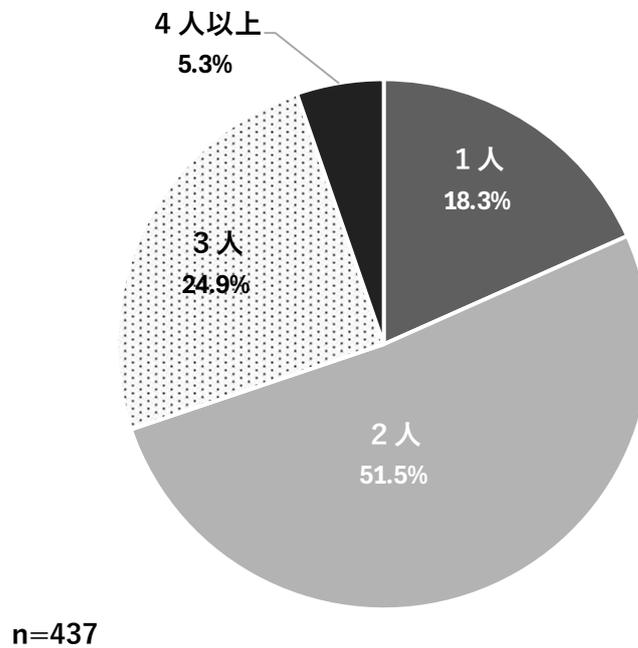
「3年生」が39.1%で最も高くなっています。次いで「2年生」が31.1%が続いています。



問 3A お子さんは何人いますか。(数量)

---

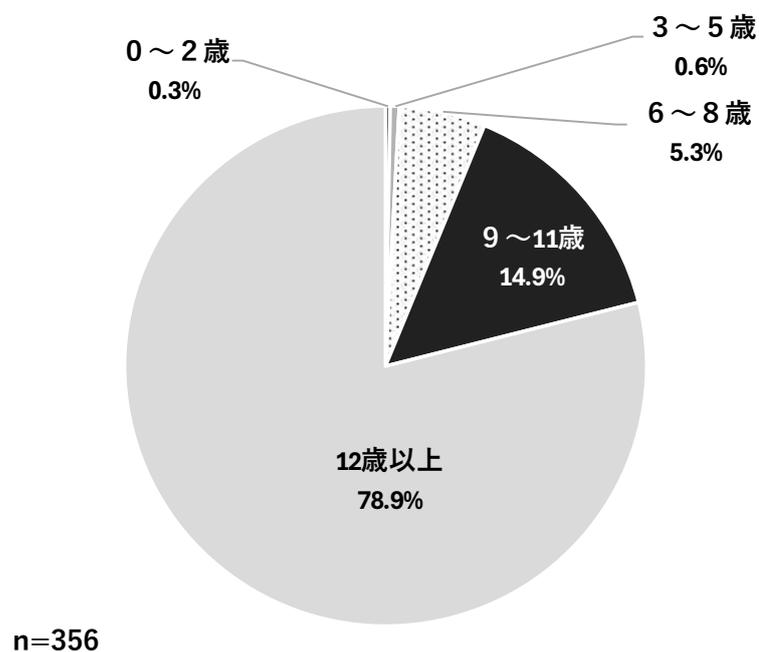
「2人」が51.5%で最も高くなっています。次いで「3人」が24.9%、「1人」が18.3%が続いています。



問 3B 2人以上いる場合、末子の年齢(令和6年1月1日現在の年齢)をご記入ください。  
(数量)

---

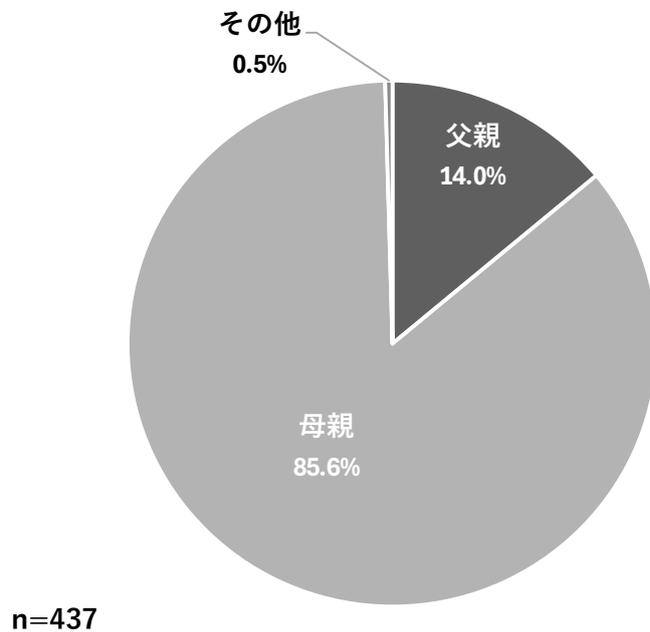
「12歳以上」が78.9%で最も高くなっています。次いで「9～11歳」が14.9%、「6～8歳」が5.3%が続いています。



問 4 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。(SA)

---

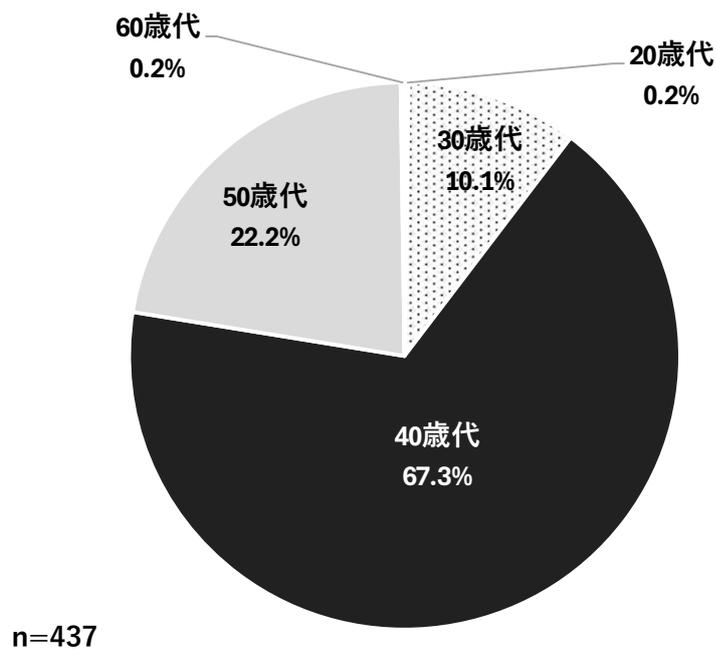
「母親」が85.6%を占めています。



問 5 あなたの年齢を教えてください。(SA)

---

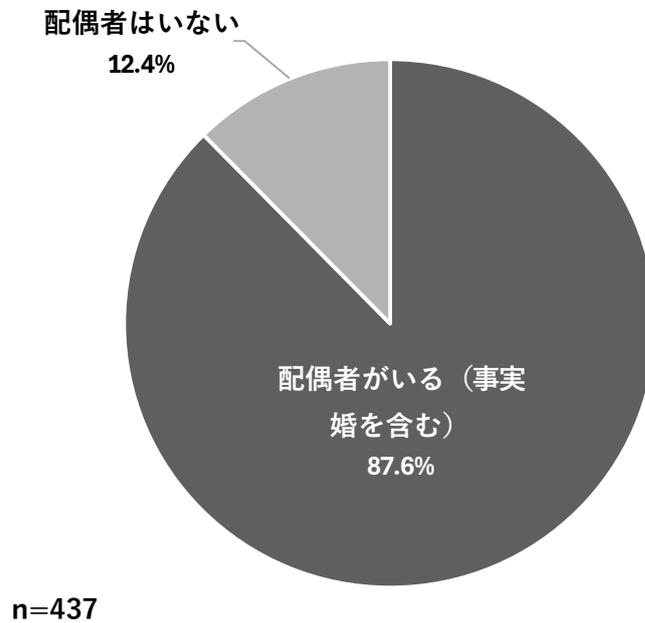
「40歳代」が67.3%で最も高くなっています。次いで「50歳代」が22.2%が続いています。



問6 あなたに配偶者はいますか。(SA)

---

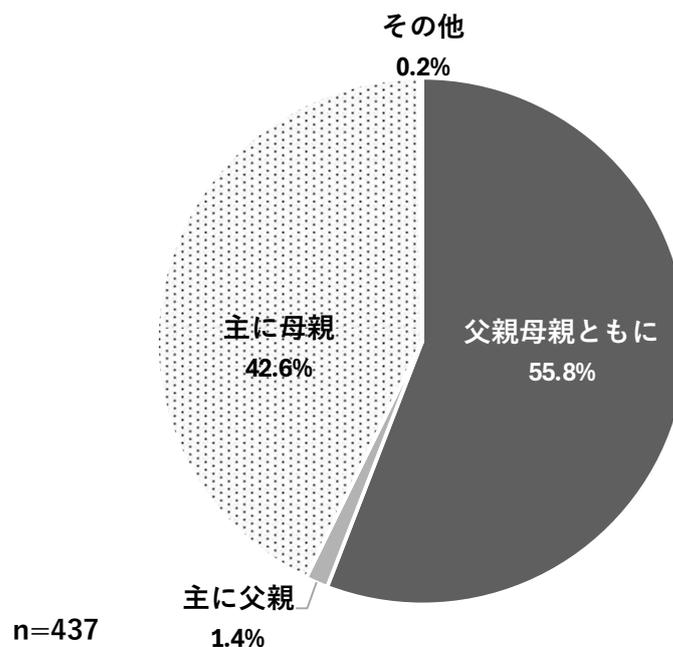
「配偶者がいる(事実婚を含む)」が87.6%を占めています。



問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(SA)

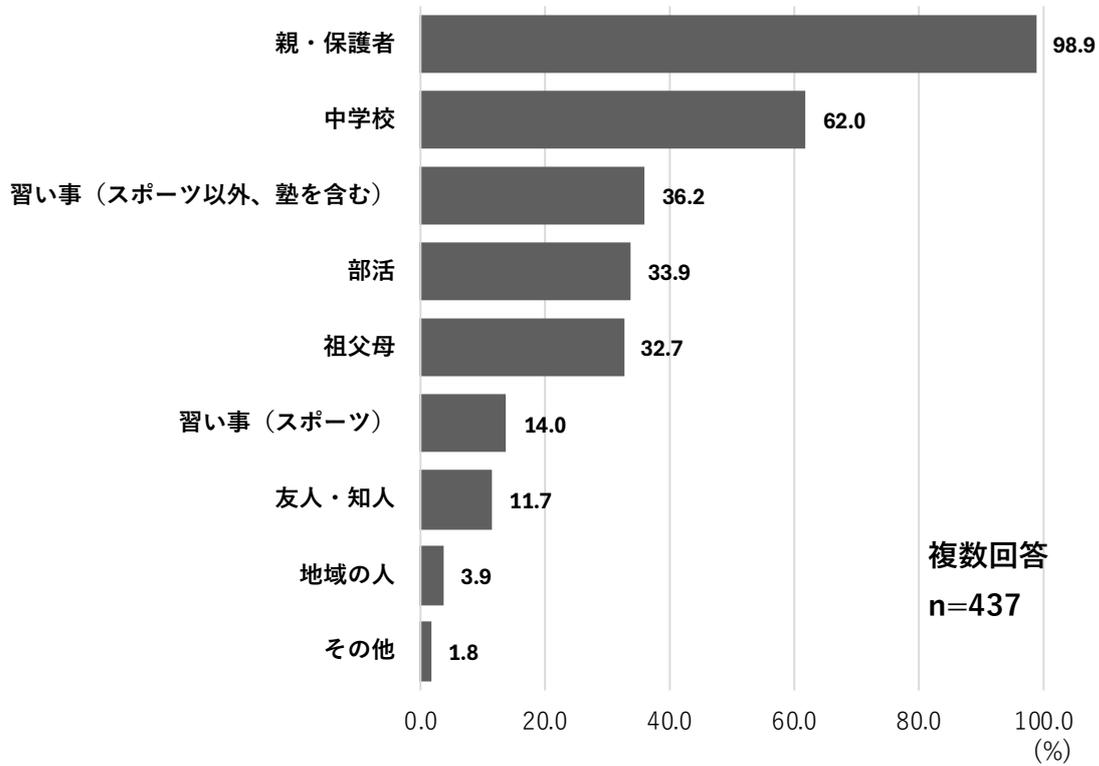
---

「父親母親ともに」が55.8%で最も高くなっています。次いで「主に母親」が42.6%が続いています。



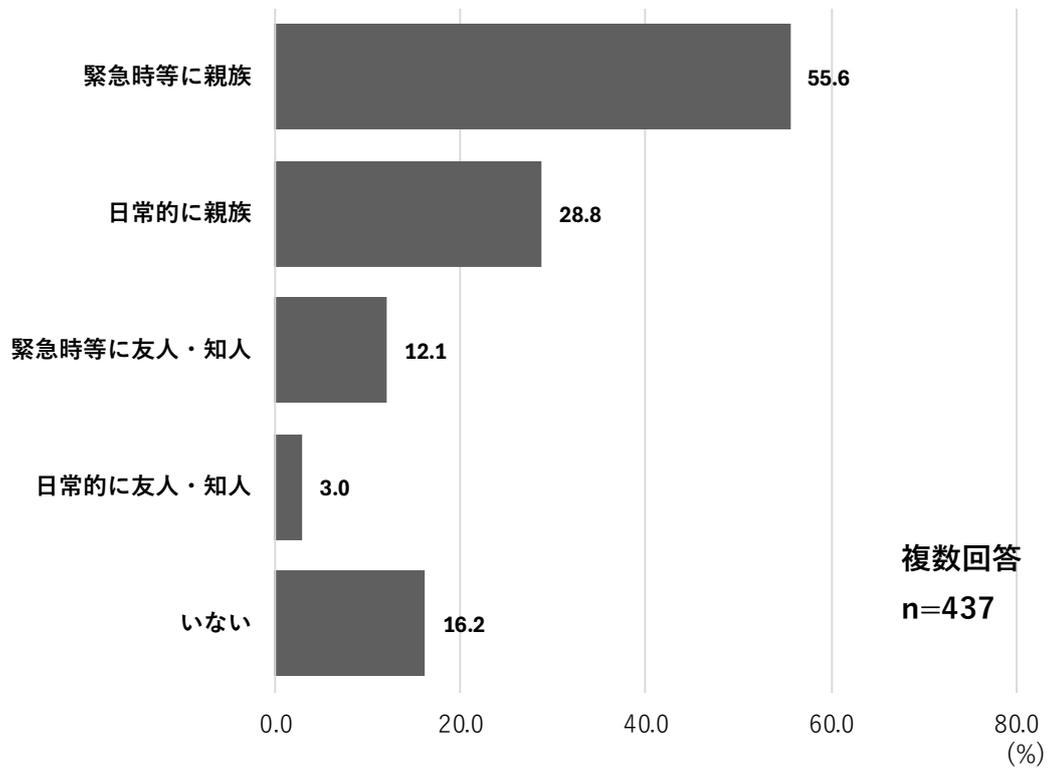
問8 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方は誰(どこ)ですか。(MA)

「親・保護者」が98.9%で最も高くなっています。次いで「中学校」が62.0%、「習い事(スポーツ以外、塾を含む)」が36.2%が続いています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.6%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.8%、「いずれもない」が16.2%が続いています。



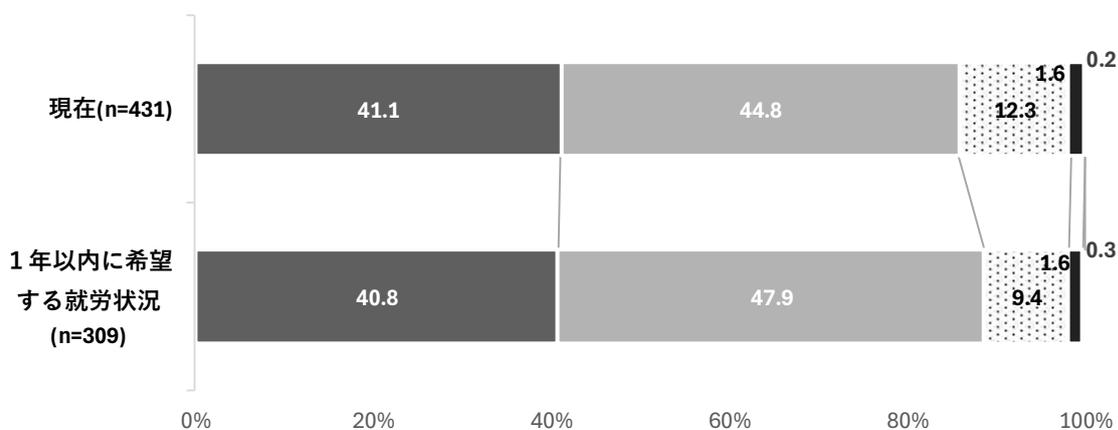
## 2 お子さんの保護者の就労状況について

問 10① お子さんの保護者の『現在の就労状況』を教えてください。(SA)

② お子さんの保護者の『1年以内に希望する就労状況』を教えてください。(SA)

現在の就労では「1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている」が44.8%で最も高くなっています。次いで「2人ともフルタイムで働いている」が41.1%が続いています。

1年以内に希望する就労状況は「1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている」が47.9%で最も高くなっています。次いで「2人ともフルタイムで働いている」が40.8%が続いています。



- 2人ともフルタイムで働いている
- 1人はフルタイム、1人はパートタイムで働いている
- ▨ 1人はフルタイム又はパートで働いていて、1人は働いていない
- 2人ともパートタイムで働いている
- 2人とも働いていない

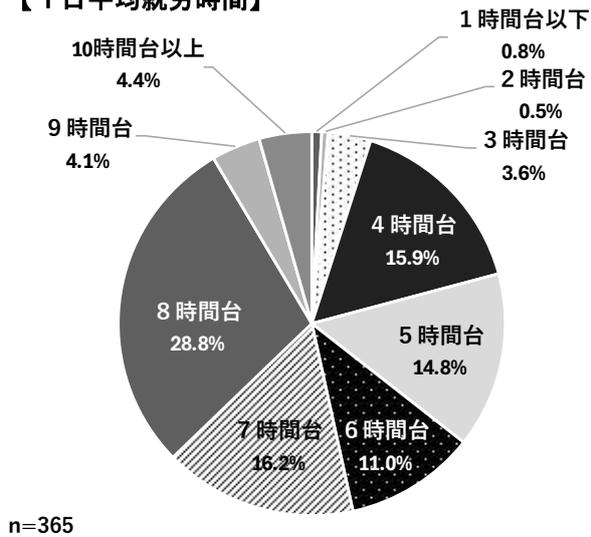
問 10 の①で「現在働いている」を選んだ方におうかがいします。

問 10－1 ①A 『母親』は1日平均何時間働いているかをご記入ください。(数量)

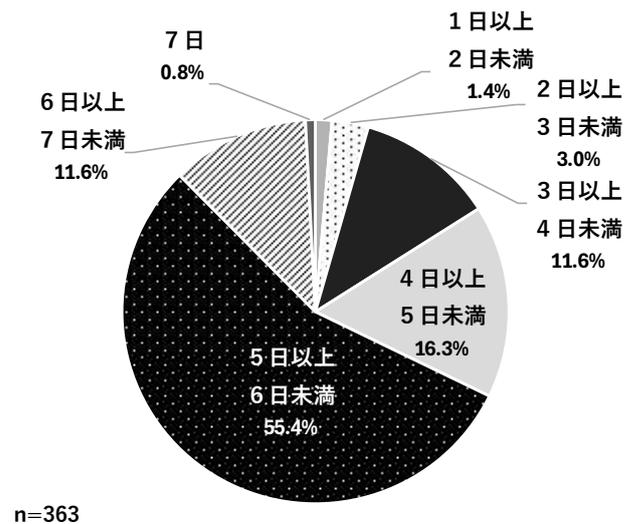
①B 『母親』は週何日働いているかをご記入ください。(数量)

就労時間は「8時間台」が28.8%、就労日数は「5日以上6日未満」が55.4%で最も高くなっています。

【1日平均就労時間】

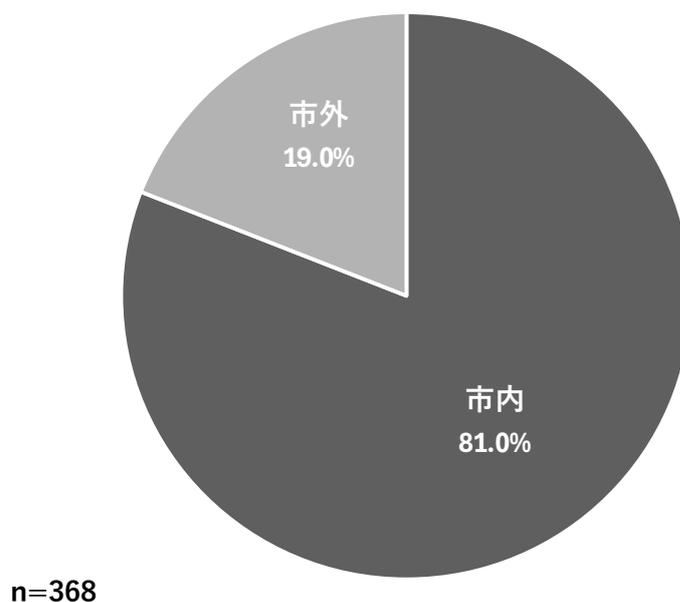


【週当たり就労日数】



問 10－1 ①C 『母親』は市内・市外のどちらで働いているかをご記入ください。(SA)

「市内」が81.0%を占めています。

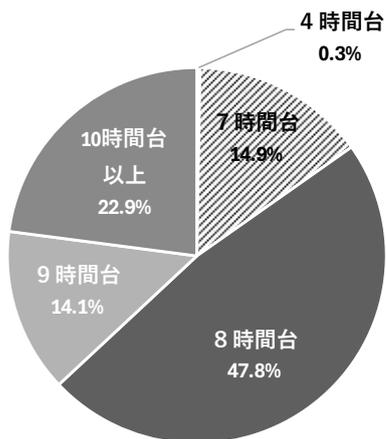


問 10-1 ②A 『父親』は1日平均何時間働いているかをご記入ください。(数量)

②B 『父親』は週何日働いているかをご記入ください。(数量)

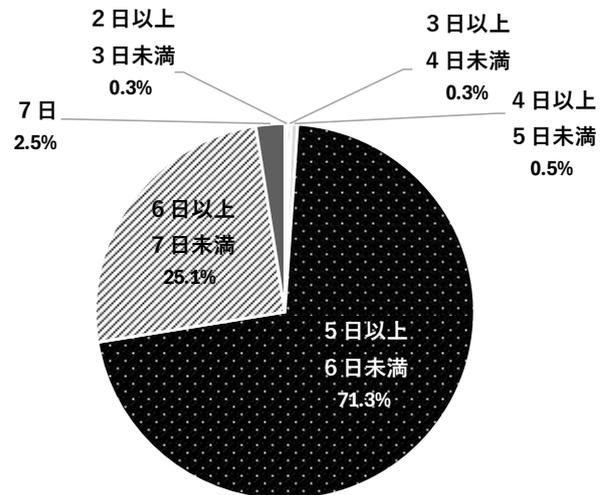
就労時間は「8時間台」が47.8%、就労日数は「5日以上6日未満」が71.3%で最も高くなっています。

【1日平均就労時間】



n=362

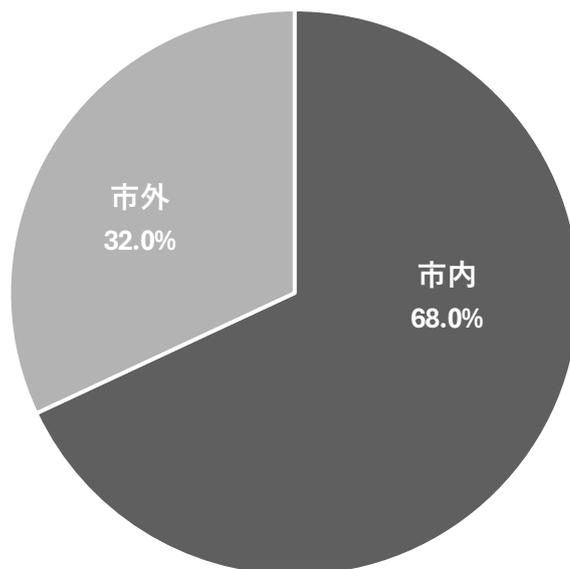
【週当たり就労日数】



n=366

問 10-1 ②C 『父親』は市内・市外のどちらで働いているかをご記入ください。(SA)

「市内」が68.0%を占めています。



n=372

問 10 の②で1年以内の就労希望が「働いていない」を選んだ方におうかがいします。

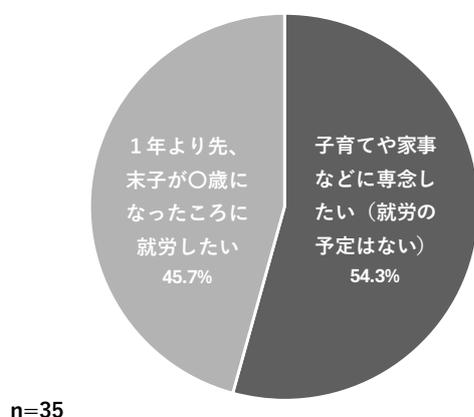
問 10-2 ① 『母親』の1年後以降の就労希望についておうかがいします。(SA)

1年より先、末子が何歳になったところに就労したいですか。(数量)

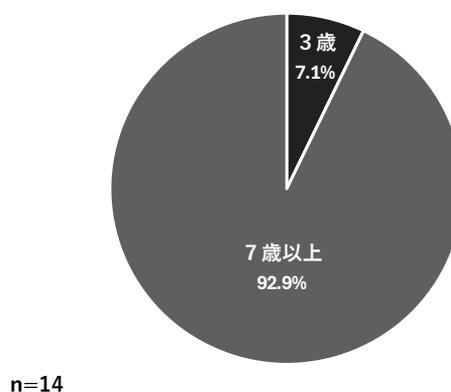
1年後以降の就労希望は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が54.3%を占めています。

1年より先に就労する場合の末子の年齢は、「7歳以上」が92.9%で最も高くなっています。次いで「3歳」が7.1%が続いています。

【1年後以降の就労希望】



【1年より先に就労を希望するときの末子の年齢】



問 10-2 ② 『父親』の1年後以降の就労希望についておうかがいします。(SA)

1年より先、末子が何歳になったところに就労したいですか。(数量)

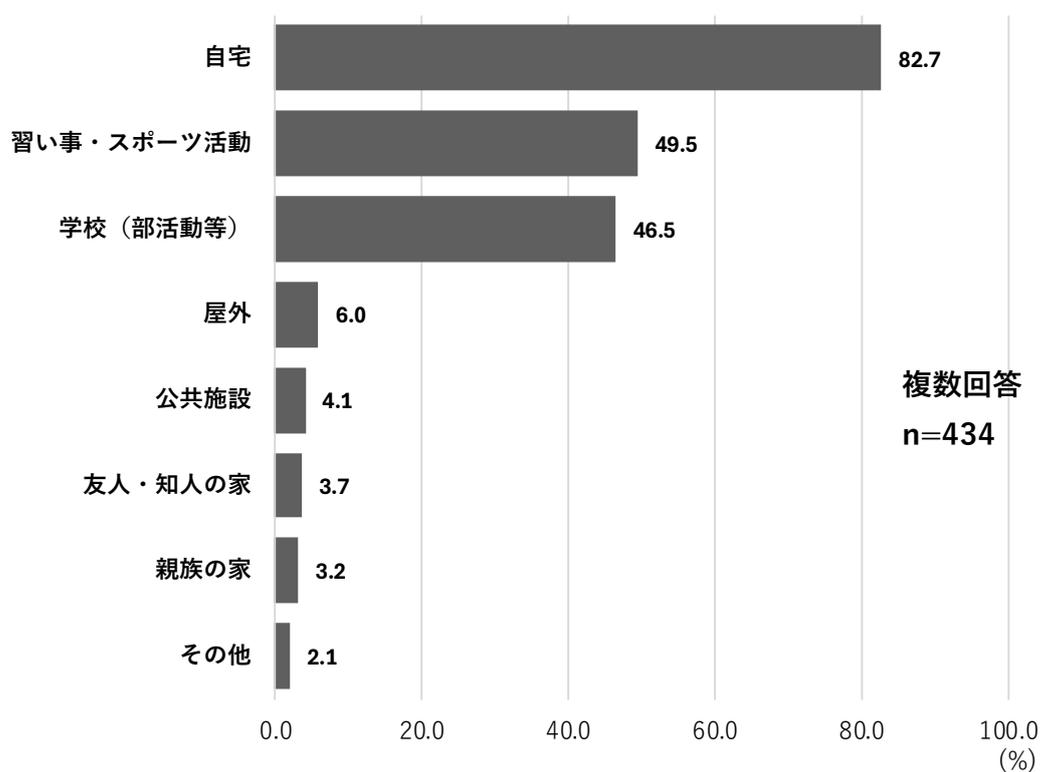
1年後以降の就労希望は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」と「1年より先、末子が〇歳になったところに就労したい」がそれぞれ1名となっています。

1年より先に就労する場合の末子の年齢は、1名のみの回答で「7歳以上」となっています。

### 3 お子さんの放課後の過ごし方について

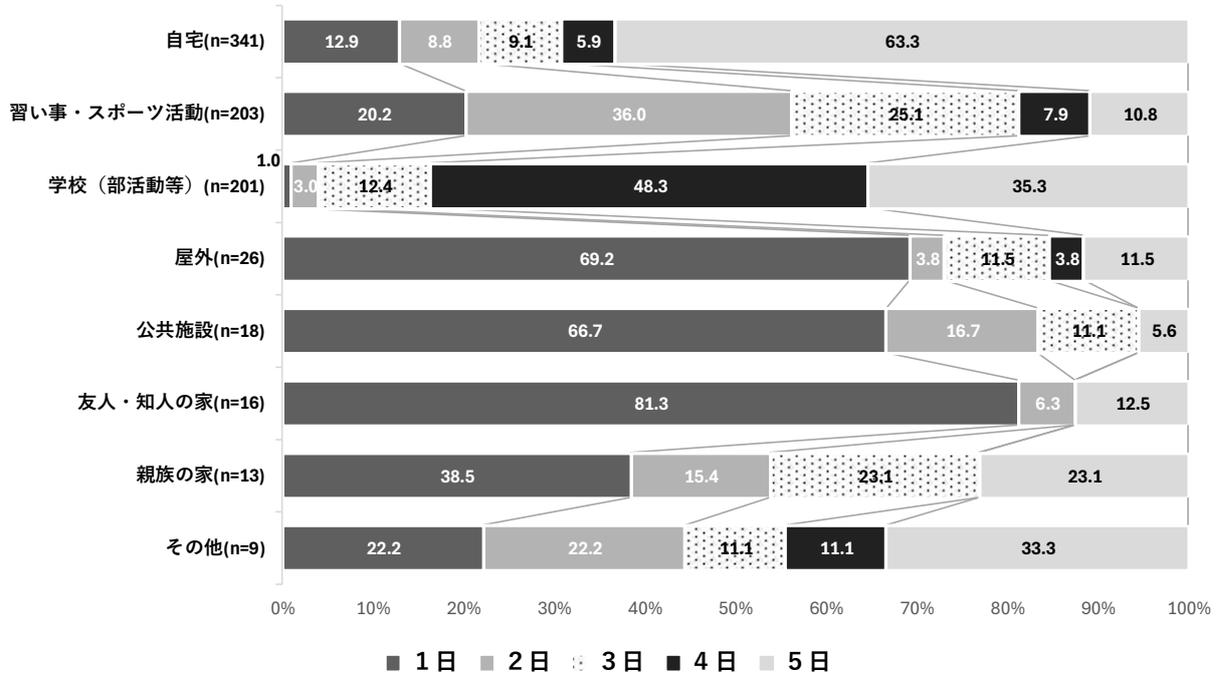
問 11 お子さんは、放課後(平日の中学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。(MA)

「自宅」が82.7%で最も高くなっています。「習い事・スポーツ活動」が49.5%、「学校(部活動等)」が46.5%と4割台で続き、残りの過ごし方は10%未満となっています。



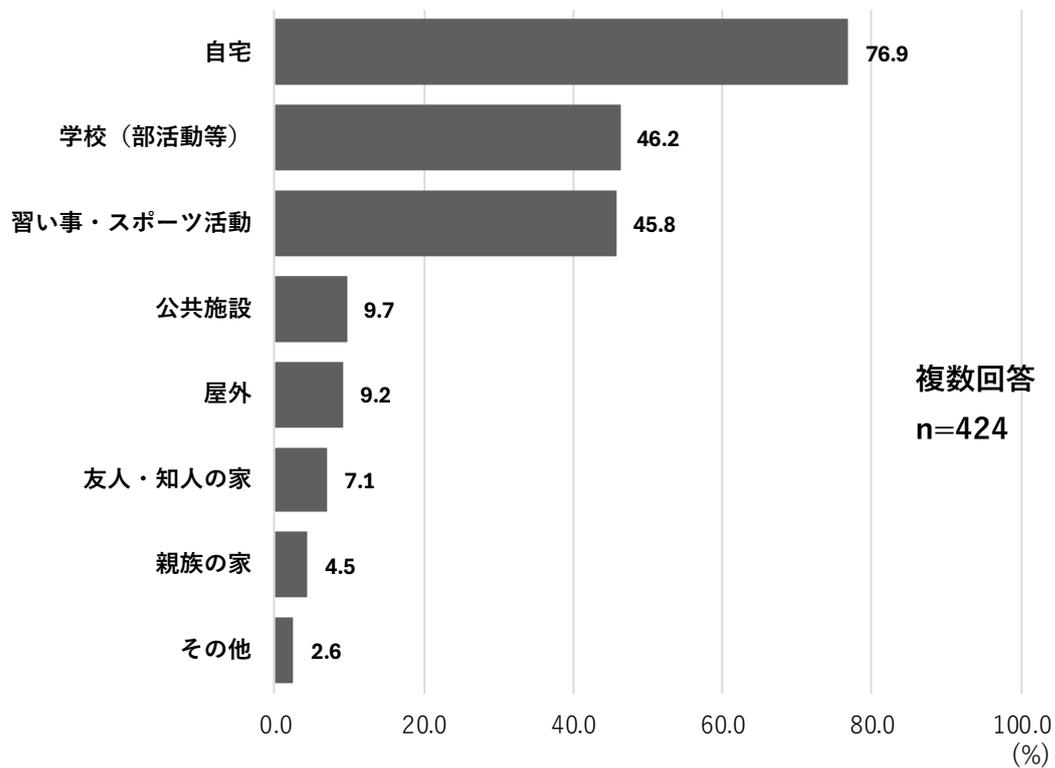
放課後に過ごしている1週間当たりの日数（平日）を場所ごとに尋ねたところ、「学校（部活動等）」は4日以上が8割超に達しています。「自宅」については「5日」が63.3%で、小学生の53.0%（104ページ）よりも割合が高くなっています。

【放課後の過ごし方（場所別日数）】



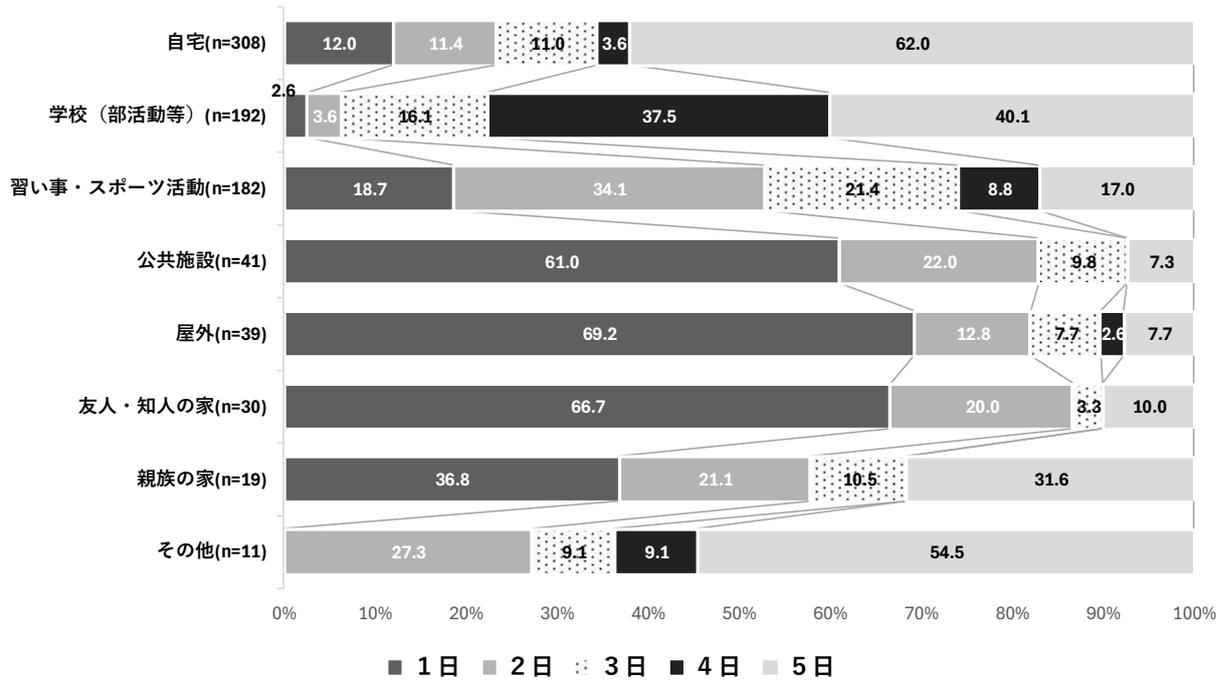
問 12 お子さんを、放課後(平日の中学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。(MA)

「自宅」が76.9%で最も高くなっています。「学校(部活動等)」が46.2%、「習い事・スポーツ活動」が45.8%と4割台で続き、残りの過ごし方は10%未満となっています。



放課後に過ごさせたい1週間当たりの日数（平日）を場所ごとに尋ねたところ、「学校（部活動等）」は4日以上が約8割に達しています。「自宅」については「5日」が62.0%です。

【放課後の過ごし方希望（場所別日数）】



問 11、12 で「4. 習い事・スポーツ活動」を選択された方におうかがいします。

問 13 具体的に、どのような習い事、スポーツをしていますか。また、させたいと思えますか。(FA)

現在の習い事やスポーツについて自由記述式で尋ねたところ、221 件の回答がありました。これらについて、回答上位 5 項目を抽出したところ、以下の通りとなりました。

**<現在の習い事、スポーツ（件数上位 5 項目）>**

- ・ 塾 (135 件)
- ・ 英語・英会話 (21 件)
- ・ 習字・書道 (11 件)
- ・ サッカー (10 件)
- ・ ピアノ (10 件)

一方、させたい習い事やスポーツについて自由記述式で尋ねたところ、143 件の回答がありました。これらについて、回答上位 5 項目を抽出したところ、以下の通りとなりました。

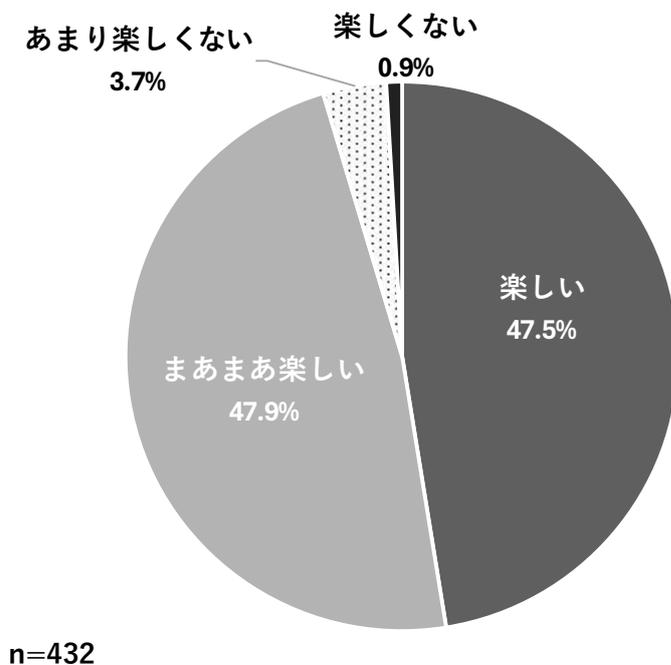
**<させたい習い事、スポーツ（件数上位 5 項目）>**

- ・ 塾 (68 件)
- ・ スイミング・水泳 (9 件)
- ・ 卓球 (7 件)
- ・ ピアノ (6 件)
- ・ サッカー (5 件)
- ・ 習字・書道 (5 件)
- ・ ダンス (5 件)
- ・ 野球 (5 件)

## 4 お子さんとの暮らしについて

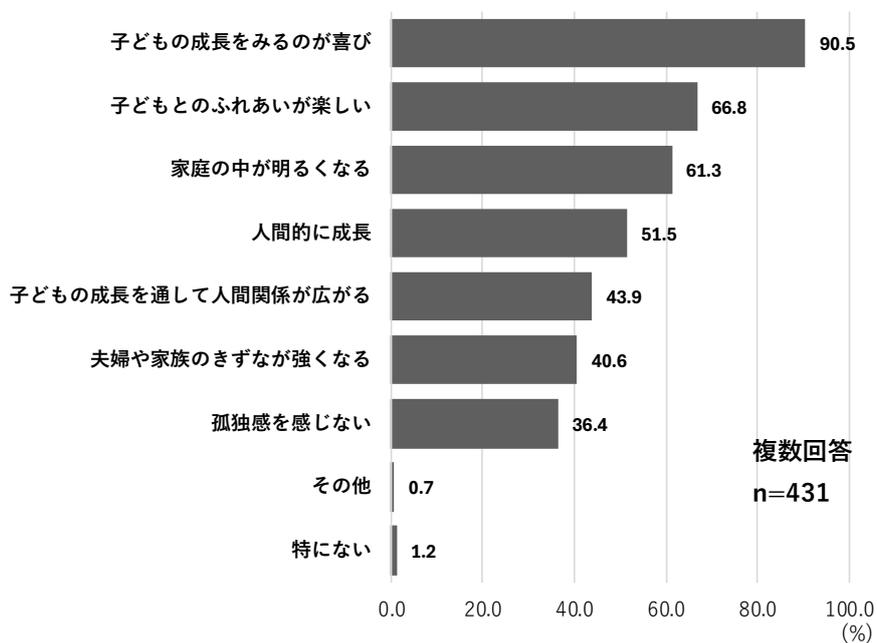
問 14 子育ては楽しいと思いますか。(SA)

「楽しい」(47.5%)、「まあまあ楽しい」(47.9%)を合計した95%程度が楽しいと回答しています。



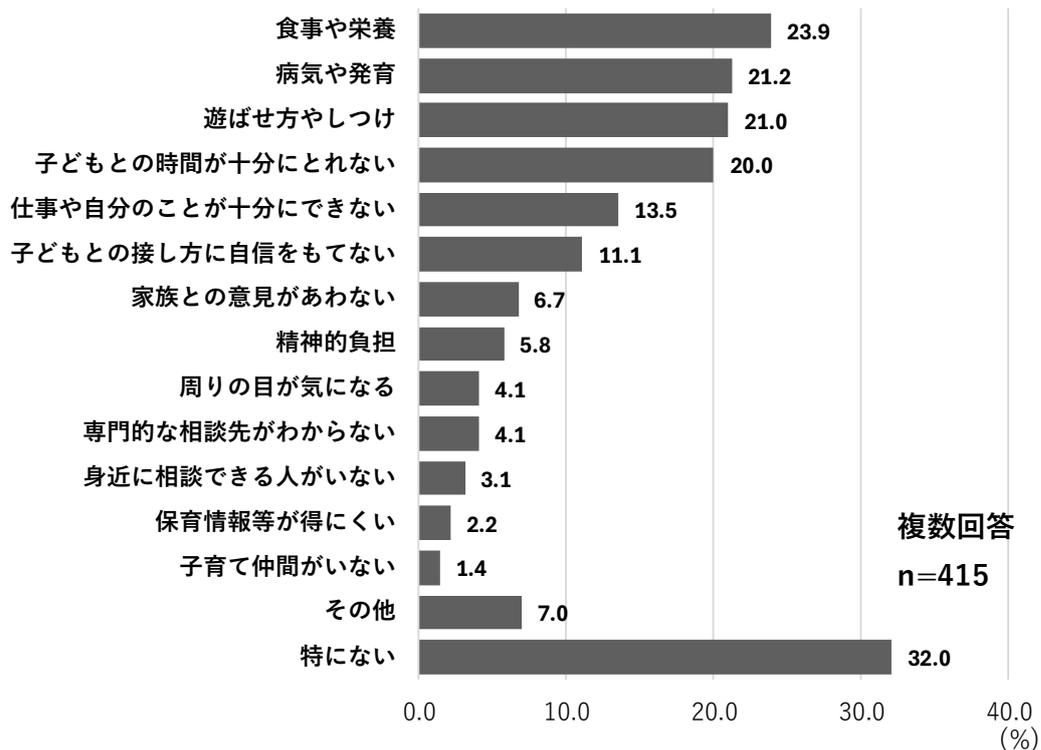
問 15 子育てをされていて良かったことや喜びを感じたことはどのようなことですか。(MA)

「子どもの成長をみるのが喜びである」が90.5%で最も高くなっています。次いで「子どもとのふれあいが楽しい」が66.8%、「家庭の中が明るくなる」が61.3%で続いています。



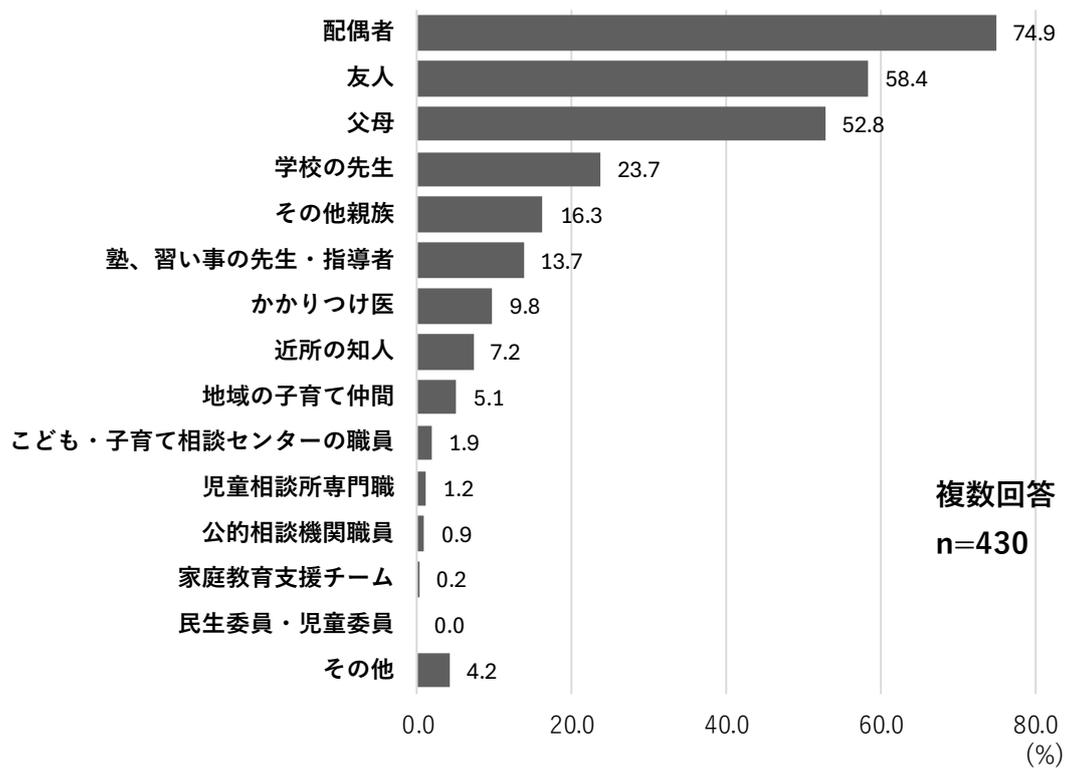
問 16 子育てに関して、悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
(MA)

「悩んでいることは特にない」が32.0%で最も高くなっています。次いで「子どもの食事や栄養について」が23.9%、「子どもの病気や発育について」が21.2%、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が21.0%、「子どもとの時間が十分にとれない」が20.0%で続いています。



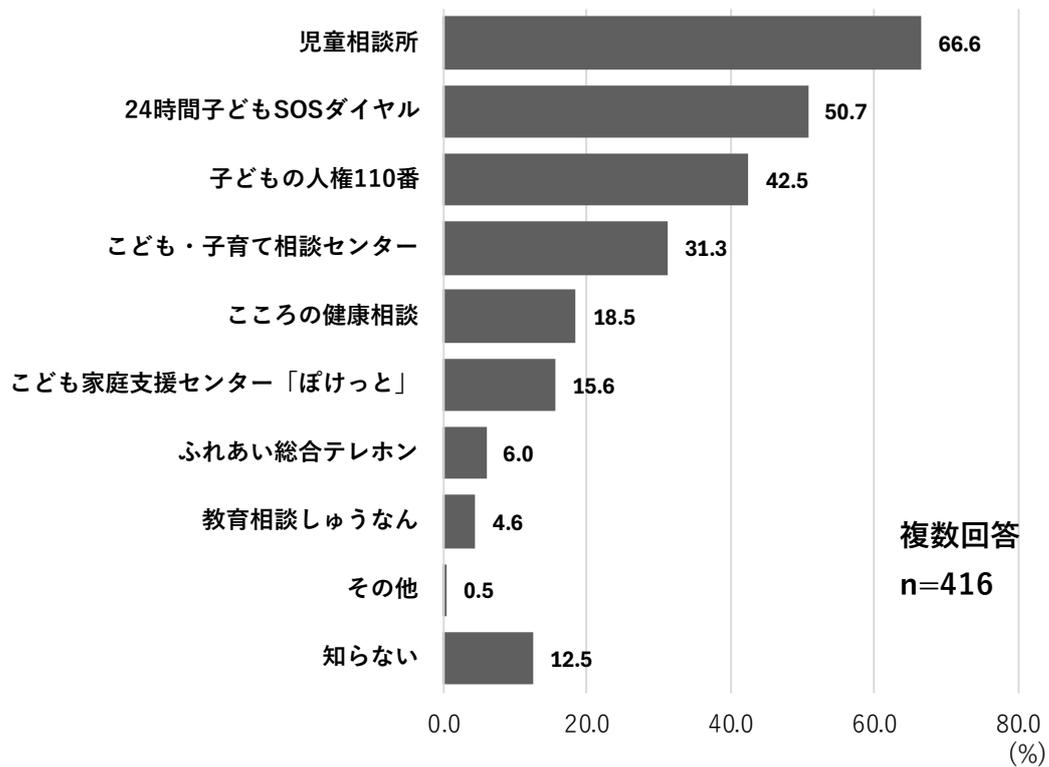
問 16-1 お子さんのことで何かわからないことや困ったこと、悩み事があるとき、誰に相談していますか。(MA)

「配偶者」(74.9%)、「友人」(58.4%)、「父母(子どもの祖父母)」(52.8%)の3項目が5割以上を占め、その他の項目は2割台以下となっています。



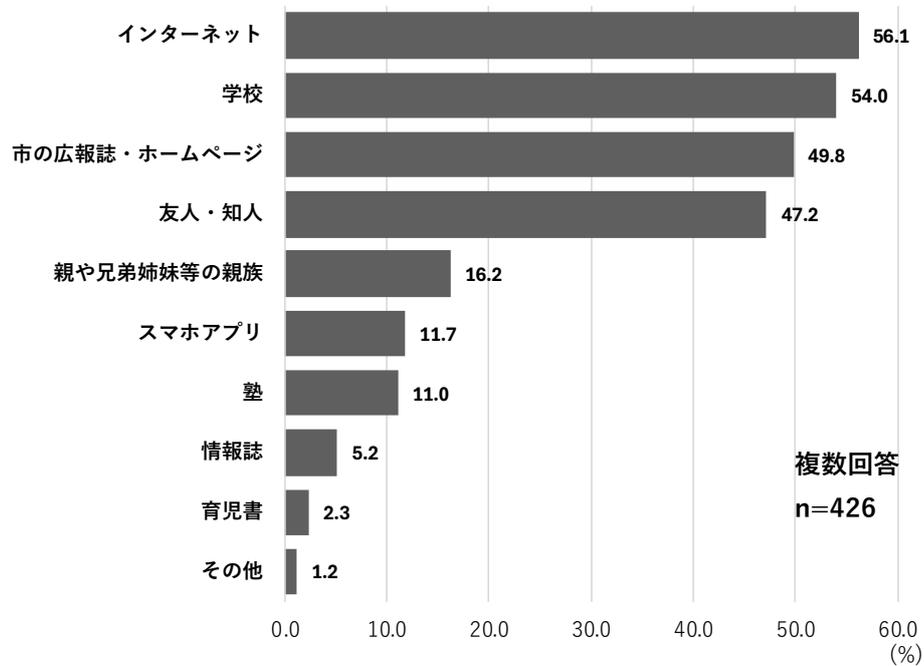
問 17 県内には子どもの悩みにこたえるために、いろいろな相談窓口があります。次のうちの窓口をご存知ですか。(MA)

「児童相談所」が66.6%で最も高くなっています。次いで「24時間子どもSOSダイヤル(やまぐち子どもSOSダイヤル)」が50.7%、「子どもの人権110番」が42.5%が続いています。



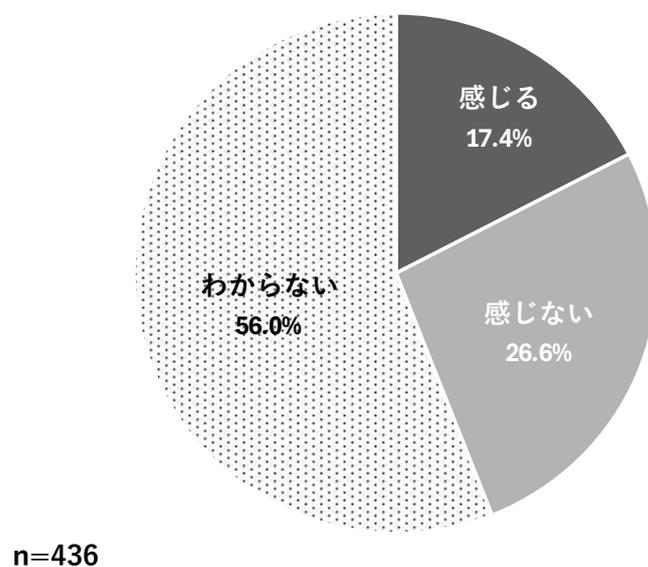
問 18 子育てに関する情報はどのように入手していますか。(MA)

「インターネット」(56.1%)、「学校」(54.0%)、「市の広報誌・ホームページ」(49.8%)、「友人・知人」(47.2%)までが4割以上となっています。



問 19 市の子育て支援サービスの情報は入手しやすいと感じますか。(SA)

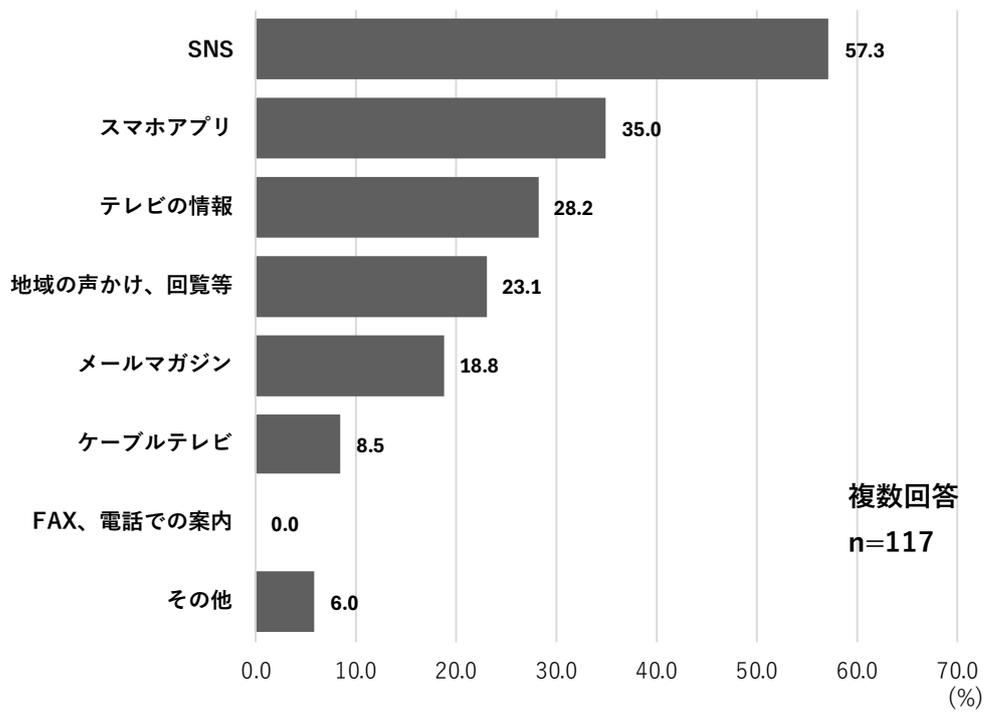
「感じる」は17.4%で、「わからない」が56.0%、「感じない」が26.6%となっています。



問 19 で「情報が入手しやすいと感じない」を選んだ方におうかがいします。

問 19-1 どのような手段で情報を入手できればよいと思いますか。(MA)

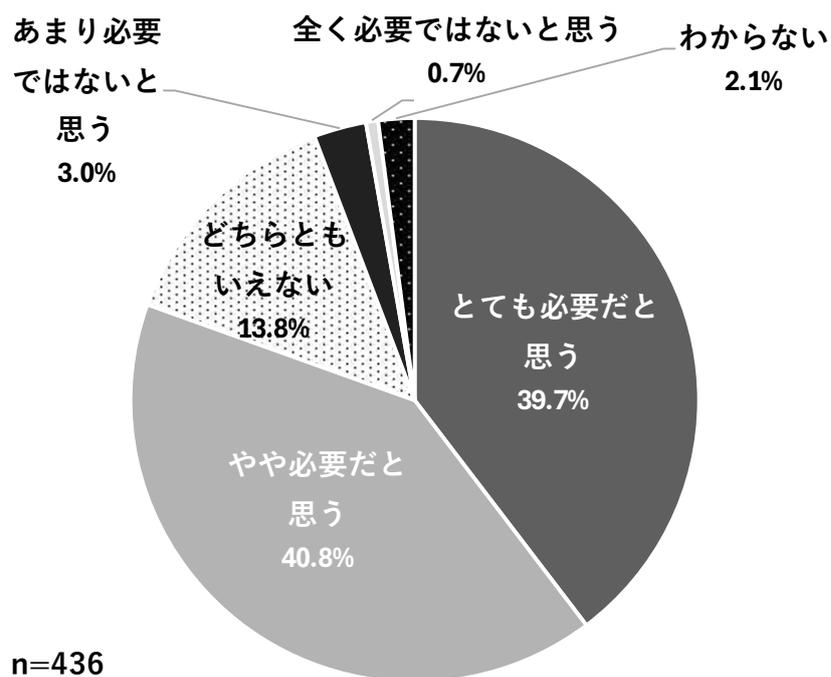
「フェイスブック、LINE などの SNS」(57.3%)、「スマホアプリ(プッシュ通知)」(35.0%)と上位 2 つはいずれも web 媒体となっています。



## 5 子育てと地域の関わりについて

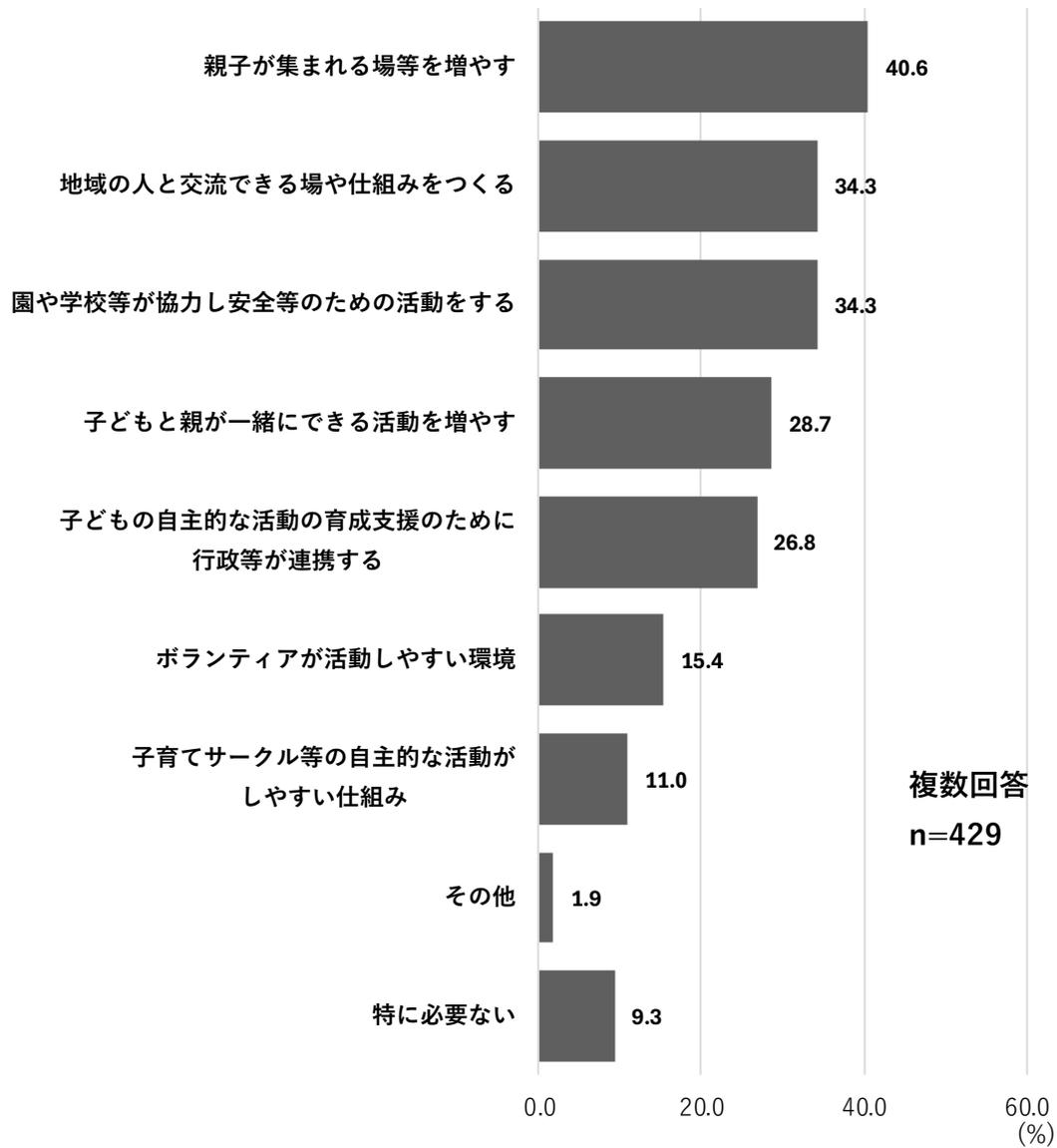
問 20 子育てをする人にとって、地域の支えは必要だと思いますか。(SA)

「とても必要だと思う」(39.7%)と「やや必要だと思う」(40.8%)を合計すると8割の保護者が地域の支えが必要と考えています。



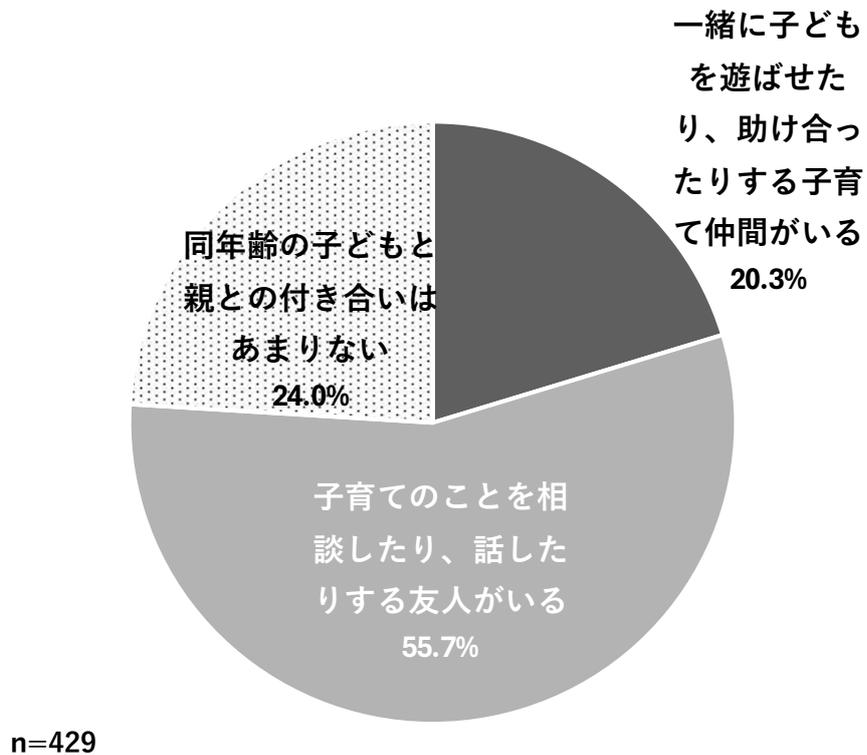
問 21 地域で子育てを支えるために、どんなことが必要だと思いますか。(MA)

「子育て中の親子が集まれる場や遊べる場を増やす」が最も高くなっています。



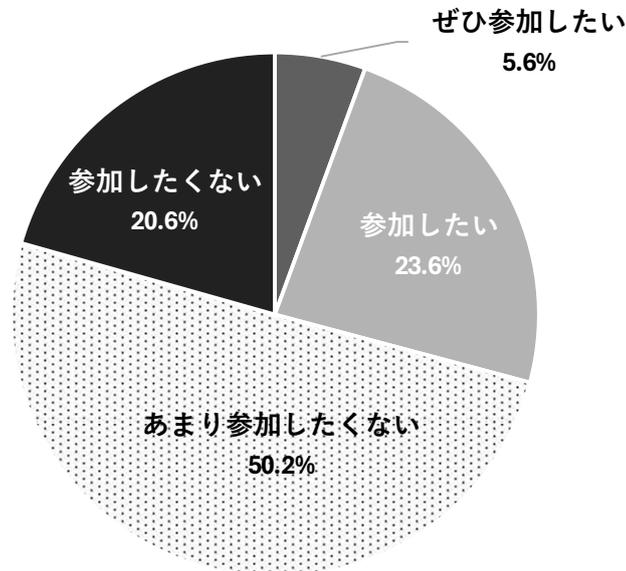
問 22 あなたは、子をもつ親同士のつきあい、子育ての仲間はいますか。(SA)

「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が55.7%で最多、2番目に多い「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」の20.3%と合計すると8割弱は子育て仲間が一定以上いると回答しています。



問 22-1 子育ての仲間づくりの機会があれば、参加したいと思いますか。(SA)

「ぜひ参加したい」(5.6%)と「参加したい」(23.6%)の合計29.2%よりも、「あまり参加したくない」(50.2%)と「参加したくない」(20.6%)の合計70.8%の方が2倍以上多くなっています。

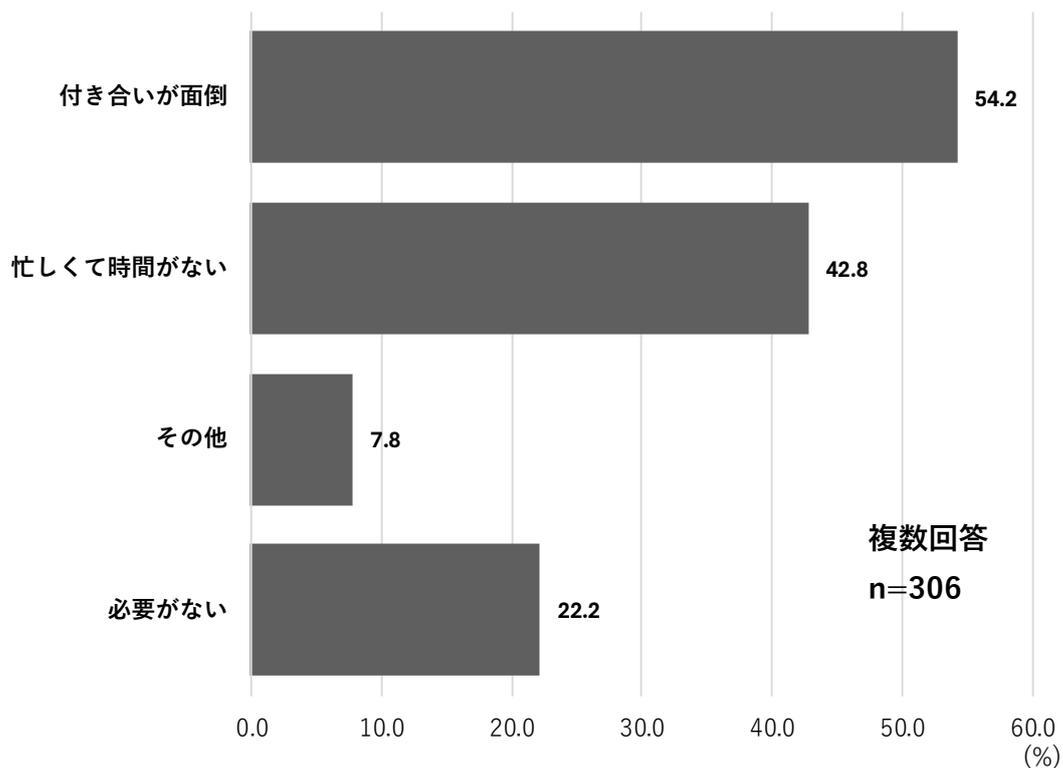


n=432

問 22-1で「あまり参加したくない」「参加したくない」を選んだ方におうかがいします。

問 22-2 参加したくない理由は何ですか。(MA)

「付き合いが面倒」が54.2%で最も高くなっています。次いで「忙しくて時間がない」が42.8%、「必要がない」が22.2%が続いています。



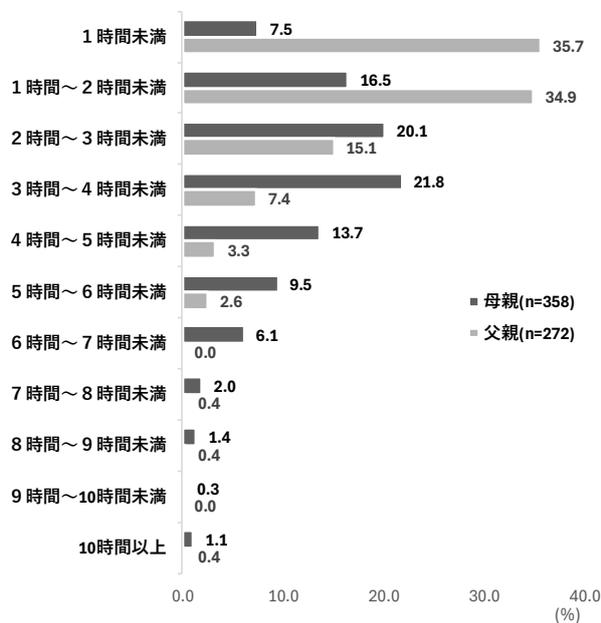
## 6 仕事と子育ての両立について

問 23 保護者の1日平均の育児時間及び育児以外の家事時間はどれくらいですか。平日と休日に分けてお答えください。(数量)

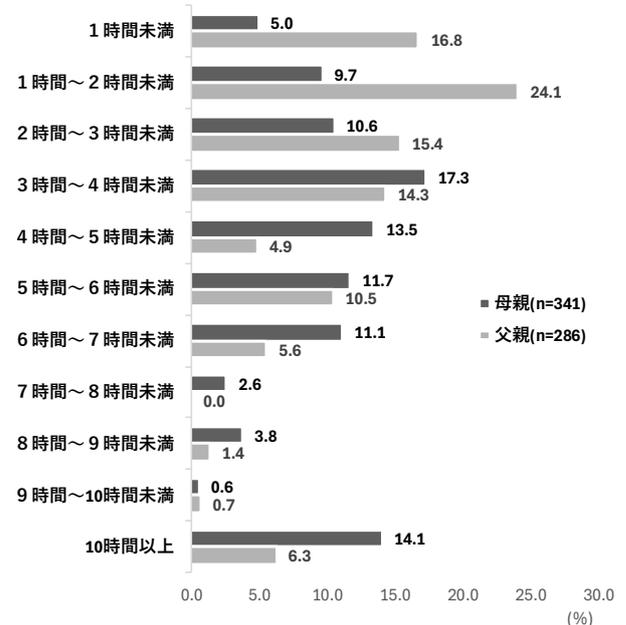
平日の育児時間については、母親において「3時間～4時間未満」が21.8%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」が35.7%と最も高くなっています。

休日の育児時間については、母親において「3時間～4時間未満」が17.3%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間～2時間未満」が24.1%と最も高くなっています。

【平日の育児時間】



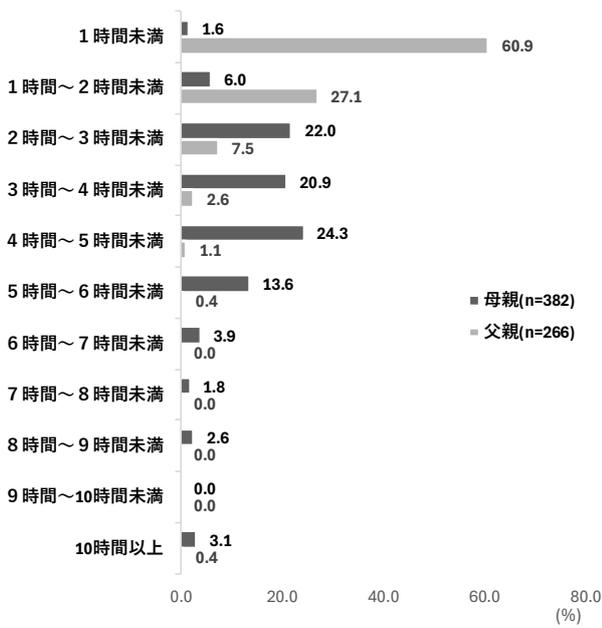
【休日の育児時間】



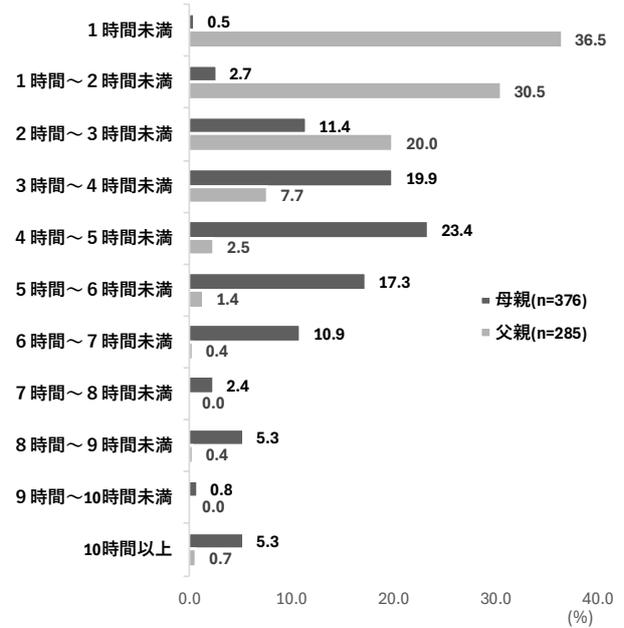
平日の育児以外の家事時間については、母親において「4時間～5時間未満」が24.3%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」が60.9%と最も高くなっています。

休日の育児以外の家事時間については、母親において「4時間～5時間未満」が23.4%と最も高くなっているのに対し、父親においては「1時間未満」が36.5%と最も高くなっています。

【平日の育児以外の家事時間】

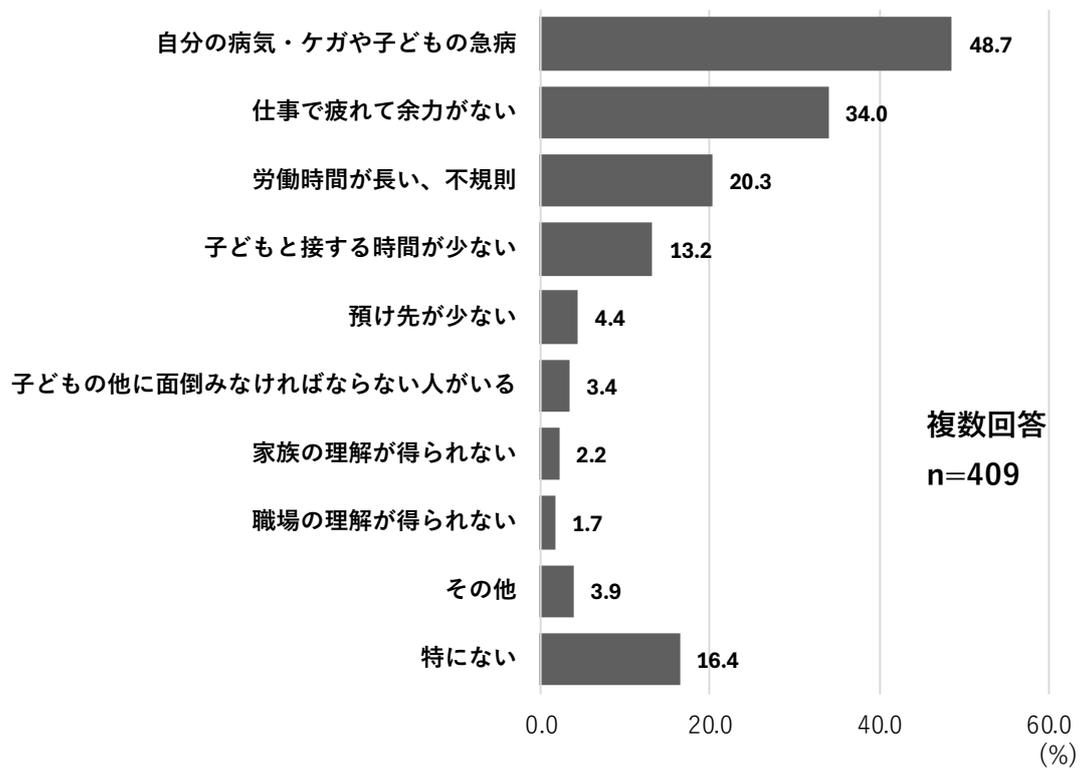


【休日の育児以外の家事時間】



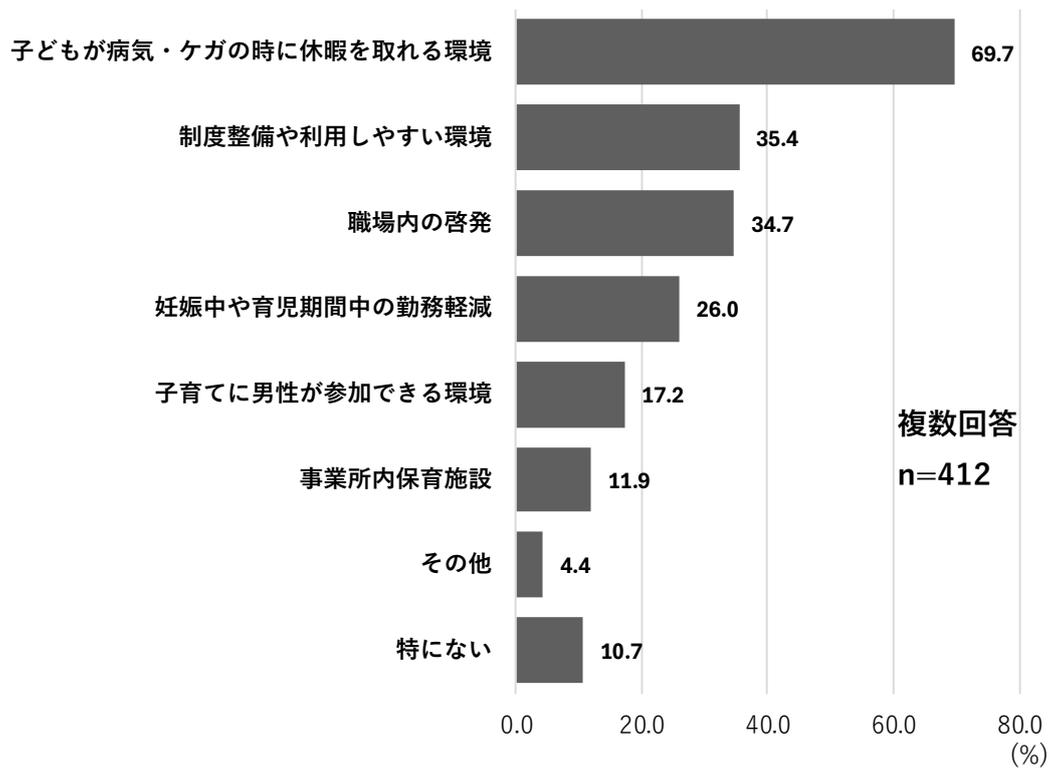
問 24 仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。(MA)

「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になったときの対応」が48.7%で最も高くなっています。次いで、「仕事で疲れて余力がない」が34.0%、「労働時間が長い、不規則」が20.3%が続いています。



問 25 仕事と子育ての両立のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(MA)

「子どもが病気やケガの時などに休暇を取れる環境をつくる」が69.7%で最も高い比率を占めています。

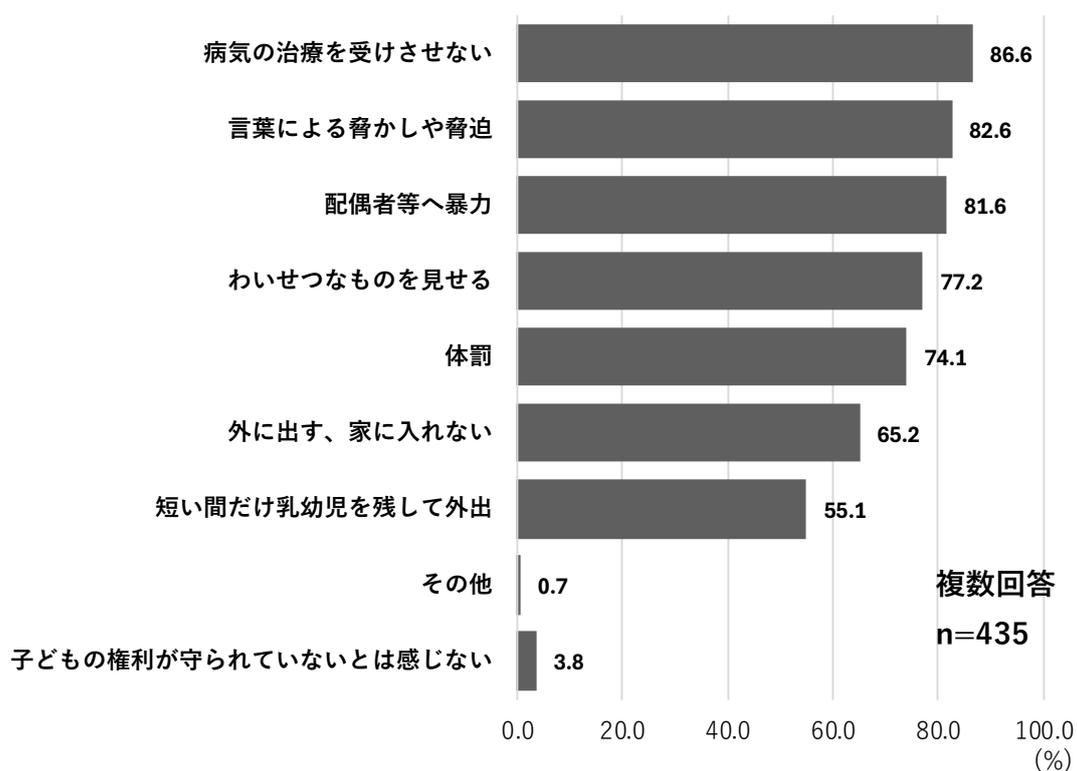


## 7 子どもの権利について

問 26 あなたはどのような行為に対して、子どもの権利が守られてないと感じますか。

(MA)

「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が86.6%で最も高くなっています。次いで「言葉による脅かしや脅迫をする」が82.6%、「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」が81.6%で続いています。「子どもの権利が守られていないと感じない」は3.8%でした。

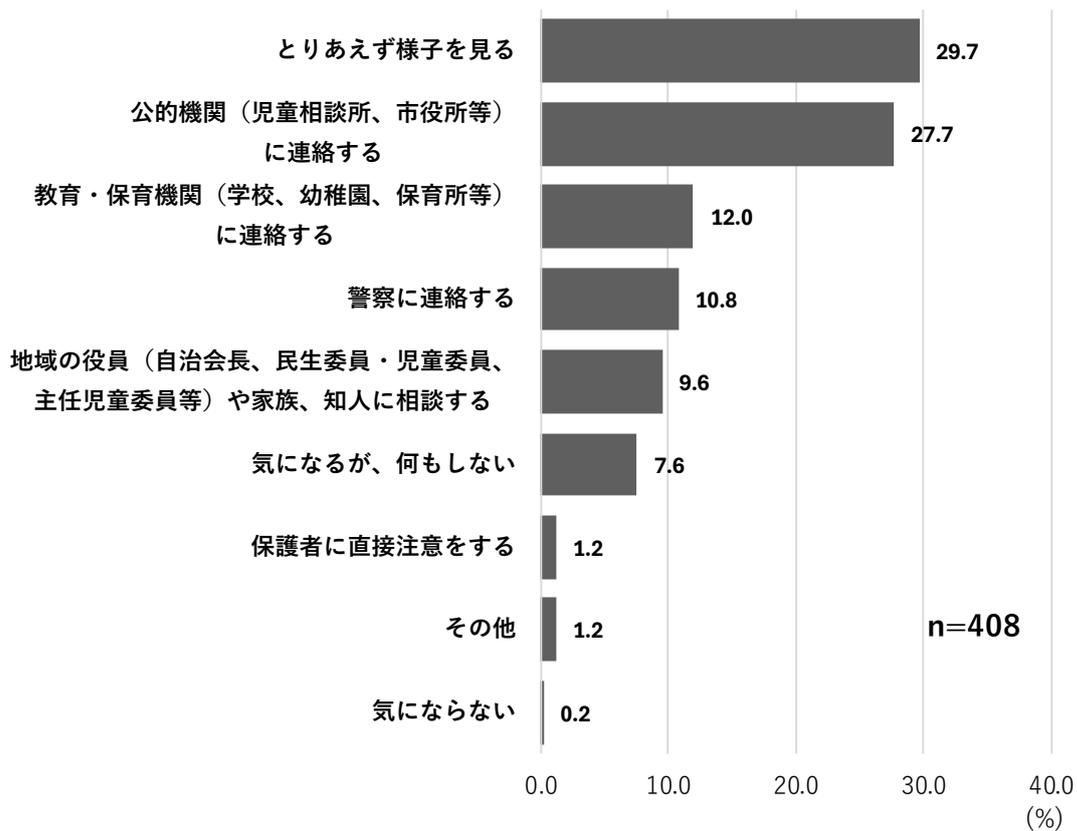


問 27 子どもの権利が守られてないと感じられる行為が行われている家庭を知った時、あなたなら最初にどうしますか。(SA)

市役所、地域の役員、教育・保育機関といった外部へ連絡するという回答が6割を占めています。

「とりあえず様子を見る」が29.7%、「気になるが、何もしない」が7.6%と、どこにも連絡しないという回答が37.3%となっています。

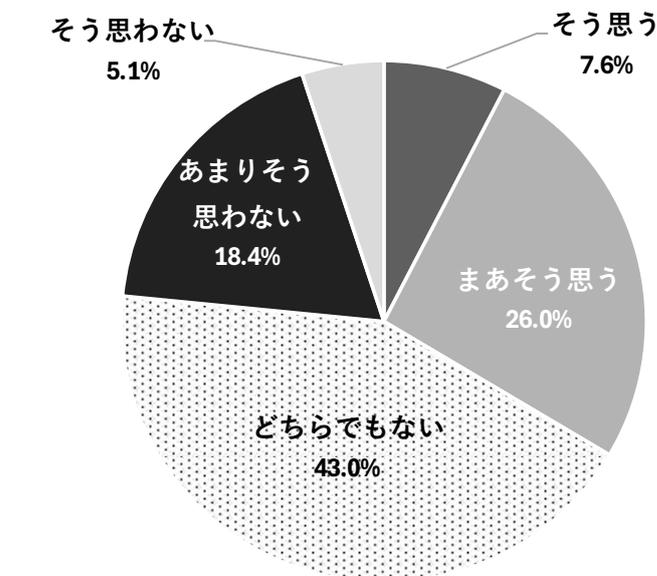
「保護者に直接注意をする」は1.2%と僅かでした。



## 8 子ども子育てに関する市の取組について

問 28 周南市は子育てがしやすいまちだと思いますか。(SA)

「そう思う」(7.6%)と「まあそう思う」(26.0%)の合計が33.6%、「あまりそう思わない」(18.4%)と「そう思わない」(5.1%)の合計が23.5%となっています。



n=435

問 28 で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方におうかがいします。

問 28-1 そう思った理由を自由にお書きください。(FA)

「周南市が子育てしやすいまちか」という質問に「そう思う」もしくは「まあそう思う」と回答した理由を自由記述式で尋ねたところ、120件の回答がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

### <周南市が子育てしやすいまちだと思う理由(主なものを抜粋)>

#### 【医療費が無料】

- ・ 18歳まで医療費無料になる。
- ・ コロナワクチン集団接種の対応が早かった。

#### 【子育て支援センターが充実】

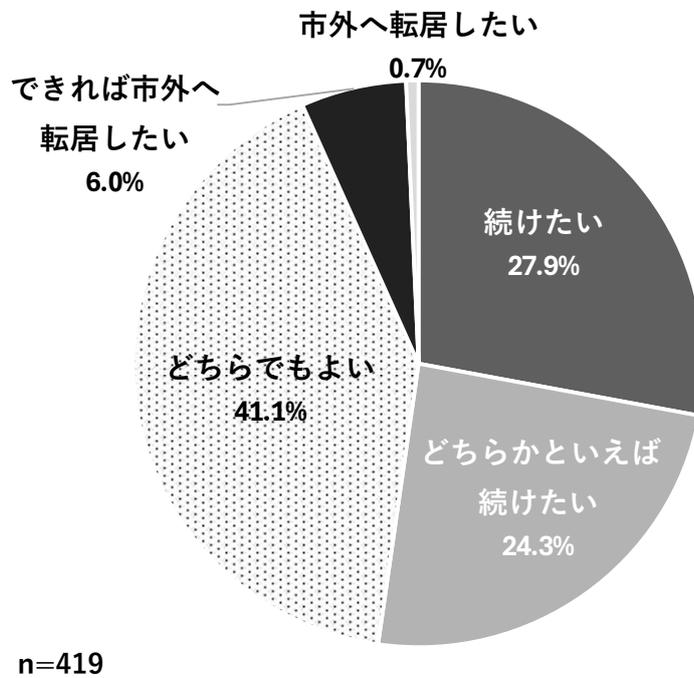
- ・ 子育て支援センターの充実。
- ・ 公園で遊ばせたり、子育て支援センターを利用し、友人が増えた。

#### 【公園が多い】

- ・ 公園が家の近くにある。動物園がある。
- ・ 公園や広場が整い、子どもたちが遊べる居場所が身近に増えてきた。
- ・ フレンドパークなど公園の充実。

問 29 今後も、周南市で子育てを続けたいと思いますか。(SA)

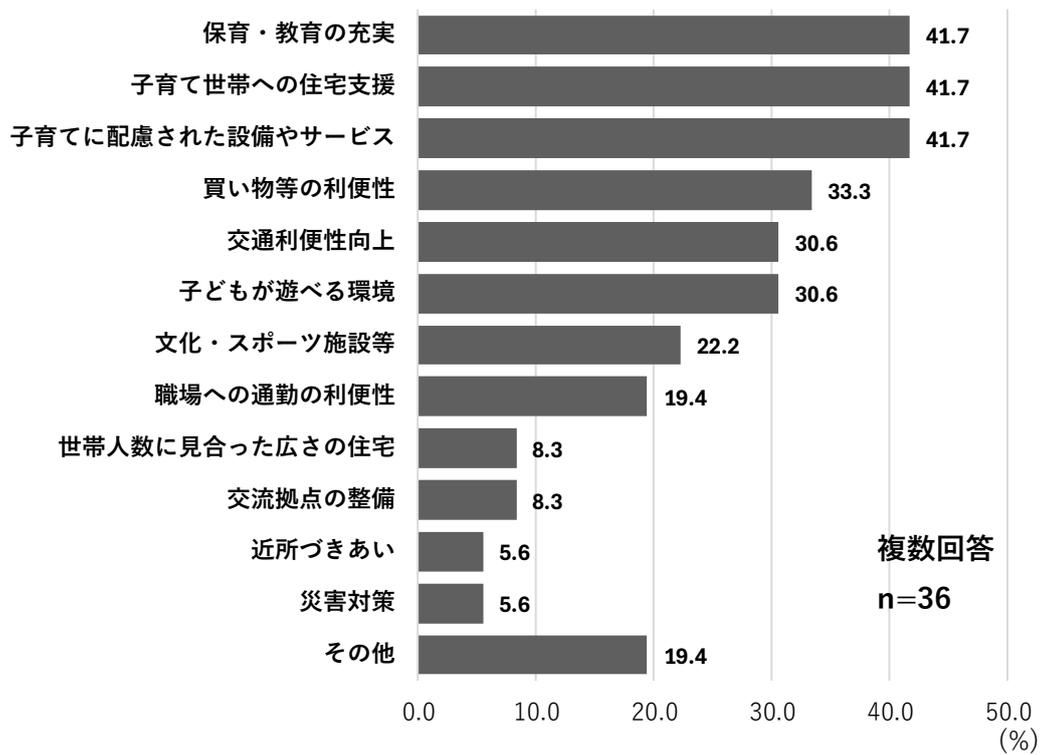
「続けたい」(27.9%)と「どちらかといえば続けたい」(24.3%)の合計が52.2%、「できれば市外へ転居したい」(6.0%)と「市外へ転居したい」(0.7%)の合計が6.7%となっています。



問 29 で「できれば市外へ転居したい」「市外へ転居したい」を選んだ方におうかがいします。

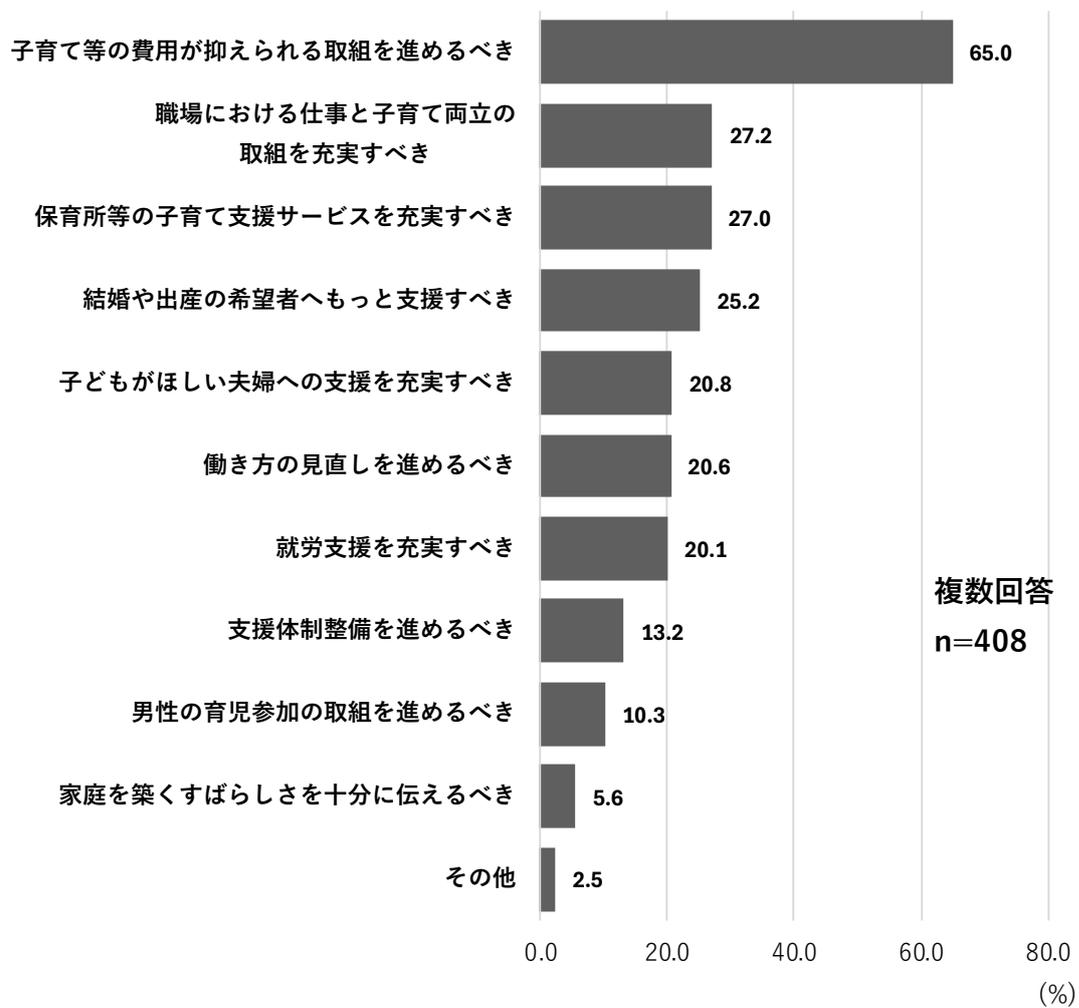
問 29－1 周南市で子育てを続けるために大切なことは何ですか。(MA)

「保育・教育の充実」、「子育て世帯への住宅支援」、「子育てに配慮された設備やサービス」の3項目が41.7%で最多の回答率を占めています。



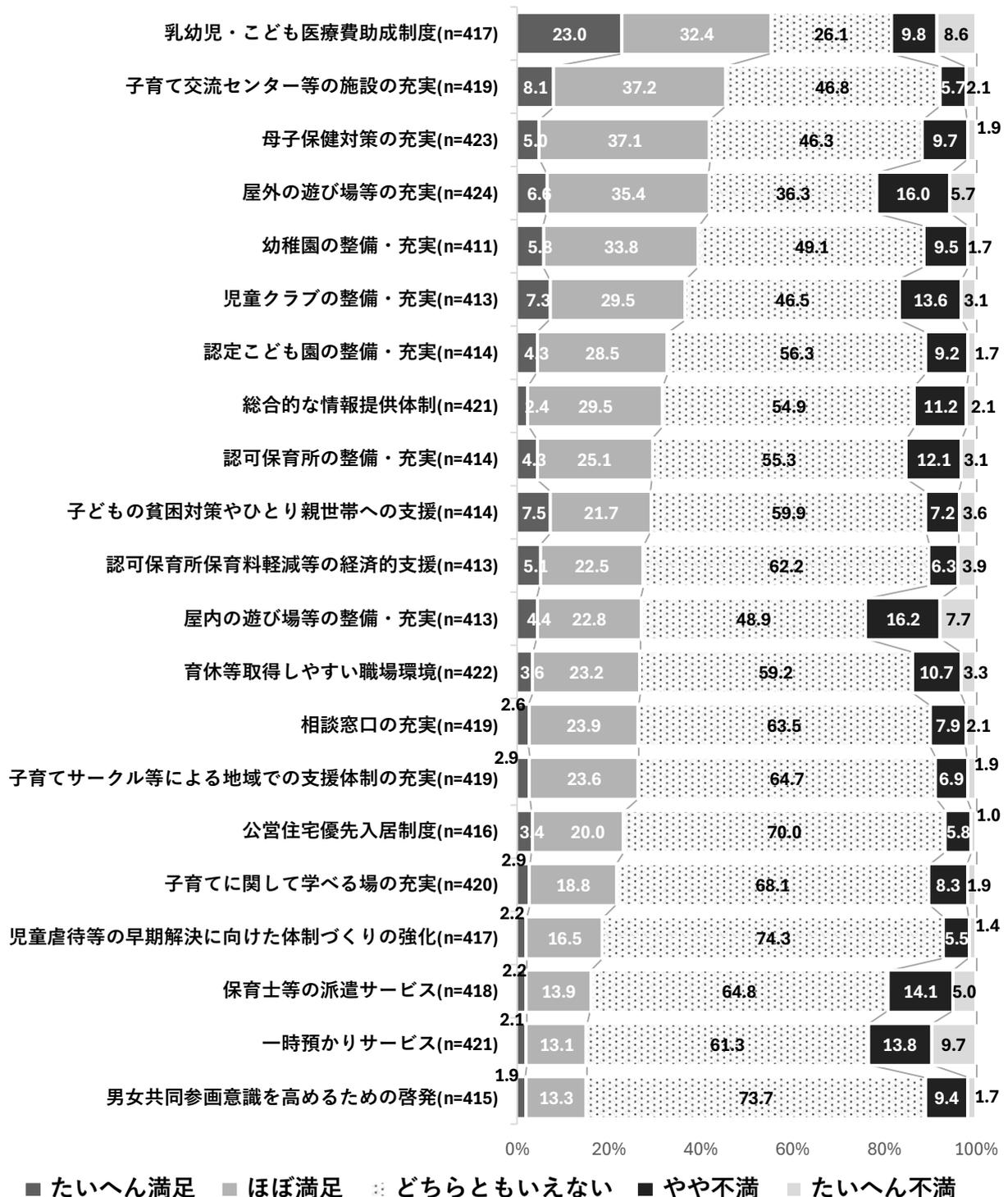
問 30 少子化対策に関して、どのようにお考えですか。(MA)

「子育てや教育にかかる費用が抑えられるような取組を進めるべきである」という費用対策が 65.0%で最も高くなっています。次いで「職場における仕事と子育ての両立のための取組を充実すべきである」が 27.2%、「保育所など地域における子育て支援サービスを充実すべきである」が 27.0%で続いています。



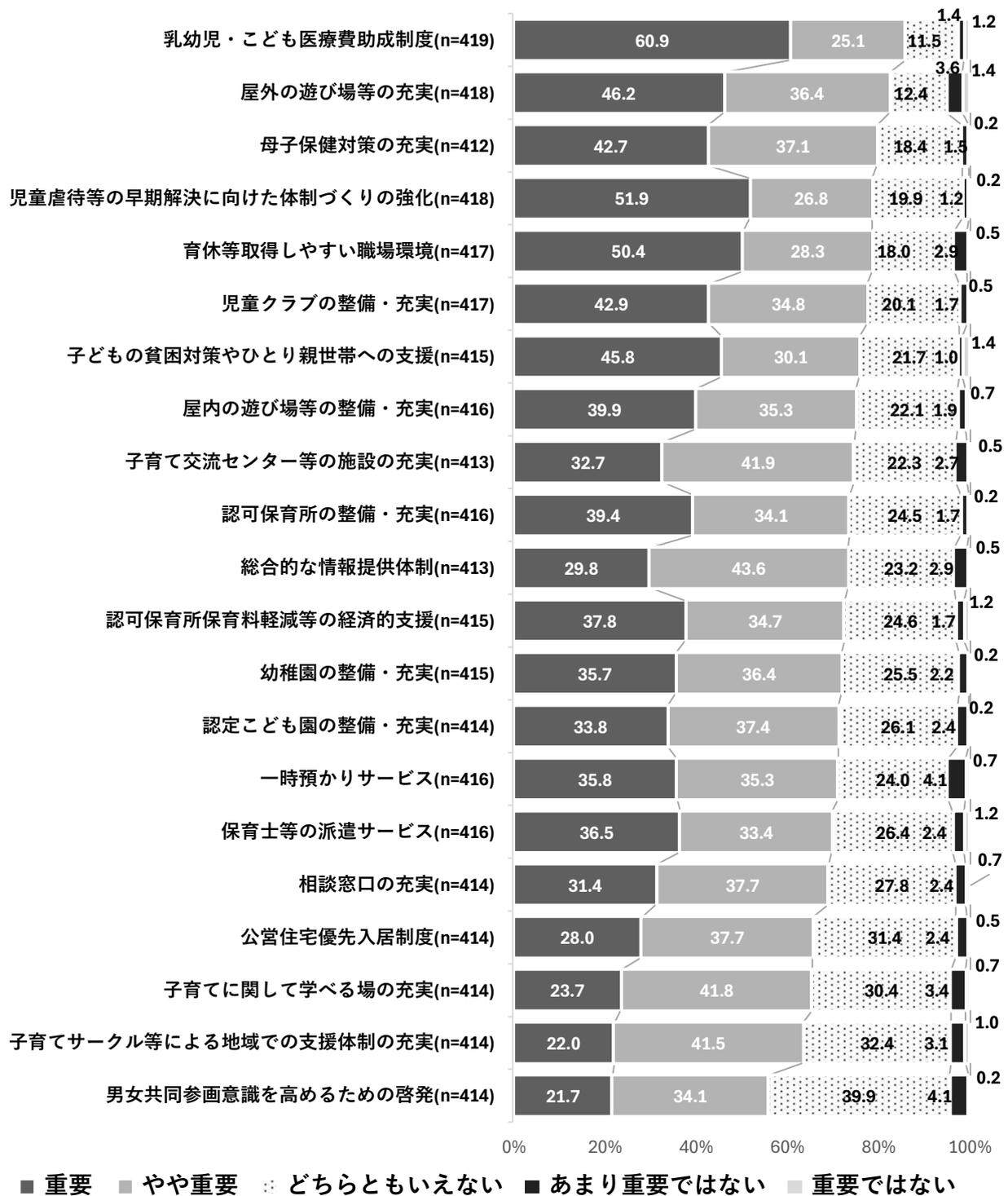
問 31① 周南市の子育て支援策についての「満足度」について教えてください。(SA)

「たいへん満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合の高い項目は、「乳幼児医療費・こども医療費助成制度」が55.4%、「子育て交流センターや子育て支援センターの施設等の充実」が45.3%、「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」が42.1%の順に高くなっています。一方、「やや不満」と「たいへん不満」を合わせた割合の高い項目は、「子どもや親子で楽しめる屋内の遊び場・居場所の整備・充実」が23.9%、「ちょっとした用事やリフレッシュのために利用できる一時預かりサービス」が23.5%、「子どもや親で楽しめる公園等屋外の遊び場・居場所の充実」が21.7%の順に高くなっています。



問 31② 周南市の子育て支援策についての「重要度」について教えてください。(SA)

「重要」と「やや重要」を合わせた割合の高い項目は、「乳幼児医療費・こども医療費助成制度」が86.0%、「子どもや親で楽しめる公園等屋外の遊び場・居場所の充実」が82.6%、「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」が79.8%の順に高くなっています。



## 9 意見要望

お子さんが高校生になった時に気になることや不安なことがあれば、自由に記入してください。

最後に、周南市の子ども・子育て支援に関するご意見など、自由に記入してください。

子どもが高校生になったときに気になることや不安なことについて、自由記述欄において、合計 225 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

### <お子さんが高校生になった時に気になることや不安なこと（主なものを抜粋）>

#### 【大学進学について】

- ・ 公立大学の看護科を検討して高校に進学する、地元から行きやすいと嬉しい。
- ・ 大学進学で県外に出してしまうことに不安があるため、周南公立大学に期待したい。
- ・ 高校卒業後に進学する場合の費用が不安。
- ・ 家から通える大学・短大・専門学校を充実させてほしい。

#### 【高校での人間関係について】

- ・ 高校生になって人間関係など環境が変わってくることに不安。
- ・ 人の道にはずれない様になってほしい。
- ・ 人間関係も、悩んで傷つく事がないようにしたいです。

#### 【通学に係る交通手段について】

- ・ 岩徳線しかない地域に住んでいる、遅延や運休が多く困る。
- ・ 岩徳線は運賃も高く、定期の割り引きがあまりない。
- ・ 通学距離の長さ、公共交通の少なさ、自転車通学の安全性など、通学が心配。
- ・ 熊毛地区はどこの高校に進学しても遠いので、交通費の支援やバスの送迎がほしい。

一方、周南市の子ども・子育て支援に関する意見について、自由記述欄において、合計 170 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<周南市の子ども・子育て支援に関する意見（主なものを抜粋）>

**【各種支援策の所得制限について】**

- ・ 高校無償化を所得制限なしとしてほしい。
- ・ 医療費の高校までの無償化はありがたい。
- ・ 児童手当などの所得制限を見直してほしい。
- ・ 所得制限がある手当等を見なおしてほしい。

**【経済的支援全般について】**

- ・ 第3子からの児童手当だけ増えるのは納得できない。
- ・ 子ども1人、2人でも経済的負担は大きい。
- ・ 高校生には児童手当も無くなるが、教科書代など負担が増える、子育て支援の見直しをしてほしい。

**【子育て支援全般について】**

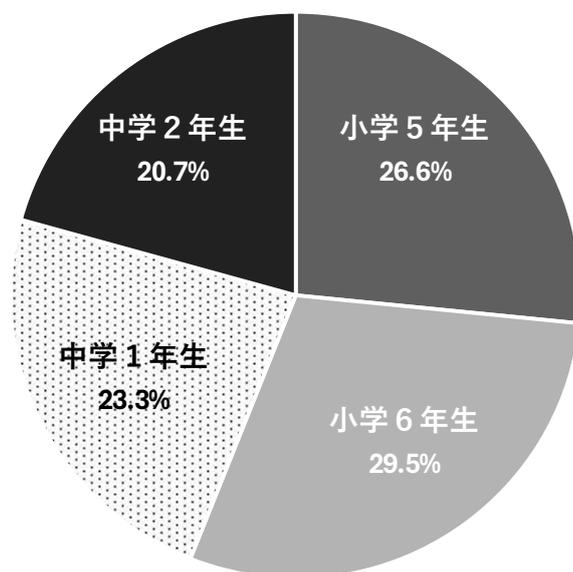
- ・ 親として、保護者であることを自覚できるような支援をしてほしい。
- ・ 共働き促進だけでなく、子育てに専念できる選択肢もほしい。
- ・ 子育て世代にそんなに支援は必要性を感じない。
- ・ 若い人がこれからという時に、親や祖母の介護で結婚に前向きになれないことが問題。

## V 小学校児童・中学校生徒対象調査結果

### 1 あなた自身のことについて

問1 あなたの学年を教えてください。(SA)

「小学6年生」が29.5%で最も高くなっています。次いで「小学5年生」が26.6%、「中学1年生」が23.3%、「中学2年生」が20.7%が続いています。

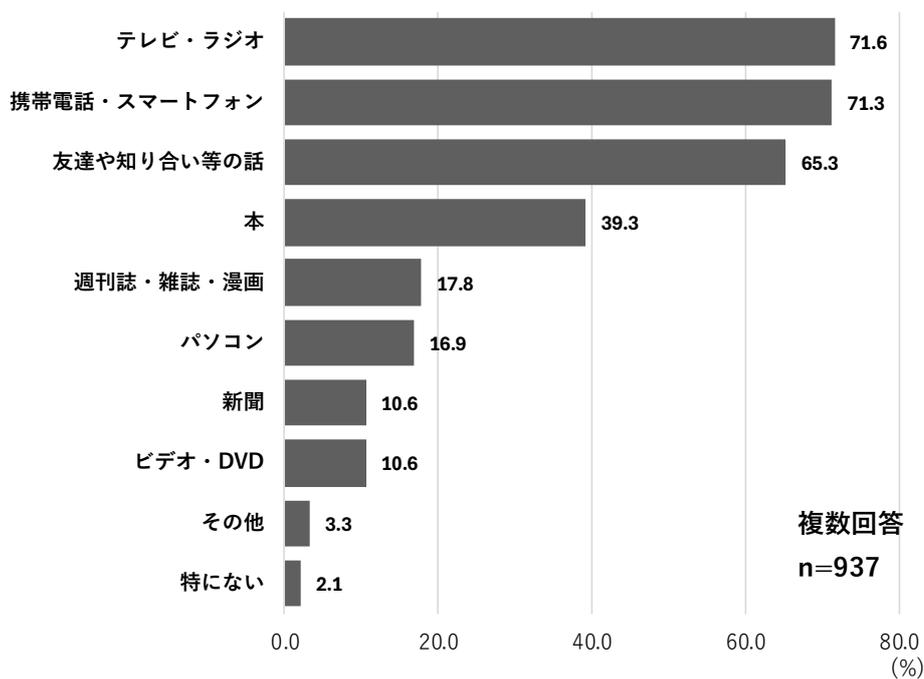


n=937

## 2 情報を得る方法や意見を伝える方法について

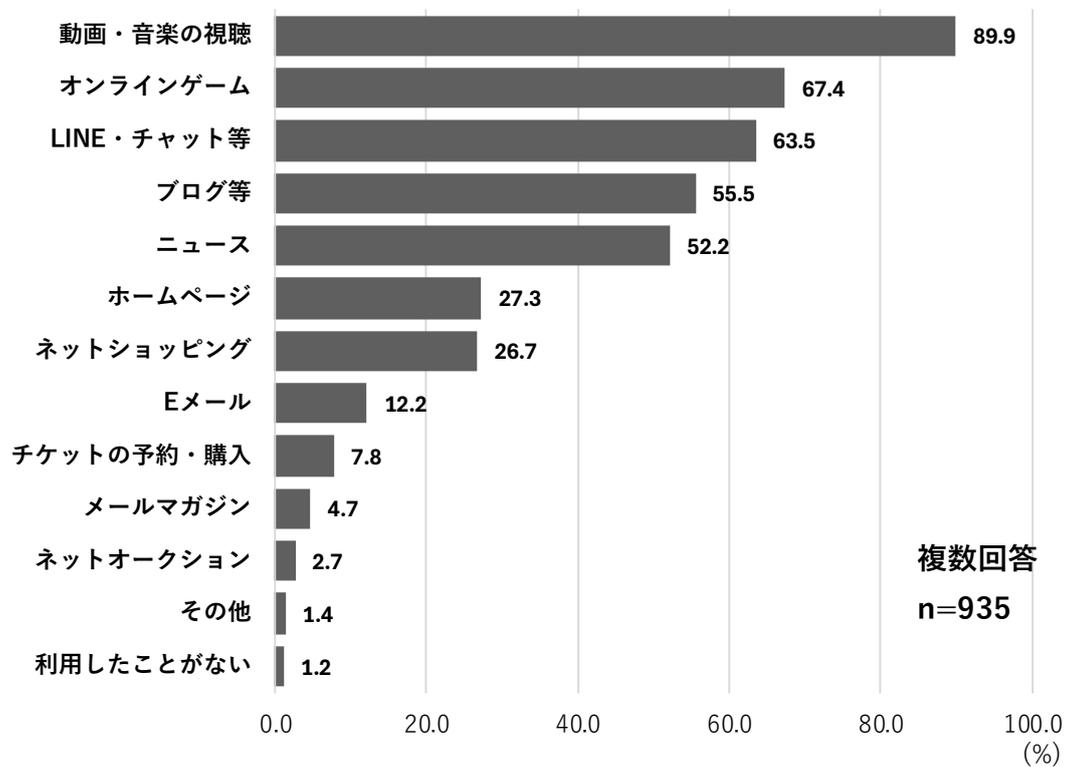
問2 あなたが新しい知識や情報を得るときに、よく利用するものを教えてください。  
(MA)

「テレビ・ラジオ」(71.6%)、「携帯電話・スマートフォン」(71.3%)、「友達や知り合い、兄弟姉妹、大人(父・母・祖父母等)の話」(65.3%)が同程度の回答割合となっています。次いで多いのは「本」で39.3%と25ポイント以上の乖離があります。



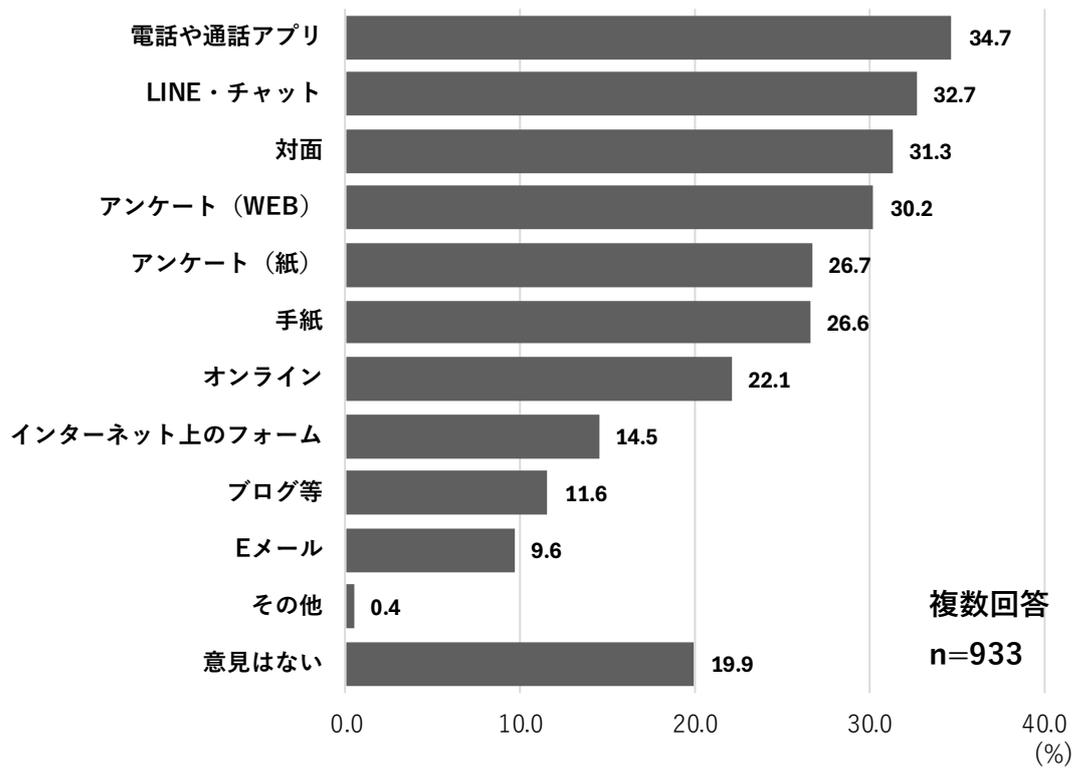
問3 あなたがインターネットで利用したことがあるものを教えてください。(MA)

「動画・音楽の視聴」が89.9%で最も高くなっています。次いで「オンラインゲーム」が67.4%、「LINE・チャット・掲示板・メーリングリスト」が63.5%で続いています。



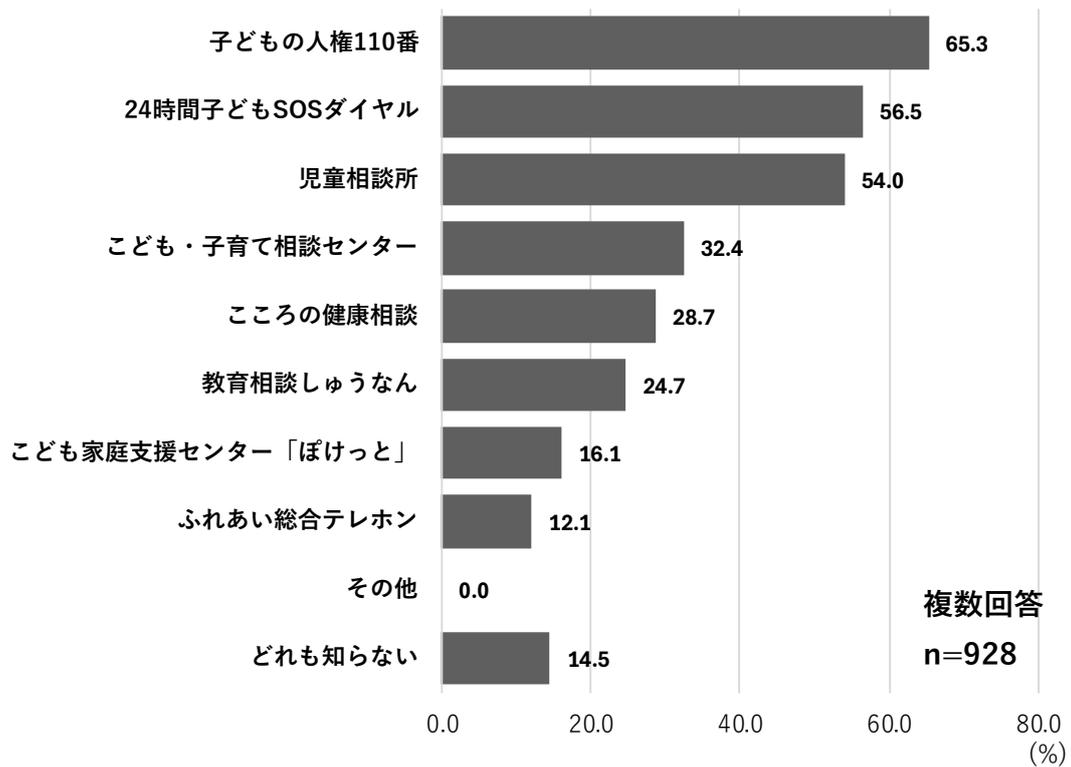
問4 あなたが周南市に対して自分の意見を伝えたいと思った時、どのような方法や手段であれば伝えやすいと思いますか。(MA)

「電話や通話アプリ」が34.7%で最も高くなっています。次いで「LINE・チャット」が32.7%、「対面」が31.3%、「アンケート（WEB）」が30.2%が続いています。



問5 山口県内には、子どもの悩みにこたえるために、いろいろな相談窓口があります。  
次のうち、名前を聞いたことがあるものを教えてください。(MA)

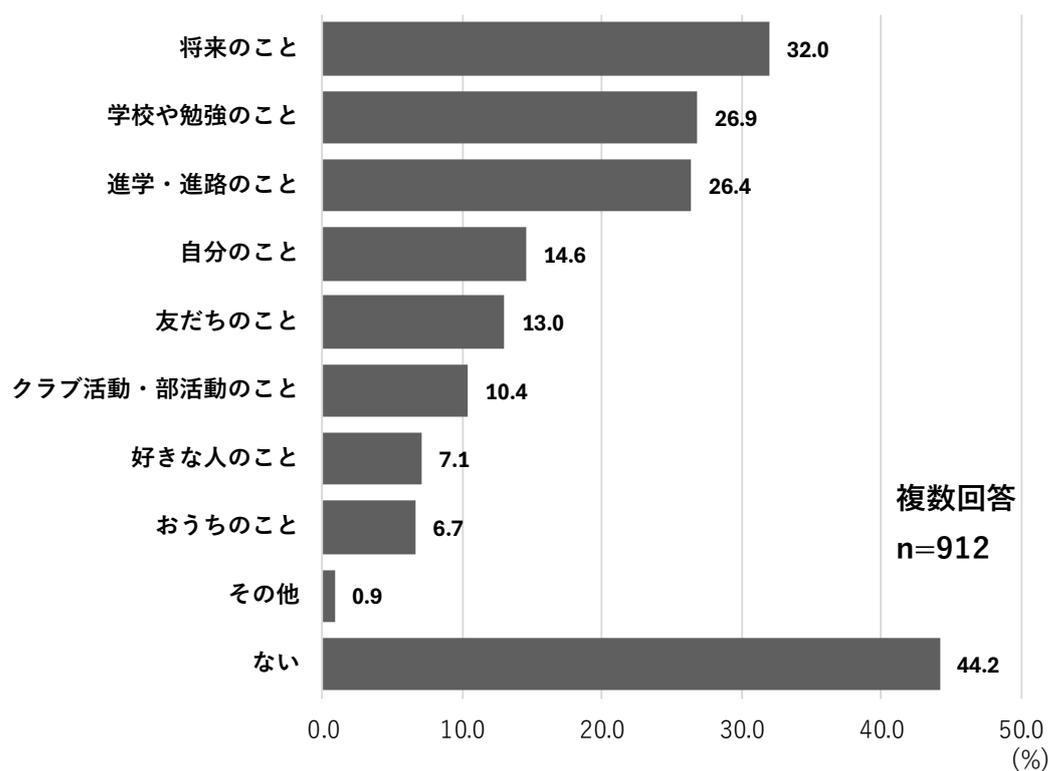
「子どもの人権110番」が65.3%で最も高くなっています。次いで「24時間子どもSOSダイヤル」が56.5%、「児童相談所」が54.0%が続いています。



### 3 あなたの考えや友だちなどについて

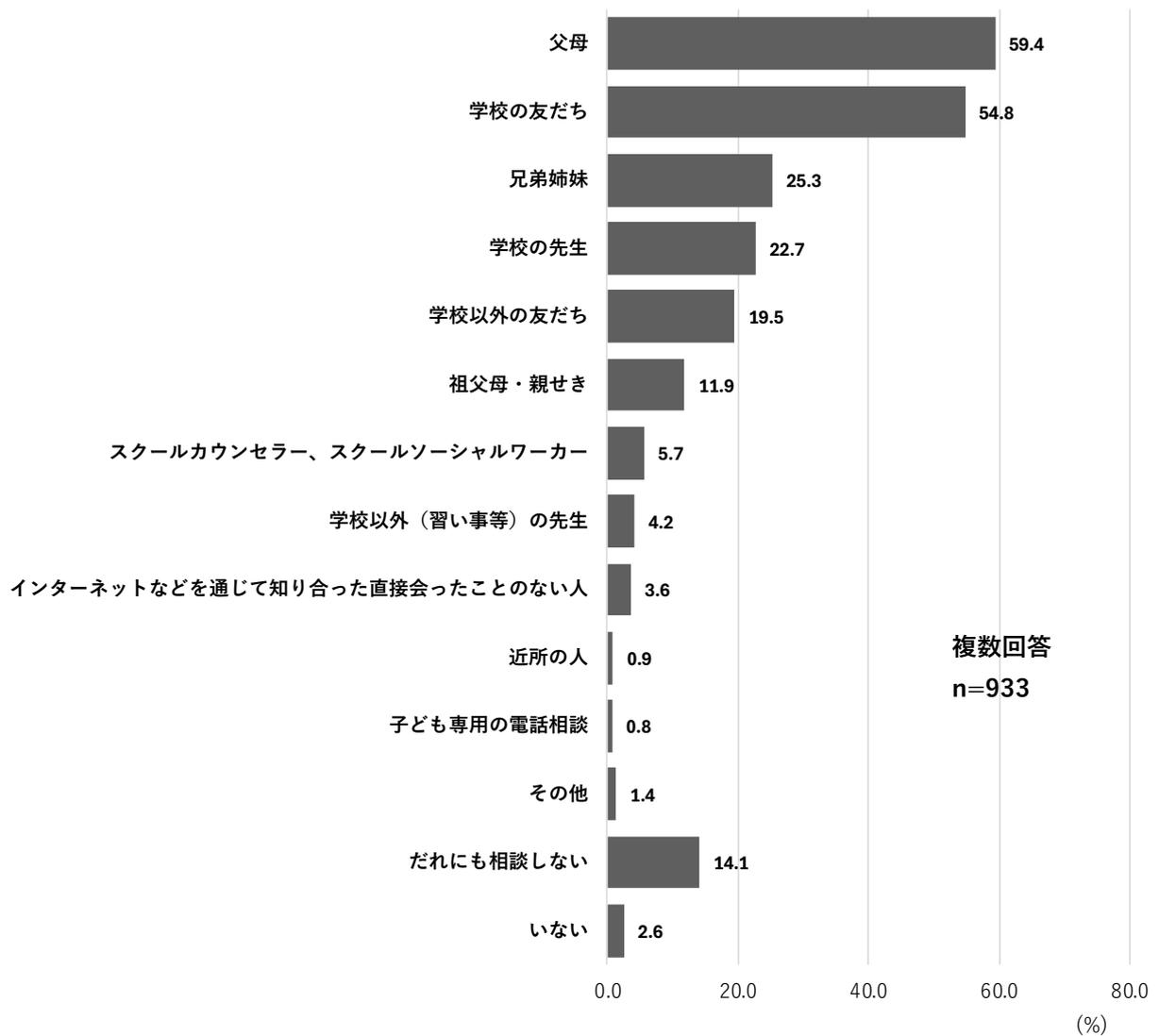
問6 今、あなたは、いやなことや悩んでいることがありますか。(MA)

「いやなことや悩んでいることがない」が44.2%で最も高くなっています。悩んでいることの中では「将来のこと」が32.0%、「学校や勉強のこと」が26.9%、「進学・進路のこと」が26.4%と、勉強・進路関係の悩みが上位を占めています。



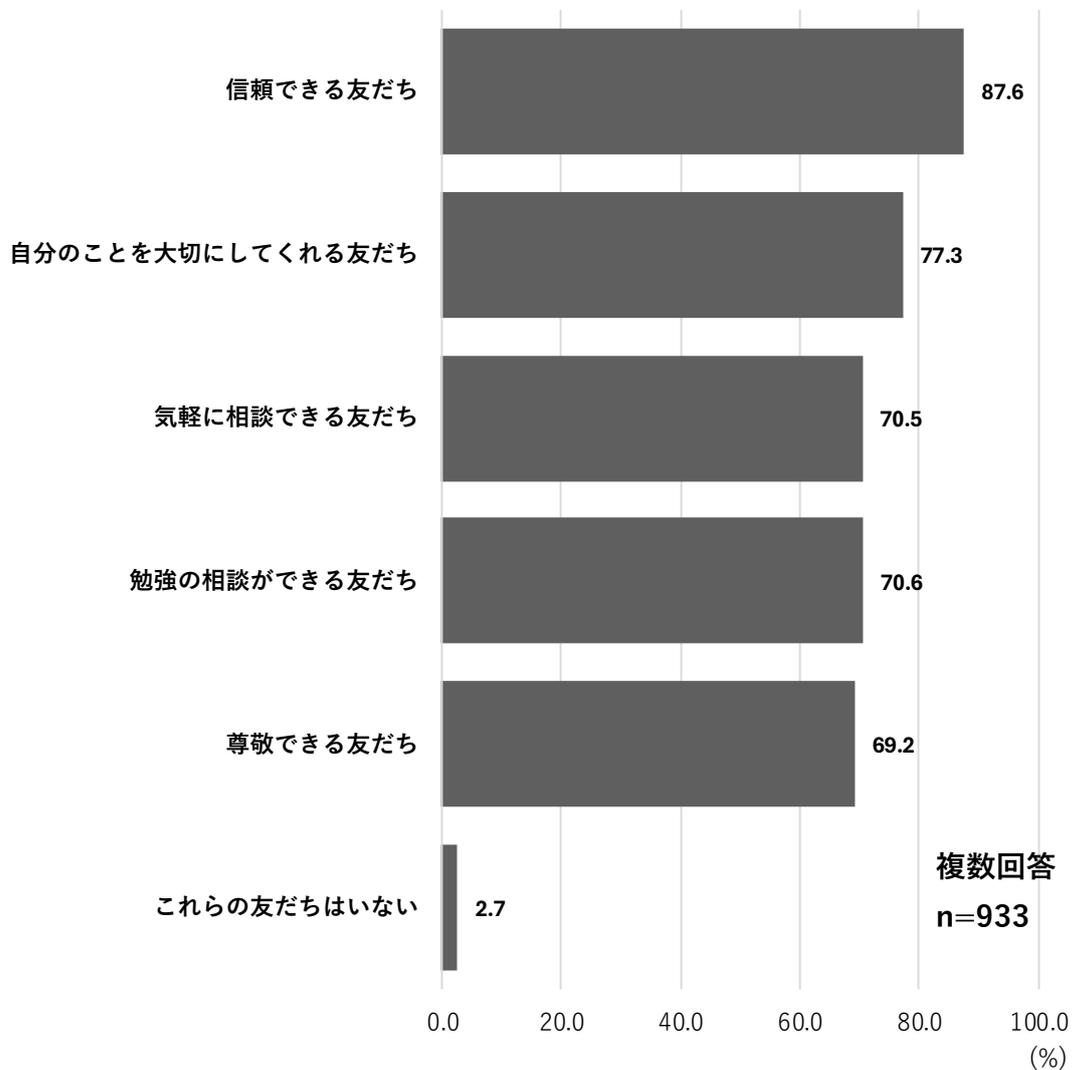
問7 いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか。(MA)

「父母」(59.4%)、「学校の友だち」(54.8%)が50%を超えています。次いで「兄弟姉妹」(25.3%)、「学校の先生」(22.7%)が2割台で続いています。



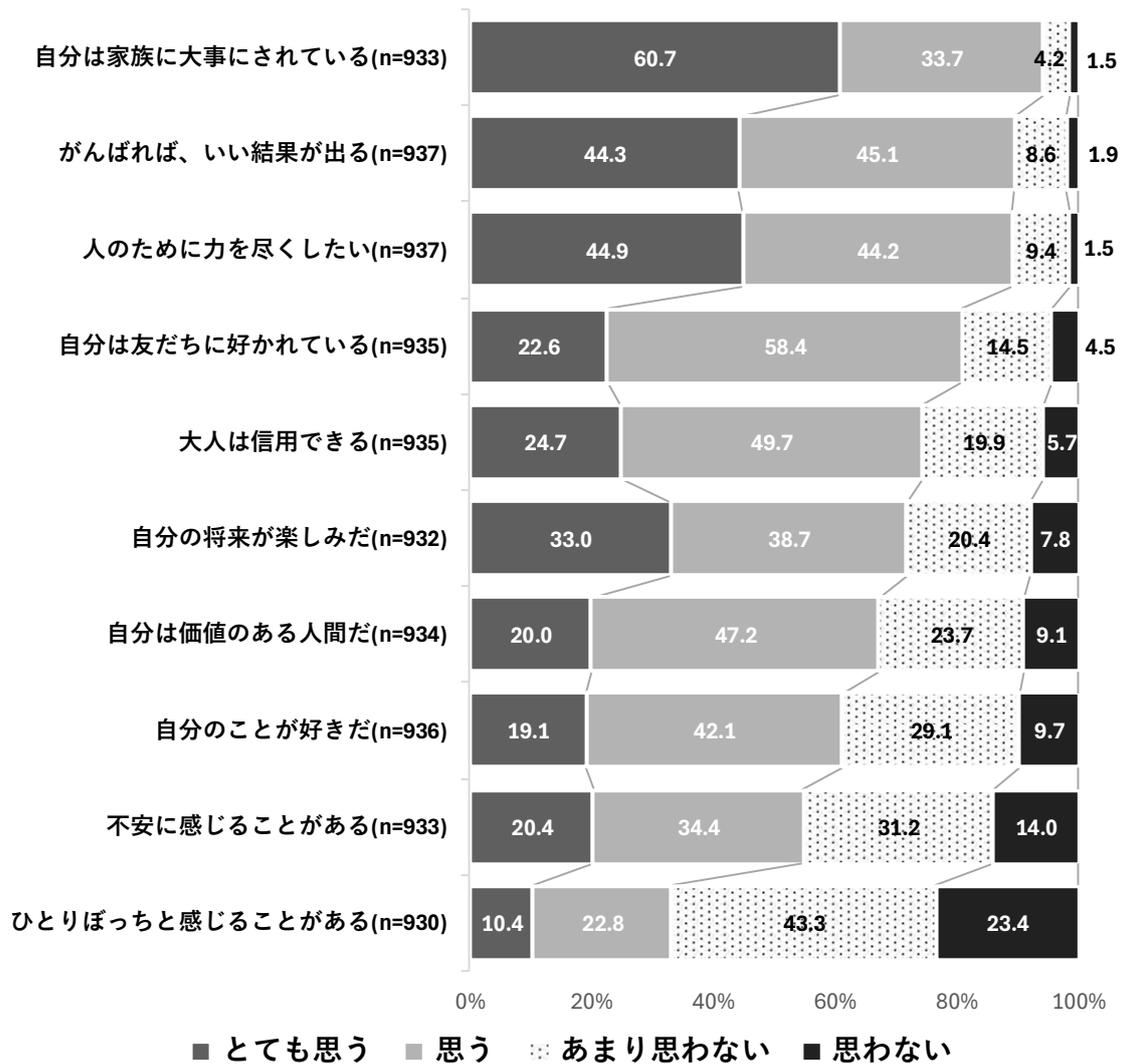
問 8 あなたには、次のような友だちが周りにいますか。(MA)

「信頼できる友だち」が最多で、87.6%と2番目以下の項目よりも10ポイント以上高くなっています。「自分のことを大切にしてくれる友だち」が77.3%で続き、残る3項目は70%前後となっています。「これらの友だちはいない」との回答が2.7%になっています。



問9 次のことについて、一番あなたの気持ちに近いものを教えてください。(SA)

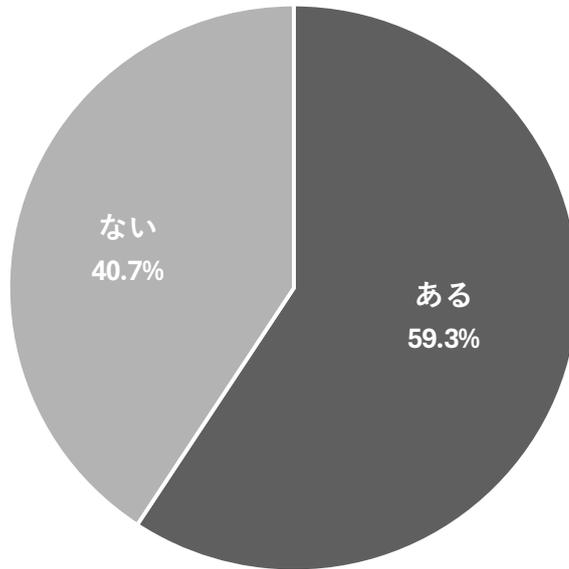
「とても思う」と「思う」を合わせた割合の高い項目は、「自分は家族に大切にされている」が94.4%、「がんばれば、いい結果が出る」が89.4%、「人のために力を尽くしたい」が89.1%の順に高くなっています。一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合の高い項目は、「ひとりぼっちと感ずることがある」が66.7%、「不安に感ずることがある」が45.2%、「自分のことが好きだ」が38.8%の順に高くなっています。



問 10 あなたには、将来の「夢」や、なりたい職業がありますか。(SA)

---

「ある」が 59.3%、「ない」が 40.7%となっています。



n=935

問 10 で「ある」を選んだ方におうかがいします。

問 10－1 その夢やなりたい職業は、何ですか。(FA)

夢について自由記述式で尋ねたところ、507 件の回答がありました。これらについて、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

< 夢（主なものを抜粋） >

**【プロスポーツ選手、その他スポーツ選手】**

- ・ プロサッカー選手
- ・ プロ野球選手
- ・ プロバスケットボール選手
- ・ 陸上選手
- ・ ハンドボール選手
- ・ バドミントン選手

**【具体的な職業】**

- ・ 美容師
- ・ 保育士
- ・ 看護師
- ・ パティシエ

**【人の役に立つ】**

- ・ 人の役に立つ人になりたい。
- ・ 人の役に立つ仕事に就くこと。
- ・ 人を手助けして役に立ちたい。

**【人を笑顔にする】**

- ・ 人と関わりがあり、人を笑顔にできる職業に就くこと。
- ・ いろんな人を笑顔にしたい。
- ・ みんなを笑顔にできるような人になりたい。

また、なりたい職業について自由記述式で尋ねたところ、494件の回答がありました。これらについて、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<なりたい職業（主なものを抜粋）>

**【プロスポーツ選手、その他スポーツ選手】**

- ・ プロサッカー選手
- ・ プロ野球選手
- ・ プロバスケットボール選手
- ・ 陸上選手
- ・ バドミントン選手

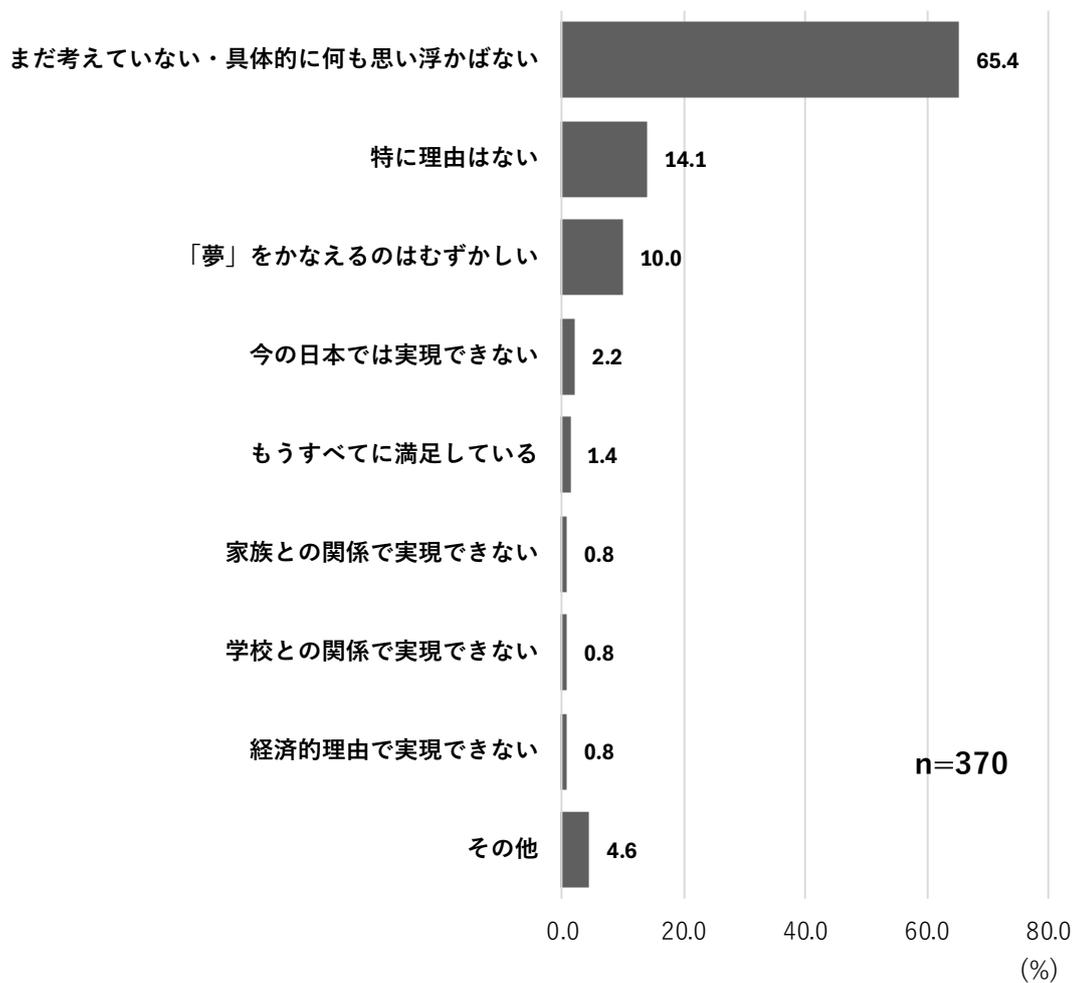
**【その他職業】**

- ・ 美容師
- ・ 保育士
- ・ 看護師
- ・ イラストレーター
- ・ 動物園の飼育員
- ・ 学校の先生
- ・ パティシエ
- ・ 会社員

問 10 で「ない」を選んだ方におうかがいします。

### 問 10－2 夢やなりたい職業がない理由は、何ですか。(SA)

「まだ考えていない・具体的に何も思い浮かばないから」が 65.4%と最も高くなっています。次いで「特に理由はない」が 14.1%、「『夢』をかなえるのはむずかしいと思うから」が 10.0%と続いています。

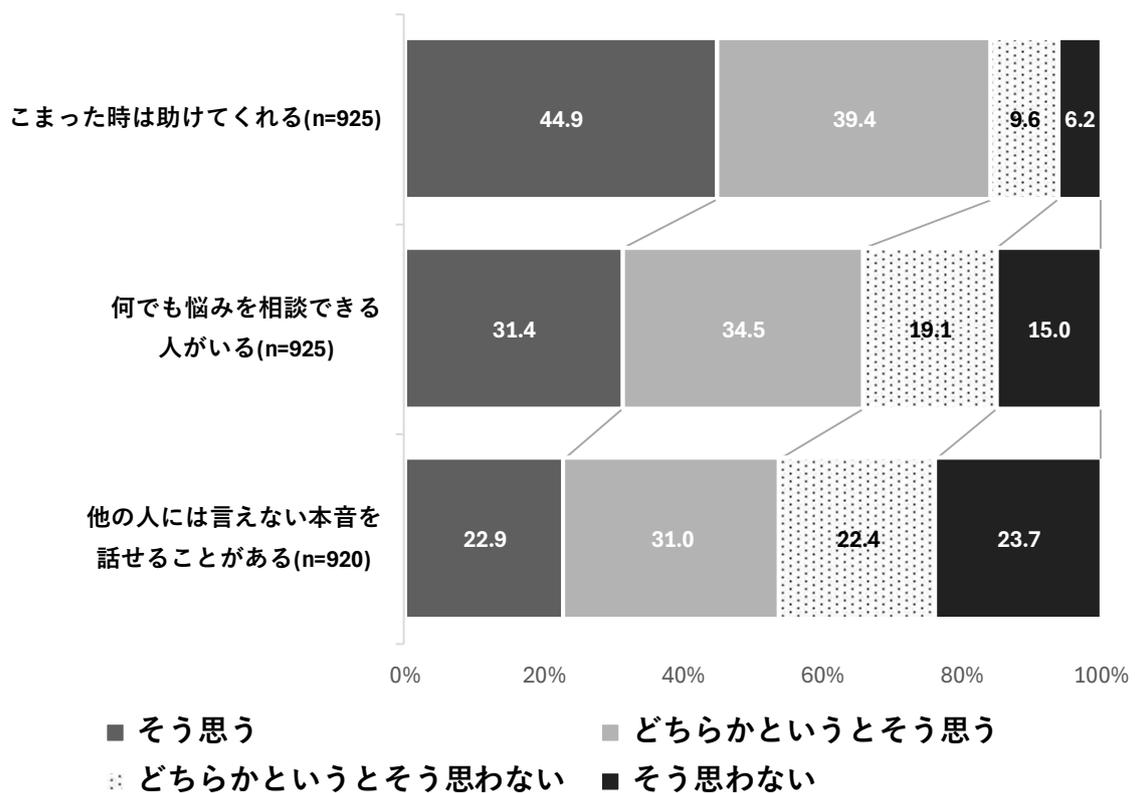






問 13 地域の人（近所の人、塾や習い事での友達など）とあなたのかかわりは、どのようなものですか。（SA）

「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合は、「こまった時は助けてくれる」が84.3%と最も高くなっています。次いで「何でも悩みを相談できる人がある」が65.9%、「他の人には言えない本音を話せることがある」が53.9%となっています。



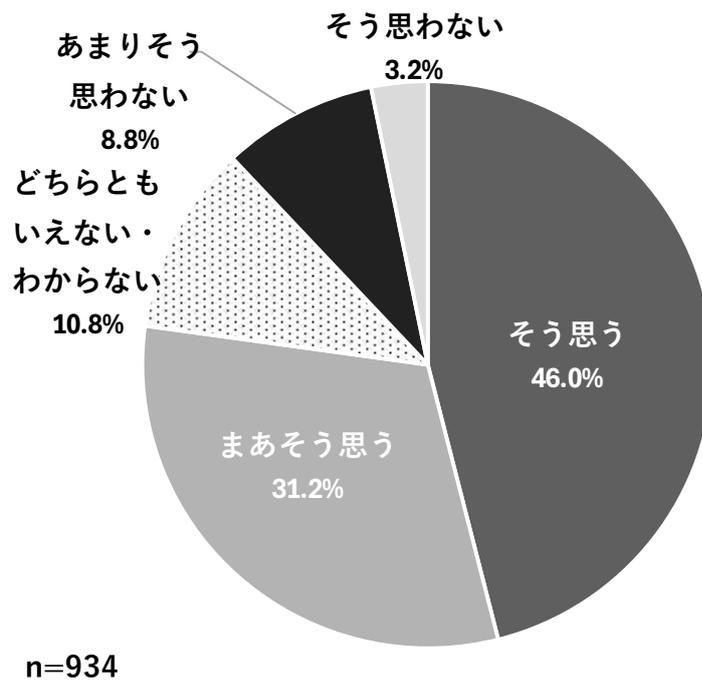




## 4 周南市に対する感想などについて

問 16 周南市は生活しやすいまちだと思いますか。(SA)

「そう思う」(46.0%)と「まあそう思う」(31.2%)の合計が77.2%、「あまりそう思わない」(8.8%)と「そう思わない」(3.2%)の合計が12.0%となっています。



問 16 で「そう思う」または「まあそう思う」を選んだ方におうかがいします。

問 16-1 そう思う理由を自由に書いてください。(FA)

「周南市が生活しやすいまちか」という質問に「そう思う」もしくは「まあそう思う」と回答した理由を自由記述式で尋ねたところ、675 件の回答がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<周南市は生活しやすいと思う理由（主なものを抜粋）>

【自然が豊か】

- ・ 自然豊かで暮らしやすいから。
- ・ 自然豊かでのびのび過ごしやすい。

【人が優しい】

- ・ 親切で、優しい人がたくさんいるから。
- ・ 周りの大人たちが優しいから。

【事故や事件、災害が少ない】

- ・ 事故や事件が少ないから。
- ・ 犯罪や交通事故が少ないから。
- ・ 地震や災害などが少ない土地だから。

【各種施設が充実】

- ・ 公園や施設が充実しているから。
- ・ 商業施設が充実しているから。
- ・ 徳山図書館が近くにあるから。

問 16 で「あまりそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方におうかがいします。

問 16-2 そう思わない理由を自由に書いてください。(FA)

「周南市は生活しやすいまちか」という質問に「あまりそう思わない」もしくは「そう思わない」と回答した理由を自由記述式で尋ねたところ、32 件の回答がありました。

これらについて分類したところ、「田舎だから」や「店が少ない」「遊ぶ場所が少ない」という意見が目立ったほか、野犬の多さや治安の悪さといった点を挙げる意見もみられました。

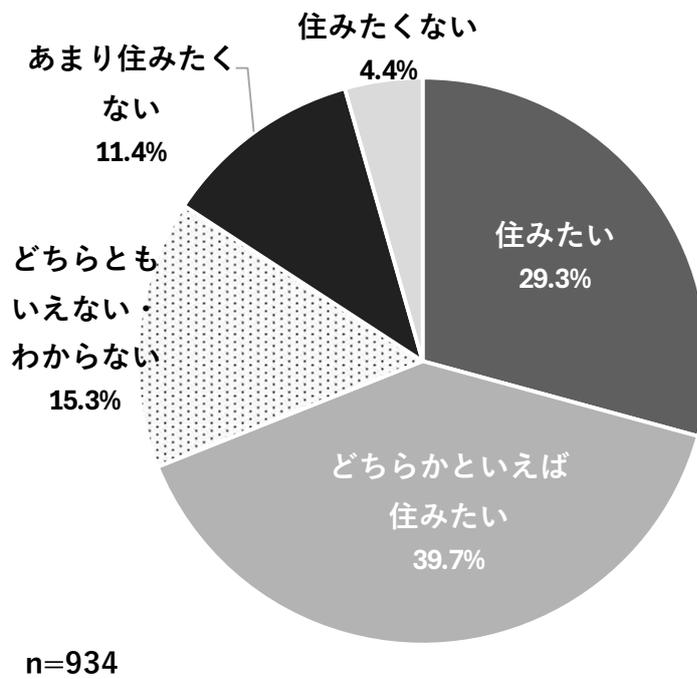
<周南市は生活しやすいと思わない理由>

- ・ 田舎だから。(9件)
- ・ ブランドの店がない。(8件)
- ・ 遊ぶ時とかに遊ぶ場所がない。(5件)
- ・ 何にもないから。(2件)
- ・ 野犬が多いと思う。

問 17 あなたは今後も、このまちに住みたいと思いますか。(SA)

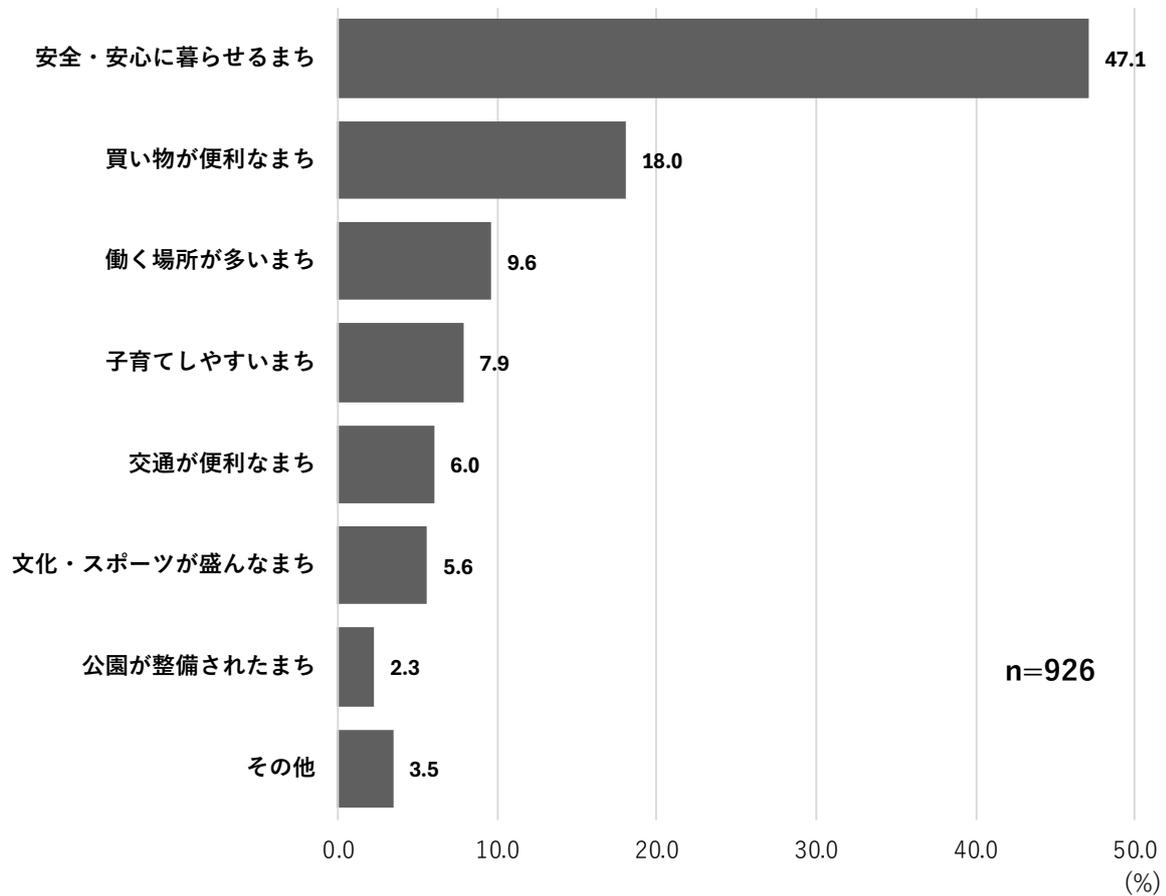
---

「住みたい」(29.3%)と「どちらかといえば住みたい」(39.7%)の合計が69.0%、「あまり住みたくない」(11.4%)と「住みたくない」(4.4%)の合計が15.8%となっています。



問 18 あなたは、どのようなまちであれば住みたいと思いますか。(SA)

「安全・安心に暮らせるまち」が47.1%と半分近くを占めています。2番目に多いのは「買い物が便利  
なまち」の18.0%で、その他は1割未満となっています。



## 5 意見要望

周南市に対する意見など、自由に記入してください。

周南市に対する意見について、自由記述欄において、合計 637 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

### <周南市に対する意見（主なものを抜粋）>

#### 【商業施設の充実】

- ・ スーパーなどの買い物が出来るところを増やせばいいと思う。
- ・ 大きいショッピングモールがほしい。
- ・ 大きなデパートを作ってほしい。

#### 【遊び場・娯楽施設の充実】

- ・ 子どもが遊べる場所を増やしてほしい。
- ・ シンボリックなものが少ない。特に遊ぶ場所が少ない。
- ・ 映画館などの友達と遊べるような場所がほしい。

#### 【ゴミについて】

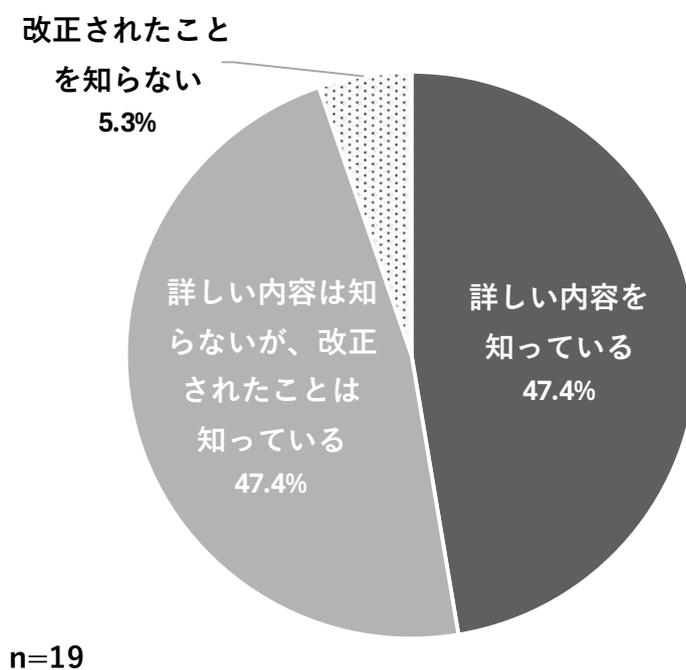
- ・ 地下道にゴミが捨ててあるのでゴミ箱を設置。
- ・ 道路にゴミがたくさん落ちている。
- ・ 全体的にゴミのポイ捨てが多い。

## VI 企業対象調査結果

### 1 子育て支援関連制度の運用について

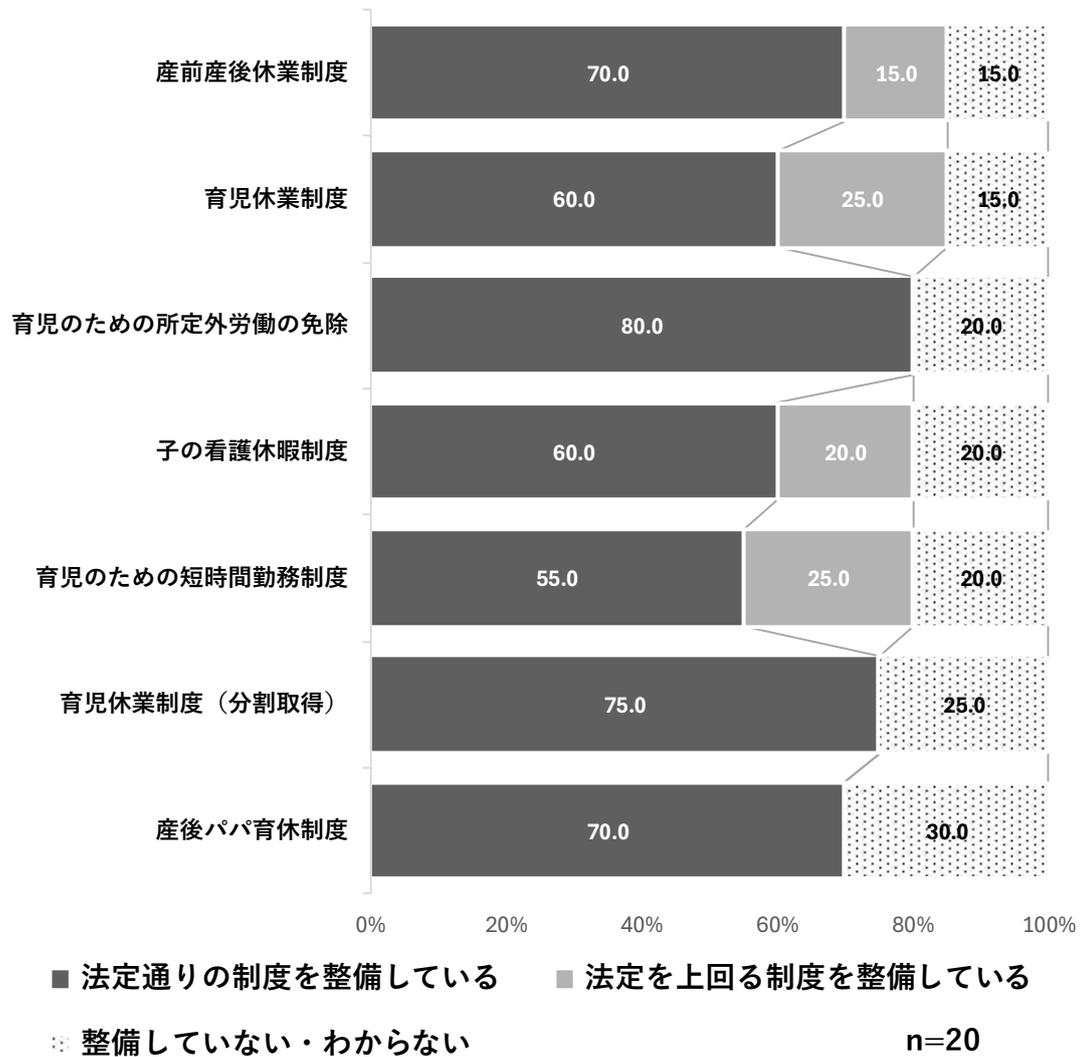
問1 貴事業所は、昨年から今年にかけて改正された育児・介護休業法についてご存知ですか。(SA)

「詳しい内容を知っている」と「詳しい内容は知らないが、改正されたことは知っている」が共に47.4%となっています。「改正されたことを知らない」と回答した企業も5.3%存在しています。



問2 貴事業所の法律に基づく産休、育休等の状況についておうかがいします。(SA)

「法定通りの制度を整備している」の割合が最も高いのは「育児のための所定外労働の免除」の80.0%でした。また、「法定を上回る制度を整備している」の割合が最も高いのは「育児休業制度」と「育児のための短時間勤務制度」の25.0%でした。一方、「整備していない・わからない」の割合が最も高いのは、「産後パパ育休制度」の30.0%でした。



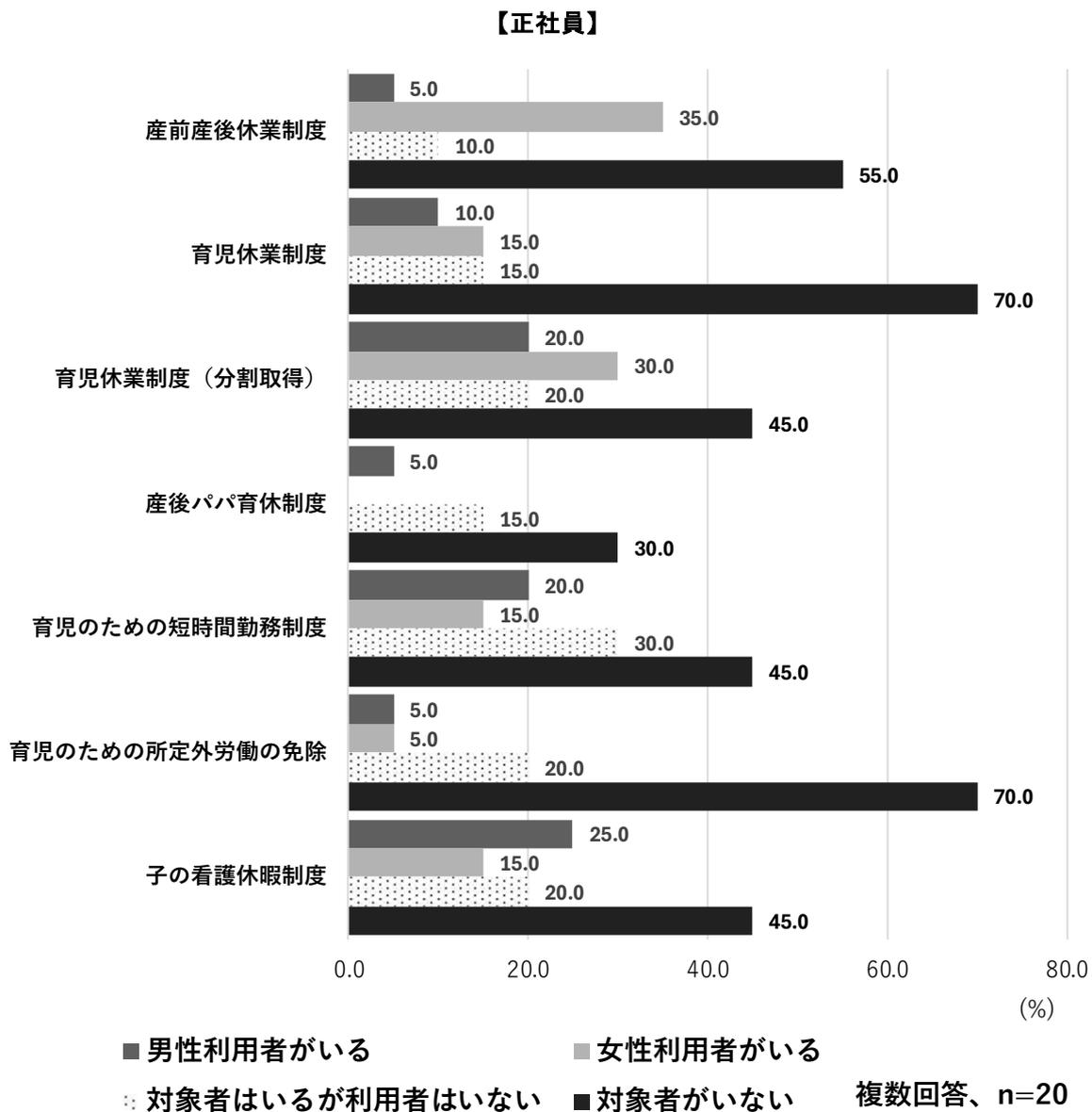
問3 令和5年（1月1日～12月31日）の産休、育休等の利用状況についておうかがいします。（MA）

正社員において「男性利用者がいる」の割合が最も高いのは「子の看護休暇制度」の25.0%でした。

「女性利用者がいる」の割合が最も高いのは「産前産後休業制度」の35.0%でした。

「対象者はいるが利用者はいない」の割合が最も高いのは、「育児のための短時間勤務制度」の30.0%でした。

「対象者がいない」の割合が最も高いのは、「育児休業制度」と「育児のための所定外労働の免除」の70.0%でした。

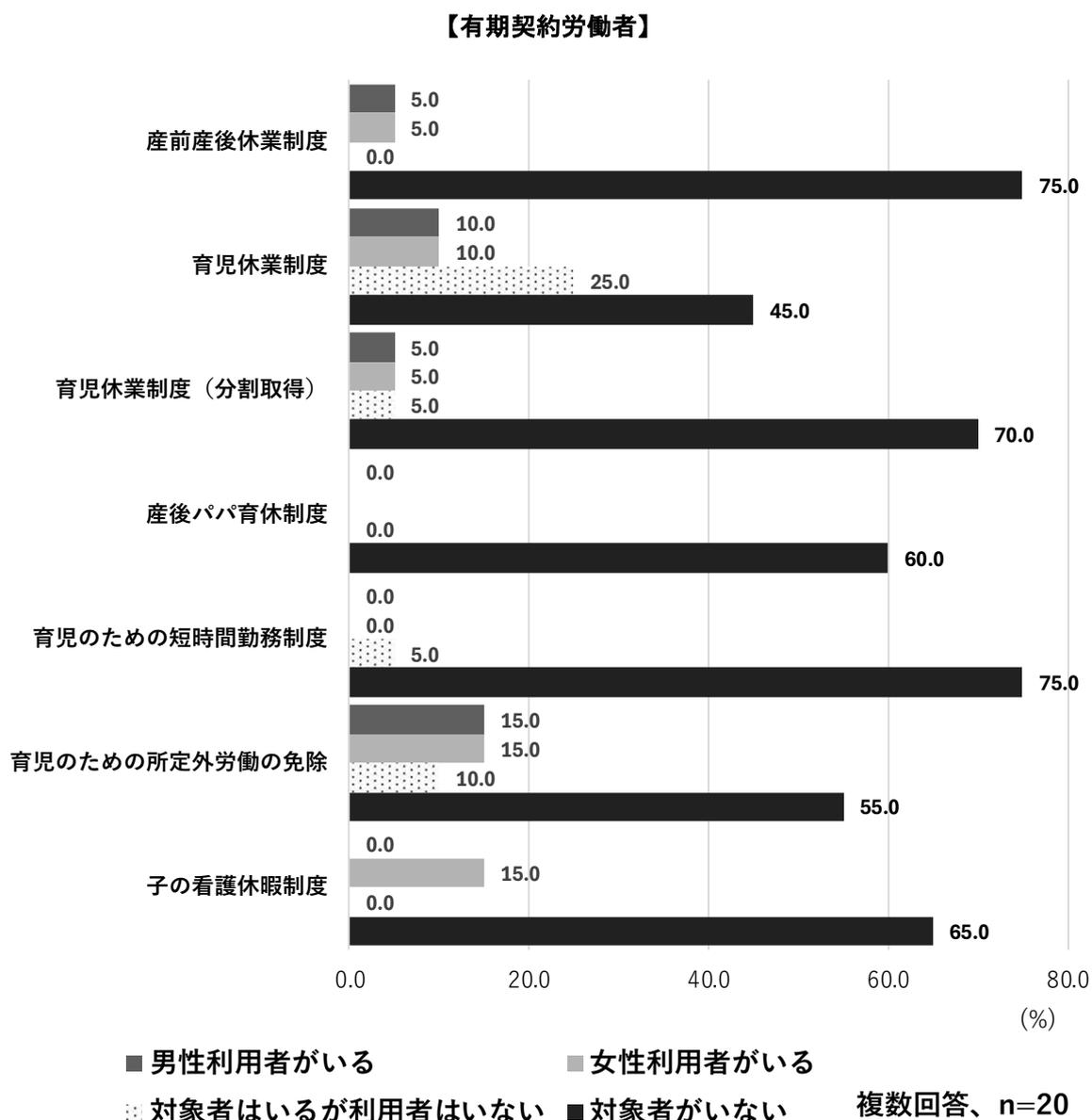


有期契約労働者においては、「男性利用者がいる」「女性利用者がいる」のいずれも、割合が最も高いのは「育児のための所定外労働の免除」の15.0%でした。

の割合が最も高いのも「育児のための所定外労働の免除」の15.0%でした。

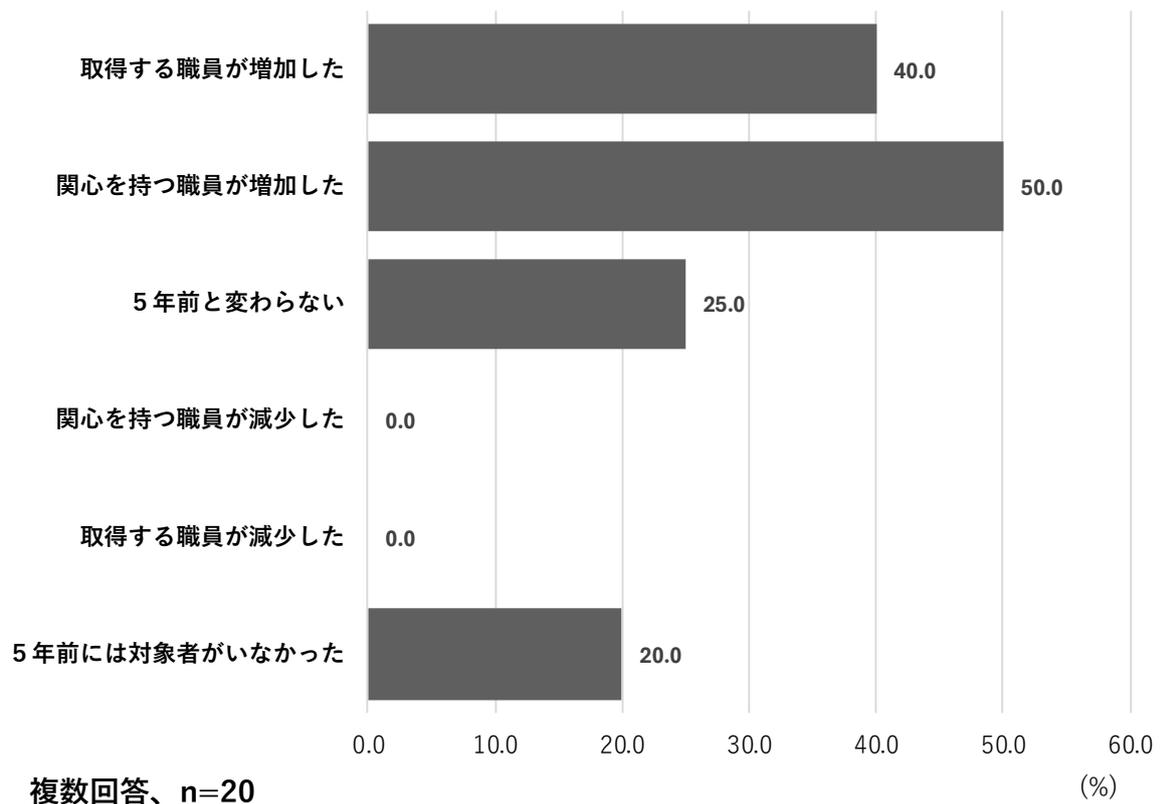
「対象者はいるが利用者はいない」の割合が最も高いのは、「育児休業制度」の25.0%でした。

「対象者がいない」の割合が最も高いのは、「産前産後休業制度」と「育児のための短時間勤務制度」の75.0%でした。



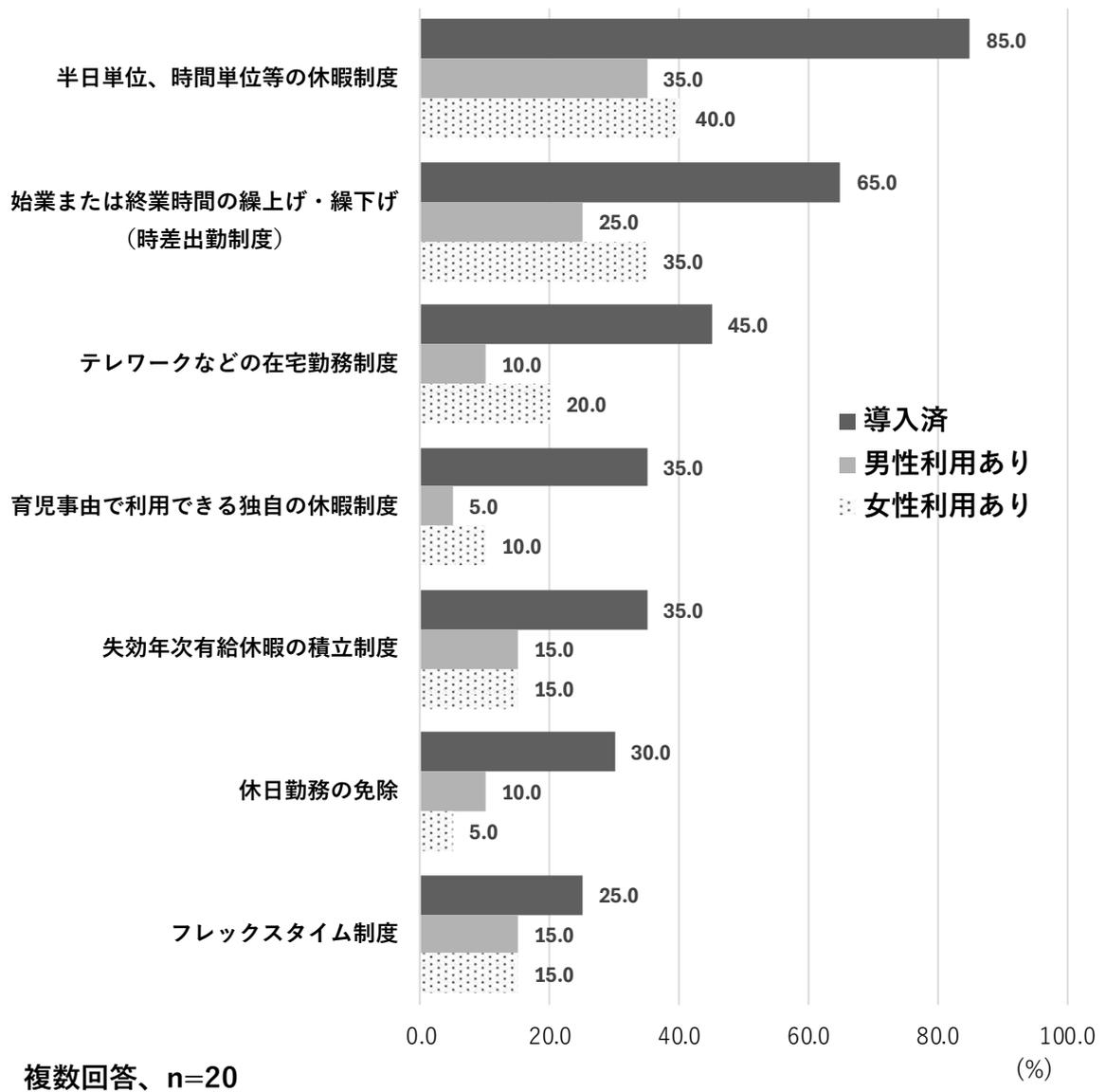
問4 上記(問3)の制度利用についておうかがいします。5年ほど前と比較して、制度の利用者は増減しましたか。(MA)

「関心を持つ職員が増加した」が50.0%「取得する職員が増加した」が40.0%であるのに対して、「関心を持つ職員が減少した」「取得する職員が減少した」は該当がありませんでした。



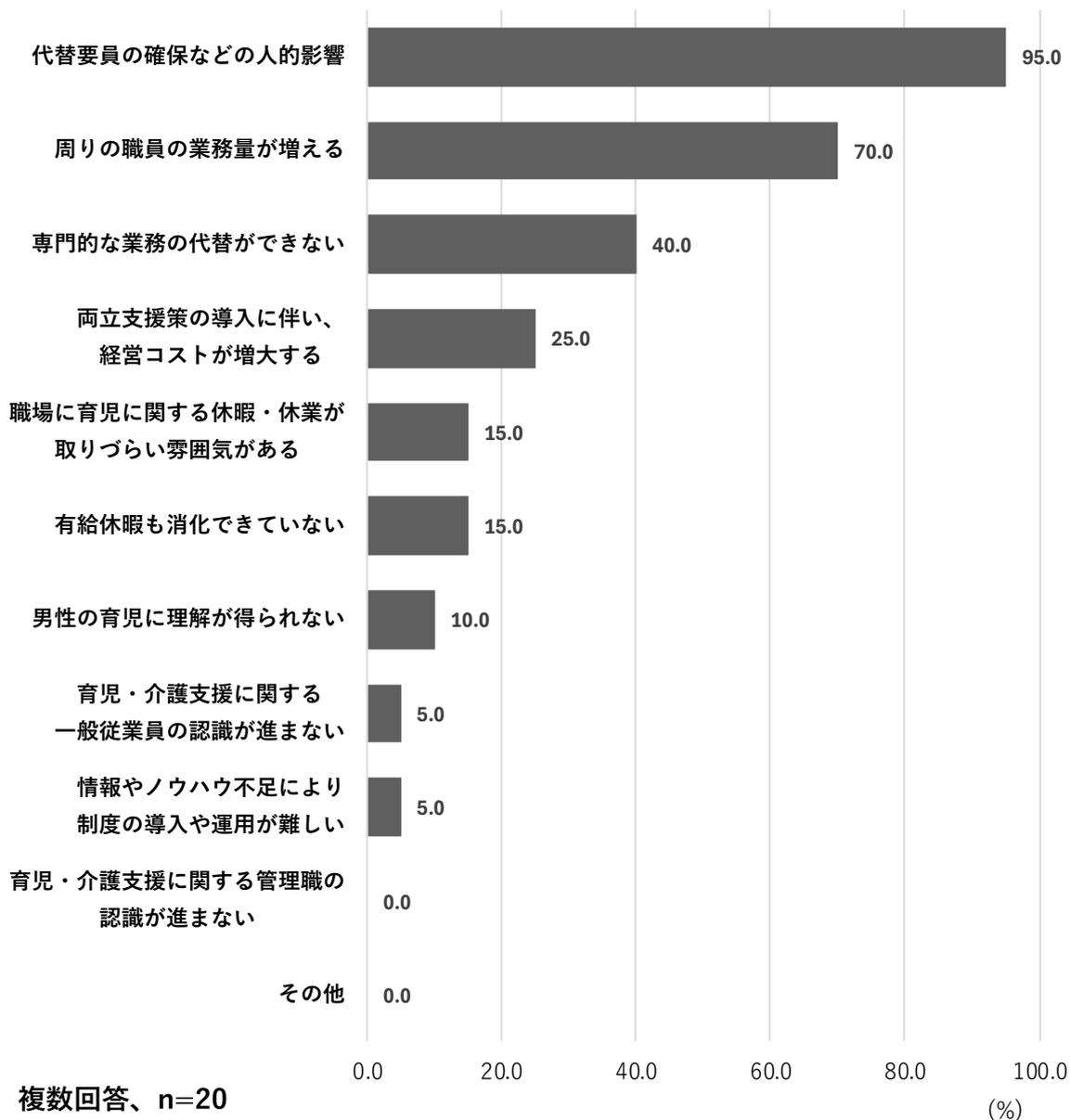
問5 仕事と育児の両立のための以下の各制度についての導入状況と、令和5年（1月1日～12月31日）で育児目的の利用者がいる制度について教えてください。（MA）

「導入済」「男性利用あり」「女性利用あり」のいずれも、割合が最も高いのは「半日単位、時間単位等の休暇制度」でした。



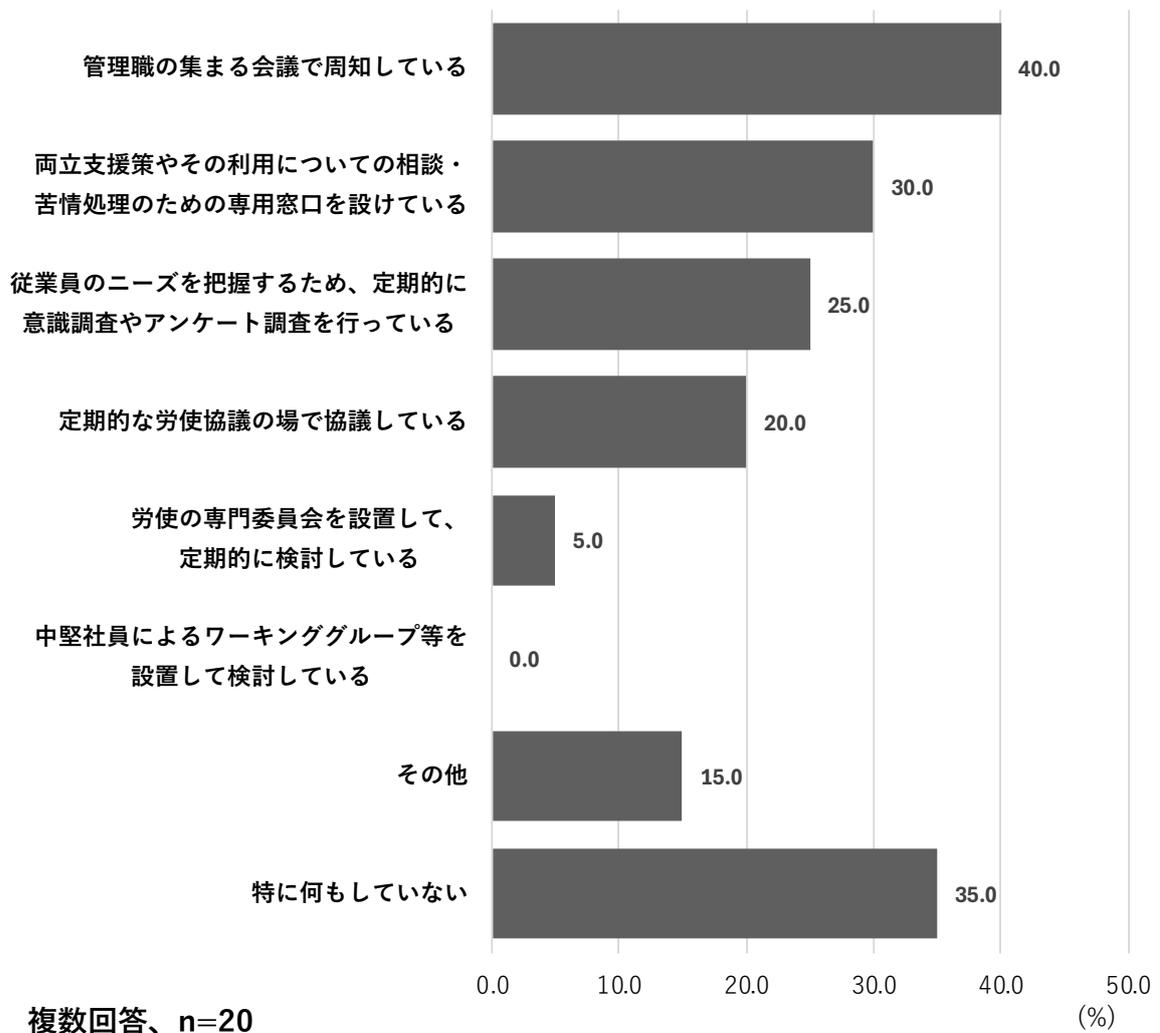
問6 問2以降にあるような、様々な子育て支援策を取り入れる上で、課題となることは  
どんなことですか。(MA)

「代替要員の確保などの人的影響」が95.0%で最も高くなっています。次いで「周りの職員の業務量が増える」が70.0%、「専門的な業務の代替ができない」が40.0%が続いています。これら人手不足への影響を懸念する課題が上位を占めています。



問7 子育て支援策の運用や改善のために、取り組んでいることはありますか。(MA)

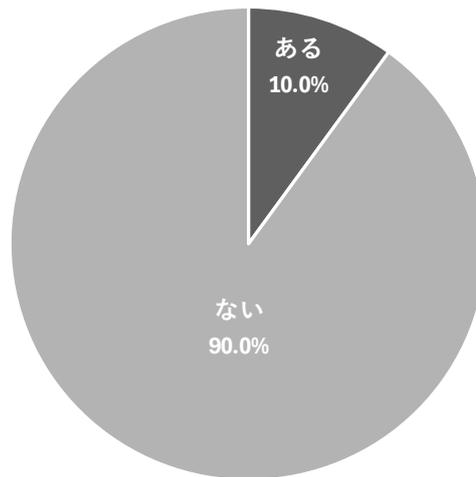
「管理職の集まる会議で周知している」が40.0%で最も高くなっています。次いで「特に何もしていない」が35.0%、「両立支援策やその利用についての相談・苦情処理等のための専用窓口を設けている」が30.0%で続いています。



## 2 事業所内保育事業の実施について

問 8 事業所内保育事業について関心がありますか。(SA)

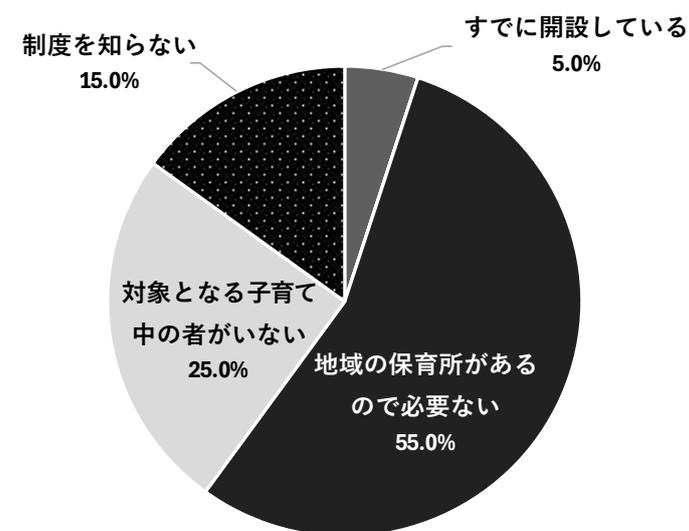
「ない」が90.0%を占めています。



n=20

問 9 貴事業所の、事業所内保育事業についてのお考えをおうかがいします。(SA)

「地域の保育所があるので必要ない」が55.0%で最も高くなっています。次いで「対象となる子育て中の者がいない」が25.0%で続いています。「開設に向けて準備中」「開設について検討している」という回答はありませんでした。



n=20

問 9 で「すでに開設している」又は「開設に向けて準備中」を選んだ事業所におうかがいします。

問 10 令和 5 年 4 月 1 日時点での事業所内保育所の定員、利用者数について教えてください。(数量)

---

該当企業は 1 件のみで、定員や利用者数についての回答はありませんでした。

問 10-1 事業所内保育を開設した（する）きっかけはなんですか。(MA)

---

「従業員の声にこたえる形」と「地域の保育事業や、子ども・子育て支援の理念に賛同したから」との回答がありました。

問 11 事業所内保育を開設した（する）、又は検討している理由を教えてください。(MA)

---

「人材の確保・定着」「従業員の仕事と育児の両立支援」「企業の社会的責任」「地域社会への貢献」との回答がありました。

問 12 事業所内保育によって、良くなったこと、変わったことなどがあれば、教えてください。(MA)

---

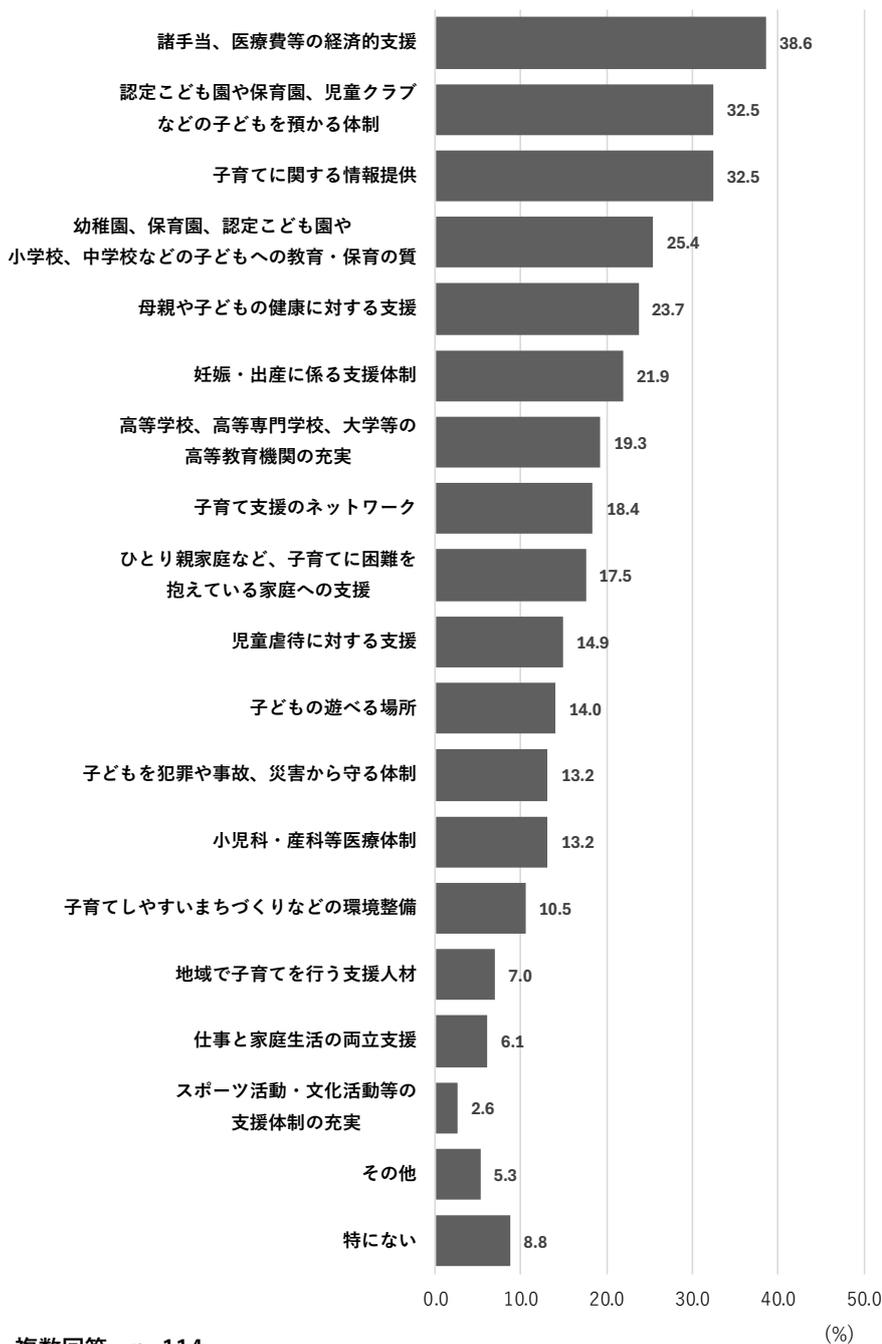
「女性従業員の出産を理由とした退職が減った」「入社希望者の応募が増えた」「育児休業を取得する人が増えた」との回答がありました。

## VII 子育て支援団体対象調査結果

### 1 市の施策等について

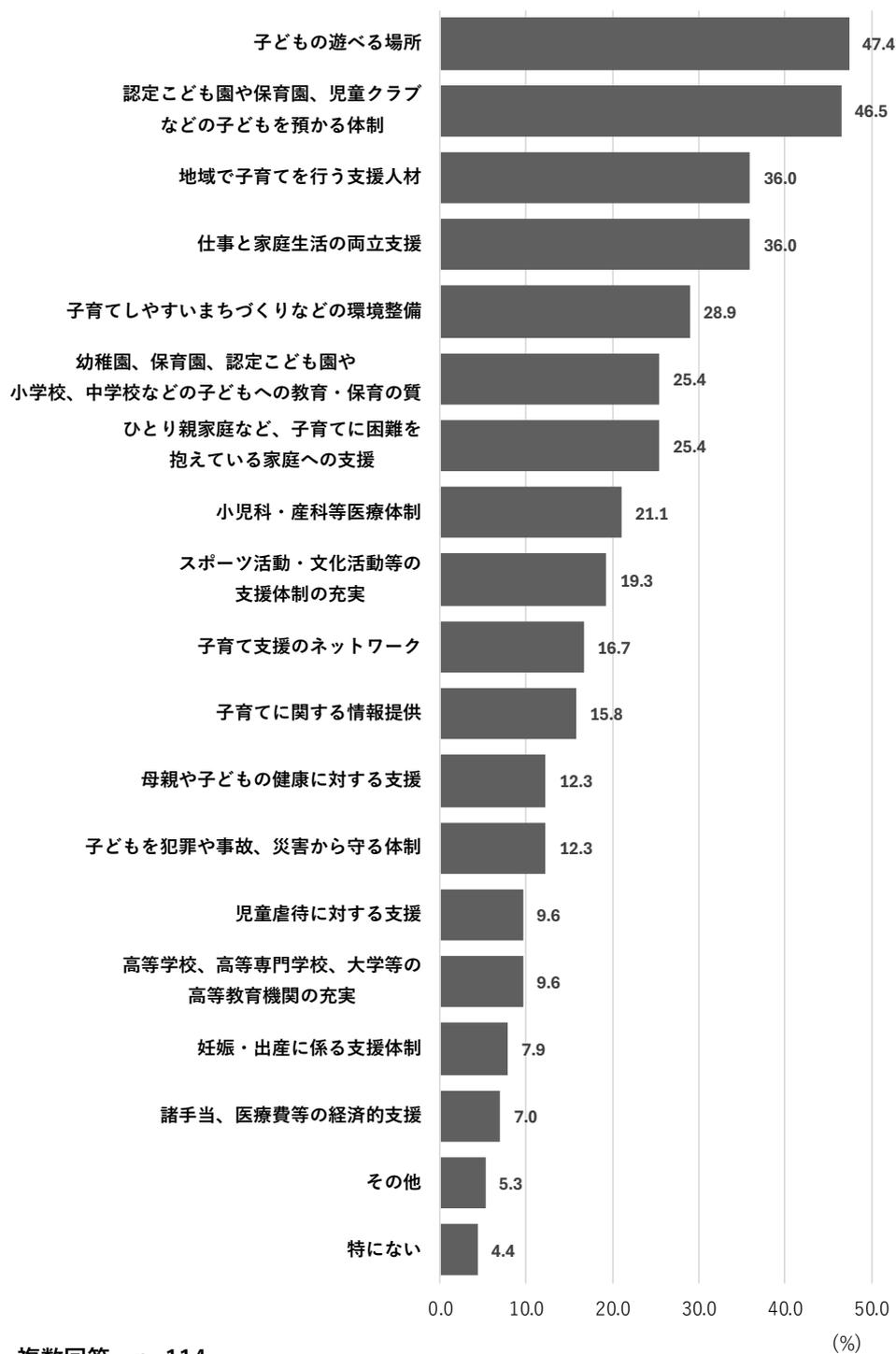
問1 市の子育てや子どもが育つ環境について、充実していると思うことはどれですか。  
(MA)

「諸手当、医療費等の経済的支援」が38.6%で最も高くなっています。次いで「認定こども園や保育園、児童クラブなどの子どもを預かる体制」「子育てに関する情報提供」が32.5%で続いています。



問2 市の子育てや子どもが育つ環境について、問題点・課題と感じていることはどれですか。(MA)

「子どもの遊べる場所」(47.4%)と「認定こども園や保育園、児童クラブなどの子どもを預かる体制」(46.5%)が半数近くを占めています。「地域で子育てを行う支援人材」「仕事と家庭生活の両立支援」が36.0%で続いています。



各項目について、「①充実していること」と「②問題点・課題」との回答割合の差を示す「ギャップ(①－②)」を算出しました。

ギャップのマイナスが最も大きいのは「子どもの遊べる場所」で、充実していること回答割合が、問題点・課題との回答割合を33.3ポイント下回りました。

逆に、ギャップのプラスが最も多いのは「諸手当、医療費等の経済的支援」で、充実していること回答割合が、問題点・課題の回答割合を31.6ポイント上回りました。

#### 市の子育てや子どもが育つ環境について

|                                       | ギャップ (①－②)<br>(ポイント) | ①充実していること | ②問題点・課題 |
|---------------------------------------|----------------------|-----------|---------|
| 子どもの遊べる場所                             | ▲ 33.3               | 14.0%     | 47.4%   |
| 仕事と家庭生活の両立支援                          | ▲ 29.8               | 6.1%      | 36.0%   |
| 地域で子育てを行う支援人材                         | ▲ 28.9               | 7.0%      | 36.0%   |
| 子育てしやすいまちづくりなどの環境整備                   | ▲ 18.4               | 10.5%     | 28.9%   |
| スポーツ活動・文化活動等の支援体制の充実                  | ▲ 16.7               | 2.6%      | 19.3%   |
| 認定こども園や保育園、児童クラブなどの子どもを預かる体制          | ▲ 14.0               | 32.5%     | 46.5%   |
| ひとり親家庭など、子育てに困難を抱えている家庭への支援           | ▲ 7.9                | 17.5%     | 25.4%   |
| 小児科・産科等医療体制                           | ▲ 7.9                | 13.2%     | 21.1%   |
| 幼稚園、保育園、認定こども園や小学校、中学校などの子どもへの教育・保育の質 | 0.0                  | 25.4%     | 25.4%   |
| その他                                   | 0.0                  | 5.3%      | 5.3%    |
| 子どもを犯罪や事故、災害から守る体制                    | 0.9                  | 13.2%     | 12.3%   |
| 子育て支援のネットワーク                          | 1.8                  | 18.4%     | 16.7%   |
| 特になし                                  | 4.4                  | 8.8%      | 4.4%    |
| 児童虐待に対する支援                            | 5.3                  | 14.9%     | 9.6%    |
| 高等学校、高等専門学校、大学等の高等教育機関の充実             | 9.6                  | 19.3%     | 9.6%    |
| 母親や子どもの健康に対する支援                       | 11.4                 | 23.7%     | 12.3%   |
| 妊娠・出産に係る支援体制                          | 14.0                 | 21.9%     | 7.9%    |
| 子育てに関する情報提供                           | 16.7                 | 32.5%     | 15.8%   |
| 諸手当、医療費等の経済的支援                        | 31.6                 | 38.6%     | 7.0%    |

問3問2の課題解決に向けて取り組んでいること、今後取り組みたいことをご記入ください。(FA)

課題解決に向けて取り組んでいることについて、自由記述欄において、合計75件の記載がありました。これらの事項について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<課題解決に向けて取り組んでいること（主なものを抜粋）>

**【保育関連】**

- ・ 一時預かり保育。

**【地域との関わり】**

- ・ 地域の子育てサロンのメンバーとして活動中。
- ・ 地域や学校と子どもの生活環境の情報を共有し関係機関に繋げる。
- ・ 保護者ボランティアと共に、それぞれの立場で未就園児親子に遊び場の提供、子育ての相談をしている。

**【相談対応】**

- ・ 子育て中の親子が気軽にあそびに来て安心安全に過ごせる魅力ある環境づくりに取り組んでいる。
- ・ 身近な相談場所になるように、相談支援体制に力を入れている。

**【行事開催】**

- ・ けん玉教室などの開催、講師に保護者を招いてバトミントン教室の開催。
- ・ 子ども達も参加できる、地域行事やワークショップを開催。

一方、課題解決に向けて取り組みたいことについて、自由記述欄において、合計63件の記載がありました。これらの事項について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

<課題解決に向けて取り組みたいこと（主なものを抜粋）>

**【学校教育関連、学校との連携】**

- ・ 特に若い先生方が希望や余裕をもって教育に取り組めるためにはどうしたらよいか考えていきたいと思っています。
- ・ 小学校、中学校と連携をして各家庭で個別に連絡を取り、漏れのない支援をしたい。
- ・ 地域任せ、学校任せになりがちな、保護者世代を地域行事に参加していただき、より良い子育て支援に繋がりたい。

**【保育関連】**

- ・ 保育園を利用していない方も、育児相談が出来るように、保育園に立ち寄りた環境づくり。
- ・ 保育士の質・力量の向上（数ではなく質）、保育士の増員。

**【各種子育て支援】**

- ・ 今後、市の機関を利用し、発達支援が必要となった場合、園でも出来ることを家庭や専門機関と連携を取り合い、子どもの発達の手助けをしていきたい。
- ・ 経済的な理由や家庭環境に課題を抱えている要支援の家庭、子ども（臨時的な場合も含め）へのより定期的な食事支援や学習支援等をしたいとは考えています。対象者がいなければ必要がないですが。

問 4 課題解決への取り組みを行う上で、困っていることがあればご記入ください。(FA)

課題解決への取り組みを行う上で困っていることについて、自由記述欄において、合計 75 件の記載がありました。これらの事項について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

< 課題解決への取り組みを行う上で困っていること（主なものを抜粋） >

**【人材不足】**

- ・ 保育士不足。
- ・ 保育士不足で、一時預かりの希望者のニーズを満たせない。
- ・ 保育士不足の解決案の検討。

**【関係機関の連携】**

- ・ 配慮を要する子どもについて、関係機関との連携強化の構築。
- ・ 学校と家庭と地域が、連携して取り組んで行けるような物心両面の支援。

**【施設整備】**

- ・ 出産時の預け先の確保。緊急時対応時の預け先の確保。
- ・ 支援人材の確保、施設の充実。

問 5 日頃の活動の中で、子育て等に関して利用者や参加者、保護者からいただく要望や意見があればご記入ください。(FA)

---

利用者や参加者、保護者からいただく要望や意見について、自由記述欄において、合計 74 件の記載がありました。これらの事項について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

**<利用者や参加者、保護者からいただく要望や意見（主なものを抜粋）>**

**【保育関連】**

- ・ リフレッシュのために預けられる場がほしい。
- ・ 一時預かりも含めた、いつでも預かれる場がほしい。
- ・ 緊急時（出産・通院・育児を助けてくれる人がいない時）の一時保育の利用。
- ・ 保育所の入所枠の増加。
- ・ 子どもが急病の時の受け入れの充実。

**【遊び場】**

- ・ 近くに公園がない。車で遠くの公園に遊びに行っている。
- ・ インクルーシブ公園を作ってほしい。
- ・ Mooovi 下関のような無料で室内で遊べる所を作ってほしい。
- ・ 休日に、児童も幼児も同じ場所で遊ばせることの出来る所がほしい。

**【学校教育関連】**

- ・ 不登校児支援はどうなっているのか知りたい。

問6 周南市で子どもを育てる上で、大切にしていることや目指したい子ども像（こうした力を身に付けてほしいなど）を教えてください。（FA）

周南市で子どもを育てる上で大切にしていることについて、自由記述欄において、合計82件の記載がありました。これらの事項について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

**<周南市で子どもを育てる上で大切にしていること（主なものを抜粋）>**

**【子どもや保護者への寄り添い】**

- ・ 子どもの気持ちに寄り添った関わり。
- ・ 保護者にも子どもにも一人一人に寄り添った関わり。
- ・ お母さん・お父さんの心が安定できるように寄り添って傾聴することを心がけている。

**【人間として尊重】**

- ・ 子どもの主体性を大事にする。
- ・ 一人の人間として尊重し、かかわること。
- ・ 大人も子どもも一人の人間として接する。

**【人を思いやる・大切に子どもを育てる】**

- ・ 人を思いやることの出来る心。
- ・ 地域・育った場所、人を大切にすることができる人に育つ。
- ・ 子どもが成長する中で、人への優しさや大切にすることを育みたい。

一方、周南市で子どもを育てる上で目指したい子ども像について、自由記述欄において、合計87件の記載がありました。これらの事項について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

**<周南市で子どもを育てる上で目指したい子ども像（主なものを抜粋）>**

**【生きる力を身に付ける】**

- ・ 子どもが主体の保育によって生きる力、生き抜く力を身につけていく。
- ・ 自分の力で生き抜く力。
- ・ 健やかに成長し、さまざまな学びや遊び、体験等を通し生き抜く力をつけること。

**【人を思いやる】**

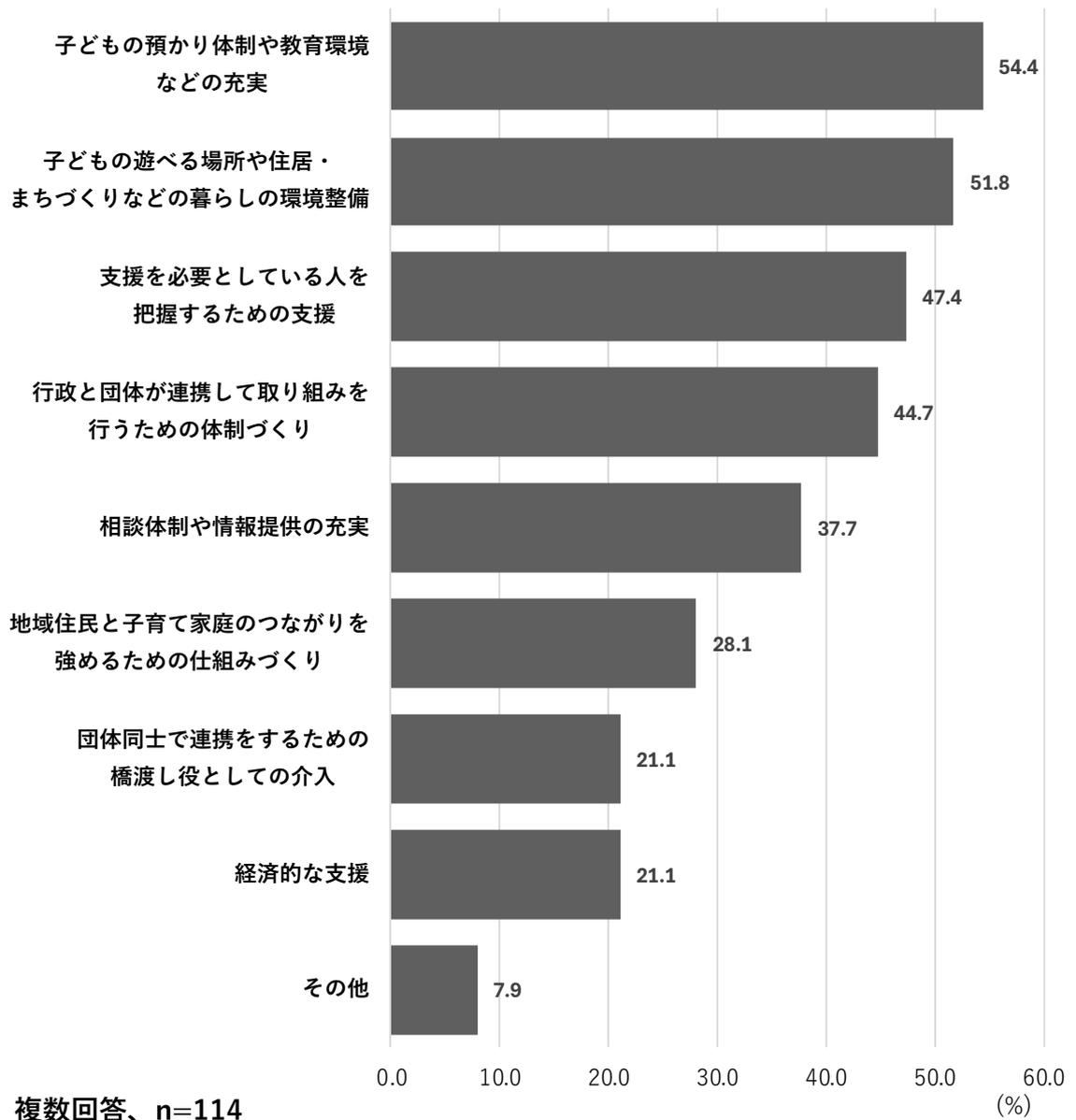
- ・ 他者を思いやることのできる子ども。
- ・ 自立へと少しずつ向かう中で、他者とかかわり、相手の気持ちを考えられるようになること。
- ・ 人の気持ちを思いやる力を身に付けてほしい。

**【自ら考え行動する】**

- ・ 自分自身で考え行動し、経験を基に育っていく力を身に付ける。夢を自分の力で叶えられる力。
- ・ 自分のことは自分ででき、解らないこと、こまったことは大人に聞いて積極的に行動できる子。
- ・ 自分に自信があり行動や思考が前向きで失敗を恐れない子ども像。

問7 貴団体として行政に望む支援や施策についてお答えください。(MA)

50%を超えたのが「子どもの預かり体制や教育環境などの充実」(54.4%)と「子どもの遊べる場所や住居・まちづくりなどの暮らしの環境整備」(51.8%)でした。4割台で「支援を必要としている人を把握するための支援」(47.4%)と「行政と団体が連携して取り組みを行うための体制づくり」(44.7%)が続いています。



問 8 その他、子育て支援に関してご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

子育て支援に関する意見・要望について、自由記述欄において、合計 50 件の記載がありました。これらの意見等について、主なものを抜粋したところ、以下の通りとなりました。

**<子育て支援に関する意見・要望（主なものを抜粋）>**

**【保育関連】**

- ・ 誰でも通園制度について、利用枠を月 10 時間以上とすることに反対だ。そのための保育士もいない。
- ・ 保育士不足が解消できる政策を検討してほしい。
- ・ 誰でも保育園の利用は、他県他市では就労時のみと聞いている。
- ・ 仕事をしていなくても預けることが出来るようになったとあるが、一時保育も空きがなく利用しづらい。
- ・ 公立保育園の施設老朽化。設備不良の改善。

**【児童クラブ関連】**

- ・ 児童クラブ職員の資質向上のための研修。
- ・ 保育の新しい知識を得る機会の確保。
- ・ 児童クラブの実情に目を向け、組織の確立を。

**【関係機関の連携】**

- ・ 関係機関連携強化による情報共有。
- ・ 市と保育所等の連携として、保健師等による巡回機関（相談・連絡しやすい環境）。
- ・ 母推活動による支援が効果的。連携を強化し専門機関の情報を取り入れながら活動継続したい。